
文部科学省

平成26年度「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業【テーマB】
インターンシップ等の取組拡大」

平成27年度「大学教育再生加速プログラム(インターンシップ等を通じた教育強化)」

「うりずんプロジェクト～「沖縄型」インターンシップの展開～」

成果報告書



平成28年3月

沖縄地域インターンシップ推進協議会

文部科学省

平成26年度「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業【テーマB】
インターンシップ等の取組拡大」

平成27年度「大学教育再生加速プログラム（インターンシップ等を通じた教育強化）」

「うりずんプロジェクト～「沖縄型」インターンシップの展開～」

成果報告書

沖縄地域インターンシップ推進協議会

ごあいさつ

「うりずんプロジェクト」は、「沖縄産学官協働人財育成円卓会議」による要請を受け、平成 26 年度の文部科学省の補助金事業「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業【テーマ B】インターンシップ等の取組拡大」（平成 27 年度は「大学教育再生加速プログラム（インターンシップ等を通じた教育強化）」に名称変更）に応募し、平成 26 年 5 月、最終的に、全国 11 地域のうちの 1 地域として採択された事業であります。平成 26 年 8 月 1 日に「沖縄地域インターンシップ推進協議会」が設立され、琉球大学を幹事校とし、県内の名桜大学・沖縄大学・沖縄キリスト教学院大学及び沖縄国際大学を連携校、沖縄県立芸術大学・沖縄キリスト教短期大学及び沖縄女子短期大学を協力校として、県内経済団体、各企業、行政機関、インターンシップ支援団体などとともに、産学官連携によって、大学・短期大学在学中の一貫したキャリア教育としてのインターンシップを提供する仕組み（プラットフォーム）を構築して参りました。この 1 年 8 ヶ月の間、平成 27 年 2～3 月、8～9 月、平成 28 年 2～3 月の計 3 回に亘り、延べ 250 名を超える県内大学生・短期大学生のインターンシップを行って参りました。御協力頂いた県内企業・団体は 100 社を超え、沖縄島内に留まらず、久米島・宮古島・石垣島にも及んでおります。

本事業の特色は、2 週間など画一的なインターンシッププログラムではなく、企業・団体の事情に合わせて、3 日程度から 1 ヶ月以上に亘るものなど、様々なタイプのプログラムを提供して頂けること、学生が自身の経験や能力に応じてこれらのプログラムから最適のものを選択できること、専任コーディネーターが学生との度重なる面談を通して企業・プログラムとのマッチングを行うことでもあります。

期間中を通し、在沖米国商工会議所（American Chamber of Commerce in Okinawa）の御協力により、会員企業での英語を用いたインターンシップに挑戦した学生もおりました。また、その他の企業でのインターンシップに於いても、外国人観光客への英語による接客を体験した学生もおりました。今や県内の一企業と雖も、グローバル化は避けて通ることができず、県を挙げて、グローバル社会の中で、十分に能力を発揮できる人材を輩出していく努力が求められます。英語が活用出来るのは勿論のこと、更に近隣諸国の言葉として、中国語・韓国語などが活用でき、また、日

本独特のビジネス習慣にとらわれずに、グローバル社会でビジネスを展開していくことのできる人材を育てていく必要があります。

インターンシップを終えた学生は一様に、社会・業界を知ることができた、華やかに見える職場の陰で普段は目に触れることのない面も知ることができた、自身の強み・弱み、課題を知ることができたと話しております。事前研修を終えて送り出した後、事後研修で見せる行動・態度には、明らかな成長の跡が感じられます。

本事業はその一方で、大学でのインターンシップを活用したキャリア教育のカリキュラムを開発すること、加えて、学生と企業とのマッチングやインターンシッププログラムの開発・提案、学生への事前・事後研修等を行い得る専門人材を養成することもまた、その使命としております。事業実施期間中、産業界のニーズのヒアリングをもとに学生の評価指標（ルーブリック）を作り上げるワークショップが2回、専門人材養成のための研修会が8回、それぞれ開催されました。これらの成果物として、「うりずんプロジェクト大学キャリア教育プログラム」（評価指標を含む）、及び「専門人材養成テキスト」が完成致しました。

この報告書は、本事業の1年8ヶ月の軌跡を記録したものであります。文部科学省による補助事業は平成28年3月で終了しますが、「沖縄地域インターンシップ推進協議会」は今後も活動を続け、学生のキャリア教育の一環としてのインターンシップを推進して参ります。その過程で、必要に応じて原点に立ち返り、また常に時代・社会のニーズに合わせて、プログラムの検証、見直しを行って参ります。

最後に、本事業に御協力頂きました関係各位に感謝申し上げますとともに、今後ますますの御協力、御指導、御鞭撻を御願い申し上げます。

平成28年3月吉日

沖縄地域インターンシップ推進協議会 会長
(琉球大学就職センター長)

松本 剛

目 次

ごあいさつ

1. 事業概要

1-1 平成 26 年度（当初概要）	1
1-2 取組の概要及び達成目標	10
1-3 平成 26 年度事業計画の概要	14
1-4 平成 27 年度事業計画の概要	16

2. 平成 26 年度事業報告

2-1 【会議等】

2-1-1 沖縄地域インターンシップ推進協議会（設置要領含む。）	18
2-1-2 インターンシップ等支援組織内連絡協議会（部会 1）	27
2-1-3 プログラム検討協議部会（部会 2）	28
2-1-4 評価検証部会（部会 3）	29
2-1-5 幹事校・連携大学の取組担当者・事務担当者	30
2-1-6 平成 26 年度の会議開催状況	31

2-2 【イベント等】

2-2-1 2015 春期インターンシップ・プレセミナー	38
2-2-2 2015 春期インターンシップ企業向け説明会	47
2-2-3 2015 春期インターンシップフェア	59
2-2-4 2015 春期インターンシップ事前研修	72
2-2-5 2015 春期インターンシップ実習	79
2-2-6 2015 春期インターンシップ事後研修・報告会	88
2-2-7 平成 26 年度産学官連携シンポジウム	101

2-3 【次年度に向けた取組】

2-3-1 2015 夏期インターンシップ企業向け説明会	114
------------------------------	-----

2-4 【評価検証】

2-4-1 平成 26 年度評価検証報告書	131
-----------------------	-----

3. 平成 27 年度事業報告

3-1 【会議等】

3-1-1 沖縄地域インターンシップ推進協議会（設置要領含む。）	139
3-1-2 インターンシップ等支援組織内連絡協議会（部会 1）	151
3-1-3 プログラム検討協議部会（部会 2）	152
3-1-4 評価検証部会（部会 3）	153
3-1-5 平成 27 年度の会議開催状況	154

3-2 【イベント等】

（夏期）

3-2-1 2015 夏期インターンシップ企業向け情報交換会	160
3-2-2 2015 夏期インターンシップフェア	168
3-2-3 2015 夏期インターンシップ事前研修	180

3-2-4	2015 夏期インターンシップ実習	194
3-2-5	2015 夏期インターンシップ事後研修・報告会	200
(春期)		
3-2-6	2016 春期インターンシップ企業向け情報交換会	208
3-2-7	2016 春期インターンシップフェア	217
3-2-8	2016 春期インターンシップ事前研修	227
3-2-9	2016 春期インターンシップ実習	233
3-2-10	2016 春期インターンシップ事後研修・報告会 (予定)	235
3-2-11	平成 27 年度産学官連携シンポジウム	236
3-3 【評価検証】		
3-3-1	平成 27 年度評価検証報告書	246
4. 体系的なキャリア教育プログラムの開発及び評価手法の開発		
4-1	プログラム検討協議部会 (部会 2) の下に置く選定委員会の取扱い	261
4-2	体系的なキャリア教育プログラムと評価手法	264
5. 専門人材養成カリキュラムの開発及び研修実施		
5-1	平成 26 年度取組状況	272
5-2	平成 27 年度取組状況	284
6. うりずんプロジェクト Web サイト		
6-1	Web サイト概要	300
7. 資料編		
7-1	マッチング資料	303
7-2	各種様式&資料 (学生向け)	316
7-3	各種様式&資料 (企業・団体向け)	325
7-4	専門人材養成テキスト (手引き&ワークシート)	335
7-5	2 年間の取組の当初達成目標及び実績	336
7-6	その他	337

1. 事業概要

**「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業
【テーマB】インターンシップ等の取組拡大」
(当初概要)**

1. 基本情報

取組名称 (30字以内)	うりずんプロジェクト～「沖縄型」インターンシップの展開～
地域インターンシップ推進組織名	沖縄地域インターンシップ推進協議会
参加する連携校名 ※幹事校には下線を付す ※テーマBの新たな連携校には [] を付す	<u>琉球大学</u> [名桜大学] [沖縄大学] [沖縄キリスト教学院大学] [沖縄国際大学] <div style="text-align: right;">(計 5校) うち新規連携校 [4校]</div>
取組担当者	琉球大学理学部教授・就職センター長 松本 剛
連携予定のインターンシップ等支援組織等名 (団体名・企業名等)	沖縄産学官協働人財育成円卓会議 沖縄県中小企業家同友会 在沖米国商工会議所 沖縄県商工労働部雇用政策課 内閣府沖縄総合事務局経済産業部 有限会社オーシャン・トゥエンティワン 特定非営利活動法人沖縄人財クラスタ研究会 沖縄県大学就職指導研究協議会
事業実施期間	平成26年度 ～ 平成27年度

2. 取組の概要及び実施計画について

(1) 地域インターンシップ推進組織の構成

琉球大学を幹事校として、沖縄県大学就職指導研究協議会（沖就研）傘下の普通学部を有する4年制大学（医療系、教員養成系、芸術系は対象外）と、沖縄県商工労働部雇用政策課、内閣府沖縄総合事務局経済産業部、沖縄県内経済団体、人材育成を行う法人等が協力して、地域インターンシップ推進組織を構築し、4年制大学生に対して恒常的なインターンシップの機会の提供を行う体制を確立する。

沖縄県内では、有効求人倍率が低く雇用吸収力が弱いにも拘らず、多くの学生が所謂「県内志向」、すなわち、県内での就職を望んでいるという問題が顕在化している。また、「就職は卒業してから考える」などの県民性を反映し、卒業時進路未決定率が約3割を占めるなどの問題が発生している。沖縄県商工労働部雇用政策課では、この点を危惧し、また、全国ワーストワンの失業率の解消のため、沖縄県知事が自ら本部長となり、県民が一丸となった就業意識の向上を目指し取り組む県民運動「沖縄県産業・雇用拡大県民運動」（通称「みんなでグッジョブ運動」）を展開している。

一方、県内大学・短期大学は、就職指導に関してコンソーシアム「沖縄県大学就職指導研究協議会」を結成した。これは、各大学の枠を超えた就職指導を行なうとともに、就職対策に関して、大学側の意見・要望を行政に届ける対応窓口の役割を果たしている。また、県内経済団体の一つである「沖縄県中小企業家同友会」と連携したキャリアアップ・就職促進事業も実施している。

本事業は、主要支援組織として掲げている「**沖縄産学官協働人材育成円卓会議**」（以下「**円卓会議**」という。）との緊密な連携によって実施する。これは、県内の高等教育機関・行政（沖縄県・内閣府沖縄総合事務局）、企業、主要経済団体により、従来の産学官連携の枠を超えた対話を通し、人材育成に関する具体的なアクションを起こすことを目的として、平成25年12月に設立された会議である。議長は琉球大学の**大城肇**学長が務める。本申請は、同会議において出席者約50名によって確認されたアクションプランの策定のうちのの一つに当たるものである。「円卓会議」を含め上記に示す複数組織等の連携のもと、学生が各自の「天職」を得るための過程としてのインターンシップを効果的に推進するための推進組織を確立する事業である。

なお、取組名称の「うりずん」は、沖縄の「若夏」を表す言葉である。若者がインターンシップの経験を通して社会で活躍する実践的基礎力を付けることを期待して、春から夏に移り蕾が開花する初夏の「うりずん」に喩えた名称とした。

(2) 地域インターンシップ推進組織が対象とする地域の範囲

沖縄の基幹産業である観光産業及びIT産業、離島地域も含む地域特性を生かした産業、企業のほとんどが中小企業に属するなどの産業構造などを踏まえた「沖縄型」就労事情に沿ったインターンシップ推進体制を整備するため、地域としては沖縄県全域を対象とする。そのことによって、沖縄の社会経済問題となっている若年層の雇用問題（高い失業率・進路未決定率・離職率等）の解決に積極的に寄与する。

(3) インターンシップ等支援団体や産業界等との連携体制

本申請は、「円卓会議」のアクションプランのうちのの一つに当たるものである。

沖縄県では9割の企業が所謂「中小企業」に分類されている。これら中小企業が、**沖縄県の主要産**

業である観光業や、「健康」・「安全」として定評のある県産品の生産、特区に象徴されるIT・金融産業などを支えている点を考慮し、平成26年度は「沖縄県中小企業家同友会」と連携することとし、また、円卓会議に参加した他の経済団体に属する企業とも連携を図り、インターンシップ事業を効果的に展開することとする。

一方、沖縄県内には、貿易関係など約150社の米国系会員企業を擁する団体である「在沖米国商工会議所」(American Chamber of Commerce in Okinawa, ACCO)がある。平成26年度はこの団体とも連携して、**沖縄に居ながらにして、英語を用い、異文化体験をしながら職場体験が可能なインターンシップも実施する。**(以上、様式3の組織図参照)

平成26年度は「助走期間」として、少数の経済団体を連携相手先として事業を実施する。平成26年度の成果を踏まえ、平成27年度は連携相手先を拡大する。

(4) 地域インターンシップ推進組織を構成する大学等におけるインターンシップ等に関する現状と課題

沖縄県内では、現状では統一したインターンシップ推進組織が整備されておらず、大学毎、学部毎にインターンシップを実施している。また、大学・学部により、単位化され卒業要件となっている正課科目として指定されている場合と、そうでない任意の場合がある。このため、正課として実施するインターンシップについては、実施件数の把握が行われているものの、それ以外については必ずしも実態が把握できていない。

正課科目の場合は、専門分野と関連する産業界と連携した実践型のもの(観光産業科学部観光科学科・工学部・農学部)や、人材育成会社と連携した自立的職業人育成型のもの(観光産業科学部産業経営学科=本事業【テーマA】で実施中)などが挙げられる。この他、教育学部における教育実習や医学部における病院実習など、資格取得に必要な実習科目をインターンシップとみなすこともある。正課科目以外のインターンシップについては、官庁や企業などでの2週間程度のやや本格的なものから、3日程度の「職場見学」的なもの(本格的なインターンシップの前段階の「プレ・インターンシップ」と位置付けられる)、ジョブシャドーイング的な「社長弟子入りツアー」などさまざまである。

沖縄県では前述の「みんなでグッジョブ運動」の一環として、県内在住の大学1・2年生、短期大学・専門学校1年生を対象として、「中小企業魅力発見事業」(Gut's)を実施している。これは、学生自身のキャリア、職業観、中小企業の魅力について考える企業体験プログラムであり、6日間の事前研修と6日間の企業体験により構成される。事前研修では、キャリア形成支援の専門家の指導によるグループワークや、受入企業から派遣された現役社会人による講義が行われ、その後、1社当たり3日間の企業体験を2社について行う。企業の選定に当たっては、本取組の連携先の一つである沖縄県中小企業家同友会の協力を得ている。

また、同じく「みんなでグッジョブ運動」の一環として、「大学生等県外就職チャレンジプログラム」(はばたくウチナーンチュ応援事業)を実施している。これは、沖縄県内で雇用の絶対数が少ないことを考慮し、就職先として県外にも目を向けさせることを奨励するものである。県外での活動に必要な交通費の負担を軽減するため、学生一人当たり、県外就職活動費の場合は最大5万円を、県外インターンシップの場合は最大6万円を、それぞれ補助(支給)するものである。インターンシップ先については、県の紹介する企業でも、学生自身が探して来た企業でも良い。いずれのインターンシップでも、専任の**インターンシップ・コーディネーター**が、企業選択からエントリーまで指導・助言し、

また、事前研修・事後研修を各3日間行っている。

一方、沖縄県主催の海外ジョブチャレンジ事業に基づく海外短期インターンシップや、大学主催の海外職場体験ツアーなどの事業も行われている。これらの事業により、年間100名を超える県内大学生・短期大学生が、経済発展著しい東南アジア各地（上海・香港・シンガポール・ホーチミン・ジャカルタなど）に派遣され、インターンシップを行うとともに、現地での学生間交流も含めて、発展するアジアを実体験している。しかしこれらについては、本格的な就労体験よりは寧ろ各職場1～2日程度の職場体験・職場訪問的な内容となっている。しかしそれでも、海外の職場とのマッチングを見ると云う面では十分に効果があり、実際、参加学生の何名かは留学やワークホリデーなど、次なるステップに挑戦していて、本格的な長期インターンシップや海外就職に結びつく第一歩となっている。また、40歳以下の若年者を対象とした沖縄県主催の海外長期ジョブトレーニングについては、海外就職を前提とした3箇月程度の本格的なインターンシップとなっている。インターンシップ先としては、日系企業や、現地を拠点として日本人へのサービスを提供する企業であることが多い。実際にインターンシップ先若しくは関連企業で採用内定した件数が過半数を占めるに至っており、十分にその効果が現れて来ている。

以上の諸点を見るに、個々の大学・学部・学科がそれぞれの目的のため、若しくは一般的な「キャリア教育」の一環として、あるいは行政が主導する施策として、インターンシップ事業が行われているのが現状である。すなわち、各々の取組自体は一定の成果を挙げてはいるものの、学生の入学から卒業まで、初級編から上級編に到る学年進行的な**インターンシップカリキュラム**に基づくものとはなっていない。また、大学側がインターンシップの教育目的を定め、これをインターンシップ先に説明して理解を得ながらインターンシッププログラムを実施する体制とはなっていないことが、【テーマA】の実施報告として挙げられている。以上の点が、インターンシップをめぐる現状と課題であると言える。また、これらのインターンシップ事業の成果を評価する体制、キャリア形成への効果等を検証する体制が統一されていないことも、【テーマA】の実施報告として挙げられており、現在残された課題であると言える。インターンシップは、学生にとってキャリアを積み採用内定に結びつくスキルを身に付けるという意義の他、企業にとってはインターンシップ受入により、若手人材育成を実践し、そのスキルを向上させることが可能であるという意義もあるため、高等教育機関・企業・経済団体・行政が連携して、初級編から上級編に到る一連の**インターンシップカリキュラム**を策定することが不可欠である。

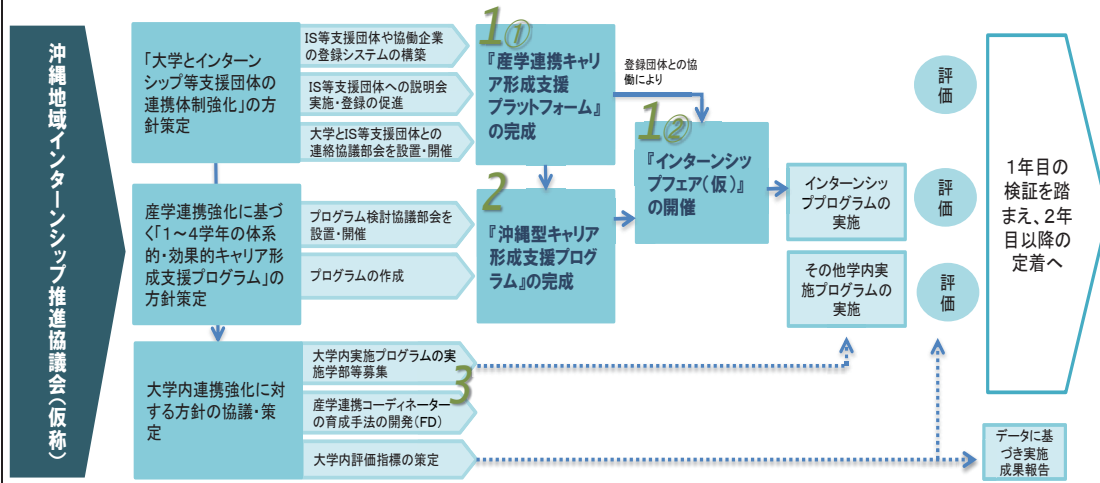
（5）地域インターンシップ推進組織の達成目標・成果

- ・インターンシップ等支援組織（地域経済団体・民間団体・NPO法人等）との連携強化をもとに、学生に対して、**社会人基礎力の完成を目指す質の高いインターンシッププログラムを提供する仕組み（プラットフォーム）を確立する。**
- ・インターンシップ受入を核にした企業協働の体系的プログラムを開発し、これを実行して、実地検証を行う。これにより、沖縄の企業の活性化を図り、更なる産業振興を目指す。
- ・各大学で、大学内の連携強化を図り、これを全学的取組へと拡大するための方策を確立する。
- ・これらの取組によって、5大学の就職率を現在の80%代から90%超へ改善することをめざす。

(6) 地域インターンシップ推進組織の取組内容及び実施計画

1. 取組内容

■ 事業実施の全体概要



1) インターンシップ等支援組織との連携強化をもとに、質の高いインターンシッププログラム等を学生に提供する仕組みづくり(プラットフォーム作り)

- ① インターンシップ等支援組織の登録・連携システムの構築
 - ・ インターンシップ等支援組織内連絡協議部会 (以下「部会1」という。)を設置し方針策定
 - ・ 登録システムの開発・運営開始
 - ・ 県内のインターンシップ等支援組織への登録依頼
- ② 登録団体協働による『インターンシップフェア』を中心とした円滑な学生支援の体制作り
 - ・ インターンシップフェアおよび合同報告会(シンポジウム)の企画
 - ・ インターンシップ等支援団体(特にテーマ特化型または実践型インターンシップを支援する団体)への参加働きかけ
 - ・ 大学コンソーシアムの5大学にて実施

2) インターンシップを核にした企業協働の体系的プログラムの開発と実施検証

- ① 実施計画
 - ・ 大学コンソーシアムの5大学および有識者等を中心としたプログラム検討協議部会(以下「部会2」という。)を設置する。
 - ・ 県内大学の課題・県内産業構造・就業の課題等に基づき、1～4年の体系的なキャリア形成支援プログラムを作成する。
 - ・ 開発したプログラムは、幹事校である琉球大学を中心に実施・検証を行い、検証成果を基に次年度以降他大学への展開を図る。
- ② 開発する体系プログラムのイメージ(例) (表中では「インターンシップ」を「IS」と略することがある)

1年次	a) 初級キャリア科目(初年次教育プログラム)	学内	プラットフォーム登録企業
2年次	b) インターンシップ Basic (B) (3日間程度の就業体験)	学外	

	c) 中級キャリア科目 (企業ミッション型PBL等)	学内	との連携
3年次	d) インターンシップ Standard (S) (2週間程度の就労体験)	学外	IS 等支援団体
4年次	e) インターンシップ Advance (A) (実践型プログラム)	学外	との連携
	f) 上級キャリア科目 (就職支援プログラム)	学内	

- ▶ 本事業においては、上記 a) f) については既存プログラムの成果検証、c) d) e) についてプログラム開発と実施検証を行い、b) については連携企業の更なる発掘とプラットフォームにおけるとりまとめを行うものとする。
- ▶ 体系イメージとしては、①まずインターンシップBにて企業に入り短期の就業体験を行う。企業における課題などを自ら発見できるよう促す→②「企業ミッション型PBL」にて学内で行われる企業課題解決プロジェクトを経験する→③その後、「インターンシップA」にて実際に企業の課題解決に長期的に携わる、という形で、段階的かつ体系的にキャリア形成が促せるよう支援できる体制を整える。
- ▶ また、インターンシップAについては、沖縄県内にNPO法人や民間団体等がすでに開発した産学連携プログラムが多数存在し、内容も、沖縄の産業や県内企業が求める人材ニーズの育成を促すよう、実践的またはテーマ特化型で開発され既に高い実績をあげているものも多いことから、これらの実施団体やプログラムとの連携を密に図ることにより、学生らがより多様なテーマやインターンシップ手法を自身の関心やキャリア設計に応じて選択できるようにする。

※インターンシップ等支援団体の実施するプログラムの特性(例)

各テーマ	実施団体	手法
✓ 観光産業次世代リーダー育成型	沖縄観光の未来を考える会	企画提案
✓ IT産業次世代リーダー育成型	Ryukyufrogs	企画提案
✓ 地域離島活性化リーダー型	(株)ルーツ	事業開発
✓ 中小企業課題解決ミッション型	(有)オーシャン・トゥエンティワン	事業開発
✓ 中小企業取材型	(特)沖縄人材クラスタ研究会	取材型
✓ 基地内産業体験型	在沖米国商工会議所	職場体験

3) 大学内の連携強化を図り全学的取り組みへと拡大するための取り組み

- ① 学内における「産学連携コーディネーター」の育成手法の開発
 - ・推進委員会で開発した学内実施プログラムの実施希望学部 (学科・学年・教員単位も可) を全学に募る。
 - ・担当教員に対し、産学連携コーディネーター養成研修を実施。産学連携コーディネーター養成プログラムの開発を行う。
 - ・開発したプログラムは、他大学への汎用も考え開発し、平成27年度以降5大学へ展開する。
- ※平成26年度においても、他大学にて希望する学部等があれば実施する。

- ▶ 産学連携コーディネーター養成プログラム内容イメージ

1	キャリア形成支援に関する基礎概論	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラムの理解・評価指標・教育目標の理解 ・全国・沖縄県における若年者の就業の課題等の理解
---	------------------	--

2	実践事例研究	・PBLに関する先進事例報告・事例研究 ・インターンシップに関する先進事例報告・事例研究
3	企業についての理解	・協働企業との懇親・情報交換などによる企業の採用における課題や人材に対するニーズの理解
4	専門科目との接続について	・キャリア形成のねらいと専門科目との接続について ・各学部・学校の設置講座との連携・接続について
5	プログラムの実践	※担当教員としてPBL等プログラムの支援
6	成果検証・実践報告	・実践成果のまとめと検証

2. 実施スケジュール(案)

		5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
プラットフォーム構築に係る業務	部会1開催	● 第1回					● 第2回					
	システム作り	● システム設計	→									→
	フェアの開催	● 参加企業等の開拓・登録促進	→	● フェアの開催	● 希望学生等と企業のマッチング支援	→	→					● 合同報告会(シンポジウム)
プログラム開発に係る業務	部会2・3開催		● 部会2第1回				● 部会2第2回					● 評価検証部会
	学内講座の実施		●	→			●	→				→
	インターンシップの実施		●	→	●	→						→
大学内連携強化に係る業務(専門人材養成)		● 学内・大学コンソーシアムへの働きかけ・募集	→	● オリエンテーション				● 中間報告・事例研究				● 最終
その他業務										●	→	→
											●	→
											●	→

3. 地域インターンシップ推進組織の業務内容と体制

■事務局における主な業務と雇用する各コーディネーターの役割

インターンシップ推進組織が行う業務と分担	従事(雇用)する要員	
<ul style="list-style-type: none"> ・本事業に係る業務全体の管理・運営 ・協議会・部会等の企画・運営・方針等とりまとめ ・プログラム・評価指標等の開発(一部委託) 	大学事務局	
【対外業務】 <ul style="list-style-type: none"> ・協議会・部会等の企画・運営 ・県内行政機関、経済団体、法人との連絡調整 ・インターンシップ受入れ企業との連絡調整 ・インターンシップ受入れ企業の新規開拓 	専任コーディネーターA(1名)	就職促進関連事業等に従事した経験を有し、県内企業とも幅広くパイプを持つ人を想定

・協議会・部会等に関する成果・課題等のとりまとめ		
【学内業務】 ・インターンシップフェア等の企画・運営 ・インターンシップ希望学生募集 ・インターンシップに関する学生相談、エントリーシート添削、面接練習等 ・インターンシップ後の学生へのフォローアップ ・企業ミッション型PBL等のキャリア科目への出講・学部等実施プログラムの支援 ・実施プログラムに関する成果・課題等のとりまとめ	専任コーディネーター B (1名)	大学等でキャリア支援、相談業務に豊富な経験を有する人を想定
・上記2名のコーディネーターの業務補助 ・会計資料等整理・事業報告書等の作成補助	事務補助員 (1名)	

■地域インターンシップ推進組織のその他構成員の役割

		主な事業実施内容			
		推進委員会の設置	プラットフォーム作り	キャリア形成プログラム開発	コーディネーター養成手法開発
構成員	大学コンソーシアム	・プログラム開発部会への参加 ・評価検証部会の参加	・インターンシップフェアの開催 ・学生への働きかけ	・キャリア科目等の整理 ・プログラム実施主体	・大学内(学部・教員等)への発信 ・大学内キーパーソン(教員等)の発掘
	IS等支援団体(地域経済団体等)	・IS等支援組織内連携協議部会への参加 ・評価検証部会の参加	・プラットフォームへの団体登録 ・学生の受け入れ ・会員企業への啓発と登録の促し	・プログラム協働企業としてキャリア科目等に参画	・単元「実践事例研究」「企業についての理解」などにおける講師
	IS等支援団体(NPO等)	・IS等支援組織内連携協議部会への参加 ・プログラム開発部会への参加	・プラットフォームへの登録 ・インターンシップフェアへの参加	・インターンシップAのプログラム提供 ・企業と学生のマッチング支援	・単元「実践事例研究」「企業についての理解」などにおける講師
	行政・有識者等	・プログラム開発部会への参加 ・評価検証委員会への参加	・特に産業界等の社会全体への働きかけ	・特に産業界等の社会全体への発信	・単元「キャリア教育形成支援に対する基礎概論」における講師

(7) 取組の実施効果についての定量及び定性的評価基準と評価体制等

実施期間中、PDCAサイクルによる評価・改善体制を確立することは重要である。本事業についてもこの点を重視し、第三者を含む**評価検証部会**(以下「部会3」という。)を設け、事業の進捗と効果

に関する評価を実施し、更に、初年度（平成26年度）の委員会による改善勧告を受け、推進組織による翌年度（平成27年度）事業への反映等の措置を講ずることとする。

(1) 実施するアンケート調査等の種類

		調査内容	種類	ねらい
1	事前調査	事前アンケート 抽出した学部(学科)の全学年学生	定量	PBL・インターンシップ等の実施率と能力の関係性の分析
2	中級科目 (PBL 等)	事前事後アンケート	定量	プログラムの完成度の把握
3		ポートフォリオ	定性	段階ごとの学生の変容把握
4		連携企業アンケート	定性	運営上の改善点の洗い出し
5		担当教職員へのアンケート	定性	学生の変化、運患上の改善点等
6	インター	事前事後アンケート	定量	プログラムの完成度の把握
7	ンシップ	ポートフォリオ	定性	段階ごとの学生の変容把握
8	B・A・S	連携企業へのアンケート	定性	運営上の改善点の洗い出し

(2) 評価検証部会の構成員(案)

- ・ 各連携校の就職支援部門(キャリア支援課等)を統括する部局の長
- ・ 内閣府沖縄総合事務局経済産業部担当官
- ・ 沖縄県商工労働部雇用政策課長
- ・ インターンシップ等支援団体にあたる団体代表
- ・ その他有識者

(8) 支援期間終了後の取組体制

支援期間終了後は、**沖縄産学官協働人材育成円卓会議の事業の一つに位置づけて継続する**。推進組織は、同円卓会議の下に位置づけ、各連携校による学生数に応じた応分の負担により、推進組織を維持することとなる。一方、雇用政策は沖縄県にとっても重要な課題であることから、本推進組織により**県からの委託事業を提案・誘致し**、今後は短期大学・高等専門学校を含めた全高等教育機関を対象を拡大することによって、**全県を挙げたインターンシップ事業の推進組織の構築を目指す**。

産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業

【テーマB】 インターンシップ等の取組拡大

沖縄地域 大学グループ(参加校5校)

【取組概要】

沖縄県内の就業問題、すなわち、有効求人倍率が低く雇用吸収力が弱いにも拘らず、多くの学生が県内での就職を望んでいるという問題、失業率が全国ワーストワンであるという問題などの解消のため、沖縄の基幹産業であり特区に象徴される観光産業及びIT産業、「健康」・「安全」として定評のある県産品の生産、米国系会員企業を擁する団体である「在沖米国商工会議所」を構成する産業など、「沖縄らしさ」を活かした産業界と連携し、琉球大学を幹事校として、沖縄県大学就職指導研究協議会（沖就研）傘下の普通学部を有する4年制大学を中核とした恒常的なインターンシップの機会の提供を行う体制を確立する。以て、学生が各自の「天職」を得るための過程として、入学から卒業までのキャリア教育の中でインターンシップをフル活用し、学生が在学中に「社会人基礎力」を獲得して卒業後各界で活躍できるための教育プログラムを確立するための推進組織を確立する。

本取組の達成目標

- ・インターンシップ参加者 H25：942人 → H27：1,142人
参加率 H25：8.4% → H27：10.0%
- ・インターンシップ受入企業 H25：433社 → H27：533社
- ・インターンシップのマッチング専門人材 各大学2名養成

大学グループと地域産業界との連携イメージ図は、別添ポンチ絵のとおり

PROJECT FOR REFORM AND ENHANCEMENT OF UNIVERSITY EDUCATION TO
MEET INDUSTRY'S NEEDS: PROMOTION OF INTERNSHIPS [THEME B]

URIZUN Project – Promotion of Okinawan style Internship

(Outline of the Project)

The employment problem in Okinawa Prefecture is quite serious. Many students wish to be employed in the companies in their own prefecture in spite of the lowest jobs-to-applicants ratio in Japan. The situation results in this prefecture's highest unemployment in Japan. In order to solve this problem, we establish a system to offer a new career-coaching programme with providing constant 'Okinawan style' internship opportunities for the undergraduate students studying in the universities in Okinawa Prefecture.

Okinawan industry is unique compared with other prefectures in Japan. Tourism industry is one of the major industries by making use of the blue ocean around the islands, subtropical climate, unique culture in this district, etc. The Japanese government is inviting ICT industries in this prefecture as its policy to activate the prefectural economic status. Okinawan foods and products are well known to be healthy and safe. The American Chamber of Commerce in Okinawa consisting of about 150 member companies from US can provide an internship in English for the students studying English and/or wishing to work in foreign countries.

In this new programme, University of the Ryukyus, acting as secretary, is cooperating with the associations of the industries in this prefecture, local government offices and other universities under the Association of Universities in Okinawa for Career Services.

Our final goal is to establish an organization to promote the educational programme that is offered for the students in Okinawa Prefecture to acquire the basic skills to become a fully-fledged member of society at university and to get their appropriate jobs at their graduation.

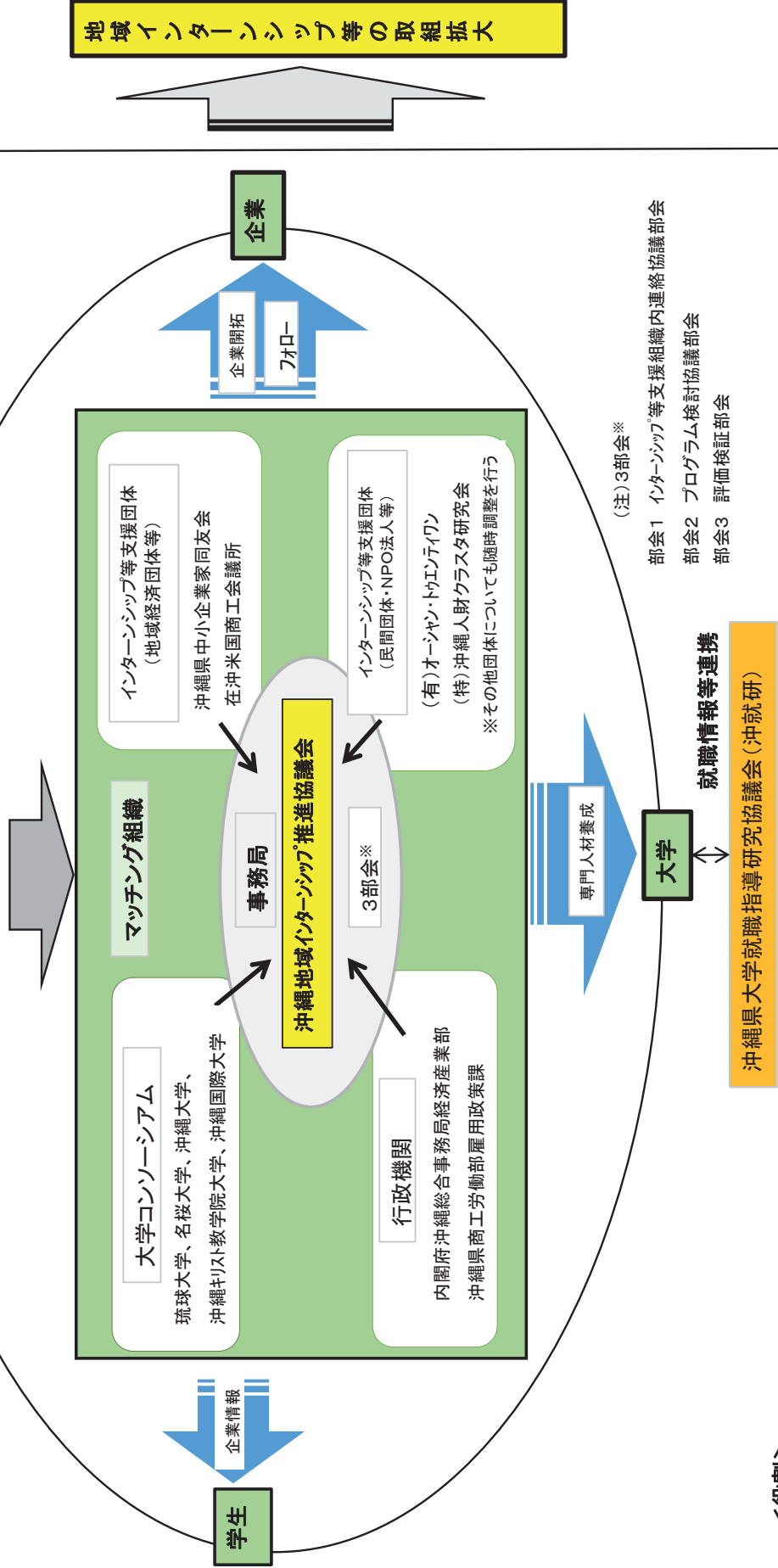
Target value	
• The number of the participants of intern	(2014) 924 → (2015) 1,142
• Participation rates of intern	(2014) 8.4% → (2015) 10.0%
• The number of the companies accepting intern	(2014) 433 → (2015) 533
• Human resource development expert	Two people per each university

Cooperation image of the universities and the associations of the industries is as shown in Outline of the plan for promotion of internships in Okinawa.

事業名称：うりずんプロジェクト～「沖縄型」インターンシップの展開～

沖縄産学官協働人財育成円卓会議

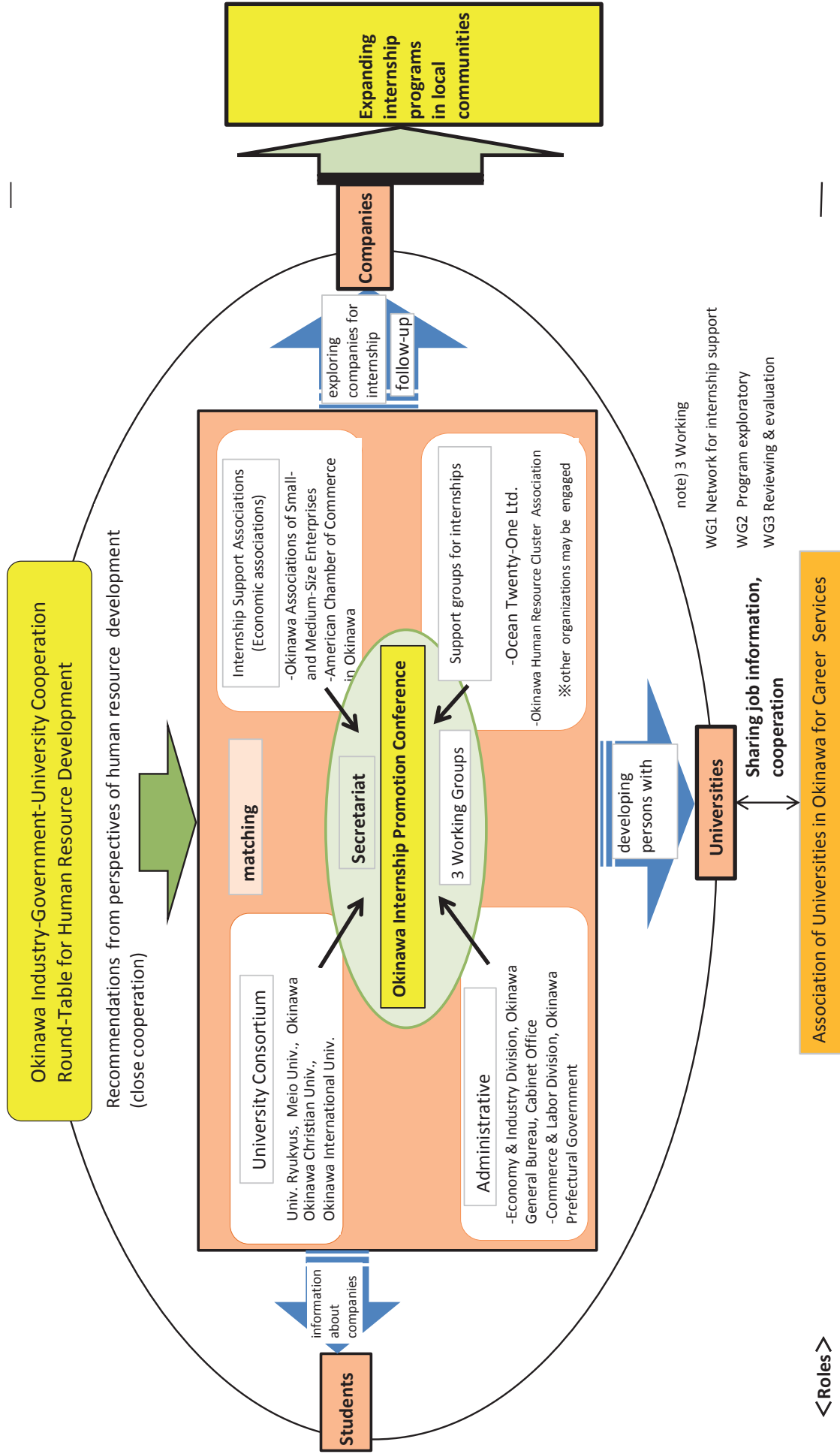
人材育成構想観点から提言（緊密な連携）



<役割>

沖縄産学官協働人財育成円卓会議：沖縄地域人材の育成・輩出を強かに推し進めていくためのプラットフォームで、産学官各界の長が連携して取り組む。

沖縄地域インターンシップ推進協議会：インターンシップ支援組織の連携システム構築、方針策定、インターンシップフェア等の企画、インターンシップ支援団体参加への働きかけを行う。



< Roles >

- Okinawa Industry-Government-University Cooperation Round-Table for Human Resource Development:** Platform for promotion of human resource development in Okinawa in cooperation among leaders of each sector
- Okinawa Internship Promotion Conference:** Establishing cooperation system for internship support groups, developing measures, planning internship fairs, encouraging participation in internship support groups

平成26年度事業計画 概要

1. 大学等名	琉球大学
2. プログラム名	産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業【テーマB】インターンシップ等の取組拡大
	うりずんプロジェクト ～「沖縄型」インターンシップの展開～
4. 選定年度	平成26年度

<p>7. 選定取組の概要</p> <p>本事業は、沖縄県内の就業問題、すなわち、有効求人倍率が低く雇用吸収力が弱いにも拘らず、多くの学生が県内での就職を望んでいるという問題、失業率が全国ワーストワンであるという問題などの解消のため、沖縄の基幹産業であり特区に象徴される観光産業及びIT産業、「健康」「安全」として定評のある県産品の生産、米国系会員企業を擁する団体である「在沖米国商工会議所」を構成する産業など、「沖縄らしさ」を活かした産業界と連携し、琉球大学を幹事校として、沖縄県大学就職指導研究協議会（沖就研）傘下の普通学部を有する4年制大学を中核とした恒常的なインターンシップの機会の提供を行う体制を確立するものである。以て、学生が各自の「天職」を得るための過程として、入学から卒業までのキャリア教育の中でインターンシップをフル活用し、学生が在学中に「社会人基礎力」を獲得して卒業後各界で活躍できるための教育プログラムを確立するための推進組織を確立する事業である。</p>
<p>8. 補助事業の目的・必要性</p> <p>(1) 全体</p> <p>学生が在学中に社会人基礎力の獲得が出来るよう、インターンシップを核とした体系的キャリア教育プログラムを開発し、これを実践・検証する。また、インターンシップ等支援組織（地域経済団体・民間団体・NPO法人等）との連携強化により、質の高い「沖縄型」インターンシッププログラムを提供する仕組み（プラットフォーム）を確立する。</p> <p>沖縄県内では現在のところ、様々な形態のインターンシップ事業が実施されているものの、これらが初級編から上級編への体系化がされていないため、各インターンシップの事前・事後教育としてのキャリア科目も含めた一連のインターンシッププログラムの整備が必要である。このことは、インターンシップを受入れる企業側の若手人材育成スキルの向上を図るためにも不可欠である。</p> <p>(2) 本年度</p> <p>関連団体との連携により上記プラットフォームを琉球大学内に設置し、運営体制を整備する。また、インターンシッププログラムの内容検討を行い、これに基づき実際のインターンシップを実施、結果の検証を行う。</p> <p>体系的なインターンシッププログラムの実施は初の試みであるため、今年度はパイロット・プログラムの位置付けとし、50～100名程度の学生の実施による結果の考察・検証を通して、次年度の完成を目指す必要がある。</p>
<p>9. 本年度の補助事業実施計画（事業を実施するにあたってのスケジュールを記載してください。）</p> <ol style="list-style-type: none"> ①6月～3月：プラットフォームの構築・運営 ②7月～1月：インターンシッププログラム開発・内容検討 ③7月～2月：参加企業・協力団体の開拓、登録調整 ④8月～12月：参加希望学生と企業・団体とのマッチング ⑤8月～2月：インターンシップ及び学内講座実施、アフターケア ⑥8月～2月：大学内専門人材養成 ⑦1月～3月：評価検証 ⑧2～3月のうちの1日：合同報告会（シンポジウム）開催 ⑨3月：成果取りまとめ、報告書作成
<p>10. 補助事業の内容（選定された取組をどのように実施し大学教育の改善・充実を図るのか、産業界等のニーズをどのように把握し課題の共有、協働を行うのかという観点から、事業の内容を具体的に記載してください。また、必ず上記9.の実施計画と対応させるよう、箇条書きで記載してください。）</p> <ol style="list-style-type: none"> ①プラットフォームの運営主体（事務局）となる「沖縄地域インターンシップ推進協議会」の規則を制定し、運営組織を構築する。専任事務補佐員を1名6月に採用する。インターンシップ・コーディネーター2名については6月に公募し7月に採用する。「推進協議会」運営のため、部会1を7月～3月の間隔月開催する。 ②4年間の在学期間を通じての、段階に応じたインターンシップ及び学内講座（事前・事後学習）のカリキュラムの開発を行う。またその評価検証手法についても確立する。進捗状況の確認と方針決定のため、部会2を隔月開催する。これらについては、インターンシップ等支援団体（民間団体、NPO等）に一部委託する。 ③沖縄県内経済団体等を通じて、インターンシップの受入れ企業を開拓する。また、インターンシップ実施後には、効果検証のためのインタビュー調査・アンケート調査を行う。 ④インターンシップ実施前に「インターンシップフェア」を開催し、参加希望学生を受入れ希望企業・団体に引き合わせ、マッチングを行う。

- ⑤インターンシップ・コーディネーターの指導のもと、各参加学生がインターンシップとその事前・事後学習を行う。平成 26 年度は試行期間でもあるため、②のプログラム開発と並行して進められるが、インターンシップ実施中及び実施後に学生に対してインタビュー調査・アンケート調査を行い、その結果を逐一②に反映させる。
- ⑥大学内でインターンシッププログラムを実施することのできる人材を養成するためのカリキュラムを開発する。これについては、インターンシップ等支援団体（民間団体、NPO 等）に一部委託する。
- ⑦部会 3 を開催し、②によって確立された評価手法（参加学生へのインタビュー調査・アンケート調査を含む）による評価を実施する。
- ⑧26 年度の成果を報告するためのシンポジウムを開催する。参加学生、インターンシップ・コーディネーター、外部有識者による講演が中心となる。
- ⑨インターンシッププログラムのカリキュラム、評価手法、専門人材育成テキストを含む実施報告書を作成する。

註 部会 1：インターンシップ等支援組織内連絡協議部会

部会 2：プログラム検討協議部会

部会 3：評価検証部会

11. 補助事業から得られる具体的な成果（必ず、上記 10. の補助事業の内容と対応させるよう、箇条書きで記載してください。）

- ①沖縄県内大学でインターンシップを核とするキャリア教育を実施する体制が確立される。
- ②体系的プログラムの開発により、本事業終了後の平成 28 年度以降、各大学で独自に企業の求める人材を育成することが可能となる。
- ③沖縄の企業の活性化を図り、更なる産業振興に資することができる。
- ④フェア開催により、企業研究・業界研究を通して学生・企業間のミスマッチを防ぐのみならず、学生の将来の進路選択に資することができる。
- ⑤インターンシップ体験により、参加学生の就業意識を向上させ、企業にとって即戦力となる人材の輩出、ミスマッチ防止が期待される。
- ⑥本事業終了後の平成 28 年度以降、各大学で独自にインターンシップを核とするキャリア教育を実施することが可能となる。
- ⑦事業実施による効果を定量的・定性的に測定することにより、平成 27 年度の実施計画策定に資することができる。
- ⑧連携校、経済団体はもとより、県内の他校や関連団体に対して成果を周知することにより、新たな参加校、参加企業・団体の開拓に資することができる。また、県内大学の横の連携を一層強化することにより、全局的に就業に関する意識を高め、キャリア形成のための取組へと拡大することが期待される。
- ⑨本事業終了後の平成 28 年度以降、各大学で独自にインターンシップを核とするキャリア教育を実施するための手順書として活用するとともに、新たな専門人材の育成に資することができる。

平成27年度事業計画 概要

1. 大学等名	琉球大学
2. プログラム名	大学教育再生加速プログラム（インターンシップ等を通じた教育強化）
3. 取組名称	うりずんプロジェクト ～「沖縄型」インターンシップの展開～
4. 年度	平成26年度

<p>7. 選定取組の概要</p> <p>本事業は、沖縄県内の就業問題、すなわち、有効求人倍率が低く雇用吸収力が弱いにも拘らず、多くの学生が県内での就職を望んでいるという問題、失業率が全国ワーストワンであると言う問題などの解消のため、沖縄の基幹産業であり特区に象徴される観光産業及びIT産業、「健康」・「安全」として定評のある県産品の生産、米国系会員企業を擁する団体である「在沖米国商工会議所」を構成する産業など、「沖縄らしさ」を活かした産業界と連携し、琉球大学を幹事校として、沖縄県大学就職指導研究協議会（沖就研）傘下の普通学部を有する4年制大学を中核とした恒常的なインターンシップの機会の提供を行う体制を確立するものである。以て、学生が各自の「天職」を得るための過程として、入学から卒業までのキャリア教育の中でインターンシップをフル活用し、学生が在学中に「社会人基礎力」を獲得して卒業後各界で活躍できるための教育プログラムを確立するための推進組織を確立する事業である。</p>
<p>8. 補助事業の目的・必要性</p> <p>(1) 全体</p> <p>学生が在学中に社会人基礎力の獲得が出来るよう、インターンシップを核とした体系的キャリア教育プログラムを開発し、これを実践・検証する。また、インターンシップ等支援組織（地域経済団体・民間団体・NPO法人等）との連携強化により、質の高い「沖縄型」インターンシッププログラムを提供する仕組み（プラットフォーム）を確立する。</p> <p>沖縄県内では現在のところ、様々な形態のインターンシップ事業が実施されているものの、これらが初級編から上級編への体系化がされていないため、各インターンシップの事前・事後教育としてのキャリア科目も含めた一連のインターンシッププログラムの整備が必要である。このことは、インターンシップを受入れる企業側の若手人材育成スキルの向上を図るためにも不可欠である。</p> <p>(2) 本年度</p> <p>関連団体との連携により平成26年8月1日に琉球大学内に設置された上記プラットフォーム「沖縄地域インターンシップ推進協議会」を運営し、特に夏休み・春休み期間を利用した学生のインターンシップを推進する。また、前年度の結果を踏まえ、インターンシッププログラムの内容検討を行い、これに基づき実際のインターンシップを実施、結果の検証を行う。</p> <p>体系的なインターンシッププログラムの実施は初の試みであるため、今年度は100名程度の学生の実施による結果の考察・検証を通して、年度末の完成を目指す必要がある。</p>
<p>9. 本年度の補助事業実施計画（事業を実施するにあたってのスケジュールを記載してください。）</p> <p>①4月～3月：プラットフォームの運営</p> <p>②4月～3月：既に実施されたインターンシッププログラムの評価・検証・改善</p> <p>③4月～3月：参加企業・協力団体の開拓、登録調整</p> <p>④5月～7月・11～1月：参加希望学生と企業・団体とのマッチング</p> <p>⑤8月～9月・2～3月：インターンシップ生への事前研修、インターンシップ、及び事後研修の実施</p> <p>⑥4月～2月：大学内専門人材養成</p> <p>⑦1月～3月：評価検証</p> <p>⑧3月のうちの1日：合同報告会（シンポジウム）開催</p> <p>⑨3月：成果取りまとめ、報告書作成</p>
<p>10. 補助事業の内容（選定された取組をどのように実施し、地域へのインターンシップの取組拡大を行うのかという観点から、事業の内容を具体的に記載してください。また、必ず上記9.の実施計画と対応させるよう、箇条書きで記載してください。また、記載に際しては、採択時の留意事項への対応状況踏まえて記入してください。）</p> <p>①プラットフォームとなる「沖縄地域インターンシップ推進協議会」の事務局を運営する。インターンシップ・コーディネーター2名、及び事務補佐員1名については、4月に採用（或は前年度からの契約更新）する。「推進協議会」（本会議）を年3回（5月頃・10月頃・3月頃）開催し、年度計画の承認、成果報告等を行う。また、プラットフォーム運営（本会議・インターンシップ関連イベント開催）のため、部会1（注）を4月～3月の間、隔月開催する。</p> <p>②前年度に開発されたインターンシッププログラム（事前・事後学習を含む）のカリキュラムについて、インターンシップを実施しながら検証し、必要に応じて改善を行う。またその評価指標を確立する。進捗状況の確認と方針決定のため、部会2（注）を隔月開催する。</p> <p>③沖縄県内経済団体等を通じて、或は個別に、インターンシップの受入れ企業を開拓する。そのための企業向け説明会を2回（8月、2月）実施する。また、インターンシップ実施後には、効果検証のためのインタビュー調査・アンケート調査（夏期向けは9月、春期向けは3月）を行う。</p>

- ④インターンシップ実施前に「インターンシップフェア」（夏期向けは5月～6月頃、春期向けは11月～12月頃）を開催し、参加希望学生を受入れ希望企業・団体に引き合わせ、マッチングを行う。
- ⑤インターンシップ・コーディネーターの指導のもと、各参加学生がインターンシップとその事前研修（夏期向けは8月、春期向けは2月）・事後学習（夏期向けは9月、春期向けは3月）を行う。インターンシップ実施中及び実施後に学生に対してインタビュー調査・アンケート調査を行い、その結果を逐一②に反映させる。
- ⑥大学内でインターンシッププログラムを実施することのできる人材を養成するためのカリキュラムを開発する。これについては、部会2で検討を行い、インターンシップ等支援団体（民間団体、NPO等）に一部委託する。
- ⑦部会3（注）を開催（2月と3月の2回）し、プロジェクト全体の評価検証を実施する。
- ⑧27年度の成果を報告するためのシンポジウムを開催（3月下旬）する。参加学生、インターンシップ・コーディネーター、外部有識者による講演が中心となる。
- ⑨インターンシッププログラムのカリキュラム、評価指標、専門人材育成テキストを含む実施報告書を作成（3月下旬）する。

（注） 部会1：インターンシップ等支援組織内連絡協議部会
 部会2：プログラム検討協議部会
 部会3：評価検証部会

11. 補助事業から得られる具体的な成果（必ず、上記10.の補助事業の内容と対応させるよう、箇条書きで記載してください。）

- ①沖縄県内大学でインターンシップを核とするキャリア教育を実施する体制が確立される。
- ②体系的プログラムの開発により、本事業終了後の平成28年度以降、各大学で独自に企業の求める人材を育成することが可能となる。
- ③沖縄の企業の活性化を図り、更なる産業振興に資することができる。
- ④インターンシップフェア開催により、企業研究・業界研究を通して学生・企業間のミスマッチを防ぐのみならず、学生の将来の進路選択に資することができる。
- ⑤インターンシップ体験により、参加学生の就業意識を向上させ、企業にとって即戦力となる人材の輩出、ミスマッチ防止が期待される。
- ⑥本事業終了後の平成28年度以降、各大学で独自にインターンシップを核とするキャリア教育を実施することが可能となる。
- ⑦事業実施による効果を定量的・定性的に測定することにより、平成28年度以降の実施計画策定に資することができる。
- ⑧連携校、経済団体はもとより、県内の他校や関連団体に対して成果を周知することにより、新たな参加校、参加企業・団体の開拓に資することができる。また、県内大学の横の連携を一層強化することにより、全県的に就業に関する意識を高め、キャリア形成のための取組へと拡大することが期待される。（H27参加学生数目標134名（H26参加学生66名）、H27受入企業目標78社（H26受入企業22社）
- ⑨本事業終了後の平成28年度以降、各大学で独自にインターンシップを核とするキャリア教育を実施するための手順書として活用するとともに、新たな専門人材の育成に資することができる。（専門人材育成 各大学2名）

2. 平成 26 年度事業報告

2-1

【会議等】

沖縄地域インターンシップ推進協議会設置要領

[平成26年(2014年)8月1日制定]

(名称)

第1条 本会は、「沖縄地域インターンシップ推進協議会」(以下「推進協議会」という。)と称する。

(目的)

第2条 推進協議会は、平成26年度大学改革推進等補助金「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業【テーマB】インターンシップ等の取組拡大」の中で採択された「うりずんプロジェクト～「沖縄型」インターンシップの展開～」に基づき、構成大学(幹事校:琉球大学、連携大学:名桜大学、沖縄大学、沖縄キリスト教学院大学及び沖縄国際大学)と地域産業界等が相互に交流を図り、「沖縄型」就労事情に沿ったインターンシップ推進体制を整備するため、インターンシップ等支援組織(地域経済団体・行政機関・民間団体・NPO法人等)との連携強化を基に、インターンシッププログラムを提供する仕組み(プラットフォーム)を確立し、併せてインターンシップ推進に関する情報交換及びインターンシップの普及・推進を図ることを目的とする。

(協議事項)

第3条 推進協議会は、次の各号に掲げる事項について協議する。

- (1) インターンシップの実施計画の策定に関する事。
- (2) インターンシップの調査に関する事。
- (3) インターンシップ事業の実施状況及びその報告に関する事。
- (4) インターンシップ情報の収集及び提供に関する事。
- (5) その他目的を達成するために必要な事。

(組織)

第4条 推進協議会は、会長及び委員で組織する。

- 2 会長は、幹事校の事業推進責任者(就職センター長)をもって充てる。
- 3 委員は別表の通りとし、構成大学及びインターンシップ等支援組織から選任された者、及び学識経験者若干名とする。
- 4 前項にかかわらず、会長は、必要と認める者を新たに委員として加えることができる。

(会長)

第5条 会長は、推進協議会を総括する。

- 2 会長に事故あるとき又は欠けたときは、会長があらかじめ指名する委員が職務を代行する。

(会議)

第6条 推進協議会(会議)は、会長が必要に応じて招集し、会長が議長となる。

- 2 推進協議会は、委員の過半数の出席がなければ会議を開くことができない。
- 3 議決を要する事項については、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 4 委員は、都合により会議を欠席する場合は代理人を出席させることができるとし、代理人の出席をもって当該委員の出席とみなす。

(部会)

第7条 推進協議会の下に、次の部会を置く。

- (1) インターンシップ等支援組織内連絡協議部会(「部会1」という。)
- (2) プログラム検討協議部会(「部会2」という。)
- (3) 評価検証部会(「部会3」という。)

(部会の目的)

第8条 前条に定める部会は、次のことを行う。

- (1) 部会1は、インターンシップ等支援組織の登録・連携システムの構築、及び円滑な学生支援の体制作りを行う。
- (2) 部会2は、1～4年次の体系的なキャリア形成支援プログラム及び専門人材養成カリキュラムの開発検討、開発したプログラム及びカリキュラムの実施、結果の検証を行う。
- (3) 部会3は、事業の進捗と効果に関する評価を実施し、次年度事業への反映を講ずる。

(部会の組織)

第9条 部会は、部会長及び部会員で組織する。

- 2 部会の長は、会長が指名する。ただし、複数の部会の長を兼務することはできない。
- 3 部会1及び部会2の部会長又は部会員は、部会3の部会長又は部会員を兼務することはできない。
- 4 部会員は、会長と部会の長が協議して委嘱する。

(任期)

第10条 推進協議会委員及び部会員の任期は、2年間とする。

- 2 推進協議会委員及び部会員に欠員が生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(事務局)

第11条 推進協議会の事務局は、琉球大学就職センター内に置く。

- 2 事務局に琉球大学特命一般職員及び非常勤職員を置く。
- 3 推進協議会及び部会の庶務は、事務局が処理する。
- 4 事務局に関し、必要な事項は会長が別に定める。

(雑則)

第12条 この要領に定めるもののほか、推進協議会及び部会の運営に関し必要な事項は、会長が定める。

(改廃)

第13条 この要領の改廃は、推進協議会の議を経て会長が行う。

附 則

- 1 この要領は、平成26年(2014年)8月1日から施行する。
- 2 本要領の制定当初の推進協議会委員及び部会員の任期は、第10条第1項の規定にかかわらず、平成28年(2016年)3月31日までとする。
- 3 第4条第4項に基づく新たな委員の任期は、前項を準用する。

別表（第4条関係） 沖縄地域インターンシップ推進協議会委員

NO	区分	構成大学及びインターンシップ等支援組織	被選任者	備考
1	幹事校	琉球大学	就職センター長	会長
2	〃	〃	学生部長	
3	連携大学	名桜大学	教務部長	
4	〃	沖縄大学	学生部長	
5	〃	沖縄初手教学院大学	学生支援部長	
6	〃	沖縄国際大学	学生部長	
7	地域経済団体	沖縄県中小企業家同友会	専務理事	
8	〃	在沖米国商工会議所	会頭	
9	行政機関	内閣府 沖縄総合事務局 経済産業部 地域経済課	課長	
10	〃	沖縄県商工労働部 雇用政策課	課長	
11	学識経験者	大学	教授	
12	〃	〃	教授	
13	〃	〃	教授	

Okinawa Internship Promotion Conference Establishment Guideline

[Enactment: August 1, 2014]

(Name)

Article 1 This organization shall be referred to as “Okinawa Internship Promotion Conference” (hereafter referred to as “Conference”).

(Purposes)

Article 2 The purposes of the Conference are to establish a system (platform) for providing internship programs, and promote internship programs and exchange relevant information by strengthening collaboration with internship-supporting organizations (regional economic associations, administrative bodies, private organization, NPO corporations and others), in order to promote mutual exchange among participating universities (organizer university: University of the Ryukyus, member universities: Meio University, Okinawa University, Okinawa Christian University, Okinawa International University) and regional business communities in Okinawa and develop system for promoting internship programs, taking into consideration working circumstances in Okinawa, under “Urizun Project-Promotion of Okinawa-style Internship” accepted for 2014 Project for reform and enhancement of university education to meet industry’s needs-Promotion of internships [Theme B].

(Agendas)

Article 3 The Conference shall discuss the matters prescribed in the following clauses:

- (1) regarding developing implementation plans for internship programs
- (2) regarding surveys of internship programs
- (3) regarding implementation status and report of internship programs
- (4) regarding gathering and providing information about internships
- (5) other matters necessary to accomplish objectives of the project

(Organization)

Article 4 The Conference shall consist of the chairperson and committee members.

2. The project leader of the organizer university (Director, Placement Center), shall serve as chairperson.
3. The committee members shall be those selected by the member universities and internship supporting organizations and few academic experts, as specified in the attached list.
4. Notwithstanding preceding paragraph, the chairperson shall be able to newly assign a person as a committee member if the chairperson finds it necessary.

(Chairperson)

Article 5 The chairperson shall manage the Conference.

2. In the event that the chairperson is incapacitated due to an accident or absence, a committee member who is designated by the chairperson in advance shall perform its duty on its behalf.

(Meetings)

Article 6 The chairperson shall call a conference meeting when necessary and chair a meeting.

2. The Conference may not hold any meetings unless a majority of committee members are in attendance.

3. Concerning matters which require resolutions, the decision shall be made by the majority of attending committee members, and in the case of a tied vote, the decision shall be made by the chairperson.

4. When a committee member cannot attend a meeting for certain reasons, the member may have his/her proxy attend a meeting and attendance by the proxy shall be regarded as attendance of the said committee member.

(Working Groups)

Article 7 The following working groups shall be set up under the Conference.

(1) Network for internship supporting organizations (referred to as “WG 1”)

(2) Program exploratory conference (referred to as “WG 2”)

(3) Reviewing and evaluation (referred to as “WG 3”)

(Objectives of the working groups)

Article 8 The working groups prescribed in the preceding article shall conduct the following activities.

(1) WG 1 shall create a system for registration of internship supporting organizations and cooperation, as well as for student support.

(2) WG 2 shall examine and develop systematic programs for career support for students in the first year through fourth year and curriculum for development of personnel with specialties, conduct those programs and curriculum, and examine outcomes.

(3) WG 3 shall evaluate the progress of the project and conduct evaluations regarding outcomes, and examine measures for the project for the following year reflecting such evaluations.

(Structures of the working groups)

Article 9 A working group consists of a chair and working group members.

2. The chair of a working group shall be appointed by the chairperson, provided that a person cannot serve as a chair of two or more working groups.

3. The chairs and members of WG 1 and WG 2 cannot serve as a chair or member of WG 3.

4. Working group members shall be appointed in consultation with the chairperson and the chair of the group.

(Term of appointment)

Article 10 The term of appointment for committee members and working group members is two years.

2. In the event where there is a vacancy on committee members or working group members, the term of appointment for a replacement is the remaining term of the predecessor.

(Secretariat)

Article 11 The secretariat of the Conference shall be established in the Placement Center of the University of the Ryukyus.

2. The University of the Ryukyus regular staff member(s) with special assignment and part-time staff can be assigned to the secretariat.

3. Administrative works for the Conference and the working groups shall be processed by the secretariat.

4. Necessary matters regarding the secretariat shall be specified individually by the chairperson.

(Miscellaneous matters)

Article 12 In addition to the matters prescribed in this guideline, matters necessary in regard to the management of the Conference and the working groups shall be decided by the chairperson.

(Revision or abolition)

Article 13 This guideline shall be revised or abolished by the chairperson, after discussion by the Conference.

Additional clauses:

1. This guideline will take effect from August 1, 2014.

2. Notwithstanding Article 10 Clause 1, the term of appointment for committee members and working group members appointed at the time of enactment of the guideline expires on March 31, 2016.

3. For the term of appointment for a committee member prescribed in Article 4 Clause 4, the preceding clause shall apply *mutatis mutandis*.

Appendix (Article 4) Okinawa Internship Promotion Conference Committee Members

NO	Category	Member universities and internship supporting organizations	Appointed members	Notes
1	Organizer university	University of the Ryukyus	Director, Placement Center	Chairperson
2	"	"	Director, Student Affairs Division	
3	Member university	Meio University	Director, Academic Affairs Division	
4	"	Okinawa University	Director, Student Affairs Division	
5	"	Okinawa Christian University	Director, Student Support Division	
6	"	Okinawa International University	Director, Student Affairs Division	
7	Regional Economic Association	Okinawa Association of the Associations of Small- and Medium-Size Enterprises	Executive Director	
8	"	American Chamber of Commerce In Okinawa	President	
9	Administrative Body	Regional Economy Section Economy and Industry Division Okinawa General Bureau, Cabinet Office	Director	
10	"	Employment and Policy Section Commerce and Labor Division Okinawa Prefectural Government	Director	
11	Academic Expert	universities, etc		
12	"	"		
13	"	"		

沖縄地域インターンシップ推進協議会委員

NO	委嘱理由	所 属	役職名	氏 名	備考
1	幹事校	琉球大学	就職センター長	松本 剛	会 長
2	〃	〃	学生部長	高橋 神奈男	1 部会長
3	連携大学	名桜大学	教務部長	中里 収 H26. 8. 1～H26. 11. 30	
			学生部長	渡具知 伸 H26. 12. 1～	
4	〃	沖縄大学	学生部長	山代 寛	
5	〃	沖縄サテライト学院大学	学生支援部長	上原 明子	
6	〃	沖縄国際大学	学生部長	山入端 津由	2 部会長
7	地域経済団体	沖縄県中小企業家同友会	専務理事	大城 辰彦	
8	〃	在沖米商工会議所	会頭	ジャスティン・ウェントワース	
9	行政機関	内閣府 沖縄総合事務局 経済産業部 地域経済課	課長	平良 浩二	
10	〃	沖縄県商工労働部 雇用政策課	課長	又吉 稔	
11	学識経験者	沖縄国際大学	教授	名嘉座 元一	
12	〃	名桜大学	教授	宮平 栄治	
13	〃	沖縄女子短期大学	教授	元山 和仁	3 部会長

任期：平成26年8月1日～平成28年3月31日

なお、上記任期中に委員の変更があった者については、個別に任期を記載した。

インターンシップ等支援組織内連絡協議部会（部会1）

N0	区分	所属	役職名	氏名	備考
1	幹事校	琉球大学	学生部長	高橋 神奈男	部会長
2	〃	〃	学生部就職課長	比嘉 義明	
3	インターンシップ 支援団体	沖縄県大学就職指導研究 協議会	事務局長	比嘉 義明	
4	連携大学	名城大学	教務部教務課長	喜瀬 直樹 H26. 8.1～H26. 11. 30	
			学生部キャリア支援課長	上原 康成 H26. 12. 1～	
5	〃	沖縄大学	学生部就職支援課長	國吉 正人	
6	〃	沖縄刊入教学院大学	学生支援部キャリア支援課長	與那原 馨	
7	〃	沖縄国際大学	学生部キャリア支援課長	井口 忠	
8	地域経済団体	沖縄県中小企業家同友会	事務局長	島尻 裕己	
9	〃	在沖米国商工会議所	—	—	
10	行政機関	内閣府沖縄総合事務局 経済産業部 地域経済課	課長補佐 産業人材政策専門官	宮平 勉	
11	〃	沖縄県商工労働部 雇用政策課雇用対策班 (若年者雇用支援チーム)	主幹	前川 早由利	
12	インターンシップ 支援団体	有限会社オーシャン・ト ウエンティワン	代表取締役社長	翁長 有希	
13	〃	特定非営利活動法人沖縄 人財クラスタ研究会	代表理事	白井 旬	
14	〃	株式会社ルーツ	コーディネーター	平田 直大	

任期：平成26年8月1日～平成28年3月31日

なお、上記任期中に部会員の変更があった者については、個別に任期を記載した。

プログラム検討協議部会（部会2）

NO	区分	所属	役職名	氏名	備考
1	連携大学	沖縄国際大学	学生部長	山入端 津由	部会長
2	"	名城大学	教務部長	中里 収 H26. 8. 1~H26. 11. 30	
			学生部長	渡具知 伸 H26. 12. 1~	
3	"	沖縄大学	学生部長	山代 寛	
4	"	沖縄刊事大学院大学	教学支援部教務課長	渡慶次 智子	
5	幹事校	琉球大学	就職センター長	松本 剛	
6	インターンシップ支援団体	沖縄県大学就職指導研究協議会	会長	松本 剛	
7	地域経済団体	沖縄県中小企業家同友会	専務理事	大城 辰彦	
8	"	在沖米国商工会議所	理事	豊川 明佳	
9	行政機関	内閣府沖縄総合事務局 経済産業部 地域経済課	課長補佐 産業人材政策専門官	宮平 勉	
10	"	沖縄県商工労働部 雇用政策課 雇用対策班	班長	與儀 尚	
11	学識経験者	沖縄国際大学	教授	名嘉座 元一	

任期：平成26年8月1日～平成28年3月31日

なお、上記任期中に部会員の変更があった者については、個別に任期を記載した。

※受託事業者の有限会社オーシャン・トゥエンティワン担当者が陪席する。

評価検証部会（部会3）

NO	区分	所属	役職名	氏名	備考
1	連携大学	沖縄女子短期大学	教授	元山 和仁	部会長
2	行政機関	内閣府 沖縄総合事務局 経済産業部 地域経済課	課長	平良 浩二	
3	〃	沖縄県商工労働部 雇用政策課	課長	又吉 稔	
4	学識経験者	名城大学	教授	宮平 栄治	
5	外部委員	琉球大学	監事	北原 秋一 H27. 2. 1~H27. 3. 31	
6	〃	沖縄県キャリアセンター	センター長	福 廣之進 H27. 2. 1~H27. 3. 31	

任期：平成26年8月1日～平成28年3月31日

なお、上記任期中に部会員の変更があった者については、個別に任期を記載した。

うりずんプロジェクト 幹事校・連携大学 取組担当者・事務担当者名簿

H28.2.1現在

区分	大学名	役割区分	職名	氏名	よみがな	備考
幹事校	琉球大学	取組担当者	就職センター長(併任)	松本 剛	まつもと たけし	
		事務担当者(主)	学生部長	高橋 神奈男	たかはし かなお	
		" (副)	学生部就職課長	比嘉 義明	ひが よしあき	
連携大学	名桜大学	取組担当者	学生部長	渡具知 伸	とぐち しん	
		事務担当者(主)	学生部キャリア支援課長	上原 康成	うえはら やすなり	
	" (副)	キャリア支援課係員	新川 悦子	あらかわ えつこ		
	沖縄大学	取組担当者	学生部長	山代 寛	やましろ ひろし	
		事務担当者(主)	学生部就職支援課長	大城 貴之	おおしろ たかゆき	
" (副)	就職支援課書記	金城 睦希	きんじょう むつき			
沖縄キリスト 教学院大学	取組担当者	学生支援部長	上原 明子	うえはら あきこ		
		学生支援部キャリア支援課長	與那原 馨	よなはら かおる		
	" (副)	教学支援部教務課長	渡慶次 智子	とけし ともこ		
沖縄国際大学	取組担当者	学生部長(併任)	山入端 津由	やまのは つよし		
		学生部キャリア支援課長	井口 忠	いぐち まこと		
	" (副)	学生部キャリア支援課主任	山城 圭	やましろ けい		
" (副)	学生部キャリア支援課係員	島袋 沙織	しまぶくろ さおり			

琉球大学	沖縄地域インター ンシップ推進協議 会事務局	専任コーディネーター	川平 敦	かわひら あつし
		専任コーディネーター	外間 裕子	ほかま ゆうこ
		事務補佐員	早川 杏里	はやかわ あんり

平成26年度の会議開催状況 ※会議体ごとに記録

沖縄地域インターンシップ推進協議会

平成26年度 (第1回) 沖縄地域インターンシップ推進協議会

日時 平成26年8月1日(金) 10:00~12:00
場所 琉球大学共通教育棟1号館2階 大会議室
参加者 計12名(代理出席含む。)
開会 琉球大学松本剛就職センター長から開会
あいさつ 琉球大学 大城肇学長から挨拶

- 1 協議事項 ※以後は協議事項のみ記載する(議事要旨は、事務局保管)。
- (1) 事業概要及び設置趣旨説明について
 - (2) 沖縄地域インターンシップ推進協議会設置要領(案)について
 - (3) 平成26年度年度計画(案)について
 - (4) その他

平成26年度(第2回) 沖縄地域インターンシップ推進協議会

日時 平成27年3月25日(水) 14:10~16:05
場所 琉球大学共通教育棟1号館2階 大会議室
参加者 計8名(代理出席含む。)

- 1 審議事項
- (1) 平成26年度事業報告について
 - (2) 平成27年度事業計画(案)について
 - (3) その他

インターンシップ等支援組織内連絡協議部会（部会1）

平成26年度（第1回）インターンシップ等支援組織内連絡協議部会（部会1）

日時 平成26年8月14日（木） 10:10～12:15

場所 琉球大学共通教育棟1号館2階 大会議室

参加者 計10名（代理出席含む。）

1 審議事項

- (1) 事業概要及び設置趣旨説明について
- (2) インターンシップ等支援組織内連絡協議部会の役割について
- (3) インターンシップ等支援組織内連絡協議部会申合せ（案）について
- (4) その他

2 報告事項

- (1) 沖縄地域インターンシップ推進協議会の議事要旨について

平成26年度（第2回）インターンシップ等支援組織内連絡協議部会（部会1）

日時 平成26年9月11日（木） 10:00～12:15

場所 琉球大学共通教育棟1号館2階 大会議室

参加者 計12名出席（代理出席含む。）

1 審議事項

- (1) インターンシッププログラムのプラットフォーム作成（案）について
- (2) インターンシップフェアの企画・実施について
- (3) その他

2 報告事項

- (1) インターンシップ等実務者研修会（関東地区）について
- (2) その他

平成26年度（第3回）インターンシップ等支援組織内連絡協議部会（部会1）

日時 平成26年9月30日（火） 16:00～17:30

場所 琉球大学共通教育棟1号館2階 大会議室

参加者 計12名（代理出席含む。）

1 審議事項

- (1) インターンシップフェアの企画・実施（案）について

平成26年度（第4回）インターンシップ等支援組織内連絡協議部会（部会1）

日時 平成26年11月6日（木）10:00～12:00

場所 琉球大学共通教育棟1号館2階 大会議室

参加者 計9名出席（代理出席含む。）

1 審議事項

- (1) 2015春期うりずんプロジェクトインターンシップフェアの開催概要（案）について
- (2) 2015春期インターンシップ実施について

2 報告事項

- (1) インターンシップ・プレセミナーについて
- (2) うりずんプロジェクト連携大学・連絡会議について
- (3) その他

平成26年度（第5回）インターンシップ等支援組織内連絡協議部会（部会1）

日時 平成27年1月29日（木）10:00～11:50

場所 琉球大学共通教育棟1号館2階 大会議室

参加者 計12名出席（代理出席含む。）

1 審議事項

- (1) 「平成26年度うりずんプロジェクトシンポジウム」について
- (2) 平成26年度「うりずんプロジェクト」春期インターンシップ実施の流れについて
- (3) 「評価検証部会（部会3）」に提出する資料の検討について
- (4) その他

2 報告事項

- (1) マッチング実施報告について
- (2) 2015夏期インターンシップ企業向け説明会（宮古島・石垣）実施（予定）について
- (3) その他

平成26年度（第6回）インターンシップ等支援組織内連絡協議部会（部会1）

日時 平成27年2月20日（金）15:00～16:05

場所 琉球大学共通教育棟1号館2階 大会議室

参加者 計7名出席（代理出席含む。）

1 審議事項

- (1) 「平成26年度うりずんプロジェクトシンポジウム」について
- (2) その他

プログラム検討協議部会（部会2）

平成26年度（第1回）プログラム検討協議部会（部会2）

日時 平成26年8月19日（火） 10:05～12:15

場所 琉球大学共通教育棟1号館2階 大会議室

参加者 計8名（代理出席含む。）

1 審議事項

- (1) 事業概要及び設置趣旨説明について
- (2) プログラム検討協議部会の役割について
- (3) プログラム検討協議部会申合せ（案）及びプログラム検討協議部会（部会2）の下に置く選定委員会の取扱いについて（案）
- (4) 体系的なキャリア教育プログラムの開発及び評価手法の開発について
- (5) 専門人材養成カリキュラムの公募要領について（案）

2 報告事項

- (1) 沖縄地域インターンシップ推進協議会の議事要旨について
- (2) その他

平成26年度（第2回）プログラム検討協議部会（部会2）

日時 平成26年9月26日（金） 10:00～12:00

場所 琉球大学理学部別館大学院棟 302-A

参加者 計8名（代理出席含む。）

1 審議事項

- (1) 体系的なキャリア教育プログラムの開発及び評価手法の開発について
- (2) 専門人材養成カリキュラムの選定委員会の設置について（案）
- (3) 公募スケジュールの変更について
- (4) その他

2 報告事項

- (1) インターンシップ等実務者研修会（関東地区）について
- (2) 「プログラム検討協議部会申し合わせ」および「プログラム検討協議部会の下に置く、選定委員会の取り扱いについて」の制定について

平成26年度（第3回）プログラム検討協議部会（部会2）

日時 平成26年12月18日（木） 13:00～15:30

場所 琉球大学共通教育棟1号館2階 大会議室

参加者 計8名（代理出席含む。）

1 審議事項

- (1) 体系的なキャリア教育プログラムの開発及び評価手法の開発について
- (2) その他

平成26年度（第4回）プログラム検討協議部会（部会2）

日時 平成27年2月2日（木） 15:00～16:50

場所 琉球大学共通教育棟1号館2階 大会議室

参加者 計7名（代理出席含む。）

1 審議事項

- （1）体系的なキャリア教育プログラムの開発及び評価手法の開発について
- （2）その他

平成26年度（第5回）プログラム検討協議部会（部会2）

日時 平成27年3月5日（木） 15:00～16:55

場所 琉球大学共通教育棟1号館2階 大会議室

参加者 計7名（代理出席含む。）

1 審議事項

- （1）体系的なキャリア教育プログラムの開発及び評価手法の開発について
- （2）専門人材養成カリキュラムの開発及び研修実施について
- （3）その他

評価検証部会（部会3）

平成26年度（第1回）評価検証部会（部会3）

日時 平成27年2月27日（金）10:00～12:10

場所 琉球大学共通教育棟1号館2階 大会議室

参加者 計5名出席（代理出席含む。）

1 審議事項

- （1）平成26年度実施計画と数値目標の確認について
- （2）事業進捗が確認できるエビデンス書類との突合について
- （3）その他（次回開催日の確認）

平成26年度（第2回）評価検証部会（部会3）

日時 平成27年3月16日（月）10:00～12:00

場所 琉球大学共通教育棟1号館2階 大会議室

参加者 計4名出席（代理出席含む。）

1 審議事項

- （1）第1回会議で確認できなかった事業進捗のエビデンス書類との突合について
- （2）評価検証部会の報告書（案）について
- （3）その他

連携大学・連絡会議（平成26年度限り）

うりずんプロジェクト（第1回）連携大学・連絡会議

日 時 平成26年7月15日（火） 10:30～12:00

場 所 琉球大学共通教育棟1号館2階 大会議室

参加者 計12名

1 協議事項

- (1) 平成26年度年度計画（案）及び進捗状況について
- (2) 「沖縄地域インターンシップ推進協議会」の設置要領（案）及び開催等について
- (3) その他

うりずんプロジェクト（第2回）連携大学・連絡会議

日 時 平成26年10月27日（月） 14:00～15:30

場 所 琉球大学共通教育棟1号館2階 大会議室

参加者 計9名

1 協議事項

- (1) インターンシップ企業向け説明会の開催について
- (2) うりずんプロジェクト春期インターンシップ実施の流れ（案）

2 報告事項

- (1) うりずんプロジェクトの現地調査について

うりずんプロジェクト（第3回）連携大学・連絡会議

日 時 平成27年1月22日（木） 13:30～16:15

場 所 琉球大学共通教育棟1号館2階 大会議室

参加者 計10名

1 協議事項

- (1) 大学におけるプログラムの導入及び活用のイメージについて

2 報告事項

- (1) 2015 夏期インターンシップ企業向け説明会（本島内、宮古島地区及び八重山地区）の開催について
- (2) 横浜 DeNA ベイスターズ宜野湾キャンプ1 DAY インターンシップの募集について

2-2

【イベント等】

2015 春期インターンシップ
プレセミナー

開催概要	
■ 概要	
事業名	産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業【テーマ B】インターンシップ等の取組拡大
資料内容	2015春期インターンシッププレセミナー 開催概要
■ 内容詳細	
<p>[開催日時]平成26年10月18日(土) 13:30~17:00</p> <p>[会場]琉球大学 大学会館3階大ホール(〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地)</p> <p>[主催]沖縄地域インターンシップ推進協議会</p> <p>[後援]沖縄県商工労働部雇用政策課</p> <p>[協力]琉球大学、名城大学、沖縄大学、沖縄キリスト教学院大学・沖縄キリスト教短期大学、沖縄国際大学、沖縄県立芸術大学、沖縄女子短期大学、沖縄県中小企業家同友会、在沖米国商工会議所、有限会社オーシャン・トゥエンティワン、特定非営利活動法人沖縄人財クラスタ研究会、株式会社ルーツ、沖縄県大学就職指導研究協議会(調整中含む)</p> <p>①インターンシップの説明(スライド)</p> <p>②(特)沖縄人財クラスタ研究会 代表理事 白井旬様による講演 <休憩> ・学生スタッフ配置(パネリスト、学生ファシリテーター)</p> <p>③インターンシップ経験者によるパネルディスカッション ・壇上4名、マイクは司会1本+パネリスト用2本 ・司会が質問、パネリストが答える形で進める ・終了後、パネリストもグループセッションに加わる</p> <p>④インターンシップ経験者、企業担当者とのグループセッション ・4~8名のグループを形成、学生スタッフがファシリテート。グループがまとまり次第、企業担当者を各グループに誘導 ・自己紹介(ファシリテーター、企業担当者)、経験談、質疑応答、企業担当者からひとこと。 ・まとめとしてインターンシップ未経験学生から本日のコメントをもらう。 ・アンケート、感想、今後の流れを司会から促し(インターンシップフェア・春期インターンシップの申込手順)</p> <p>⑤終了 ・希望者はインターンシップ経験者、企業との交流 ・学生からアンケート・感想の回収</p> <p>⑥片付け</p>	

平成26年10月6日

琉球大学
名桜大学
沖縄大学
沖縄キリスト教学院大学・沖縄キリスト教短期大学
沖縄国際大学
沖縄県立芸術大学
沖縄女子短期大学

殿

沖縄地域インターンシップ推進協議会

【琉球大学就職センター長】

会長 松本 剛

(公印省略)

2015 春期インターンシップ・プレセミナーの周知等について (依頼)

拝啓 仲秋の候、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、平成26年度文部科学省「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業【テーマB】インターンシップ等の取組拡大」の補助金事業において、琉球大学を幹事校とする県内4大学(名桜大、沖縄大、沖縄キリスト教学院大、沖縄国際大)の「うりずんプロジェクト～「沖縄型」インターンシップの展開～」が採択されて、同プロジェクトの下、産学官連携の沖縄地域インターンシップ推進協議会が設置され、事業がスタートしたところです。

初年度行事として、学生(短大生含む。)を対象としたインターンシップ実施に焦点をあて、下記のとおり2015春期インターンシップ・プレセミナーを開催いたします。

つきましては、趣旨をご理解いただき、2015春期インターンシップ・プレセミナーのチラシを貴学の学生へ配付・周知下さるようお願い申し上げます。

敬具

記

1 依頼内容 (チラシ)

平成26年10月18日(土) 2015春期インターンシップ・プレセミナー

2 開催概要 (参考資料)

開催要項のとおり

3 問合せ先

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地

沖縄地域インターンシップ推進協議会事務局

(琉球大学就職センター内)

インターンシップ・コーディネーター 川平敦・米澤晃子

電話 098-895-8981

FAX 098-895-8119

E-mail urizun@to.jim.u-ryukyu.ac.jp

うりずんプロジェクト

2015 春期

琉球大学

名桜大学

沖縄大学

沖縄拓殖大学院大学

沖縄国際大学

(短大生も可)

インターンシップ プレセミナー

2014年10月18日(土)

もちろん
無料

時間：13：30～17：00

場所：琉球大学 大学会館 3階大ホール

対象：学生，企業，関連団体インターンシップ担当者
大学教職員

私服
OK

13:00～開場

13:30～インターンシップの説明等

14:00～14:45 講演

「インターンシップで 自信を掴む方法」

■講師「Gut's⁺」の生みの親
特定非営利活動法人沖縄人財クラスタ研究会
代表理事
白井 旬 氏



15:00～インターンシップ経験者
によるパネルディスカッション

15:45～グループセッション

経験者と話せる！

気になる“あのインターンシップ”
のギモンなどをあれこれ経験者に
聞けるチャンスです！

- ・Gut's⁺
(おきなわ企業魅力発見事業)
- ・長期インターンシップ
- ・海外インターンシップ
- ・社長弟子入りツアー など

16:30～自由交流

●2015 春期インターンシップ・フェアも開催予定！

2014年12月6日(土)

講演会・企業プレゼン・マッチング会等

申し込み方法

学生は大学名・学年・氏名・Telを、その他の方はご所属・氏名・Telを、右記のメールアドレスまで送信してください。事務局より返信します。

※Faxでも申込みできます。(裏面をご利用ください)



こちらからもリンクできます

お問い合わせ・申込み

沖縄地域インターンシップ推進協議会事務局

(琉球大学就職センター内) 電話 098-895-8981

メール urizun@to.jim.u-ryukyu.ac.jp

主催：沖縄地域インターンシップ推進協議会 後援：沖縄県商工労働部雇用政策課

協力：琉球大学，名桜大学，沖縄大学，沖縄キリスト教学院大学・沖縄キリスト教短期大学，沖縄国際大学，沖縄県立芸術大学，沖縄女子短期大学，沖縄県中小企業家同友会，在沖米商工会議所，有限会社オーシャン・トゥエンティワン，特定非営利活動法人沖縄人財クラスタ研究会，株式会社ルーツ，沖縄県大学就職指導研究協議会 (調整中含む)

＝うりずんプロジェクト＝
2015春期インターンシップ・プレセミナーを開催

文部科学省補助金事業「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業【テーマB】インターンシップ等の取組拡大」において採択されたうりずんプロジェクト〔正式名称「うりずんプロジェクト～「沖縄型」インターンシップの展開～」幹事校は琉球大学、連携校は名桜大学、沖縄大学、沖縄キリスト教学院大学、沖縄国際大学〕では、平成26年8月1日に沖縄地域インターンシップ推進協議会を設置し、実質的に事業をスタートした。

初年度事業として、沖縄地域インターンシップ推進協議会主催「2015春期インターンシップ・プレセミナー」を平成26年10月18日（土）13：30～17：00まで、琉球大学大学会館3階の特別会議室（大ホール）で開催し、学生及び企業等担当者計77名が参加した。

同プレセミナーは、来年春期インターンシップ実施に向けて、県内学生に対し、インターンシップの意義や目的、種類などインターンシップにまつわる疑問に答えるために企画したもの。

プログラム内容としては、次のとおり実施した。

①インターンシップの説明等（琉球大学就職センター コーディネーター川平敦氏）

②講演「インターンシップで自身を掴む方法」

（特定非営利活動法人 沖縄人財クラスタ研究会 代表理事 白井旬氏）

（休憩時間）

③インターンシップ経験者によるパネルディスカッション

庄司健太さん（琉大3年、Gut's 経験）、伊藤巧さん（琉大3年、社長弟子入りツアー経験）、若山恵美さん（沖国大4年、長期インターンシップ経験）、喜屋武憂華さん（名桜大4年、海外インターンシップ経験）

④グループセッション

インターンシップ経験者と企業担当者を含めたグループごとで意見、情報交換を行った。

講演では白井氏から「勉強と学習は違う。学習は行動を変化させることであり、G-PDCA サイクルでは、目的や目標などのGoalが明確でないとPDCA サイクルを回しても効果が薄い、また、Can（現在）とBe（未来）の違いとはの説明では、Can「できるか」「できないか」の判断ではなく、Be「未来の自分」を描き、そのギャップを埋めるために今、自身で行動する（Do）ことが大事」との話があった。

パネルディスカッションでは、4名のパネラーがそれぞれに経験したインターンシップ種類や企業での状況を語り、「インターンシップを経験したことで、自分の強みを話すことができ、自分に自信がついた」、「現状の自分が客観的に見えてきた」、「インターンシップで、企業広報HP・概要パンフでは知ることができない中小企業の社風や、社長が社員を大事にしていることが実感できた」、「インターンシップを終了した後に、職業意識が出来てきたと感じた。」等のポジティブな発言があった。

参加者アンケートでは「パネラーが自分と歳が変わらないのにインターンシップ経験を活かし、学習して次に活かしている話をしており、とてもかっこよく感じた。忘れかけていたモチベーションが上がった」、「最初は乗り気でなく、インターンシップに興味もないまま友達に誘われてきたが、結果参加して良かったです。春休みのインターンシップに行ってみたくなりました」と好評であった。

また、企業担当者からは「とても良い企画なので、多くの学生に参加してほしい。もっと宣伝すべきだと思う」との意見もあった。（以下、主なスナップ写真）



(インターシッパ® 説明の様子)



(パネルディスカッションの様子)



(グループセッションの様子)

2014年10月20日

インターンシップ・プレセミナー アンケート（集計）

本日はご参加いただき誠にありがとうございます！

今後よりよいイベントにするために、皆さんの満足度やご意見・ご感想（裏面）をお聞かせください。（1～11までは丸をつけてください。）

1. 大学名、学年を教えてください。（○をつけてください）

名桜大学（5）・沖縄大学・沖縄キリスト教学院大学・沖縄キリスト教短期大学

沖縄国際大学・沖縄県立芸術大学・沖縄女子短期大学・琉球大学（21）

（1年次9、2年次12、3年次4、4年次0、未記入1、企業3）

2. 本日のインターンシップ・プレセミナーはいかがでしたか？

①とても満足（17） ②まあまあ満足（9） ③あまり満足ではない ④満足ではない

3. インターンシップの説明等はいかがでしたか？

①とても満足（16） ②まあまあ満足（11） ③あまり満足ではない ④満足ではない

4. 講演はいかがでしたか？

①とても満足（19） ②まあまあ満足（6） ③あまり満足ではない ④満足ではない

5. インターンシップ経験者によるパネルディスカッションはいかがでしたか？

①とても満足（17） ②まあまあ満足（7） ③あまり満足ではない ④満足ではない

6. グループセッションはいかがでしたか？

①とても満足（14） ②まあまあ満足（11） ③あまり満足ではない ④満足ではない

7. 学生スタッフの対応はいかがでしたか？

①とても良かった（17） ②まあまあ良かった（7） ③あまり良くなかった ④良くなかった

8. インターンシップに参加したいと思いませんか？

①とても思う（17） ②まあまあ思う（8） ③あまり思わない ④まったく思わない

9. 12月6日（土）のフェアは参加したいと思いませんか？

①とても思う（16） ②まあまあ思う（10） ③あまり思わない ④まったく思わない

10. このようなイベントは、いつ開催すると参加しやすいですか？

①平日の昼間 ②平日の夕方（5） ③土曜日（21） ④日曜日（7）

11. 本イベントを知ったきっかけを1つ選んでください。

- ① インターンシップ経験者から紹介 (2)
- ② その他の友人から紹介 (7)
- ③ 大学の先生や職員から紹介 (5)
- ④ 大学の講義で聞いて (5)
- ⑤ 大学でチラシ・ポスターなどを見て (7)
- ⑥ 大学のホームページを見て
- ⑦ フェイスブックで見て
- ⑧ 沖縄地域インターンシップ推進協議会のホームページを見て
- ⑨ その他 (1)

12. 本イベントに参加した目的は何ですか。(複数回答可)

- ① インターンシップに興味があった (19)
- ② インターンシップの説明等に興味があった (14)
- ③ 講演内容に興味があった (4)
- ④ インターンシップ経験者の話に興味があった (7)
- ⑤ 長期インターンシップに興味があった (2)
- ⑥ 海外インターンシップに興味があった (7)
- ⑦ Gut's プログラムに興味があった (7)
- ⑧ 社長弟子入りツアーに興味があった (3)
- ⑨ 「2015年春期インターンシップ」に興味があった (6)

13. 今日、心に残った言葉やフレーズを教えてください。

快適な場所では人は成長しなくなる (2) / 挑戦・失敗を怖がる必要はない / 自分がわくわくすることを見つける動機、仕事をこなすようになってはいけない、常に自分を快適でない所に置く、少しでもやりたいと思ったらやってみる、CanからBeになる (2) / インターンシップで「自身」をつかむ、仕事＝作業 (2)、インターンシップは練習試合、本試合(就活)で勝つためには、たくさん練習試合をした方が良い / やりたいと思ったらすぐに実行に移す、当たり前と思わずに感謝する / できるかできないかで決めない / インターンシップを通して自分の特徴を知る / 白井さんの話の中であった、実力の方程式の話 / 未来に希望を持ってはいいけど、期待はしない (2) / 学習とは行動を変化させること / 動機を見つける / 成長することが幸せ / 「勉強」(強いられる) と「学習」(行動が変化すること) は違うこと / とにかくいろいろな「やりたいこと」に挑戦する / 「目的」と「目標」は違う / 「失敗することで上司との信頼関係が生まれる」 / 少しでも興味を持ったことはやってみる、自分の気持ちの浮き沈みマップを作ってみる、それを基にして、気持ちが沈みそうになったら上がることをやめる / 金と情報と運は寂しがり屋 / インターンシップに行くことで資料ではわからないことが知ることができる (2) / 動機をつかむこと、成長意欲は誰にでもある(企業) / 「コンフォートゾーンに成長は無い」ズシンと響きました。学生・社会人問わず、現状に甘んじることなく行かないと行けないと痛感しました。(企業) /

14. 本イベントに参加して、考え方や価値観に変化があれば教えてください。

今までこういうイベントに参加したことなかったけど、つぎからはどんどん参加しようと思った／インターンシップに行こうと思った。／夢を無理やり持とうとせずにもっと気楽に探していこうと企業の方の話を聞いて思いました。／先生に紹介されて単純な理由で参加したが、インターンシップの有用性を知れてよかった。企業・就職という部分を視野に入れることができた。／何かを達成したいと思った。成長って一人ひとり色々異なる成長の仕方があるのだと思った。無理やりBeを見つけるのではなく、なんとなくで見つかることもある。／インターンシップは採用に有利になるということしかイメージがなかったが、経験者の話を聞いて、自分に自信を持てたり、自己分析できたという話を聞いてより参加したいと思った。／自分の考え方や意見を活かせるようにしたい。／とりあえずやってみようという気になった。／何事も積極的に行動しようという気持ちになった。／失敗を恐れたら前に進めない。／向いている業種などない、向いている働き方はある。／インターンシップに本気で参加しようと思えるようになりました。／インターンシップは今まで企業を知ることにしか考えてなかったの、自分を成長させるキッカケにしたい。／ゼミや自主勉強で努力をしているからインターンシップは必要ないかなと思っていたが、ぜひ受けたいと思います。／目的を持ってインターンに参加すれば、学校生活では得られない成長ができると思った。／親族に対しての考え方が変わりました。／インターンシップ経験者の学生の話聞いて、より参加することのメリットがわかりました。企業の方からもたくさん話が聞けて、刺激を受けました。HPやパンフレットだけではわからない雰囲気や社員さんの意見などを、インターンシップを通して感じられたらなと思います。／三日坊主でもいい、4日1セットにして継続させること。中小企業のイメージの変化。／たくさん学んだ。いろんな経験をする事の大事さ。／インターンシップについての自分の知識の無さを実感して、以前の自分よりも少し職についてのイメージが変わった。インターンシップに参加してこそ分かる事もあると思うので次回は参加したいです。／学生さんのインターンシップ観や動機などに変化や新しい考えがプラスされたら何よりだと思います。(企業)／学生が社会や社会人と接する機会が増える中、社会人としての自分のあり方を振り返る必要があることを改めて実感した。(企業)

15. その他ご意見・ご感想などありましたら、お聞かせください。

とてもいい企画なので、もっと多くの学生に参加して欲しい。そのためには、もっと宣伝すべきだと思う。(食堂の前に大きく広告を作る…etc) / また参加したい、友達も連れて行きたい。 / 12月まで期間が開いているので、もう少し早く、具体的なそれぞれのインターンシップの内容や募集について、聞きたいと感じました。 / 以前から興味があったG u t ' Sの話や、他のインターンシップの話を知ることができ、参加した学生の意見や本音、企業さんの話を聞くことができ、とても有意義なセミナーだったと思います。12月6日のフェアにも参加する予定です。 / 今回はとてもたくさんの方が聞いて、まずは一歩を踏み出せたかなと思った。とても良かったです。 / パネラーの人が自分と年が変わらないのに、インターンシップの経験を学習して次に活かしていることの話をしており、とてもかっこよく感じた。忘れかけていたモチベーションがあがった。本当に関係者の皆様、ありがとうございます。 / とても良い経験になったと思います。 / まず一歩踏み出すことかなと思いました。プログラムの先二つがほぼずっと聞いているだけの状態なので、少し疲れました。 / 機会があったらまた参加したいです。 / 今日最初は乗り気ではなく、インターンシップに興味も無いまま、友達に誘われてきたのですが、結果参加してよかったです。春休みのインターンに行ってみたくなりました。本日はありがとうございました。 / こういった「インターンシップを知る」といったものをもっと多くしていったらよいと思う。 / もうちょっと、という気がしています。 / 今回のことを今後活かしていきたいと思いました。 / 「働く」自分をイメージして就活までに準備できるか、企業としても努力していきたいです。(企業) / キャリア教育が成果としてどんどん広がっている事とても感じます!! (企業) / 意見交換できてよかったです。(企業)

学生スタッフより

みな真剣に聞いてくれている実感があった(パネルディスカッションの立場から)。 / パネルディスカッションの進行方法が直前で変更になったので混乱した。 / グループセッションでは、グループによって企業様がいなかったり、偏りがあった。かたや企業から貴重な意見が聞けたり、もう一方では教職員のみだったり、細かく分けて割り振る必要があったかと思う。 / パネルディスカッション後、それぞれのプログラムごとでグループセッションを行っても良いかと思う。(例: 長期 I S 希望者のグループ、G u t ' s のグループ等) / 冲国大の学生が0だったので、どのように周知しているか疑問 / 半強制的にこのようなイベントに行かせることも必要ではないか(名桜大学ではそのようにしている学部もある)。 / 業種別の企業リスト・紹介などを具体的にフェアでは提示する必要があるかと思う。学生は企業名を知りたがっている。 / 興味のある学生ばかりが参加しているので、いかに興味の無い学生(ボトム層)を誘い込むかが重要。

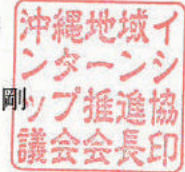
2015 春期インターンシップ
企業向け説明会

開催概要	
■ 概要	
事業名	産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業【テーマ B】インターンシップ等の取組拡大
資料内容	2015春期インターンシップ企業向け説明会 開催概要
■ 打合せ内容詳細	
<p>主催 沖縄地域インターンシップ推進協議会 後援 沖縄県商工労働部雇用政策課 協力 琉球大学、名桜大学、沖縄大学、沖縄キリスト教学院大学・沖縄キリスト教短期大学、沖縄国際大学、沖縄県立芸術大学、沖縄女子短期大学、沖縄県中小企業家同友会、在沖米国商工会議所、有限会社オーシャン・トゥエンティワン、特定非営利活動法人沖縄人材クラスタ研究会、株式会社ルーツ、沖縄県大学就職指導研究協議会（調整中）</p> <p>○期日／時間(平成 26 年 11 月 13 日(木)13:30～16:00) ○会場:琉球大学研究者交流施設・50周年記念館 1F 多目的室 ○対象:インターンシップ受入を希望する企業、インターンシップ関連団体、県、市町村自治体の人事担当者、またはインターンシップ受入担当者 ○目的:うりずんプロジェクト「沖縄型」インターンシッププログラムの実施 ○ねらい:本事業のインターンシッププログラムの企業周知、受入打診 ○実施内容／時間</p> <p>①事前プログラムガイダンス(30分)13:30～14:00 説明:インターンシップ・コーディネーター川平敦 ・インターンシップ開始までのスケジュールや事前講座、実施期間中、事後研修など基本的なプログラムの概要説明(うりずんプロジェクトの内容紹介を含む。) ・インターンシップの種類と違いについて</p> <p>②講演(45分) 14:00～14:45 講師:(株)マイナビ 九州支社 キャリアサポート課長 小田浩史氏 ・「企業における人材採用とインターンシップ」(仮題) <休憩15分></p> <p>③受入経験企業によるインターンシップのメリット(30分)15:00～15:30 企業説明者:(株)お菓子のポルシェ 総務人事課 桜井真由美氏、棚原優美氏</p> <p>④共有(アンケート、感想)・今後の流れ・情報交換(30分)15:30～16:00 ・アンケート、感想の回収 ・15:30 に終了し、残り 30 分は交流時間とする。企業、大学教職員の垣根を越えて情報交換</p> <p>○その他: 企業等担当者駐車場を確保する。(琉球大学研究者交流施設・50周年記念館前の広場) 12月6日(土)開催の「2015春期インターンシップ・フェア」(学生と企業とのマッチング)を周知する。</p>	

平成26年10月27日

企業・インターンシップ関連団体等 各位

沖縄地域インターンシップ推進協議会
【琉球大学就職センター長】
会長 松本 剛



2015 春期インターンシップ企業向け説明会について（お知らせ）

拝啓 秋冷の候、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、平成26年度文部科学省「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業【テーマB】インターンシップ等の取組拡大」の補助金事業において、琉球大学を幹事校とする県内4大学（名桜大、沖縄大、沖縄キリスト教学院大、沖縄国際大）の「うりずんプロジェクト～「沖縄型」インターンシップの展開～」が採択されて、同プロジェクトの下、産学官連携の沖縄地域インターンシップ推進協議会が設置され、事業がスタートしました。

ご承知のことと存じますが、大学の現3年次生の就職活動時期の変更に伴い、企業等の広報活動が平成27年3月1日以降に、採用選考活動が同年8月1日以降となり、学生が企業及び業界内容を知るために早期のインターンシップ実施の重要度が増してくるものと認識しております。そのため、初年度行事として、県内学生（短大生含む。）を対象としたインターンシップ実施に焦点をあて、下記のとおり2015春期インターンシップ企業向け説明会を開催致します。

貴社・団体等におかれまして、今年度及び来年度にインターンシップ受入のご予定・ご希望がありましたら、趣旨をご理解いただき、ご担当者様の派遣をよろしくお願いいたします。

敬具

記

1 依頼内容（チラシ）

平成26年11月13日（木）2015春期インターンシップ企業向け説明会

2 開催概要（参考資料）

- ・開催要項のとおり
- ・学生の就職・採用活動時期の変更について

3 問合せ・申込み先

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地

沖縄地域インターンシップ推進協議会事務局

（琉球大学就職センター内）

インターンシップ・コーディネーター 川平敦・米澤晃子

電話 098-895-8981

FAX 098-895-8119

E-mail urizun@to.jim.u-ryukyu.ac.jp

うりずんプロジェクト2015春期

インターンシップ

企業向け説明会

- ◆日 時 平成26年11月13日(木) 13:30~16:00
- ◆場 所 琉球大学研究者交流施設・50周年記念館
1階 多目的室
- ◆対 象 2015年春期(2~3月初旬)に、県内大学生
(1~4年次)のインターンシップ受入を希望する企業・イン
ターンシップ関連団体等の人事担当者、または受入担当者

◆プログラム

- ①うりずんプロジェクトとインターンシッププログラムの概要説明
- ②講演「企業における人材採用とインターンシップ」
- ③受入経験企業によるインターンシップのメリット

申込み方法

企業名・ご所属・担当者名・Telを、右記のメールアドレスまで送信してください。事務局より返信いたします。

※Faxでもお申込みできます。(裏面をご利用ください)



↑
こちらからもリンクできます

お問い合わせ・申込み

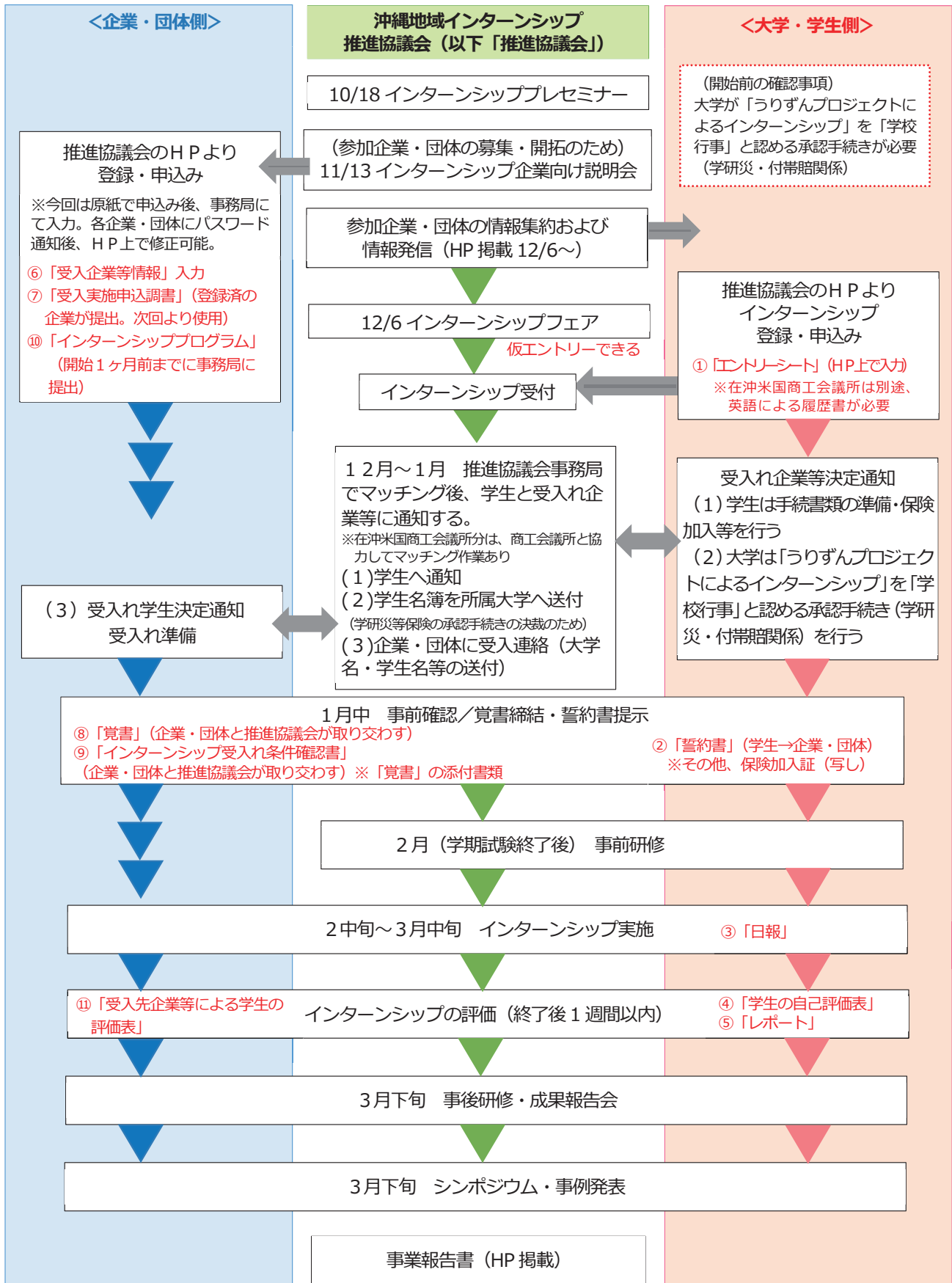
沖縄地域インターンシップ推進協議会事務局
(琉球大学就職センター内) 電話 098-895-8981
メール urizun@to.jim.u-ryukyu.ac.jp

主催：沖縄地域インターンシップ推進協議会 後援：沖縄県商工労働部雇用政策課
協力：琉球大学、名桜大学、沖縄大学、沖縄キリスト教学院大学・沖縄キリスト教短期大学、沖縄国際大学、沖縄県立芸術大学、沖縄女子短期大学、沖縄県中小企業家同友会、在沖米国商工会議所、有限会社オーシャン・トゥエンティワン、特定非営利活動法人沖縄人材クラスタ研究会、株式会社ルーツ、沖縄県大学就職指導研究協議会 (調整中含む)

うりずんプロジェクト2015春期 インターンシップ企業向け説明会 会次第

1. 日時：平成26年11月13日（木） 13:30～16:00
2. 会場：琉球大学研究者交流施設・50周年記念館 1F多目的室
3. プログラム
 - ①事前プログラムガイダンス（30分） 13:30～14:00 説明：インターンシップ・コーディネーター川平敦
 - ・インターンシップ開始までのスケジュールや事前講座、実施期間中、事後研修など基本的なプログラムの概要説明（うりずんプロジェクトの内容紹介を含む。）
 - ・インターンシップの種類と違いについて
 - ②講演（45分） 14:00～14:45 講師：㈱マイナビ 九州支社 キャリアサポート課長 小田浩史氏
 - ・「企業における人材採用とインターンシップ」
 - <休憩15分>
 - ③受入経験企業によるインターンシップのメリット（30分） 15:00～15:30
企業説明者：㈱お菓子のポルシェ 総務人事課 桜井真由美氏、棚原優美氏
 - ④共有（アンケート、感想）・今後の流れ・情報交換（30分） 15:30～16:00
 - ・アンケート、感想の回収
 - ・15:30に終了し、残り30分は交流時間とする。企業、大学教職員の垣根を越えて情報交換

平成26年度「うりずんプロジェクト」春期インターンシップ実施の流れ



※各手続き書類の提出の流れは、様式の右肩に記載
 ※①~⑪までの書類番号は、様式の番号におなじ

＝うりずんプロジェクト＝
2015春期インターンシップ企業向け説明会を開催

文部科学省補助金事業「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業【テーマB】インターンシップ等の取組拡大」において採択されたうりずんプロジェクト〔正式名称「うりずんプロジェクト～「沖縄型」インターンシップの展開～」〕幹事校は琉球大学、連携校は名桜大学、沖縄大学、沖縄キリスト教学院大学、沖縄国際大学〕では、平成26年8月1日に沖縄地域インターンシップ推進協議会を設置し、実質的に事業をスタートした。

初年度事業として、沖縄地域インターンシップ推進協議会主催で、平成26年10月18日（土）学生向け「2015春期インターンシップ・プレセミナー」の開催に引き続き、11月13日（木）に「2015春期インターンシップ企業向け説明会」を琉球大学研究者交流施設・50周年記念館の多目的室で開催した。

参加した企業数35社で、企業担当者49名の他に大学関係者、行政機関、経済団体及び学生を含む総計56名が参加した。

同説明会は、来年春期インターンシップ実施に向けて、県内企業・団体に対し、うりずんプロジェクトの概要や予定しているインターンシップの種類、インターンシップに関する全国的な動向、県内受入れ企業によるメリット報告など、情報共有と受入企業の開拓を目的に企画したものである。

プログラム内容としては、次のとおり実施した。

①うりずんプロジェクトとインターンシッププログラムの概要説明

説明者：琉球大学就職センター インターンシップ・コーディネーター 川平敦氏

②講演「企業における人材採用とインターンシップ」

講師：株式会社マイナビ九州支社 キャリアサポート課長 小田浩史氏

(休憩時間)

③受入経験企業によるインターンシップのメリット

説明者：株式会社お菓子のポルシェ 総務人事課 桜井真由美氏、棚原優美氏

④インターンシップフェア開催の告知等・質疑応答・アンケート記入

企業担当者との質疑をとおして情報交換を行った。

講演では小田氏から「15卒と16卒以降の就活スケジュールの変化で、企業が重要視する採用手法として、インターンシップの受入が昨年比2倍の上昇を見せており、一方、学生の意識も70%近くが、企業がどのような業務を行っているかを知るためインターンシップが重要だと考えている。今後は、夏期のIS（インターンシップ）だけでなく秋期ISや直前春期ISに移行する傾向となるのではないかと。企業側からすると8月から選考活動が開始するので、人事部署では選考活動と夏期IS受入が重なってくるので、優先度から夏期IS受入が難しい状況も予想される。IS受入を別部署に依頼するなど企業側の工夫が必要となってくる」との提言もあった。

「受入経験企業によるインターンシップのメリット」では、総務人事課の桜井氏から新入社員にインターンシップ受入担当を任せる等により人材育成に活用した事例や製造中心主義の管理職に対し、インターンシップ受入により職場環境改善の意識に変えることができた等のメリット説明があった。

引き続き、新入社員（採用6ヶ月）の棚原氏からは、人前で話すことが苦手だったので、この夏期のインターンシップ受入担当に当初戸惑いもあったが、結果的に、コミュニケーション能力が向上したこと、説明のために業務全般の知識把握ができたことなど成長できた実感を発表した。

参加者アンケートでは「十分満足した」、「概ね満足した」が90%以上の結果となり、春期インターンシップ企業向け説明会の当初目的を達成したものと思料する。（別添アンケート集計結果）

以上



(㈱マイナビによる小田氏の講演、全体スナップ写真)



(受入企業のメリットについての報告、㈱お菓子のポルシェ人事担当者(左)と新入社員(右))



(川平コーディネーターによるうりずんプロジェクトの説明)



(終了後の情報交換)

平成26年11月13日

うりずんプロジェクト2015 春期インターンシップ 企業向け説明会アンケート集計結果

1. 業種および従業員数

業種	マスコミ・広告・出版業他 (3) 教育及び教育支援業 (1) 飲食・宿泊業 (2) 金融・保険業 (6) 卸・小売業 (9) IT関連 (7) 航空・海運・陸運業 (4) 製造業 (2) その他 (1) 無回答 (3)
人数	1~9名 (1)・10~49名 (4)・50~99名 (5)・100~499名 (10)・500~999名 (3)・1000以上 (11) 無回答 (4)

2. 本日の企業向け説明会はいかがでしたか？

①十分満足した (10) ②概ね満足した (25) ③あまり満足できなかった (3) ④満足できなかった (0)

3. 「うりずんプロジェクトとインターンシッププログラムの概要説明」はいかがでしたか？

①十分満足した (9) ②概ね満足した (27) ③あまり満足できなかった (2) ④満足できなかった (0)

4. 講演「企業における人材採用とインターンシップ」はいかがでしたか？

①十分満足した (12) ②概ね満足した (25) ③あまり満足できなかった (1) ④満足できなかった (0)

5. 「受入経験企業によるインターンシップのメリット」はいかがでしたか？

①十分満足した (15) ②概ね満足した (13) ③あまり満足できなかった (6) ④満足できなかった (0)

※無回答 (4)

6. 本説明会を知ったきっかけを1つ選んでください。

- ①大学からの案内 (32) ④沖縄地域インターンシップ推進協議会のホームページを見て (4)
②大学教員や職員からの紹介 (3) ⑤その他 (1) ()
③チラシ・ポスター

7. 本説明会に参加した目的は何ですか。(複数回答可)

- ①春期インターンシップ受入を検討中のため情報収集 (24)
②「うりずんプロジェクト」インターンシッププログラムの説明に興味があった (21)
③講演内容に興味があった (5)
④受入企業によるインターンシップのメリットに興味があった (9)
⑤その他 (3) (琉球大学の2016年度就職活動の動きを知りたかったため。)

8. 本説明会は今後に役立つ内容でしたか。

<p>①非常に役立つ (12)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・若手社員（入社1年目）の成長を見ることができ自社の刺激となった。 ・これまでインターンシップをやってなかったので、目からウロコの情報ばかりだった。 ・既に専門学校生のインターンシップ受入はしているが、お菓子のポルシェさんの発表を聞くことで、他社のインターンシップの現状やメリットを吸収することができ、良かった。当社でも生かします。 ・今後インターンシップを当社で行う際非常に役立った。 ・インターンシップの取組を学ばせていただきました。 ・他企業のインターンシップの取組みを聞き自社との違いも確認でき、今後どのように取組んでいくか検討する材料になった。 ・今後検討するにあたり、時期や内容など不明な点が解決した。 ・情報収集として大変ありがたかった。一点だけ、少し期間が短い（こちらの情報提供）イメージです。できればもう少し早めに聞き、検討したかった。 ・インターンシップに向けてプログラム作成に参考になった。 ・お菓子のポルシェ様のお話はぜひ社内で共有しようと思う。インターンシップの受入れ時期の検討等。 ・他社の取組み・考え方（目的）などを学ぶ機会となりました。
<p>②役立つ (25)</p>	<p>インターンシップの内容を再度見直す機会になった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の採用スケジュールの構築に役立てる。 ・他企業の話など、普段聞けないようなことも聞けたので良かった。 ・インターンシップ受入の企業側の今後の動向について興味があるため。 ・インターンシップ受入の参考になった。 ・インターンの具体的な計画をしている中、学生のアンケート等の情報が入った講話が為になった。 ・学生・大学・企業のそれぞれの視点からのインターンシップの活用の意義やメリット、ポイントについて知ることができた。 ・プロジェクトの概要を知ることができた。今後の選考とインターンシップのスケジュール感を得ることができた。15卒、16卒の就活スケジュールをふまえ、インターンシップ受入れの時期などが明確になった。ポルシェさんの発表が良かった。 ・採用が後ろ倒しになったので今後の対応に役立つと感じた。 ・今後学生にどのようなプログラムを組めば良いか参考になった。
<p>③あまり役に立たない (1)</p>	<p>2.5くらいです。インターンシップをどういう目的でやるのか？というニーズごとに分けて話してくれる構成にして頂けるともっと良い会になると思いました。（採用・企業イメージ・企業内活性化・入社前とのギャップの解消等）</p>
<p>④まったく役に立たない (0)</p>	

9. インターンシップ受入の際の悩みや知りたいことがありましたら教えてください。

- ・学生が望んでいる業務とマッチできないのではと思う。
- ・インターンシップの時期と当社の繁忙期が重なってしまった際、対応が難しくなってしまう。
- ・インターンシップを受入れる学生を厳選することができるのかどうか。時給などアルバイト代金みたいなものを渡すほうが有利なのか、優秀な学生はそこに興味はなくどんな仕事をやらせてもらえるかに興味をもっていいのか。具体的な話を聞きたかった。
- ・他企業の対応、インターンシップの受入れ時期など。
- ・ここ数年あまり興味のない学生がインターンシップ生として来ているように思います。「インターンシップに参加すること」が当たり前になってしまって、興味の有無に関わらず「参加すべきものだから」という理由で来ているようにも見えます。以前、当社はインターンシップ希望者が多いため（大変有難いことですが）、（学校側で）成績順で学生を絞っているというような話も聞きました（琉大ではないかもしれませんが）そうではなく、単に興味のある学生や当社の製品が好きな学生が来てくれたら、きっと学生も職員もお互いに楽しいのにな…と思います。興味の有無を測るのはとても難しいことですが…。何事にも受身で静かな学生が多いです。積極性や楽しむ気持ちを求めます。
- ・受入する時期、日数、人数を考え中である。
- ・実際に受入れ、対応する現場とその管理職クラスの負担感を減らす仕掛け。実際の取組みについて知りたい。（各企業での過去の実例）
- ・社内の人手不足の為、時間と人が少なく実施できる内容がでてこない。個人情報を取っているため、実際の業務を体験させることができない為、学生にとっては意味があるのか不明。
- ・インターンシップ生のマナーが悪いケースも見受けられる。マナーや臨み方への講習はどの程度なされているのでしょうか。
- ・実践型インターンシップをしたいが営業店の理解が得にくい。
- ・今後インターンシップ受入れに向けて、前向きに検討していきたいと思う。ただIT関連(特に開発)なので、短期では難しいと思うので、プログラムや期間に注意が必要なので相談していきたい。
- ・業務がオペレーションに特化していることから、インターン生にそのまま体験をさせることが難しいと考えている。
- ・20年近く実習生を受入れてきたが、社員のモチベーションの低下が悩み。
- ・受入れ企業としては、県内の学生だけでなく県外の学生も同時期に受け入れたいと考えているが、もう少しスケジュール等インターンシップの具体的な内容を教えていただきたい。
- ・現在、大学からのインターンシップは夏休みを利用して参加されるケースが主になっています。そのため、各大より1名ずつの受入しかできず、希望学生の人数に答えられていません。夏休みだけでなく、他の機会があればと思います。その面では専門学校の子の機会が多いと思います。
- ・インターンシップを希望する学生について、何日間くらいのインターンシップを望む学生が多いのですか？
- ・やはり現場の理解の取り方。ノウハウがわからない。
- ・学生がどの時期から集まるのか。
- ・いつ告知をすれば学生が集まってくれるのか。

10. 本説明会について、お気づきの点や改善すべき点などありましたら、具体的にご記入ください。

- ・県内の大手企業の先進事例などを聞きたい。
- ・沖縄県内の大学において、どの大学の何年生がどの職種にインターンシップとして参加希望しているのかのデータを資料として提示していただければさらに良かったと思いました。
- ・座席の配置など。スクール形式でなく、参加企業が意見交換などできるスタイルも検討してほしい。
- ・企業側の要望や望まれていること、インターンシップを取入れたことによる前後の動向などが垣間見れてとても良かったです。
- ・製造業者にもっと声をかけてほしい。

11. その他ご意見・ご感想などありましたら、お聞かせください。

- ・うりずんプロジェクトで県内の大学生の取りまとめ集約をしていただければ、学校側からの受入れと二重で行われなくてもよいのでは？
- ・スケジュールなど、具体的な日程や内容などを、できるだけ早めに情報提供していただければ助かります。
- ・今回は色々な話が聞けて大変参考になった。
- ・学生がどんなインターンを求めているのか、生の声が聞けるとよかったです、大変参考になりました。
- ・今回1社のみの経験談でしたが、他の企業の体験談や実施例も参考にしたい。
- ・少しでも多くの企業と学生の交流する機会を増やしていただけたらと思います。
- ・沢山の学生がインターンシップに参加し、受入企業も増え、職業観の育成が活性化すると良いと思っております。
- ・企業説明会申込企業一覧に、どんな目的・ニーズで今日参加しているのかがわかると、ただの挨拶だけではなく、互いの課題やニーズを共通のキーとして有意義な交流になると思いました。沖縄県の企業におけるインターンシップの状況について、感覚的にわかったことは良かったです。
- ・思っていた内容と少し違っていた。もっと学校の先生方と交流を持ちたい。

2015 春期インターンシップ
フェア

開催概要	
■ 概要	
事業名	産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業【テーマ B】インターンシップ等の取組拡大
資料内容	2015春期インターンシップフェア 開催概要
■ 内容詳細	
<p>主催 沖縄地域インターンシップ推進協議会 後援 内閣府沖縄総合事務局、沖縄県商工労働部雇用政策課 協力 琉球大学、名桜大学、沖縄大学、沖縄キリスト教学院大学・沖縄キリスト教短期大学、 沖縄国際大学、沖縄県立芸術大学、沖縄女子短期大学、沖縄県中小企業家同友会、 在沖米国商工会議所、(有)オーシャン・トゥエンティワン、(特非)沖縄人財クラスタ研究会、 (株)ルーツ、沖縄県大学就職指導研究協議会</p> <p>○期日/時間:平成 26 年 12 月6日(土)13:00～17:00 ○会場:琉球大学学生会館 3F 特別会議室 ○対象:学生1～4 年生、受入企業担当者、大学関係者、インターンシップ関連団体担当者 ○目的:うりずんプロジェクト「沖縄型」インターンシッププログラムの実施 ○ねらい:10月18日実施の学生向けプレセミナー、11月13日実施予定の企業向け説明会を受けて、希望学生と受入企業に対し、2015春期インターンシップ実施のマッチングの説明を行う。</p> <p>○実施内容/時間</p> <p>①インターンシッププログラムの説明(30分)13:00～13:30説明:インターンシップ・コーディネーター 川平敦 ・インターン開始までの選考スケジュールや事前研修、実施期間中、事後研修など基本的なプログラムの概要説明、沖縄地域インターンシップ推進協議会HPの設置と手続き紹介</p> <p>②講演「インターンシップ活用術」(仮)(45分)13:30～14:15 (特)沖縄人財クラスタ研究会 代表理事 白井旬様</p> <p>③学生によるインターンシップ経験談(15分×2名) 14:15～14:45 若山恵美(沖縄国際大学4年)、伊藤巧(琉球大学3年) ・期間、実施内容の異なるインターンシップ経験を語ってもらう。 <休憩15分></p> <p>④インターンシップ受入れ企業によるブース説明会(15分×6巡)15:00～16:30 参加企業は調整中</p> <p>⑤共有(アンケート、感想)・今後の流れ・大交流会(30分)16:30～17:00 ・アンケート、感想の回収 ・16:30に終了し、残り30分は交流時間とする。できるだけ交流を促すが、途中で帰る学生にも今後やり取りできる流れを作っておく。 ・学生、企業、大学関係者の垣根を越えて情報交換。⇒利害関係なく、本音を聞ける場として設ける。</p>	

平成26年11月13日

企業・インターンシップ関連団体等 各位

沖縄地域インターンシップ推進協議会
【琉球大学就職センター長】
会長 松本 剛

2015春期インターンシップフェアのご案内について（お知らせ）

拝啓 秋冷の候、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、平成26年度文部科学省「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業【テーマB】インターンシップ等の取組拡大」の補助金事業において、琉球大学を幹事校とする県内4大学（名桜大、沖縄大、沖縄キリスト教学院大、沖縄国際大）の「うりずんプロジェクト～「沖縄型」インターンシップの展開～」が採択されて、同プロジェクトの下、産学官連携の沖縄地域インターンシップ推進協議会が設置され、同事業がスタートしております。

ご承知のことと存じますが、大学の現3年次生の就職活動時期の変更に伴い、企業等の広報活動が平成27年3月1日以降に、採用選考活動が同年8月1日以降となり、学生が企業及び業界内容を知るために早期のインターンシップ実施の重要度が増してくるものと認識しております。

そのため、初年度行事として、県内学生（短大生含む。）を対象とした来年の春期インターンシップ実施に焦点をあて、インターンシップ希望学生と受入予定企業等とのマッチングを目的とした「**2015春期インターンシップフェア**」を下記のとおり開催致します。

なお、フェア当日は1部・2部形式で進め、2部では受入予定企業等のブースを設けて、参加学生に対し、各社のインターンシップ取組の説明ができるよう準備致します（合同企業説明会のブース形式）。

つきましては、ブースでの説明を希望する企業等がありましたら、平成26年11月25日（火）17時までに下記申込み先へご連絡下さるようお願い致します。

なお、会場の都合上、ブース枠が一定数に達しましたら締切日を待たずに終了とさせていただきますので予めご了承ください。

貴社・団体等におかれまして、今年度及び来年度にインターンシップ受入のご予定・ご希望がありましたら、趣旨をご理解いただき、ご担当者様の派遣をよろしくお願いいたします。

敬具

記

1 案内チラシ

平成26年12月6日（土） 2015春期インターンシップフェア

2 開催概要（参考資料）

- ・開催要項のとおり
- ・学生の就職・採用活動時期の変更について

3 問合せ・申込み先

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地

沖縄地域インターンシップ推進協議会事務局（琉球大学就職センター内）
インターンシップ・コーディネーター 川平敦・米澤晃子
電話 098-895-8981 FAX 098-895-8119
E-mail urizun@to.jim.u-ryukyu.ac.jp

MATCHING EVENT

出会う

聞ける

話せる

県内のさまざまな企業と出会い、
担当者からの興味深い話を聞く、
交流するイベント

うりずんプロジェクト 2015 春期 インターンシップフェア2015

2014
12/6 (土)
13:00~17:00

- 場 所 琉球大学 大学会館3階 特別会議室
 対 象 県内大学生1~4年次、企業担当者、
 大学関係者、インターンシップ関連団体
 内 容 ①インターンシッププログラムの説明
 ②講演「インターンシップ活用術」(仮)
 ③学生によるインターンシップ経験談
 ④インターンシップ受け入れ企業による
 ブース説明会
 ⑤交流会

参加企業一覧 (50音順)

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| (株) お菓子のポルシェ (卸・小売業) | ヒルトン沖縄北谷リゾート (飲食・宿泊業) |
| (株) 沖縄銀行 (金融・保険業) | 琉球インタラクティブ (株) (IT 関連) |
| 沖縄ホンダ (株) (卸・小売業) | (株) 琉球銀行 (金融・保険業) |
| (株) 沖縄メディコ (卸・小売業) | (株) りゅうせき (卸・小売業) |
| オリエンタルヒルズ沖縄 (飲食・宿泊業) | ※ほか数社出展予定 |
| カタリズム (株) (IT 関連) | |
| JICA 沖縄 (公務) | |
| 全保連 (株) (その他) | |
| (有) タイド (サービス業) | |
| 大同火災海上保険 (株) (金融・保険業) | |

追加企業情報は琉球大学
就職センターの Web を
Check !!

こちらからも
リンクできます
⇒



申込み方法

学生は大学名・学年・氏名・Tel を、その他の方は
ご所属・氏名・Tel を、右記のメールアドレス
まで送信してください。事務局より返信します。
※Fax でも申込みできます。(裏面をご利用ください)

お問い合わせ・申込み

沖縄地域インターンシップ推進協議会事務局
(琉球大学就職センター内) 電話 098-895-8981
メール urizun@to.jim.u-ryukyu.ac.jp



↑
こちらからもリンクできます

主催：沖縄地域インターンシップ推進協議会
 後援：内閣府沖縄総合事務局（予定）、沖縄県商工労働部雇用政策課
 協力：琉球大学、名桜大学、沖縄大学、沖縄キリスト教学院大学・沖縄キリスト教短期大学、沖縄国際大学、
 沖縄県立芸術大学、沖縄女子短期大学、沖縄県中小企業家同友会、在沖米国商工会議所、(有)オーシャン・
 トゥエンティワン、(特非)沖縄人材クラスタ研究会、(株)ルーツ、沖縄県大学就職指導研究協議会（調整
 中含む）

＝うりずんプロジェクト＝
2015春期インターンシップ・フェアを開催

文部科学省補助金事業「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業【テーマB】インターンシップ等の取組拡大」において採択されたうりずんプロジェクト〔正式名称「うりずんプロジェクト～「沖縄型」インターンシップの展開～〕幹事校は琉球大学、連携校は名桜大学、沖縄大学、沖縄キリスト教学院大学、沖縄国際大学〕では、平成26年8月1日に沖縄地域インターンシップ推進協議会を設置し、事業をスタートした。

初年度事業として、沖縄地域インターンシップ推進協議会主催「**2015春期インターンシップ・フェア**」を平成26年12月6日（土）13：00～17：00まで、琉球大学大学会館3階の特別会議室（大ホール）で開催し、学生99名と企業等、インターンシップ支援団体、行政機関及び大学の関係者80名で、合計179名が参加した。

同フェアは、来年春期インターンシップ実施に向けて、希望する学生と受入企業のマッチングのために企画したもの。

プログラム内容は、次のとおり。

①インターンシップの説明等

琉球大学就職センター コーディネーター川平敦氏

②講演「学生と企業のインターンシップ活用術」

特定非営利活動法人 沖縄人財クラスタ研究会 代表理事 白井旬氏

③学生によるインターンシップ経験談

沖縄国際大学4年次 若山恵美さん（長期インターンシップ経験）

琉球大学3年次 伊藤 巧君（社長弟子入りツアー経験）

＜休憩時間＞

④インターンシップ受入企業によるブース説明会（15分×5巡）

（参加企業22社）

⑤大交流会

（アンケート記入・情報交換）

川平コーディネーターからは、春期インターンシップ開始までの流れの説明で、(1)インターンシップフェア終了後に、うりずん事務局へのエントリー方法とマッチング作業、(2)インターンシップの保険加入手続きなど書類提出、(3)事前研修の開催、(4)インターンシップ実施、(5)事後研修の開催、(6)シンポジウム開催、などの説明があった。

講演では白井氏から「勉強と学習は違う。学習は行動を変化させることであり、G-PDCAサイクルでは、目的や目標などのGoalが明確でないとPDCAサイクルを回しても効果が薄い。インターンシップの目的を持って自身で行動することが大事」との話があった。

学生によるインターンシップ経験談では、若山恵美さんは「長期インターンシップの受入企業では、就職活動イベントの企画を担当した。苦労を重ねながら多くの人のニーズを聞くことにより、学生や企業担当者が普段着で本音を語るができるように『カジュアル合同企業説明会』を企画して、延べ200名の参加実績を作ることができた。また、この経験を活かして、同業種の県外企業に内定を得ることができた。」と長期インターンシップのメリットを語った。

また、伊藤巧君は、「今まで、アルバイトの経験もなく、“自身の働くイメージ”を持つことも

なかったが、講義の中で、東京中小企業家同友会主催の社長弟子入りツアー（社長のカバン持ち就業体験）を知り、応募する機会を得た。お金もなかったことから、旅費・宿泊費は東京中小企業家同友会負担ということが応募した動機であった。4日間で2社の社長に付いて東京の中小企業のインターンシップを経験し、その中で自分のコミュニケーション能力の欠点や課題が客観的に見えてきた。このインターンシップを経験したことで、企業広報やパンフレットでは知ることができない中小企業のイメージや社風、社長が社員を大事にしていることが実感でき、このような会社に就職したいとの就職意識がついた。」と自身の成長を語った。

休憩を挟んで、第2部では、22社・団体のブース説明会が行われ、各担当者の説明に学生が熱心に聞き入っていた。

参加学生アンケートでは、「自分に自信がなくても行くべき！と思うようになった」、「最初はただ企業の説明会に参加できればと思っていましたが、実際にインターンシップに行き、自分の見聞を広めたいと思いました」、「夏休みの時期にインターンシップに行っていなくて焦っていたが、このイベントがあって良かった」、「今まで視野になかった分野に興味を持てた」、「実際に企業のブースに足を運んでみると、会社の人の雰囲気を感じ、良いと思う企業もあったし、そうでない企業もあった」と概ね好評であった。

受入企業アンケートでは、本日のイベントは「非常に役に立つ」と「役に立つ」との回答が多く、その理由として「学生の求めることが多く聞けた」、「学生の就活に対する意識を伺い知ることができた」、「企業イメージを発信することができた」、「学生との交流は合説とは全く違う感覚で新しかった」と好評であった。

以上

参加学生内訳

学校名	1年次	2年次	3年次	4年次	院1年	合計
琉球大学	5	13	54	3	6	81
沖縄国際大学	0	0	10	2	0	12
沖縄大学	1	0	2	0	0	3
名桜大学	0	1	1	0	0	2
沖縄キリスト教学院大学	1	0	0	0	0	1
合計	7	14	67	5	6	99

参加企業等内訳

企業等名	団体数(社)	参加者(人)
企業等(ブース含む)	28	51
行政機関	3	4
大学関係	6	19
経済団体	1	1
JASSO	1	5
合計	39	80

第1部 インターンシップフェアの開会（司会 松本就職センター長）



（特非）沖縄人財クラスタ研究会 代表理事 白井氏の講演



学生によるインターンシップ経験談（琉球大 伊藤巧君）



受入企業によるブース説明会の模様 1



受入企業によるブース説明会の模様 2



受入企業によるブース説明会の模様 3



うりずんプロジェクト 2015 春期インターンシップフェア

学生アンケート (集計)

本日はご参加いただき誠にありがとうございます！

今後よりよいイベントにするために、皆さんの満足度やご意見・ご感想(裏面)をお聞かせください。(1～11までは、数字に丸をつけてください。)

有効回答 85

1. 大学名、学年を教えてください。(○をつけてください)

名桜大学 (2) ・ 沖縄大学 (4) ・ 沖縄キリスト教学院大学 ・ 沖縄キリスト教短期大学 (1)
沖縄国際大学 (8) ・ 沖縄県立芸術大学 ・ 沖縄女子短期大学 ・ 琉球大学 (71)

※差し支えなければ、教えてください。

年次		学部等	
----	--	-----	--

2. 本日のインターンシップフェアはいかがでしたか？

①とても満足 (49) ②まあまあ満足 (33) ③あまり満足ではない (3) ④満足ではない (0)

3. インターンシッププログラムの説明はいかがでしたか？

①とても満足 (48) ②まあまあ満足 (36) ③あまり満足ではない (1) ④満足ではない (0)

4. 講演はいかがでしたか？

①とても満足 (47) ②まあまあ満足 (34) ③あまり満足ではない (3) ④満足ではない (1)

5. 学生によるインターンシップ経験談はいかがでしたか？

①とても満足 (26) ②まあまあ満足 (42) ③あまり満足ではない (13) ④満足ではない (2)

6. ブース説明会はいかがでしたか？

①とても満足 (54) ②まあまあ満足 (28) ③あまり満足ではない (2) ④満足ではない (0)

7. 学生スタッフの対応はいかがでしたか？

①とても良かった (59) ②まあまあ良かった (22) ③あまり良くなかった (3) ④良くなかった (1)

8. うりずんプロジェクトの春期インターンシップに参加したいと思いますか？

①とても思う (60) ②まあまあ思う (23) ③あまり思わない (2) ④まったく思わない (0)

9. インターンシップを希望する企業・団体等ありましたか？

①とても思う (48) ②まあまあ思う (36) ③あまり思わない (1) ④まったく思わない (0)

(裏面もあります)

10. 本イベントを知ったきっかけを1つ選んでください。

- ① インターンシップ経験者から紹介 (2)
- ② その他の友人から紹介 (12)
- ③ 大学の先生や職員から紹介 (10)
- ④ 大学の講義で聞いて (11)
- ⑤ 大学でチラシ・ポスターなどを見て (33)
- ⑥ 大学のホームページを見て (8)
- ⑦ フェイスブックで見て (4)
- ⑧ 沖縄地域インターンシップ推進協議会のホームページを見て (0)
- ⑨ その他 (2) ⇒プレセミナーにて

11. 本イベントに参加した目的は何ですか。(複数回答可)

- ① インターンシップに興味があった (57)
- ② うりずんプロジェクトのプログラムに興味があった (3)
- ③ 講演内容に興味があった (8)
- ④ 学生によるインターンシップ経験談に興味があった (7)
- ⑤ 企業等のブース説明会に興味があった (26)
- ⑥ 春期のインターンシップ参加を決めているから (13)
- ⑦ 話を聞きたい企業等の参加があったから (12)
- ⑧ その他 (2)

12. 今日、心に残った言葉やフレーズを教えてください。

“人への想いを考える”／インターンシップに参加することを目標としない。／目的を持つこと／勉強と学習は違う、後付けの性格／インターンは早いうちから取り組んだほうが良い／目標の先に目的がある／目配り気配り心配り(2)／作業と仕事の違い／チャレンジすること、“できる・できない”ではない。／Can⇒Do⇒Be、成長動機／自分の性格は変わる！／成長することは変わる事／偶発的な出会い、スタートラインは皆同じ／今やるべきことはコミュニケーション能力を培うということ。／自分の直感を信じる。／「できる」「できない」を自らで決めつけない。／自分が成長するとは、良い仕事とは何か。／目的と目標は違うということ。／挑戦することは大事だと思った。／どの企業に対しても、目的を明確にしなければならぬということ。／その土地の輝いている人を見るのが観光／「就職＝恋愛」(2)／勉強と学習は違う。／お客様は私たちの先生(沖縄ホンダ)／目的意識を強く持つ。／長期インターンシップ体験者の「自分だけの目線ではなく、相手が求めていることを聞く」／“エンジニア 30 代まで説”はウソ！／様々な企業を見て実際に話すことが大事。／計画された偶発性理論／体験ではなく経験！企業に恋をして告白する(就活のイメージ)

13. 本イベントに参加して、考え方や価値観に変化があれば教えてください。

誰かの為に働いている！と感じることができました。／インターンシップへの意識／何か目的を持って会社に入ること／インターンシップはどの学年も受けることができるのですね！／自分の将来について真剣に考えようと思った／自分に自信がなくても行くべき！と思うようになった！／社会人の生の声を聞いて、仕事の表面のことではなく、中身のところも聞いて良かったです。／作業ではなく、仕事を行うように心がけようと思いました。／インターンへ積極的に参加したいと思った。／まずは一つずつ克服していき、大きくするという。／企業のイメージが大きく変わった。／仕事することはキツイものだと思っていたが、話を聞いていると楽しそうな感じがしていた。／就職について自分の考えを持った学生が周りにたくさんいて、自分の働くことへの考えが浅いことに気づかされ、就活に向けて自分のことを理解し、もっと変えていかなければならないと感じました。／最初は、ただ企業の説明会に参加できればと思っていましたが、実際にインターンシップに行き、自分の見聞を広めたいと思いました。／挑戦しようと思いました。／自分が今、何をすべきか考えるようになりました。／色々なスタイルのインターンシップがあって面白かった。／もっと社会人と関わってみたいと思った。／積極的に行動して行こうと思った。／もっと積極的に行動していきたいと思いました。／今まで視野になかった分野に興味を持てて良かった。／目的を持ってインターンに参加する。／企業の方と近い距離で離れたので、とても良かったです。またの開催を希望します。／多くの企業の説明を聞いて、それぞれとても魅力的だなと思った反面、逆のことも知りたいと思った。／社会人の方って明るい方が結構いるのだと思いました。／会社ごとにまったく雰囲気が違っていたので、インターンの際は、社員さんの雰囲気を見ていきたい(それで会社の色となってくると思うので)。

14. その他ご意見・ご感想などありましたら、お聞かせください。

とてもいい勉強になりました！このことを学習へと変えます！ありがとうございました。／県庁でのインターンシップの情報についても知りたい。／(ブース説明の)時間が少なく、もっと話を伺えたらなと思いました。／県外バージョンもあって欲しい。／ブース説明会をもっと長めても良かった。／このような会で普段は体験することができない、働く大人の話を聞いたりすることができて、参加してよかったです。／スーツ禁止にして良いと思います。／もっと国際的な企業があればいいなと思いました。ホテルではなく、JICAのような法人会社。／強く就職したいと思う、就職先に出会えた気がします。／夏休みの時期に行っていない焦っていたが、このイベントがあって良かった。／実際に企業のブースに足を運んでみることで、会社の人々の雰囲気を肌で感じ、良いと思う企業もあったし、そうでない企業もあった。／もう少し会社ブースを回れる時間があると良かったと思います。／大変良かったです。／とても素晴らしいプログラムだと感じた。もっと企業と関われる機会があればと思った。／もっと話を聞きたいと思った。今日、名刺交換をできたので今後連絡を取れたらと思う。

平成26年12月6日

うりずんプロジェクト 2015 春期インターンシップフェア
企業・団体等アンケート (集計)

有効回答 17

本日はご参加いただき誠にありがとうございます。今後よりよいイベントにするために、皆様の満足度やご意見・ご感想(裏面)をお聞かせください。(1～10までは丸をつけてください。)

1. ご所属 (○をつけてください)

- ①受入企業・団体等(15) ②企業・団体等(受入検討中)(0) ③インターンシップ支援団体
④人材育成系企業(0) ⑤行政関係者(1) ⑥大学関係者(0)
⑦その他(1) (就職支援団体)

2. 本日のインターンシップフェアはいかがでしたか?

- ①十分満足した(6) ②概ね満足した(10) ③あまり満足できなかった(1) ④満足できなかった(0)

3. インターンシッププログラムの説明はいかがでしたか?

- ①十分満足した(6) ②概ね満足した(11) ③あまり満足できなかった(0) ④満足できなかった(0)

4. 講演はいかがでしたか?

- ①十分満足した(6) ②概ね満足した(10) ③あまり満足できなかった(1) ④満足できなかった(0)

5. 学生によるインターンシップ経験談はいかがでしたか?

- ①十分満足した(5) ②概ね満足した(11) ③あまり満足できなかった(0) ④満足できなかった(0)

6. ブース説明会はいかがでしたか?

- ①十分満足した(4) ②概ね満足した(10) ③あまり満足できなかった(0) ④満足できなかった(0)

7. 学生スタッフの対応はいかがでしたか?

- ①とても良かった(12) ②概ね良かった(4) ③あまり良くなかった(0) ④良くなかった(0)

8. 本イベントを知ったきっかけを1つ選んでください。

- ①大学からの案内(6) ⑤大学のホームページを見て(0)
②大学教員や職員からの紹介(5) ⑥沖縄地域インターンシップ推進協議会の
③チラシ・ポスター(1) ホームページを見て(0)
④企業向け説明会に参加した(4) ⑦その他(1) (人事より話を聞いて)

9. 本イベントに参加した目的は何ですか。(複数回答可)

- ①春期インターンシップ受入企業のため、学生の確保(11)
②春期インターンシップ受入を検討中のため情報収集(2)
③「うりずんプロジェクト」インターンシッププログラムの説明に興味があった(4)
④講演内容に興味があった(1)
⑤学生によるインターンシップ経験談に興味があった(0)
⑥その他(0) ()

(裏面につづきます)

10. 本日のイベントは今後役に立つ内容でしたか。

①非常に役立つ(10)

②役立つ(6)

③あまり役に立たない(0)

④まったく役に立たない(0)

その理由をご記入ください

学生の就活に対する意識を伺い知ることができました。／学生の素直な意見が聞けた。／多くの学生さんにお越し頂き、インターンについて話すことができたため／学生のインターンシップ体験談が2人とも非常に良かった。／学生の求めることが多く聞けた。／今回初めて中期インターンの受入をするので経験談の話はとても役立った。／思っていた以上に学生が来てくれていたこと。学生との交流。合説とは全く違う感覚で新しかったです。／うりずんプロジェクトの全体像を理解する良い機会であった。／企業イメージを発信できたこと。

11. インターンシップ受入の際の悩みや知りたいことがありましたら教えてください。

学生の動向を探りたいため、またどのように動いてよいか分からない／沖縄の学生の”仕事”や”知識”、“大学卒業後の生き方”についての考え方が浅すぎて、採用・受入をしたいと思う学生が少なかった(15名中2~3名)／教育パターンがマンネリしてしまう。インターンシップを受けることが目的になってしまう。／学生の本音を聞き出すことができるか不安。／(受入)人数がオーバーの際、選考へ参加いたしたい。

12. 本イベントについて、お気づきの点や改善すべき点などありましたら、具体的にご記入ください。

企業側の待機時間が長い／“仕事は難しい”社会人として”スタートライン”に立つ上で、立つ前に準備しておくべきこと、をしっかりと話をする場を設けたい。ブースに来た学生は目をキラキラして帰っていきました。講演は堅い話よりも熱い話が良いと思う。／企業の説明会の時間配分。15分の後、5分休憩など、明確な時間が分かれば助かる⇒時計を見ながらプレゼンしているため。

13. その他ご意見・ご感想などありましたら、お聞かせください。

本日は本当にありがとうございました。／僕も頑張りますので、是非、インターンを通して成長する学生を増やして下さい。ありがとうございました。／本日はありがとうございました。／23人の着席があり、非常に盛況であった。(全保連)

ご協力ありがとうございました！

 **うりずんプロジェクト**
沖縄地域インターンシップ推進協議会

2015 春期インターンシップ
事前研修

○うりずんプロジェクト 2015 春期インターンシップ事前研修スケジュール

【事前研修】

【うりずんプロジェクトインターンシップフェア 2015 説明資料】

導入講義	インターンシップとは何かを理解するとともに、研修参加にあたっての目的意識の再確認を行う。
ビジネスマナー研修 (実技)	ビジネス文書の基本/文書の書き方/FAXとEメールの活用/電話対応の基本/ケーススタディ(電話対応編)/総まとめ
ビジネスマインド研修	企業研究/一組織人としての基本的な心構え/インターンシップの心構え/仕事の進め方/マナーの果たす役割/コミュニケーションは第1印象から/話し方と聞き方/ケーススタディ
グループワーク	同業種の研修先ごとのグループに分かれ、発表や議論を通じ、グループワークの基本を学ぶ。事前研修で学んできた内容を、どのように生かすべきかの総括も実施。
グループワーク+ 事前研修総括発表	グループワークによる成果発表+総括

Day 1 (2015/2/11 (水)) 琉球大学 大学会館 3階特別会議室

時間	題目	内容
9:00 ~ 10:00	ガイダンス、参加者の自己 紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・本日の内容確認 ・事前評価シート記入 ・自己紹介
10:00 ~ 12:00	意識付け	<ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップの意味 ・インターン先で学生に求められるもの ・“社会性”を身に付ける
12:00 ~ 13:00	お昼休み	
13:00 ~ 15:00	マナー講座①	<ul style="list-style-type: none"> ・身だしなみ、挨拶、返事、態度 ・文章の書き方、話し方、指示の受け方、メモの取り方、電話のかけ方、受け方、ハウレンソウ(報告連絡相談)、質問のタイミングと仕方、内部情報の取り扱い
15:00 ~ 17:00	目標設定ワークショップ①	<ul style="list-style-type: none"> ・インターン受け入れ先企業(業界)の研究 ・ポスターセッション ・グループ共有 ・発表
17:00 ~ 17:30	まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・日報の作成(本日学んだこと、気づいた点、反省点、明日の目標設定)

Day 2 (2015/2/12 (木)) 琉球大学 大学会館 3階特別会議室

時間	題目	内容
9:00 ~ 9:30	オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・本日の内容確認
9:30 ~ 12:00	先輩の体験からの学習	<ul style="list-style-type: none"> ・体験談の意味 ・体験談を聞くにあたっての留意点 ・事例研究①「失敗」から学ぶ ・事例研究②「ほめられたこと」から学ぶ ・事例研究③「困ったこと」から学ぶ ・まとめ
12:00 ~ 13:00	お昼休み	

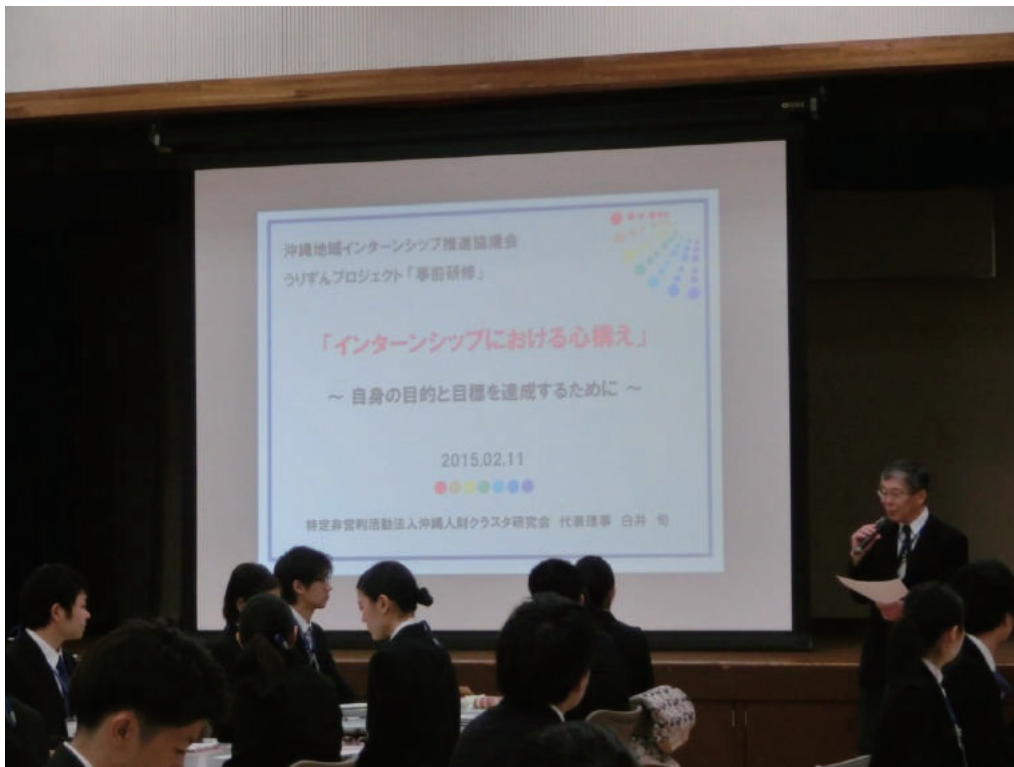
13:00 ~ 15:00	マナー講座②	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶を工夫する、会話の間は相手に視線を向ける、適切な相づち、呼ばれたらすぐに立つ ・積極性のアピール
15:00~ 17:00	目標設定ワークショップ②	<ul style="list-style-type: none"> ・宣言タイム ・企業+インターン生の共有&個別相談タイム ・宣言(1名1分+1社1分)
17:00 ~ 17:30	まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・日報の作成(本日学んだこと、気づいた点、反省点、今後の目標設定)

＝うりずんプロジェクト＝
2015春期インターシップ事前研修会（学生67名）の実施状況

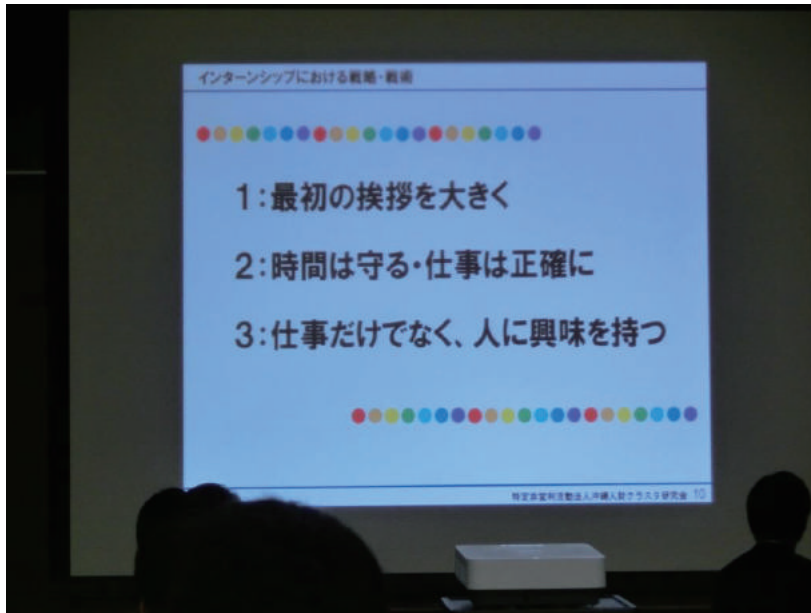
1日目：平成27年2月11日（水）9：00～17：00 琉球大学 大学会館3階 特別会議室



ガイダンス説明、自己紹介



(インターンシップの心構えを真剣に聞く学生)



(特非) 沖縄人財クラスター研究会 白井氏の講義 (意識付け)



敢えてレジメ無し講義でメモ取り訓練



午後からマナー講座（宇久田講師による名刺交換時のマナー実演）



マナー講座（あいさつ時の動作）



マナー講座の後は、目標設定ワークショップ
インターンシップ受入企業（業界）の研究（業種ごとのグループに分かれて）



グループ単位で全体発表を行う。

2015 春期インターンシップ
実習

うりずんプロジェクト2015春期インターンシップ企業・団体一覧

企業No.	企業名	所在地	期間(予定)	受入人数	インターンシップ型	インターンシップのテーマ	独自書類
1	株式会社お菓子のポルシェ	読谷村	1ヶ月	1名	実践型	未来に繋がる経験をバックアップ	なし
2	株式会社沖縄教育出版	那覇市	3日、1～2週間	2～3名	実践型	「自ら考え、自ら楽しみ、自ら行動」	なし
3	株式会社沖縄銀行	那覇市	2/24～2/25、 3/4～3/5	15名×2	研修型+テーマ研究型	銀行におけるCS研究	なし
4	特定非営利活動法人沖縄人財ク ラスタ研究会	那覇市	3日間～28日間	8名	職場体験型+かばん持 ち型+テーマ研究型	「ひとり」の仕組みと仕掛けの体験 お よび「社会が求める人材」を体感	なし
5	沖縄ホンダ株式会社	沖縄全島	3日間	10名程度	職場体験型	「営業職」お客様との関わりを体験	なし
6	株式会社沖縄メディコ	那覇市	1～2週間	3名	職場体験型+ かばん持ち型	成長	なし
7	株式会社オリエンタルリゾートアソシエイツ オリエンタルヒルズ沖縄	恩納村	3日、1～2週間、 1ヶ月、数ヶ月	2名	研修型+職場体験型 実践型	ビジネスマナーとサービス、ホスピタリティ	なし
8	有限会社オーシャントウエンティ ワン	那覇市	1ヶ月	30名	実践型	課題解決型インターンシップ	なし
9	カタリズム株式会社	宜野湾市	数ヶ月	3名	実践型	アクティビティの予約サイト「あそ びゅー！」を通じて沖縄を盛り上げよう！	なし
10	独立行政法人国際協力機構 (JICA) 沖縄国際センター	浦添市	2/16～2/20	2名	研修型+職場体験型 +テーマ研究型	途上国とJICA業務を理解・補佐する	各人実習同意書
11	全保連株式会社	那覇市	3日間	8名	研修型+職場体験型	就職活動に向けて身に付けておきたいこ と	誓約書
12	大同火災海上保険株式会社	那覇市	2/16～2/23(土 日を除く6日間)	8名	研修型+職場体験型 +かばん持ち型	損害保険業の営業現場と損害サービス (事故対応)現場を体験する	なし
13	有限会社タイト	読谷村	2週間～1ヶ月	2～5名	職場体験型	「笑顔を「産む」事業」体験	機密保持誓約書
14	北谷ホテルアンドリゾート株式会社 ヒルトン沖縄北谷リゾート	北谷町	1ヶ月	4名	職場体験型	グローバルホテルのホテル現場を実体験	誓約書、通勤 報告書
15	前田産業ホテルズ(株式会社前 田産業)	本部町・ 名護市	1～2週間、1ヶ月	2～4名	研修型+職場体験型	一人ひとりがホテルの顔となり、「ちむぐく る」でのおもてなしを目指して	なし
16	琉球インタラクティブ株式会社	宜野湾市	1～2週間、1ヶ 月、数ヶ月	5名	職場体験型	「実際のWEB製作現場を体感してみよう」 (職場体験型インターンシップ)	機密保持誓約書
17	株式会社琉球銀行	那覇市	2/23～2/27	30名	研修型+職場体験型	実践！琉球銀行の金融サービス(あなた の考える「選ばれる銀行とは?」)	守秘義務・個人 情報保護書類 ※3年、修士1年のみ
18	株式会社りゆうせき	那覇市	3日、1～2週間	1～2名	職場体験型	職業観、社会観をインターンシップを通し て感じてもらう/多角経営をしている当社 グループの事業内容を知ってもらう	機密保持誓約書
19	株式会社ルーツ	浦添市	6ヶ月	3～5名	実践型	「デザインディレクション(進行管理)or企 画立案or地域振興コーディネーター」	エントリーシ ート
20	オリックス・ビジネスセンター沖縄 株式会社	那覇市	3日、1～2週間	3名	研修型+職場体験型	オリックス・ビジネスサービスセンター沖 縄って何をしている会社だろう？	なし
21	株式会社沖縄タイムス社	那覇市	7～14日間	4	職場体験型+実践型	タイムス主催イベントの運営、電子新聞開 連業務	守秘義務
22	American Engineering Cporation	Ginowan- city	10 working days	2	Job experience	Provide opportunities to communicate in English in various business settings	なし
23	Asia Logistics Partners	Chatan- cho	14days	2	Job experience/Job Shadowing/problem- based learning	Business level English capability in speaking, writing, listening and reading.	なし
24	DoubleTree by Hilton Naha	Naha-shi	14days		Job experience	世界中からのお客様に最高のおもてなし を(レストラン朝食サービス)	なし
25	株式会社テラ・ウェブクリエ イト	浦添市	3～5日間	2～3名	職場体験型	システムエンジニアもしくは営業 と一緒に働こう！	なし
26	株式会社シーサー	那覇市	1カ月	2名	職場体験型・かばん持ち型	人と海と自然を繋ぐ 職場体験	なし

① インターンシップの志望動機

- 同業他社の差別化をはかるため。また、担当者の人柄や、現場の雰囲気を実際に自分で体験して、イメージをつくる。そして、就職活動に繋げるため。
- 一年後の就職活動への不安、将来のビジョンを明確にするため、大学生活に変化を起こして自分自身を成長させたかったから。
- ☆今までこれといった就職活動をしていなくて焦っていたから。「就職活動って何をすればいいんだろう？」というのを考えていたが、実際にはアクションすら起こしていなかった。そして、考えるよりはまず行動しようと思い1歩足を踏み込んで参加した。
- 社員の方達と一緒に仕事を体験させてもらうという事で、働く事の厳しさや楽しさを体感し、日々の営業スタッフの仕事内容を知りたかったから。また、この経験が自分の成長、自信になると感じたから。
- 企業とはどのようなものかを自分の目で確認したかったから。また、やりたいことが本当に企業とマッチングしているのかを確認したかったから。インターンシップを通じて新しい発見や自己成長にもなり、経験ができると思った。
- 営業マンがどのような立ち回りや、考えを行っているか、その方々の人生観まで知ることができればと思って参加した。
- ☆就職活動をする上で「就職軸」を作りたいと考えインターンシップを志望した。その中でも銀行業界に興味を抱いたのは、金銭面で銀行に相談しに母といった際、親身になって話を聞いてくれたことがきっかけだった。そこで実際に銀行がどのような業務内容なのか、どんな人が働いているのか知りたく、内定者の話を実際に聞いた中から、学生に真剣に向き合ってくれるということで興味を抱いた。
- ☆まずインターンシップを通して社会人と学生とのギャップを明確にし、できるだけそのギャップを埋められるように努力するという事が挙げられる。2つ目に、業界として、気になっていた金融という分野をもっと詳しく知る事。3つ目にこれからの就職活動に向けて私自身を成長させるための手段としてインターンシップという取り組みは最適なものだと感じたということが挙げられる。
- ☆1つ目は社会人として働くということに対するイメージを明確にできると考えたから。どのような業務があり、社員一人一人が仕事とどう向き合っているのか実際に業務を経験しながら学べると思った。2つ目は社内の雰囲気を知ることができると考えたから。企業が学生を採用するときに試験結果やエントリーシートだけで判断せず面接を通してから判断するように、ホームページの文章だけで判断せずに業務を経験しながら社員と接することで会社の雰囲気が見えてくるのではと考えた。3つ目は意識を向上させることができると考えたから。共に参加する学生と切磋琢磨することで刺激を受け、意識の向上につながると思い志望した。
- 社会人になるまでに何が必要で、今の自分に足りないものは何かを見つけたいと思い参加志望した。また、サービスを提供する側にならないとわからないことをこの機会に体験できたらと思った。現在、勉強している分野との繋がりもインターンシップを通して見ることができればと思い参加した。
- ☆院に行かず就職すると決めたものの、就職センター主催のセミナーに参加だけはしている状態だった。それでも何をしたらいいのか分からず、実際に働いている自身が想像できず、果たして就職できるのだろうかと不安に駆られていた。また就活スタート時期が後ろ倒しになり、その間で働くことを学びつつ自信がつく何かをしたいなとインターンシップをすることにした。一口にインターンシップといっても多種多様であり、自分が受けたいと思えるようなインターンシップに参加できるかも分からない中で参加した。実際説明会に参加してみて、インターンシップに参加してみたい企業様があったため、インターンシップに参加した。

○積極的に人に話しかけることのできる性格ではないため、インターンシップに参加し改善したいと思ったから。

☆受け入れ先企業の担当者から見た自分を知りたいと強く思ったからです。自己評価と他己評価の違いを見つけこれからの就職活動に活かしたいと思ったから。他にも会社の雰囲気を知る、業界を知る等、視野を広げるために志望した。

○3月に解禁する就職活動に向けて、業界研究で企業について調べたがやはり本やインターネットだけでは自分がそこで働くイメージが想像つかなかった。インターンシップを通して企業がどのような業務をしているのか、働く人々の雰囲気を知りたいと思ったので応募した。

②インターンシップを通して学んだこと、考えたこと、疑問点など

☆様々な人とのコミュニケーション。また大事にしようと思ったことは、挨拶である。「挨拶」は「ひらく・せまる」という意味があり、最初に人と距離を縮めるのは挨拶だという話を聞いた。私は、挨拶にそんな意味があることを初めて知った。今まではただ何も考えず挨拶をしていたので、これからは心を込めて挨拶をしていきたい。

☆何事も「分かったつもりになっている」ということ。1 日目に行った面接時の自分自身の姿をビデオに撮って見ると、イメージしていたよりも遥かに悪い、出来ていない私の姿に気づかされた。さらに最終日のグループ討議では、最初に出した答えをもう 1 度新しい発見をするために深く考えるということが出来なかった。これは普段から物事に対して深く考えていないことを実感させられた。1 度出した答えには疑問や疑うことが、より物事に対して深く考えられ良い答えに導くことを学べた。社会人には必須である「協調性」の部分においても、発言力の無さや時間配分の悪さなど私に足りない部分にたくさん気づかされたので、本番までには少しでも成長しているよう日々の意識を高くもっていきたいと思った。

☆このインターンシップに参加し、もっと早く参加していればよかったと実感した。企業の内部を知ることができそれを自分で吸収できるのは、人の話を聞くのはもちろん、もっと効果的なのは自ら経験すること。自分自身で足を踏み出しそれを肌で感じてそこから何かを得ると思った。今回のインターンシップでは自分が思っている以上のことを得ることができた。しかしそれは満足したものではなく今残っているのは悔しさ。もっともっと積極的に参加していれば吸収できたものの大きさは相当変わっていたと思います。インターンシップの最終日に今後の目標を発表しました。私は「積極的になる」と宣言したので、またこの悔しい思いをしないように就職活動を始め様々なことに積極的になります。体験から得た気づきを今後の行動に活かします。

○今回のインターンシップで一番感じたことは、自分自身の甘さでした。社員の方と同行させて頂く機会が多かったので、その間に男性、女性を問わず社会人としてのお話を聞くことができ、学生と社会人のギャップを知ることが出来ました。「近頃の学生は苦労経験がないに等しい」、という言葉や、「営業を行う上では自らオンとオフを使い分けなければいけない」等、生の声をこれでもかと聞くことができ、表面上だけでは理解できないことを、多く学ばせて頂きました。また、己自身に足りないところは何かということもはっきりと分かり、今後の課題を改めて突き付けられたこともありました。

☆今までの私は失敗を恐れて挑戦することや行動を起こすことをためらっていました。就活等のセミナーやインターンシップの事前研修等でも質疑応答や発表があっても「うまく喋れなかったらどうしよう」「こんな質問をしても良いのかな」と考えてしまい、手を挙げられないこと多くありました。しかしインターンシップでは、自分たちで金融機関訪問をしたり、発表の準備・本番を通して、自分から積極的に行動しないことには何も学びを得られないのだと感じました。また、人事部の方々がおっしゃっていた「積極性が大事だよ。失敗が一番の経験なんだから」という言葉に背中を押され、インターンシップ中で自分の殻を破るきっかけを沢山与えて頂きました。

○私は今回のインターンシップを通して大きく3つの事を学ぶことができました。まず1つ目はビジネスマナーが知識だけで全く身に付いていなかったことです。大学のキャリア教育科目の講義やうりずんプロジェクトの事前研修などで学び練習もしてきたためある程度身についている自信がありました。しかしインターンシップの中で自分の自

己紹介を相手目線から見てみようというプログラムがあり、実際に自分の姿を見てみると歩き方がぎこちなかったり手が伸びていなかったり、お辞儀の際に首が曲がっていたりなど出来ていると思っいることが全く出来ていないことに気づかされました。2つ目は伝えたいことを簡潔にまとめて相手に分かりやすく伝えることの難しさです。これはペアの方の自己紹介をしようというプログラムで学びました。自分の自己紹介ならまだしもその日初めてあった方の特徴を簡潔にかつ分かりやすく紹介しなければならなかったため、すごく難しいと感じました。実際私は簡潔にまとめることができず、長々しく紹介してしまったためペアの方をうまく紹介することができませんでした。3つ目は答えのない課題をグループで討論し結論付けることの難しさです。これはグループ討議で学びました。それぞれの意見や考えがありそれらをまとめなければならず、役割分担なども決めて取り組みましたが結果はあまり理想とするようなものができませんでした。これが常に新しい事業への展開や課題の解決案の提案などの際に必要な能力であり、社会人として働くには不可欠な能力だと教わることができました。以上3点が最も大きな学びになりました。

○ビジネスマナー講話の中で挨拶の仕方について学べたことと適性検査を通して自身の内面性に向き合えたことも、自分の能力を見直す上での貴重な体験になりました。お辞儀の角度と深さが十分でないこと等の自分が注意しなければならない点を今のうちに知ることができたので、目標と位置付けて1つ1つをしっかりとこなしていけるようにしたいです。最終日のグループワークも印象に残ったカリキュラムです。答えのない問題に対する複数の意見をまとめる難しさを実感でき、またその時にどのような方法が討議の進行にあたって適切であるのかや、そしてその場で自分が何ができるのかについて強く考えさせられました。その中で自分の意見を物怖じせず伝えようと心掛けた点は良かったと思います。一方で、異なる意見に上手く疑問を投げかけることや時間通りに作業を終えることができなかったこと等、改善点も多々ありました。ワークを通して同じインターンシップ生の方々の姿勢から学んだことも加えて、それらを自分のこれからの武器にしていきたいと思っいます。

○営業に同行させていただいた際に、販売するだけでなく近況の話などコミュニケーションが大切だと学びました。単純作業に見えるものでも、つまらない「仕事のやり方」をしていると本当につまらないし改善しなければならず、何のために仕事があるのかを考えることが必要だと教えていただきました。自分の適性や好きなことももちろん大事かもしれないが、「その適性に合っていないから」といってすぐに見切るのは非常にもったいないことだと感じました。私が同じ質問をしているわけではないのに、社員が口をそろえて「県民のために」とおっしゃっていたのが印象に残っています。

☆まず初対面で歩き方について注意を受けた。だらしないということが理由であり、その指摘はとても納得できるものであった。事前研修で習ったビジネスマナーを使う前から、自分は見られているという意識が生まれた。また、今回はお客様と直接触れる機会のある実習であったため、お客様に対する敬語や立ち振る舞いを意識して行動した。その結果ありがとうと言われることもあったが、気づきが足りない(お帰りになった後の行動など)という短所がわかった。

☆疑問に思ったりしても、ほかの人が同じ疑問を持っているとも限らないし、分からないことをそのままにしても後でやはりもやもやするので、いつも後悔はしていました。「聞くは一時の恥聞かぬは一生の恥」を意識して質問することに対して積極的にならないと、度胸が足りなかったなど後悔するにとどまってしまう、自信をいつまでたってもつけられないので、恥ずかしいとか場違いな質問をしてしまうのではないかとか質問をしないように考えるのではなく、これを質問したら分からないことが減るとか言葉の言い回しや敬語を使える練習の場としての機会であるとかといったプラスの考えで質問をすることを捉えていくことが大切だと思っいました。

インターンシップでは挨拶の練習にカメラを用いて実際に映して確認していただきました。お辞儀一つをとっても見返してみると十分にできていなく、逆にできている人との差が目につきました。それこそ面接で差がつく第一歩とも感じました。日常生活で丁寧な挨拶をすることがないため、きれいにできる人と比べてみても五十歩百歩のように大きく変わらないだろうとの甘えがありましたが、現実はそのようではなく、それこそできる人との差は十分につくと感じました。日常生活で丁寧な挨拶をする機会がほとんどなかったのなら作るしかなく、今からでも丁寧なお辞儀を伴った挨拶の練習を取り入れなければ本番までには間に合わないと感じました。

○インターンシップ中に発見したことは、ゲストと直接接する機会が多い Bell での仕事が自分に適していると感じ

たことだ。目的地まで案内する合間にゲストと会話している時、コンシェルジュ業務でゲストの要望に合ったサービスを提供し「ありがとう」といわれた時に、とても大きな喜びとやりがいを感じた。また、上司からは「笑顔がいい」とお褒めの言葉をいただき、自分の強みにしていこうと思った。

一か月で成長したのは、「積極性」だと感じる。最初はゲストに声をかけられるまで待機していることが多かったのだが、だんだんと自分からゲストに近寄ってご要望をお聞きできるようにまでなった。また、チームメンバーにもわからないことはすぐに質問したり、手の空いた時間があれば何かできることはないか探したりした。周りの先輩のやり方を見てもっと上手にできる方法はないかと試行錯誤し、家に帰ってからも、ルーミングの例文をつくるなどしてできるだけ早く仕事を覚えようと努めた。さらに、ホテルの目指す目的に恥じないよう、インターンシップ生ではなくそこで働いているスタッフの一人であると意識するように心がけた。

☆私は素直でお調子者な性格だと思っています。この素直な性格は、インターンシップ期間に、社員の方々に褒めてもらうことが何度かあり、就職活動でもこの素直さを活かして、自分らしくアピールしたいと思いました。また、社員の方々に気に入ってもらえる事は仕事するうえでモチベーションに繋がる事も感じました。気に入ってもらえる事は信頼関係を築く過程で大きなことだと思いました。そのために、社員や上司の方々ととの関係に距離を開けすぎると、ずっと距離が開いたままになります。それを、性格や場面を分析して、その人に合った距離の縮め方があるのではないかと考えるようになりました。このインターンシップで私の素直さがこういったところで活かせることを感じました。そして、信頼関係を気づき、信頼できる人の下で働く事は、期待に応えたいという思いからモチベーションに繋がる事と思いました。私は普段のドラッグストアでのアルバイトで、お客様の相談に応じて、適していると思われる商品を紹介しています。お客様が納得したうえで購入してもらい、お客様の喜び、お客様の健康に貢献できたことを感じ、そこで一番やりがいを感じています。このことは、営業に似ていると思います。今回拝見することが出来た営業では、お客様の相談に応じて、お客様に合った商品を紹介していました。その時にお客様が納得してもらい、称賛していただく事など、お客様の喜びは大きなやりがいを感じると思いました。このような点で営業にあこがれると共に、私に適した職だと感じました。

反省点も見つけることが出来ました。成果発表の際に、学んだ事と感謝の思いを伝えなかったのですが、緊張で準備していた言葉をいくつか忘れ、感謝の思いが伝え足りなかった事、聞き手の目を見て話すこと、途中で忘れしてしまった事に後悔と反省の念を抱きました。しかし、あまりないプレゼンテーションの機会での失敗したことは、次に活かせる良い機会になったと思っています。

☆「働いているときすごく目がキラキラしているけどコンタクトでもいれているの」と聞かれたとき、私はサービスという仕事を心から楽しんでいるのだと気付いた。常に笑顔を絶やさないことも全く苦痛ではなかったし、従業員の方に何か注意されたときにも、とっさに教えてくれてありがとうございます、という気持ちになった。今回のインターンシップを通して、もしかすると私に合っている仕事を見つけることができたのではないかと感じている。

③将来の展望など

○これから、就職活動を行う上で自分の芯を深くまで掘り下げて考えていきます。今回のインターンシップの最終日にプレゼンをさせていただく機会を頂いたのですが、その際に自分の芯である「沖縄県に貢献したい」という話をさせて頂きました。しかし、人事の方に企業は少なくとも沖縄県に貢献したいと考えていると言われ、それならこの企業でもいいのではないかと指摘を受けました。そこで、就職活動を行う上で自分の芯を深く掘り下げて考える重要性を再認識することが出来ました。当たり前の事なのですが、これから自分が10年後、20年後に沖縄県に対してどう貢献していきたいかを考えて就職活動をしていきます。

○今回のインターンシップを通して、就職活動では「挑戦×失敗×努力＝成長」という目標を掲げました。これからは苦手なものにでも積極的に挑戦し、挫折や失敗もすべて自己成長への糧にします。そして就職活動を通して自身と向き合いながら強みはさらに伸ばし、弱みを改善し人間的に成長できるように頑張ります。

☆私は今後自己分析に特に力を入れていこうと考えております。今回のインターンシップで新たに自分の長所や短所を数多く見つけることができ、まだまだ自己分析が足りないと思い知らされたからです。勉強中やアルバイト中、遊んでいるときに何が楽しいのか、何が苦しいのか、何が悲しいのかと常に考えるようにしていきたいです。また、

サークル活動や学内イベント、キャリアアップの講座などにも積極的に参加していきたいです。そうすることで自分の好きなことややりたいことを見つけられることができると思います。

☆インターンシップに参加することによって、これまで興味はあったけど、色々な面で不安のあり、あまり重きを置いて考えてこなかった営業職という仕事をもっとやってみたいという気持ちが強くなりました。実際にインターンシップに参加して、やはり人と話すがとても好きで、得意だと感じたので、そこは大きな自信になり、また営業職にチャレンジしたいという思いに繋がりました。企業の方にも、このことを話してみたところ、ほとんどの方が、その思いは強みになるし、アピールポイントになるから、もっと訴えていった方がいいと言ってくれたので、これからの就職活動では、そこをアピールしていこうと思います。

また、これまで金融業に絞っていましたが、人事の方、また他の社員の方々にも、まずは業界を絞らずに説明会は参加した方がいいというアドバイスをいただいたので、業界は絞らずに、広い視野を持って、合同説明会などには参加していこうと思います。

○私は将来、「聞き上手で信頼される社会人」になりたいと考えています。なぜ聞き上手なのかというと、インターンを通して、会話の中から相手の考えや望んでいることを掴むことはとても重要だと思ったからです。そのために、日頃から家族や友人など周囲の人と話すときは、相手が何を望んでいるかを常に考えるようにしたいです。そして就職活動中は、なるべく多くの企業や社会人の方と触れ合って、自分の考えの幅を広げることや聞く力をつけることを意識したいです。

☆自分の意見を言うという機会を避けて通れるのなら通ろうと思い、ディスカッションに関する授業を必要に駆られない限り今まで避けて取りませんでした。また、人前に出ると緊張して言いたいことが言えないため、発表のある授業も取らない方向で授業を選んでいました。しかし、頭で考えていることとそれを表現することは全く別物で、表現するとまとまりがなく口下手と言えるほどでした。それを改善するためにも、場慣れというのはとても良い手段だと思います。反復することで経験が蓄積され、慣れることにより緊張も軽減されるのではないかと考えています。それこそ甘えられない自分の身の回りにいる友達とは違う人も受けている授業が最も経験できる近道であるとは思いますが、ひとまず4年の前期にグループディスカッションやプレゼンがある授業をとっていこうと思いました。

○目標としては、その場で考え、まとめながら発言するところまで持っていきたいのですが、それには文章力や言葉遣いといった注意しないといけないことも出てきて難しいと思います。それでも少しずつできるためにも同学年や目上の人などより多くの人と話す機会を増やしていきたいです。

○今まで表面からしか見ることができていなかったが、これからは具体的にどうなのか働く人側からの視点で企業を見つめていきたい。就職活動では事前の準備が重要であり、今回学んだ様々な視野で見ることの大切さを活かしたい。行動の変化としては、まず自分から話しかけること。そして相手に対する態度が自分に跳ね返ってくるということを意識しマナーを守る。

○今後の学生生活での行動の変化として、複数やることがあったら一つのことが終わってから次を考えるのではなく、優先順位を決め、一つの物事を終える時間も決め自立した行動をとれるようにします。

○今後の学校生活や就職に対する意識や、行動の変化など今年の夏以降から、アルバイトとしてホテルで働いてみようと考えている。長期で働くことで、夏の繁盛期の忙しさもわかると思う。しかしそれを上回るやりがいや楽しさが感じられたら、そのままホテル業界で就職したい。また、もう一度インターンシップに参加し、今度は別のホテルに実習に行き、比較をすることで、より具体的な就職先を決める。インターン先のチームメンバーは留学経験者が多く、英語で仕事をこなしていたので、私も留学に向けた準備を進める。4月にはTOEFLを受験する。

☆今までは働くことは自分と家族のためであるということしか考えていなかった。しかし銀行のインターンシップを通して自分と家族だけではなく、幅広い世代の人々のためになるような仕事をしてみたいと考えるようになった。業界業種に捉われないこと、複数の企業をもっと見てみたいと思うようになった。

④今後インターンシップを考えている後輩へのアドバイス

☆もし少しでも行ってみたいと考えているのなら、とりあえず行ってみること。不安や心配になるとは思いますが、行動に移さないと何も先へ進めない。今自分の持っている力を精一杯出せばそれで充分だと思う。最初から完璧に出来る人など誰もいない。失敗し注意されて初めて気づき、初めて成長出来る。企業研究などでホームページや資料を見ても限度があると思うので、自分の目で見て確かめる事が一番確実な方法で良い企業研究にもなると思う。さらに出来る限りインターンシップに参加する意味や目的を明確に持てれば、より良い実習を行えると思う。まずは「行動」から始めましょう。

○普段から自分自身に嘘はつかず、素直になり何事も受け止めることが本当の自分を知る方法だと思う。学だこと、感じたこと、考えたことなどは行動に移さないと前に進めない。失敗を恐れずに全力で立ち向かい、良い意味で「学生」という立場を利用する。今しか出来ない失敗は今のうちにたくさん失敗する。成功より失敗から学べることの方が多し。そして何より「我慢」が大切。壁にぶつかった時こそ反省はし、落ち込んだり下を向かず上を向き我慢する。

○インターンシップでは普段生活をしているだけでは出会う事のない社会人、他大学の人と出会うことで気づき、発見があり、自分には考える事のできなかった考え方をすることで自身の成長に繋がると思います。まだ、将来に明確なビジョンがないのなら1、2年生の早い段階でインターンシップに参加することで、就職に対する意識の変化があり、目標を持つことで学校生活が充実したものになると思います。

☆私はとりあえず行動しなきゃという気持ちからこのインターンシップに参加しましたが、インターンシップは1人が参加したいからといって参加できるのではないと実感しました。周りの多くの大人が協力して、このインターンシップが成り立っています。大人の貴重な時間を割いて頂いているので、とりあえず行ってみようという気持ちでは、失礼にあたると思いますし、得られることも大きく変わると思います。自分なりに考えてきちんとした目的を持ってインターンシップに参加すれば、学ぶべきことや自分自身に足りないものが見えてくるので、ぜひ積極的に参加してみてください。

○アドバイスは一つだけです。自分が将来(10年後、20年後)どんな人になりたいかを考えて、インターンシップをすることをお勧めします。

☆自分が将来どんな社会人になりたいかを描いてインターンシップをする学生とそうでない学生では成長や学びに大きな差があると思います。例えば、将来一流の行員になりたいと考えているのなら、県内や県外にある銀行にインターンシップを行い、そこで多くの学びを得ることが出来ると思います。そして、インターンシップの際には、行員になるためのノウハウなどを学び、将来に活かせると思います。

一方で、考えていない学生は教授などにとりあえず参加しとけと言われて、インターンシップでの目標を適当に決めてしまい、無駄な日を繰り返すことになってしまいます。インターンシップでは、個人の成長に大きな差がでると思います。大きく成長するためにも、就職活動の一環としてインターンシップを行うのではなく、将来なにをしたいかを考えてインターンシップを行うべきだと思います。

○只々、インターンシップを受けていると経験は増えますが、学びはほとんど無いと思います。大事なのはインターンシップで何を学ぶか、何を行うか目標設定し、それに従った行動を起こしていく事だと思います。つまり、企業先に期待をするのではなく、自分自身で学びに行く姿勢が大切であると思います。

○今回のインターンシップでは自分が「The 学生」であることをはっきりと確認できたことが最も良かった点と同時に反省し、これからの就職活動に活かしていくべき点だと思いました。受入企業に就職を希望する、しないに関係なく試験が始まる前にさまざまな点を指摘していただき、改善策も自分で導き出せるように助け舟をくれたので今回の機会をくれたすべての関係者に感謝の心を持ちました。今の学生生活-も親の助けがあってはじめて生活できているので、何事にも感謝の気持ちを忘れないことを改めて学んだインターンシップでもあり、気持ち新たに就職活動を進めて行きたいと思いました。

○私もそうだったのですが、自分が将来何をやりたいのかまだ見いだせない人は、何か行動を起こすことによって、それが見えてくると思います。行動といってもいろいろあると思いますが、そのひとつとしてインターンシップをぜひ活用して欲しいと思います。就職解禁が3月となり長くなった準備期間を使わないなんてもったいないです。インターンシップでは、仕事の話はもちろん、事前研修でもいろいろなことを教えて頂けて、絶対にこの先の人生のためになったり、就職活動を行ううえで大きなヒントを得ることができます！ぜひ参加してください。

☆インターンシップは、しっかりと目的をもって挑戦した方がいいと思います。こうした成長を遂げたい！こんなことを学びたい！といった自身のインターンの参加理由を明確にさせた方が、よりよい結果を得られると思います。また、インターンをやるかやらないかを迷っているとしたら、ぜひ参加することをお勧めします！人間、周りと差をつけるには行動が一番だと思いますし、絶対に就活に対するモチベーションも上がると思います。そして最終的には常に笑顔で楽しんでいけたら充実したインターンシップになると思います！

☆分からないことや質問は積極的に聞くべきです。時間を取らせて迷惑がかかってしまう、当たり前のことを聞いて恥ずかしいなど、聞くのをためらってしまうこともあります。私もそうでした。ですがインターンシップを受け入れる時点で時間が取られることは企業側も想定しておりますしそれで失敗された方が企業側としてはマイナスです。またかっこいい事ばかり言おうとして発言が少なくなるよりは当たり前のことでも多く発言する学生の方が良い印象を持たれるようです。私はインターンシップの初日に担当の方からこのことを教えていただき、それからとても有意義にインターンシップに参加することができました。

○ぜひ、インターンシップに参加してください。自分の興味のある業種でしたら何社でも行ってください。せっかくの夏休みが、春休みが潰れると思いますが、それ以上に得るものは大きいです。その分、毎日詰々で目まぐるしく多忙な日々もあります。それでも、一見は百聞にしかずのように、実際に目で見て肌で感じるのと、文章だけの説明では全く異なります。「私はあまり自信がない、これからの就職活動が不安。」という方こそ、参加すべきだと思います。実際に採用担当者との交流もあり、普段では聞けないようなことも笑顔で応対してくれますし、なによりも今後一緒に闘っていく就職活動仲間が増えます。仲間が増えると自身もつくし、正しい情報をシェアしていけます。インターンシップに参加し終えて、数えきれないほど得たものがあります。これからの就職活動に活かしていけるものばかりです。何もしない後悔よりも、やった後悔です！！これから共に頑張っていきましょう。

☆インターンシップに参加するときは、1つだけ意識してほしいことがあります。それは、何か最低でも1つは目標をもって臨むことです。何も目標を持たずに参加すると、ただ経験しただけになってしまい、得るものがないからです。私は以前、あまり目標を意識せずにインターンシップに参加したことがあり、良い経験にはなったのですが、それを次の行動に活かせなかったという後悔があります。決して、大きな目標じゃなくてもいいし、その目標を必ず達成できなくてもいいと思います。大切なのは、達成できなかった、じゃあ何で達成できなかったのだろう、という反省点を次に繋げることだと思います。私たちがたとえ知識も経験も浅い学生であっても、意欲を見せることが出来れば企業の皆様は必ず正面から向き合ってくれます。だから、あまり尻込みせずにチャレンジしてみてほしいと思います。

☆インターンシップを通して良かったことは、そこでどんな方々が働いているのかを知ることができる点です。新入社員の中には入社前と入社後のイメージが違った、馴染めなかったなどといった理由で職場を辞める方も少なくないので、イメージを具体化することや、ここで働いていく気概を持てるかを考える有効な方法だと思います。会社訪問でも十分という方もいるかもしれないが、インターンシップでは1日中、社員の方々と共に業務に携わりながら会社を理解し、疑問に思うことを尋ねることもできます。また、インターンシップに参加することによって、「絶対ここで働きたい」と思える企業に出会えるといった新たな発見もあるかもしれません。少しだけ興味があるところにも行ってみても全く損はないと思います。最後に「就職活動なんて3年次の3月から始めれば大丈夫」と思う方もいるかもしれませんが、将来どのように働きたいか、どんな自分でいたいかを考えるきっかけとしてもぜひ参加してほしいです。とりわけ、今年からは解禁から選考までの期間が短くなっている。そういった意味においても、早くから自分自身のキャリアについて考えておくことが、スムーズな就職活動にもつながると強く感じます。うりずんプロジェクトでは、幅広い業種へインターンシップを希望できると同時に研修や様々な指導をしていただけるので、初めての人、どうしようか迷っている人にぜひとも活用していただきたいと思います。

☆私の学部は周りが就職すると言っている、その人たちが実際に何をしているのか、行動しているのかすらも分からないという環境下でしたので、就職活動をどうしたらいいのか悩んでいました。実際インターンシップ説明会参加者で理工系は圧倒的に人数が少なかったのに対し、文系は参加人数が多く1年生も見かけました。周りが動かないから不安に駆られているが、みんなが動いていないからまだ大丈夫で動かなくてもいいかと思ってしまう環境下では、自らが行動しないと就職活動をするなら後れを取るし、それこそ自分の周りのペースに合わせたままでは内々定が出る時期にやっと重い腰を上げかねません。もしくは行動しようとしてもゼミや研究で忙しく身動きが取れず後でしようとして、行動することをズルズルと後ろに先延ばしてしまう方もいると思います。それでは自分の可能性を潰してしまうし、最悪行きたいと思っていた職種の募集も終わってしまい何もできない状況に陥ってしまう場合も考えられます。今一度周りを見渡し知る意味でも、私にとってインターンシップはとても良い機会でした。もし、同じ状況の方がいらっしゃるなら、就活への足がかりとしても十分に価値があるため、インターンシップに参加してみたいかがでしょうか。

☆まず、積極的にインターンシップを活用してほしいということです。今回のうりずんプロジェクトの事後研修で企業担当者が「沖縄の学生はレベルが低い」と言われました。他県と隔絶された沖縄では、都市部の学生と比べても比較対象が少なく、競争心がどうしても弱くなります。合同企業説明会に参加しても、いつも知った顔ばかりです。こういった状況の中で、モチベーションを上げるのは難しいかもしれませんが、就職活動では県外からUターンしてくる学生と争い、社会では県外や海外でも勝ち残っていかないとはいけません。幸いにも沖縄県内の学生には、県内・県外・海外でインターンシップを経験することが出来る制度がすでにありますし、それ以外にも探せばチャンスはいくらでもあると思います。これらを積極的に活用して、将来について考えたり、今後に向けて行動していけるきっかけにして欲しいと思います。さらに、インターンシップは、受け入れ先の事業所の協力があって学生は学ばせていただくことが出来ます。多くの企業にとってはインターンシップを受け入れてもメリットは少ないのが実情だと思いますが、それでも学生のために、時間を割いて指導して下さります。事前準備を欠かさず、学ぶ姿勢を前面に出して取り組んでほしいです。

☆周りの人に様々な事に取り組んでいる友達がいて、「この人すごいなあ」と思うことがあると思います。でも、インターンシップに参加するとその友だちが様々な事に取り組むようになる気持ちがわかるようになります。インターンシップでは「就職活動に活かせる能力をつける」というより、「意識や考え方が変わる」機会だと思います。私や先輩はインターンシップに参加してこれを実感しました。そして、自分自身が「成長」を実感する事の楽しさを感じるようになり、「成長を実感する事の楽しさ」の中毒になります。様々な事に取り組んでいる友達もその中毒者だと思います。就職活動に関心が無い方にもインターンシップ参加する事をお勧めします。日々の「意識や考え方」が変わります。

○参加する方へ、現場の方々の行動や言動の「意味」を考えるようにする事、今からやる業務の目的を知った上で業務を行う事、この2つを心がける事をお勧めします。学びにつながると思います。

○インターンシップに対して、無賃労働は嫌だ、バイトを休めないなどと考えている人が多いようだが、本当にもったいないと思う。お金のことを考えない方が業界や会社の本当の魅力をみつけることができると思うし、自分の将来のための行動を制圧するバイトなんてやる価値がないと思う。後になって後悔するのはもうやめて、今しかできないことを今や始めるべき。ぜひ短期間からでもインターンシップに参加して自分の将来についてじっくり考える機会をもってほしい。

☆できるだけ早い段階からインターンシップに参加することをお勧めします。インターンシップに参加することで、自分自身の強み、弱みが見えてきます。また、普段の大学生活だけでは、社会人と関わる機会が少ないですが、インターンシップに参加することで、社会人と話す機会や、興味のある分野で働く方に直接質問をする機会が得られます。私が今回のインターンシップに参加して良かったと思うことは、自分自身の「弱み」を指摘して頂き、それを改善するためにどのようにしていったらいいか、ということを教えて頂いたことです。普段、このように自分自身の弱みや改善点を他者に評価してもらうという機会はほとんどありません。自分自身がより成長できるので、このように指摘して頂くということはとてもありがたいことだなと感じました。迷っている1、2年生の皆さん、是非インターンシップに挑戦してください。

2015 春期インターンシップ
事後研修・報告会

○うりずんプロジェクト 2015 春期インターンシップ事後研修・報告会

【事後研修】

【うりずんプロジェクトインターンシップフェア 2015 説明資料】

事前講義	インターンシップ研修を通じて得た問題意識や成果を客観的に振り返る。
グループワーク	個人的に振り返った内容を基に、グループでインターンシップでの学びを議論・共有することで、多様な視点からインターンシップを振り返る。
グループワーク + 事前研修総括発表	グループワークによる成果発表
事前・事後研修を通じた 最終総括	インターンシップ研修先での体験を総括し、自己及び専門分野とのかかわり等について考察し、今後の学習目標を設定、キャリアプランを明確にする。

(2015/3/10 (火)) 琉球大学 研究者交流施設・50周年記念館 多目的室

時間	題目	内容
9:00～ 9:30	オリエンテーション	・本日の内容確認(身だしなみ・挨拶等も合わせて確認)
9:30～ 12:00	成果報告	・学生自身の①IS経験、②今後のキャリアプランを報告しあう。発表資料は模造紙1枚。あらかじめ作成。発表方法、ポイント等を確認し、午後に備える。
12:00～13:00	お昼休み	
13:00～ 13:15	オリエンテーション	・流れの確認
13:15～ 14:45	企業担当者を含めた成果報告	IS経験学生+企業担当者+大学教職員を含めたグループを作り、経験学生による発表、質疑応答を行う。
14:45～15:00	休憩	
15:00～ 16:00	IS受入企業、大学教職員による総括(パネルディスカッション)	・受入企業の担当者・各大学教職員より学生の変化・成長・今後のアドバイス等をいただく。
16:00～ 16:30	学生によるキャリアプラン発表	・舞台上で全学生にキャリアプランを発表してもらう(マイクなし)。
16:30～ 17:00	まとめ・交流会・記念撮影	・終了、アンケート回収、シンポジウムの案内、平成27年夏期インターンシップの案内

◎事後研修の代替日：2015/3/18 (水) 琉球大学 研究者交流施設・50周年記念館 多目的室

※上記と同様の内容で行います。

うりずんプロジェクト 2015 春期インターンシップ事後研修・成果報告会

平成27年3月10日（火）9：00～17：00 琉球大学研究者交流施設・50周年記念館



沖縄地域インターンシップ推進協議会 松本会長あいさつ



全員で起立し、あいさつを行う



グループごとに企業担当者を交えて、学生からインターンシップ成果報告発表を行う（その1）



グループごとに企業担当者を交えて、学生からインターンシップ成果報告発表を行う（その2）



春期インターンシップ受入企業担当者及び大学教職員によるパネルディスカッション
(左から、全保連(株)の長谷川氏、(株)御菓子御殿の嘉手川氏、カタリズム(株)の大城氏)



(右から、沖縄大学の國吉課長、沖縄女子短期大学の元山教授)



全学生によるキャリアプラン発表



全日程を終えての記念撮影



うりずんプロジェクト2015春期インターンシップ 実習生向けアンケート（集計）

3月10日、3月18日、3月19日（予備日）

うりずんプロジェクトで実施した2015春期インターンシップについて、次の質問に教えてください。このアンケートは、次年度以降のインターンシップ充実のため参考にさせて頂きたく実施するものです。

1. 大学名、学部系統、学年、性別を教えてください。（○をつけてください）

大学名	名桜大学	2	沖縄大学	10	沖縄国際大学	5	琉球大学	23		
学部系統	文系	34	理系	6	その他	0				
その他内訳										
学年	1年	1	2年	3	3年	36	4年	0	大学院1年	0
性別	男性	20	女性	20						

2. 事前マッチングについて（満足度を5点満点で評価してください。）

ア. 面談日の日程調整	5	29	4	7	3	3	2	1	1	0	無回答	0
イ. インターン希望先の充実	5	25	4	10	3	4	2	1	1	0	無回答	0
ウ. 面談の内容	5	26	4	9	3	5	2	0	1	0	無回答	0
エ. 必要（提出）書類の事前説明	5	25	4	12	3	3	2	0	1	0	無回答	0
オ. 事務局の対応	5	23	4	14	3	3	2	0	1	0	無回答	0

3. 事前研修について（満足度を5点満点で評価してください。）

ア. インターンシップにおける心構え（白井氏の講話）	5	23	4	8	3	8	2	0	1	0	無回答	1
イ. マナー講座（宇久田氏）	5	33	4	5	3	1	2	0	1	0	無回答	1
ウ. 目標設定ワークショップ①（業界研究・ポスター作成）	5	17	4	14	3	7	2	0	1	0	無回答	1
エ. 先輩の体験からの学習	5	16	4	11	3	8	2	1	1	1	無回答	3
オ. 目標設定ワークショップ②（宣言タイム）	5	11	4	12	3	9	2	2	1	0	無回答	6

4. 事後研修について（満足度を5点満点で評価してください。）

ア. 成果報告（午前部）	5	17	4	18	3	1	2	2	1	1	無回答	1
イ. 自身の体験談報告（午後）	5	16	4	15	3	5	2	0	1	1	無回答	3
ウ. パネルディスカッション	5	13	4	9	3	10	2	2	1	2	無回答	4
エ. キャリアプランの発表	5	19	4	8	3	6	2	2	1	2	無回答	3
オ. まとめ（交流会・写真撮影）	5	23	4	7	3	1	2	0	1	1	無回答	8

5. 今回の企業・団体でのインターン実習に関して（満足度を5点満点で評価してください。）

ア. 実習内容は適当であったか

【1社目】

5	28	4	7	3	2	2	1	1	0	無回答	2
---	----	---	---	---	---	---	---	---	---	-----	---

【2社目（2社：18名）】

5	12	4	4	3	2	2	0	1	0	無回答	1
---	----	---	---	---	---	---	---	---	---	-----	---

理由

充実したカリキュラムですごくいい経験になりました。／とても充実していて、これからの就活に生かしていきたいと思う。／実習内容がきちんと考えられていた。／各部を5日間でまわることができたのでとてもよかった。／ちょっと忙しいところがありましたが、良い経験となりました。／様々な部署で経験ができた。／企業のことについてより深く知ることができた。／忙しい中でもプログラムを組んでくれた。／どちらも良いところがあって、雰囲気や内部の業務を知ることができました。／初めてのインターンシップであったが、課題など多くの気づきがあった。／とても充実した実習でした。／受入体制は整っており、余計な心配をせず実習に臨めた。／営業の会社で営業も同行させてもらえたこと、役員会議などの会議も見学できたこと。／自分の求めていた実習内容だった。／人事の方のお話をたくさん聞いて大変勉強になりました。／従業員と同じ業務ができたので、現場の雰囲気などをダイレクトに感じることができた。／営業職について知ることができて、行く前と後では印象も変わった。／実習先のことについて、深く知ることができた。／企業様が忙しい中で受け入れてくれるだけありがたいです！／それぞれ学びやすい環境であった。／想像以上に経験が大きかった。／沢山のことを経験できた。／短い期間でしたが充実した内容でした！／実務ができた。／普段やらないことで就活につながるようなことをできたのがよい。／実際のロールプレイングが体験できたので、働くイメージを持ちやすかった。／しっかりしていたと思う。／企業の仕事内容を知ることができたから。／1社目はとても満足であったが、2社目は営業実習がなかったため、多少不十分であった。／短い時間だったが、移動（個人）や自主学習がほとんどだったから。（3）／2社目は少し物足りなかった。

イ. 実習期間は適当であったか

【1社目】

5	25	4	8	3	2	2	2	1	0	無回答	3
---	----	---	---	---	---	---	---	---	---	-----	---

【2社目（2社：18名）】

5	7	4	4	3	3	2	4	1	0	無回答	1
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	-----	---

理由

妥当な日数だったと思います。（4）／様々な部署をみる期間があったので適当だったと思います。／5日間でちょうど月～金までだったので結構知れました。／長すぎず短すぎず良かったです。／就活解禁前でそれぞれ準備もあるので、2日間は適当だったと思う。／短い期間でしたが、とてもためになりました。／大学での行事が多い中、両立することができた。／就職活動が解禁される直前であり、短期を希望しマッチングできた。／十分に学べる期間であった。／自分にとって最適な期間だったが、明日も行きたいと思える所だった。／短期だったため、他の就職活動と重ならなかった。／短すぎず長すぎず集中して働くことができた。／3日でしたが、いろいろと経験させていただき良かったです。／5日間は日程が合わせやすかった。／長すぎず、短すぎなかった。／解禁の時期は、（期間が）長いと困るから。／本社（他の部署）も見てみたかった。／もう少し欲しかった。／短いと感じました。（4）／日程が少なかった。／もっと長期的なものをしたかったです！！／もう少し長い方がより企業を知れると思う。／短い日数でしたので、もっと参加していきたいかった。（3）／もっと学びたいことはたくさんあった。／最初の日とかは手持ちぶさたな時間があった。／あと1週間欲しかったです。

ウ. 社員との交流やコミュニケーションはあったか

【1社目】

5	24	4	7	3	4	2	1	1	0	無回答	4
---	----	---	---	---	---	---	---	---	---	-----	---

【2社目（2社：18名）】

5	9	4	2	3	3	2	3	1	1	無回答	1
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	-----	---

理由

社員との交流会があり、参考になる話をたくさん伺うことができました。／お話しする機会があり、とても良かった。／社員と関わるチャンスが多かった。／昼休みや実習後の懇親会などがあった。／とても話しやすく、企業様と話すことができました。／みんな優しかった。／懇親会を開いてくれた。／懇親会などを開かせてもらえて大変良かったです。／社員の方が気さくで話しやすい。話す機会もたくさんあった。／目標を達成することができ、社員ともコミュニケーションも取れた。／常に教えてくれたり、話かけてくれたり、とても気にかけてくれた。／同行訪問に連れて行ってもらい、いろいろと話すことができ、仕事のことについて知れました。／営業での同行の際に多々あった。／懇親会を開いてくれた。社員から話しかけてくれた。／新入社員やその他の方と話をさせていただいた。／色々な方と会話できた。／昼食時などに交流を持つことができた。／親睦会や名前を覚えて下さり、親近感がわき、コミュニケーションがとれた。／企業の仕事内容を知ることができたから。／1社目ではコミュニケーションを取れたのですが、2社目では自分の失敗でうまく取ることができませんでした。／話を伺える時間が少し短かった。／日程が短い分、得られるものが少なかつたため。／本店（人事以外の方）と営業店の雰囲気を知れるとよりよいと思いました。／2社目では自分自身の積極性の足りなさがあつたから。／1社目はそこそこありましたが、2社目はそこまででした。／昼食時間を利用し、社員と交流する機会はありませんでしたが、自分から行動することができなかつた。／1社目は良かったと思うが、2社目は良くなかつた。／交流自体あつたのですが、積極的になれなかつた。／1社目は忙しすぎてあまりゆっくり話せなかつた。2社目は人事としか関われなかつた。自身からもっとコミュニケーションをとるべきでした。／忙しくてお昼等しかコミュニケーションがとれなかつた。／交流会がなかつたため、あまり多くの社員と関われなかつた。

エ. 今回のインターン実習を総合的に評価して

【1社目】

5	25	4	8	3	2	2	1	1	0	無回答	4
---	----	---	---	---	---	---	---	---	---	-----	---

【2社目（2社：18名）】

5	11	4	4	3	2	2	1	1	0	無回答	1
---	----	---	---	---	---	---	---	---	---	-----	---

理由

両社ともに前に出たり発言する機会を多く作っていただいたので、いい機会になりました。／とてもこれからの就活について考える機会となつた。／自分の目標は達成できた。／インターンシップでしか体験できないことを体験できました。／自分に足りないものを知ることができたのが大きな経験です。／ビジネスマナーから企業について深く学ぶことができました。／学生では体験することのできない経験と多くのことを学びました。／今後の課題、社会の広さ、自分の強みと改善点がわかつた。／1社目の反省点を2社目に活かすことができ、新たな課題を見つけることができた。／充実していた。／インターンシップで社会人になることの恐怖が少しやわらいだ。／インターン実習をしてとても良かったです。／研修で考え方やマナーが身につく、実習で様々な人に出会い、たくさん学び、実習内容も充実していた。／他部署の体験もしてみたかった。／大変だったけど、とても大きな学びになつた。／とても良かったです。収穫できた部分が多く、とても為になりました。／私自身にとって、とても有意義なものとなつた。／目的をしっかりと学ぶことが出来た。／上記の内容全てに満足。／沢山の部署を回れた。／これから始まる就職活動に活かしていける。私自身の至らないところを学んだ。／業界について知れた。／学生から脱しないといけないことを教えてくれた。／今回インターンに参加したことで、とても自信がついた。／交流会もあつてそこでプライベートの話もできたので、良かった。／自分を振り返るいい機会だと思いました。／もう少し企業さんと交流を深めたかつたのと、このインターンを通して、企業さんを知ることができました。／自分の反省点を見つけることは出来たが、インターン中に活かすことが難しかった。／もう少し密度の濃いインターンが出来た気がする。2社とも満足できなかつたので努力します。（自己評価）

6. 今回のインターン実習について（各項目の到達度を5点満点で評価してください。）

1. 働くことがどういうことか実感できた	5	19	4	16	3	2	2	0	1	0	無回答	3
2. 働くことの厳しさを理解することができた	5	22	4	9	3	4	2	2	1	0	無回答	3
3. 働くことのやりがいや充実感を知ることができた	5	20	4	12	3	5	2	0	1	0	無回答	3
4. 学生と社会人の責任の違いを感じた	5	31	4	4	3	2	2	0	1	0	無回答	3
5. 学んできたことが現場でどう活かされるか知ることができた	5	14	4	13	3	7	2	3	1	0	無回答	3
6. 今後の大学生活での学習意欲が高まった	5	27	4	6	3	3	2	1	1	0	無回答	3
7. 自分に足りないものに気づくことができた	5	32	4	4	3	1	2	0	1	0	無回答	3
8. 仕事に対する興味や関心が高まった	5	26	4	9	3	2	2	0	1	0	無回答	3
9. 業界・業種に対する理解が深まった	5	25	4	10	3	2	2	0	1	0	無回答	3
10. 県内企業に対する理解が深まった	5	22	4	7	3	7	2	1	1	0	無回答	3
11. 視野を広げて就職先を考えるようになった	5	26	4	7	3	3	2	0	1	1	無回答	3
12. 連携や協調性の大切さ感じた	5	30	4	6	3	1	2	0	1	0	無回答	3
13. マナーや常識の大切さを感じた	5	30	4	7	3	0	2	0	1	0	無回答	3
14. コミュニケーションの大切さを感じた	5	35	4	2	3	0	2	0	1	0	無回答	3
15. 主体的に取り組むことの大切さを感じた	5	33	4	3	3	1	2	0	1	0	無回答	3
16. 挨拶の大切さを感じた	5	34	4	3	3	0	2	0	1	0	無回答	3

7. 今回のインターンシップで経験した内容以外に、どのような実習を経験したいですか。できるだけ具体的に記入してください。

インターンの申込の時点で、会社だけでなく部署まで指定した実習があると嬉しいです。／何か一つのプロジェクトに関わり、成果（売上や顧客数）が見える実習を経験したいです。／業界・企業研究型の実習がメインだったので、実践的な実習を行うことができたらよいと思いました。また、期間が短く感じたので5日間などの日程が適当だと思いました。／機器のメンテナンスなども見てみたかった。／内定者の方との座談会／自由な課題が与えられる実習／県外、海外で実習を行うことが可能になれば、格段に視野が広がると思うので県外・海外での実習を経験したいです。／全部署の業務体験／ホテルのフロント・ベルサービス／長期インターンシップで計画してからの実行するというまでの流れを体験してみたいです。／営業店をあと1店舗／長期のインターンシップをしたいです。1週間以上が理想です。／営業店などでの実習が少なく感じたので、営業店でこそ、そこのカラーが見えると思うので、営業店の実習がもっとあったらと思いました。／もう少し長くインターンシップに参加していきたくかった。金融の実践的な内容を深く知りたかった。／社員と実際に携わる／自己分析やビジネスマナーよりも、業務に携わりたい。／もっとイベント参加や他の部署を回りたいです。／実務に実際に携われるプログラム。／アルバイト型のインターンシップ／特になし(3)

8. 実習先企業・団体の採用試験を受けようと思いますか？

①とても思う	...	21	無回答	4
②まあまあ思う	...	9		
③どちらともいえない	...	3		
④あまり思わない	...	2		
⑤まったく思わない	...	1		

9. その他、うりずんプロジェクト事務局に関するご意見・ご要望・ご提案・ご感想などを記入してください。

3ヶ月以上に渡り、大変お世話になりました。今後も頑張っていきたいと思えます。ありがとうございました。／企業受入や日程調整の段階から、丁寧な対応で私の要望を聞き入れようと力を尽くしてください、本当にありがとうございました。／このプロジェクトに参加することで、企業様とも深く関わる事ができてとても良かったです。また、事前に面談・研修することで本番は緊張しすぎずに挑むことができたので、とても良い経験をする事ができました。ありがとうございました。これからも日々精進して、内定を取れるように頑張ります。／今後も参加したい。／みんな優しく、親身になってくれてありがとうございました。とても自分の成長を感じます。／大変貴重な体験をさせて頂きました。就職活動に対しての意欲も高まりましたし、これから自分自身がどう行動していくかを知ることができました。インターンシップに参加した理由が「まだ何も行動していないから！」という軽い気持ちだったのですが、もっと明確な目的を持って参加していけば良かったかなと後悔しています。本当にありがとうございました。長い期間お疲れ様でした。／最初、参加すると決まった時、やっていけるかと不安でたまらなく自信すらなかったです。ですが、1社参加するごとに自分に自信がつく、積極的になっていったというのをすごく実感いたしました。／お忙しい中、本当にありがとうございました。／3ヶ月間、ありがとうございました。ご協力に大変感謝しています。／約3ヶ月間、本当にありがとうございました。多くのことを学びました。／今回、2社受けさせて頂いて良かったのですが、A3にまとめる時など、時間が足りなくて大変でした。でも2社受けれて良かったです。／大丈夫です。／特になし(2)

事後研修の日程を、もう少しだけ小分けにして欲しいと思いました。／インターン先、事前研修の時間などの連絡がぎりぎりであったことが多いと感じたので、より早く連絡をして欲しいです。また、HPに情報を入れることも早めに行ったほうが良かったと思います。／事前・事後研修に時間をかけすぎと思った。特に県外の就職活動は沖縄に比べて早いので、そういう人の妨げになるかもしれない。／はじめ、日程が決まるまで、あやふやな部分があったので、そこをしっかりとって欲しいです。／連絡が上手くいってなかったため、改善して欲しい。／連絡のメールがぎりぎりだったり、曜日と日にちが合っていないなかったり、メールの面で不安が多々ありました。／「時間」を守ると学生に言い聞かせ続けているものの、事務局のプログラムでは時間オーバーすることが多々ありました。信頼関係を築くためには事務局も時間を守る必要があると思います。プログラムの設定の仕方を見直すとより良いプロジェクトになると考えます。／事前・事後研修どちらも時間が長いと感じます。就職活動の妨げにもなることがあると思います。時間が押しているにもかかわらず、質問をさせようとするのもどうかと思いました。

平成27年3月18日

うりずんプロジェクト 2015 春期インターンシップ事後研修
企業・団体等アンケート

本日はご参加いただき誠にありがとうございます。今後よりよい研修にするために、皆様の満足度やご意見・ご感想（裏面）をお聞かせください。（1～10までは丸をつけてください。）

1. ご所属（○をつけてください）

- ①受入企業・団体等企業(5) ②企業・団体等（受入検討中）(0) ③インターンシップ支援団体
④人材育成系企業(1) ⑤行政関係者(0) ⑥大学関係者(0)
⑦その他（ ）

2. 本日の事後研修はいかがでしたか？

- ①十分満足した(4) ②概ね満足した(2) ③あまり満足できなかった(0) ④満足できなかった(0)
無回答(0)

3. 学生による成果報告はいかがでしたか？

- ①十分満足した(3) ②概ね満足した(3) ③あまり満足できなかった(0) ④満足できなかった(0)

4. インターンシップ受入れ企業担当者・大学教職員による総括（パネルディスカッション）は
いかがでしたか？

- ①十分満足した(3) ②概ね満足した(2) ③あまり満足できなかった(1) ④満足できなかった(0)
無回答(0)、不参加(0)

5. 学生によるキャリアプランの発表はいかがでしたか？

- ①十分満足した(2) ②概ね満足した(0) ③あまり満足できなかった(0) ④満足できなかった(0)
無回答(0)、不参加(4)

6. 交流会、記念撮影はいかがでしたか？

- ①十分満足した(1) ②概ね満足した(0) ③あまり満足できなかった(0) ④満足できなかった(0)
無回答(0)

7. 参加学生の研修に取り組む態度はいかがでしたか？

- ①とても良かった(6) ②概ね良かった(0) ③あまり良くなかった(0) ④良くなかった(0)
無回答(0)

8. 本研修を知ったきっかけを1つ選んでください。

- ①大学からの案内(5) ④大学のホームページを見て(0)
②大学教員や職員からの紹介(1) ⑤沖縄地域インターンシップ推進協議会のホーム
③企業向け説明会に参加した(0) ページを見て(0)
⑥その他(0)

9. 本研修に参加した目的は何ですか。（複数回答可）

- ①春期インターンシップ受入企業のため(4)
②夏期インターンシップ受入、もしくは検討中のため情報収集(1)
③「うりずんプロジェクト」の研修内容に興味があった(1)
④その他(2 インターンシップ生が何を学び、どう感じたか知りたかった。/学生との懇親を図るため)

10. 本日の研修は今後役に立つ内容でしたか。

- ①非常に役立つ(2)
- ②役立つ(3)
- ③あまり役に立たない(0)
- ④まったく役に立たない(0)
- 無回答(1)

その理由をご記入ください

今後、インターンシップのカリキュラムを考える上で参考になった。/インターンシップ受入の経験が浅いので、今後どのような受入プログラムを整えていけばよいのかなど、とても勉強になりました。/

11. 本研修について、お気づきの点や改善すべき点などありましたら、具体的にご記入ください。

プレゼンの時間的な事情などもあると思いますが、2分間は短く感じました。同時にプレゼンを行うのであれば、もう少し広い会場が良かった。タイムマネジメントは大切だと思いますが、表示する必要は無いかと思いました。プレゼンターが時間を気にしすぎる傾向があるように感じた。/学生が実際に作製したポスターなど、見てみたかったです。/せっかくの機会なので、学生が話し(アピール)できる時間をもっと確保した方が良いでしょう。場合によっては、パネルディスカッションを短縮(カット)しても良いかと思う。/積極的な学生が多く、感動しました。全員内定を取って欲しい。

12. その他ご意見・ご感想などありましたら、お聞かせください。

学生さんたちの熱意とフレッシュさがとても伝わりました。皆さん意識が高く、私自身も初心に帰ることができました。実際に社会人になる前に、インターンシップをすることによって、心の準備ができると思います。また、働いている人、みんながそれぞれの想いがあるって働いているということを知るだけでもとても有意義だと思います。/短い時間ではありましたが、インターンシップを受入した学生のプレゼンを聴く事ができたので、とても有意義な場になりました。パネルディスカッションは学生向けのみでも良かったのではないかと思います。/適度な緊張感の中でとても良い報告会だったと思います。学生の話す姿勢、聞く姿勢にも成長が見られ、有意義なインターンシップだったことが窺えました。ビジネス感覚を学生生活の行動の中で意識するようになったということが第一印象に残りました。/今後もうりずんPJに参画していきたいです。またお声がけいただきたいです。

平成26年度
産学官連携シンポジウム

開催概要	
■ 概要	
事業名	産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業【テーマ B】インターンシップ等の取組拡大
資料内容	うりずんプロジェクト 2015 シンポジウム 開催概要
■ 内容詳細	
<p>主催 沖縄地域インターンシップ推進協議会 後援 内閣府沖縄総合事務局、沖縄県商工労働部雇用政策課 協力 琉球大学、名桜大学、沖縄大学、沖縄キリスト教学院大学・沖縄キリスト教短期大学、沖縄国際大学、 沖縄県立芸術大学、沖縄女子短期大学、沖縄県中小企業家同友会、在沖米国商工会議所、 (有)オーシャン・トゥエンティワン、(特非)沖縄人材クラスタ研究会、(株)ルーツ、 沖縄県大学就職指導研究協議会</p> <p>○期日/時間:平成 27(2015)年 3 月 27 日(金) 13:30～17:00 ○会場:琉球大学大学会館3階 特別会議室 ○対象:受入企業担当者、大学関係者、インターンシップ関連団体担当者、学生 ○目的:本事業における取組の報告 ○内容 総司会:松本 剛 (琉球大学 就職センター長)</p> <p>①開会あいさつ 大城 肇 (琉球大学 学長) 代読:富永大介理事(教育・学生支援担当)・副学長(5分) ②基調講演 宮城 治男 氏 (特定非営利活動法人ETIC. 代表理事)(30分)</p> <p>【本事業における取り組み】(90分)</p> <p>③テーマ1.「うりずんプロジェクト取り組みの達成目標と実績報告」 松本 剛 (琉球大学就職センター長)(15分) ④テーマ2.「体系的なキャリア教育プログラム及び評価手法の開発及び実施報告」 翁長 有希 (有限会社オーシャン・トゥエンティワン代表取締役社長)(30分) ⑤テーマ3.「専門人材養成カリキュラムの開発及び評価手法の開発と実施報告」 翁長 有希 (有限会社オーシャン・トゥエンティワン代表取締役社長)(15分) ⑥テーマ4.「うりずんプロジェクト インターンシップ経験学生による成果報告」 琉球大学就職センター・コーディネーター、経験学生2～3名 (30分)</p> <p>【休憩】(15分)</p> <p>⑦パネルディスカッション「うりずんプロジェクトの成果と今後」(50分) 司 会:松本 剛 (琉球大学 就職センター長) パネリスト:宮城 治男 氏 (特定非営利活動法人ETIC. 代表理事) 山入端 津由 (沖縄国際大学 学生部長) 元山 和仁 (沖縄女子短期大学 学生支援部長) 高橋 神奈男 (琉球大学 学生部長) 又吉 稔 氏 (沖縄県商工労働部雇用政策課 課長) 長谷川 元宏 氏 (全保連株式会社 人事総務部長)</p> <p>⑧質疑応答(15分) ⑨閉会あいさつ 松本 剛 (沖縄地域インターンシップ推進協議会 会長) (5分)</p>	

産学官連携シンポジウム うりずんプロジェクト ～「沖縄型」インターンシップの展開～

開催概要

日時：平成27（2015）年3月27日（金）13時30分～17時（13時より受付）

会場：琉球大学 大学会館3階 特別会議室

主催：沖縄地域インターンシップ推進協議会

開会あいさつ 大城 肇（琉球大学 学長） 代読：富永 大介 琉球大学理事（教育・学生支援担当）・副学長

基調講演 宮城 治男 氏（特定非営利活動法人ETIC、代表理事）

本事業における取り組み

テーマ1. 「うりずんプロジェクト取り組みの達成目標と実績報告」 松本 剛（琉球大学 就職センター長）

テーマ2. 「体系的なキャリア教育プログラム及び評価手法の開発及び実施報告」 翁長 有希（㈲オーシャン・トゥエンティワン 代表取締役社長）

テーマ3. 「専門人材養成カリキュラムの開発及び評価手法の開発と実施報告」 翁長 有希（㈲オーシャン・トゥエンティワン 代表取締役社長）

テーマ4. 「うりずんプロジェクト インターンシップ経験学生による成果報告」 琉球大学就職センター・コーディネーター、経験学生

パネルディスカッション「うりずんプロジェクトの成果と今後」

司 会：松本 剛（琉球大学 就職センター長）

パネリスト：宮城 治男 氏（特定非営利活動法人ETIC、代表理事）

（順不同） 山入端 津由（沖縄国際大学 学生部長）

元山 和仁（沖縄女子短期大学 学生支援部長）

高橋 神奈男（琉球大学 学生部長）

又吉 稔 氏（沖縄県商工労働部雇用政策課 課長）

長谷川 元宏 氏（全保連株式会社 人事総務部長）

閉会あいさつ 松本 剛（沖縄地域インターンシップ推進協議会 会長）

産学官連携シンポジウム
うりずんプロジェクト～「沖縄型」インターンシップの展開～
参加申込方法

参加ご希望の方は、「氏名」「所属」「連絡先（電話番号）」をご記入の上、
3月20日（金）までにメールでまたはFAX（別紙）にてお申込ください。

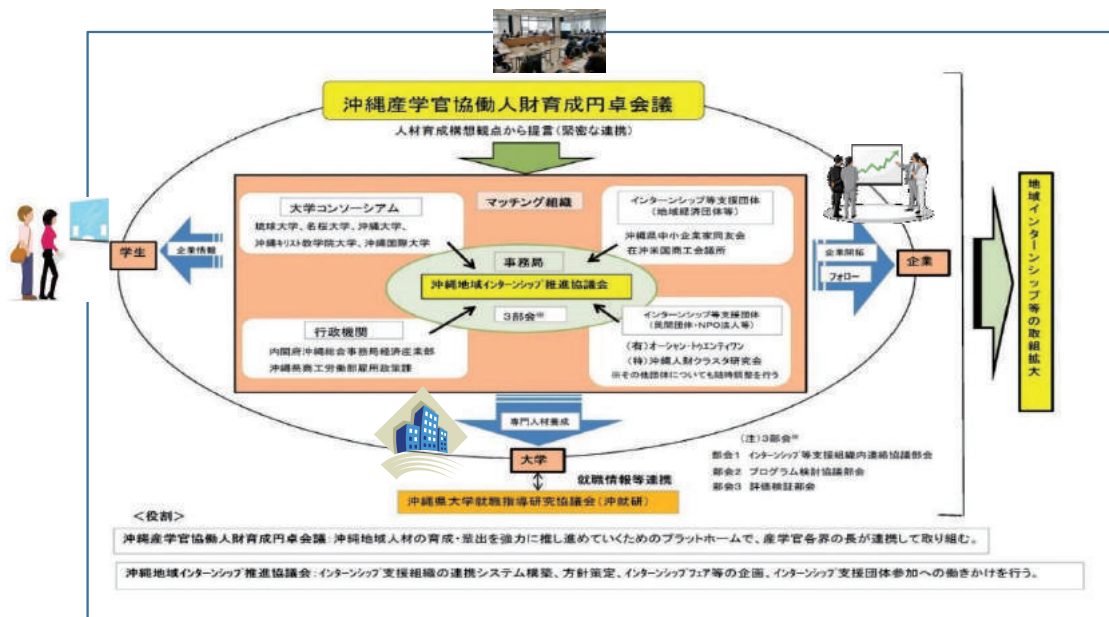
参加申込メールアドレス：urizun@to.jim.u-ryukyu.ac.jp

うりずんプロジェクトとは

平成26年8月1日に「**沖縄地域インターンシップ推進協議会**」が発足しました。

これは、文部科学省の大学改革推進等補助金事業の「**産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業【テーマB】インターンシップ等の取組拡大**」の募集に対して、**琉球大学**が幹事校となり、**名桜大学・沖縄大学・沖縄キリスト教学院大学・沖縄国際大学**の4大学が連携校となって応募した「うりずんプロジェクト～「沖縄型」インターンシップの展開～」が採択されたことにより、設置された協議会です。

平成26年～27年度の2年間で、①インターンシップを積極的に活用した**キャリア教育を行う体制の整備**や、②インターンシップ実施の**仕組みづくり**を行います。各大学・県内の経済団体・行政・インターンシップ支援団体等にご協力いただき、沖縄の産業と経済を支える企業での短期・中期・長期インターンシップや、沖縄に居ながらにして英語で異文化体験ができるインターンシップなど、「**沖縄型**」インターンシップを進めていきます。



アクセス

琉球大学東口(県道29号線側)より入構

↓
最初の信号を右折

↓
50m程進むと左手に駐車場

※駐車場から学生会館までは200～300m程の距離となります。

※他の駐車場(Pのマーク)も利用可能です。

※琉球大学のホームページでもご確認いただけます。【<http://www.u-ryukyuu.ac.jp/>】



↑
こちらから右リンクできます

連携大学・協力大学



後援・協力・連携団体

内閣府沖縄総合事務局 沖縄県商工労働部雇用政策課 沖縄県中小企業家同友会 在沖米国商工会議所
 有限会社オーシャン・トゥエンティワン 特定非営利活動法人沖縄人財クラスタ研究会 株式会社ルーツ
 沖縄県大学就職指導研究協議会

産学官連携シンポジウム

うりずんプロジェクト～「沖縄型」インターンシップの展開～

会次第

1. 日時:平成 27(2015)年 3 月 27 日(金)13:30～17:00
2. 会場:琉球大学 大学会館3階 特別会議室
3. プログラム
 - 総合司会:松本 剛 (琉球大学 就職センター長)
 - ①開会あいさつ 大城 肇 (琉球大学 学長) 代読:富永大介理事(教育・学生支援担当)・副学長
 - ②基調講演「うりずんプロジェクトの今後に繋がるインターンシップの可能性」
宮城 治男 氏 (特定非営利活動法人ETIC. 代表理事)(資料 1)
13:35～14:05(30 分)
【本事業における取り組み】(90 分)
 - ③テーマ1.「うりずんプロジェクト取り組みの達成目標と実績報告」(資料2)
松本 剛 (琉球大学就職センター長)
14:05～14:20(15 分)
 - ④テーマ2.「体系的なキャリア教育プログラム及び評価手法の開発及び実施報告」(資料3)
翁長 有希 (有限会社オーシャン・トゥエンティワン代表取締役社長)
14:20～14:40(20 分)
 - ⑤テーマ3.「専門人材養成カリキュラムの開発及び評価手法の開発と実施報告」(資料4)
翁長 有希 (有限会社オーシャン・トゥエンティワン代表取締役社長)
14:40～14:55(15 分)
 - ⑥テーマ4.「うりずんプロジェクト インターンシップ経験学生による成果報告」
琉球大学就職センター・コーディネーター、経験学生3名(資料5、資料6、資料7)
14:55～15:35(40 分)
 - 【休憩】(15 分)
 - ⑦パネルディスカッション「うりずんプロジェクトの成果と今後」(資料8)
15:50～16:40(50 分)
司 会:松本 剛 (琉球大学 就職センター長)
パネリスト:宮城 治男 氏 (特定非営利活動法人ETIC. 代表理事)
山入端 津由 (沖縄国際大学 学生部長)
元山 和仁 (沖縄女子短期大学 学生支援部長)
高橋 神奈男 (琉球大学 学生部長)
又吉 稔 氏 (沖縄県商工労働部雇用政策課 課長)
長谷川 元宏 氏 (全保連株式会社 人事総務部長)
 - ⑧質疑応答
16:40～16:55(15 分)
 - ⑨閉会あいさつ 松本 剛 (沖縄地域インターンシップ推進協議会 会長)

以上

ご参加ありがとうございました。

うりずんプロジェクト・産学官連携 2015 シンポジウム

(うりずんプロジェクト～「沖縄型」インターンシップの展開～)

日 時：平成27年3月27日（金）13:30～17:00

場 所：琉球大学 大学会館3階 特別会議室

参加者：62名（大学12名、企業・団体26名、行政8名、学生5名、その他11名）



学長挨拶:代読(富永大介 琉球大学理事・副学長)



基調講演「うりずんプロジェクトの今後に繋がるインターンシップの可能性」

宮城治男氏（特定非営利活動法人 ETIC. 代表理事）

【本事業における取組み】

テーマ1「うりずんプロジェクト取組みの達成目標と実績報告」松本 剛（琉球大学就職センター長）



テーマ2「体系的なキャリア教育プログラム及び評価手法の開発及び実施報告」

テーマ3「専門人材養成カリキュラムの開発及び評価手法の開発と実施報告」

翁長有希氏（㈱オーシャン・トゥエンティワン代表取締役社長）



テーマ4 「うりずんプロジェクト インターンシップ経験学生による成果報告」

川平 敦（琉球大学就職センター コーディネーター）



インターンシップ生 稲嶺智仁君（琉球大学 3年次）



インターンシップ生 平山さおりさん（名桜大学 3年次）



インターンシップ生 小宗太郎君（琉球大学 3年次）



参加者スナップ



2部 パネルディスカッション「うりずんプロジェクトの成果と今後」





質疑応答 参加者から意見及び期待が寄せられた。



以上

うりずんプロジェクト2015産学官連携シンポジウムアンケート(集計)

平成27年3月27日

本日はご参加いただき誠にありがとうございます。本事業をよりよいものにするために、皆様の満足度やご意見・ご感想(裏面)をお聞かせください。(1～7までは○をつけてください。)

1. ご所属(○をつけてください)

①受入企業・団体	6	②企業団体等(受入検討中)	7	③インターンシップ支援団体	1	④人材育成系企業	2	⑤行政関係者	5
⑥大学関係者	3	⑦大学生	0	⑧短大生	0	⑨大学院生	0	⑩その他	0
無回答	1								

2. 本日のシンポジウムはいかがでしたか？

①十分満足した	3	②概ね満足した	18	③あまり満足できなかった	1	④満足できなかった	0	無回答	3
---------	---	---------	----	--------------	---	-----------	---	-----	---

3. 基調講演はいかがでしたか？

①十分満足した	7	②概ね満足した	14	③あまり満足できなかった	2	④満足できなかった	0	無回答	2
---------	---	---------	----	--------------	---	-----------	---	-----	---

4. 本事業における取組について

(1) テーマ1「うりずんプロジェクト取組の達成目標と実績報告」はいかがでしたか？

①十分満足した	7	②概ね満足した	14	③あまり満足できなかった	3	④満足できなかった	0	無回答	1
---------	---	---------	----	--------------	---	-----------	---	-----	---

(2) テーマ2「体系的なキャリア教育プログラムの開発及び評価手法の開発」はいかがでしたか？

①十分満足した	7	②概ね満足した	15	③あまり満足できなかった	2	④満足できなかった	0	無回答	1
---------	---	---------	----	--------------	---	-----------	---	-----	---

(3) テーマ3「専門人材養成カリキュラムの開発及び評価手法の開発」はいかがでしたか？

①十分満足した	3	②概ね満足した	14	③あまり満足できなかった	5	④満足できなかった	1	無回答	2
---------	---	---------	----	--------------	---	-----------	---	-----	---

(4) テーマ4「うりずんプロジェクト インターンシップ経験学生による成果報告」はいかがでしたか？

①十分満足した	7	②概ね満足した	17	③あまり満足できなかった	0	④満足できなかった	0	無回答	1
---------	---	---------	----	--------------	---	-----------	---	-----	---

5. パネルディスカッション(うりずんプロジェクトの成果と今後)はいかがでしたか？

①十分満足した	5	②概ね満足した	16	③あまり満足できなかった	1	④満足できなかった	0	無回答	3
---------	---	---------	----	--------------	---	-----------	---	-----	---

6. 本イベントを知ったきっかけを1つ選んでください。

①大学からの案内	8	②大学や教職員からの紹介	1	③沖縄地域インターンシップ推進協議会からの案内	14	④大学のホームページを見て	0	⑤沖縄地域インターンシップ推進協議会のHPを見て	0
⑥その他	2	無回答	0						

7. 本日のシンポジウムは今後役に立つ内容でしたか。

(その理由をご記入ください)

よくまとめられている。／次年度インターンシップの受入れ検討しているのので、参考にしたい。／今後のインターンシップ受入の参考になった。／受入企業の役割の重要性を再認識できた。／実際に体験した学生の発表・今後のカリキュラムへの理解。／こういった活動があると知っただけでも、今後インターンシップを考えている側としては役立つと思いました。／実際にどんな活動をしているかよくわかる。／今後の学生指導のあり方について大いに参考になりました。／わずか3時間半の中に様々な情報と事例があり、大変勉強になった。体験した学生の生の声がきけたことが良かった。／キャリア教育プログラムや人材養成カリキュラムについて、お話をきくことができたので。／受入企業としてパネルディスカッションや経験学生の話は役立ちました。受入れた学生のモチベーションはやっぱり違うので、積極性をいかに上げるかが課題だと感じました。／大学の姿勢、企業の姿勢がよく分かった。／今後の沖縄県内の大学や企業の目的や考え方を知ることが出来たため。

8. 本イベントについて、お気づきの点や改善すべき点、また質問などありましたら、具体的にご記入ください。

ぜひ録画した内容をYoutube、Vine等で公開してください♪／前回(2/4)も参加したが、時間配分がなっていない。企業は終了時間にあわせて次の業務の段取りをしているため、後半は時間にせかされてしまう。終了時間も含めて、ある程度時間割に余裕を持ったスケジュールを設定すべき。／時間が押して、詳細に聞けなかった項目がもったいなく感じました。後半もディスカッション(討議)するだけの時間があれば良かったと思いました。皆さんお話をただただで、討議の時間はなかったのもったいなく感じました。／休憩が少なく集中力が切れませんでした。もう少し余裕が欲しいです。／配布する資料は修正後のものを頂きたかった。／多くの大学教員に参加してもらえるようにするにはどうすべきか、考えるべきかと思います。／全体的にもう少しづつ時間があつたらと思いました。／全保連(長谷川さん)のように、「当社」の望む人材像が明確な企業担当者の話がより多くあればと思う。(一般的に「いい人材」という言い方が多いのが現状だという印象が強いから)

9. その他ご意見・ご感想などありましたら、お聞かせください。

次年度も期待しております。／キャリア教育プログラムの導入について、大学内の取組みを加速させていきたいと思えます。／インターンシップから、これからの就活が変わっていくイメージがある。学生の意識も向上するだろうし、企業にとっても変化するターニングポイントにもなるだろう。／来年度また楽しみです。／この催しはとても刺激的だと思いました。もっと多くの大学教員にも参加してほしいと思えます。今後の大学の教育のひとつの柱となる考え方だと思えます。全教員が知っておくべき内容だと思えました。／8月から本格始動なされて、半年超の間でここまで成果を出されたのはすごいと思えました。このスピード感、沖縄の企業にも必要だと思えます。本当におつかれ様でした。素晴らしいプログラムだと思えますので、今後も引き続き学生への機会提供が続くことを期待しています。学生にとって、学外での経験を通して成長できる機会は大変貴重です。冊子の配信を楽しみにしております。／参考になりました。／うりずん参加学生の内定率の報告の時期が楽しみです。今後頑張ってください。／色々な立場の方のご意見を聞くことが出来ました。ありがとうございました。／産学官それぞれのお話が聞けて良かったです。それぞれが連携して、それぞれがメリットがあるプロジェクトであることが理解できました。

2-3

【次年度に向けた取組】

2015 夏期インターンシップ
企業向け説明会

開催概要	
■ 概要	
事業名	産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業【テーマ B】インターンシップ等の取組拡大
資料内容	2015夏期インターンシップ企業向け説明会 開催概要
■ 打合せ内容詳細	
<p>主催 沖縄地域インターンシップ推進協議会</p> <p>後援 沖縄県商工労働部雇用政策課、宮古島市、宮古島商工会議所、石垣市、竹富町、石垣市商工会、竹富町商工会</p> <p>協力：琉球大学、名城大学、沖縄大学、沖縄キリスト教学院大学・沖縄キリスト教短期大学、沖縄国際大学、沖縄県立芸術大学、沖縄女子短期大学、有限会社オーシャン・トゥエンティワン、特定非営利活動法人沖縄人材クラスタ研究会、株式会社ルーツ、沖縄県大学就職指導研究協議会（調整中含む）</p> <p>○期日／時間(平成27年2月4日(木)13:30～15:30)</p> <p>○会場：本会場：琉球大学生涯学習教育研究センター 3階 301講義室 宮古島会場：宮古島市中央公民館 2階 視聴覚室 八重山会場：石垣市立図書館 2階 視聴覚室</p> <p>○対象：インターンシップ受入を希望する企業、インターンシップ関連団体、県、市町村自治体の人事担当者、またはインターンシップ受入担当者</p> <p>○目的：うりずんプロジェクト「沖縄型」インターンシッププログラムの実施</p> <p>○ねらい：本事業のインターンシッププログラムの企業周知、受入打診</p> <p>○実施内容／時間</p> <p>①事前プログラムガイダンス(30分)13:30～14:00 説明：インターンシップ・コーディネーター川平敦 ・インターンシップ開始までのスケジュールや事前講座、実施期間中、事後研修など基本的なプログラムの概要説明(うりずんプロジェクトの内容紹介を含む。) ・うりずんプロジェクト夏期インターンシップ今後の流れ</p> <p>②学生によるインターンシップ経験談(30分) 14:00～14:30 発表者：若山恵美(沖縄国際大学4年次)、庄司健太(琉球大学3年次) <休憩10分></p> <p>③受入経験企業によるインターンシップのメリット(40分)14:40～15:20 (1)企業説明者：(株)お菓子のポルシェ 管理本部総務人事課 桜井真由美氏、 恩納店 販売本部直売部 棚原優美氏 (2)企業説明者：全保連株式会社 人事総務部長 長谷川元宏氏</p> <p>④質疑応答(10分)15:20～15:30 ・アンケートの回収</p> <p>○その他： 企業等担当者駐車場を確保する。(琉球大学生涯学習教育研究センター前の駐車場)</p>	

平成27年1月15日

企業等人事担当者 各位

沖縄地域インターンシップ推進協議会
【琉球大学就職センター長】
会長 松本 剛



2015夏期インターンシップ企業向け説明会の開催について（ご案内）

拝啓 新春の候、貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、平成26年度文部科学省「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業【テーマB】インターンシップ等の取組拡大」の補助金事業において、琉球大学を幹事校とする県内4大学（名桜大、沖縄大、沖縄キリスト教学院大、沖縄国際大）の「うりずんプロジェクト～「沖縄型」インターンシップの展開～」が採択され、産学官連携の沖縄地域インターンシップ推進協議会が設置され事業がスタート致しました。

ご承知のことと存じますが、大学の現3年次生の就職活動時期の変更に伴い、企業等の広報活動が平成27年3月1日以降に、採用選考活動が同年8月1日以降となり、学生が企業及び業界内容を知るために早期のインターンシップ実施の重要度が増してくるものと認識しております。

そのため、初年度事業として、県内学生（短大生含む。）を対象としたインターンシップ実施に焦点をあて、沖縄本島内においては2015春期インターンシップ実施（申込み学生74名）のマッチングを実施しているところです。

さらに宮古島地区及び八重山地区においても夏休みに帰郷して、地元企業等でのインターンシップを希望する学生も想定されることから、本島内企業を含め下記のとおり2015夏期インターンシップ企業向け説明会を開催し、事業趣旨の周知と受入に当たって地元企業の懸念等を含めて、既に実施している企業等担当者からの事例報告を予定しております。

貴社・団体等におかれまして、2015年（平成27年）夏期にインターンシップ受入のご予定・ご希望がありましたら、趣旨をご理解いただき、ご担当者様の派遣をよろしく願いいたします。

なお、当日配付資料の準備がありますので、1月30日（金）までに別添チラシ裏面にて、FAXでお申込み下さい。（前回参加された企業の方もご都合がよろしければお越しく下さい。）

同時中継を行いますので、最寄の会場にお越しく下さい。

敬具

記

1 行事名：2015夏期インターンシップ企業向け説明会

日時：平成27年2月4日（水）13:30～15:30

場所：〔本島内会場〕 琉球大学生涯学習教育研究センター3階 301講義室

〔宮古島地区会場〕 宮古島市中央公民館 2階視聴覚室

〔八重山地区会場〕 石垣市立図書館 2階視聴覚室

2 開催概要（参考資料）

- ・2015夏期インターンシップ企業向け説明会チラシ（裏面申込書）
- ・学生の就職・採用活動時期の変更について

3 問合せ・申込み先

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地

沖縄地域インターンシップ推進協議会事務局（琉球大学就職センター内）

インターンシップ・コーディネーター 川平敦・金子宏一

事務補佐員 米澤晃子

電話 098-895-8981 FAX 098-895-8119

E-mail urizun@to.jim.u-ryukyu.ac.jp

うりずんプロジェクト

2015夏期インターンシップ企業向け説明会

会次第

1. 日時：平成27年2月4日（木） 13:30～15:30（※予定）
2. 会場 本会場：琉球大学生涯学習教育研究センター 3階 301講義室
宮古島会場：宮古島市中央公民館 2階 視聴覚室
八重山会場：石垣市立図書館 2階 視聴覚室

3. プログラム

①うりずんプロジェクトとインターンシッププログラムの概要説明

13:30～14:00（30分）

説明者：琉球大学就職センター・特命一般職員

（インターンシップ・コーディネーター）川平 敦氏

②学生によるインターンシップ経験談

14:00～14:30（15分×2名）

発表者：若山 恵美さん（沖縄国際大学4年次）

庄司 健太君（琉球大学3年次）

～休憩（10分）～

③インターンシップ受入企業によるメリット報告

14:40～15:00（20分）

(1)企業説明者：株式会社 お菓子のポルシェ

管理本部 総務人事課 桜井 真由美氏

恩納店 販売本部直売部 棚原 優美氏

15:00～15:20（20分）

(2)企業説明者：全保連株式会社

人事総務部長 長谷川 元宏氏

④質疑応答

15:20～15:30（予定） ※質疑状況により予定時間を超える場合があります。

・アンケートの回収

以上

ご参加ありがとうございました。

うりずんプロジェクト2015夏期

インターンシップ

企業向け説明会

- ◆日 時 平成27年2月4日(水) 13:30~15:30
 - ◆場 所 琉球大学生涯学習教育研究センター3階 301 講義室
 - ◆趣旨・対象 2015年夏期(8~9月初旬)に、県内大学生(1~4年次)が本島内、宮古島地区及び八重山地区の地元企業等でインターンシップを実施する。
受入れを希望・検討する企業等の人事または受入担当者
- ※琉球大学からサテライト(宮古島地区及び八重山地区に同時中継)方式で開催する。
- ◆プログラム ①うりずんプロジェクトとインターンシッププログラムの概要説明
 - ②学生によるインターンシップ経験談
 - ③インターンシップ受入企業によるメリット報告

※うりずんプロジェクトとは、文部科学省の補助金事業で採択された沖縄地域におけるインターンシップ取組事業のこと

申込み方法

企業名・ご所属・担当者名・Telを、右記のメールアドレスまで送信してください。事務局より返信いたします。

※Faxでもお申込みできます。(裏面をご利用ください)



↑
こちらからもリンクできます

お問い合わせ・申込み

沖縄地域インターンシップ推進協議会事務局
(琉球大学就職センター内) 電話 098-895-8981
メール urizun@to.jim.u-ryukyu.ac.jp

主催：沖縄地域インターンシップ推進協議会 後援：沖縄県商工労働部雇用政策課、宮古島市、宮古島商工会議所、石垣市、竹富町、石垣市商工会、竹富町商工会

協力：琉球大学、名城大学、沖縄大学、沖縄キリスト教学院大学・沖縄キリスト教短期大学、沖縄国際大学、沖縄県立芸術大学、沖縄女子短期大学、沖縄県中小企業家同友会、(有)オーシャン・トゥエンティワン、(特非)沖縄人材クラスタ研究会、(株)ルーツ、沖縄県大学就職指導研究協議会

＝うりずんプロジェクト＝
2015夏期インターンシップ企業向け説明会を3地区同時TV会議方式で開催

文部科学省補助金事業「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業【テーマB】インターンシップ等の取組拡大」において採択されたうりずんプロジェクト〔正式名称「うりずんプロジェクト～「沖縄型」インターンシップの展開～」幹事校は琉球大学、連携校は名桜大学、沖縄大学、沖縄キリスト教学院大学、沖縄国際大学〕では、平成26年8月1日に沖縄地域インターンシップ推進協議会を設置し、実質的に事業をスタートした。

初年度事業の「2015春期インターンシップ」実施（H27.1月時点：参加学生67名、受入企業22社）に目途がついたので、琉球大学（会場：生涯学習教育研究センター3階301講義室）をメイン会場とし、離島地域の宮古島地区（会場：宮古島市中央公民館の視聴覚室）及び八重山地区（会場：石垣市立図書館の視聴覚室）を含めた3地区同時テレビ会議方式により、**2015夏期インターンシップ企業向け説明会**を平成27年2月4日（水）13：30～15：50に開催した。

【参加者内訳】

区分	参加企業数	担当者	その他※	計
琉球大学会場	14社	16名	16名	32名
宮古島会場	6社	8名	1名	9名
八重山会場	6社	6名	1名	7名

※その他は大学教職員、行政機関、学生の計

同説明会は、この夏期インターンシップ実施に向けて、本島内及び離島地域の企業・団体に対し、うりずんプロジェクトの概要や予定しているインターンシップの種類、夏期インターンシップ取組みのタイムスケジュール情報提供、学生の経験談、既にインターンシップを受入れた企業によるメリット報告など、情報共有と受入企業の開拓を目的に企画したものである。

プログラム内容としては、次のとおり実施した。

①うりずんプロジェクトとインターンシッププログラムの概要説明

説明者：琉球大学就職センター インターンシップ・コーディネーター 川平敦氏

②学生によるインターンシップ経験談

学生発表者：(1)庄司健太君（琉球大学3年次）
 (2)若山恵美さん（沖縄国際大学4年次）

（休憩）

③インターンシップ受入企業によるメリット報告

説明者：(1)株式会社お菓子のポルシェ 管理本部 総務人事課 桜井真由美氏
 恩納店 販売本部直販部 棚原優美氏
 (2)全保連株式会社 人事総務部長 長谷川元宏氏

④質疑応答 企業担当者との質疑を通して情報交換を行った。

「うりずんプロジェクトとインターンシッププログラムの概要説明」では、川平コーディネーターから、今回初めて参加する本島内及び離島地域の企業・団体のため、うりずんプロジェクトの概要、予定しているインターンシップの種類等を中心に説明を行った。

「学生によるインターンシップ経験談」では、庄司健太君の発表に引き続き、若山恵美さんから「長期インターンシップの受入企業では、就職活動イベントの企画を担当した。苦労を重ねながら多くの人のニーズを聞くことにより、学生や企業担当者が普段着で本音を語るができるように『カジュアル合同企業説明会』を企画して、延べ200名の参加実績を作ることができた。また、この経験を活かして、同業種の県外企業に内定を得ることができた。」と長期インターンシップのメリットを語った。

「インターンシップ受入企業によるメリット報告」では、株式会社お菓子のボルシェの総務人事課の桜井氏から新入社員にインターンシップ受入担当を任せる等により人材育成に活用した事例や製造中心主義の管理職に対し、インターンシップ受入により職場環境改善の意識に変えることができた等のメリットの説明があった。引き続き、新入社員（採用6ヶ月）の棚原氏からは、人前で話すことが苦手だったので、この2014夏期のインターンシップ受入担当に当初戸惑いもあったが、結果的に、コミュニケーション能力が向上したこと、学生への説明のために業務全般の知識の把握ができたことなど成長できた実感を発表した。

続いて、全保連株式会社の人事総務部長の長谷川氏から、「全保連は家賃保証サービスを業務として行っており、本社は那覇市にある。創業7年目で全国に拠点展開を開始した平成20年（2008年）夏期から琉球大学及び沖縄国際大学からの依頼に基づき、インターンシップの受入れを開始し、以降7年連続してインターンシップ学生を受入れている。当初は、伝票整理やファイリング等のアルバイトの延長のようなプログラムで実施していたが、2012年からプログラムを大幅に見直し、①家賃保証という業界を知ってもらう、②沖縄で創業し、全国展開している全保連を知ってもらう、③実際のビジネス現場でビジネス・オペレーションを体験してもらう等の内容に改定し、学生及び大学に対する全保連としての情報発信ができた。

実施・運営のポイントとして、次の3点が挙げられる。

- (1) 人事部のみではなく、現場を巻き込む
- (2) 学生の立場で何を学んで欲しいかを考える
- (3) 学生と社会人の違いを実感してもらう

インターンシップ取組みについて各企業が個別に苦労を重ねているが、『うりずんプロジェクト』により大学・行政・企業が情報交換できる体制がようやく整ったので、各企業が連携して沖縄県を元気にしていけるのではないかと報告があった。

質疑応答の後、企業等担当者間で情報交換等が行われ、企業向け説明会が終了した。

参加者アンケートでは「十分満足した」、「概ね満足した」の計が80%以上の結果となり、当初の目的は達せられたが、同時テレビ会議方式のシステム不調もあり、3地区の参加者から次の意見が寄せられ、今後の3地区同時開催について検討課題も浮かび上がった。

- ・「インターン経験談、受入企業による報告を同時に聞くことができ、両者の視点からISのメリットを知ることができた」（琉球大学会場）
- ・「サテライト会場とリアルタイムで同じ研修、講義をできるようにしているのはとても効率的で、情報収集が瞬時にできて良いと思った」（琉球大学会場）
- ・「3会場同時開催がうまく機能しなかった気がする。受入企業メリット紹介は、スライドを見ている中で音声のみなので、臨場感が伝わらずメリットがメリットとして聞こえません。全保連のお話は大変分かりやすかった」（宮古島会場）
- ・「インターンシップ説明会の趣旨に賛同しますが、説明会の開催方法について改めた方がいいと思う。沖縄本島と大学の無い離島の温度差を感じた」（宮古島会場）
- ・「離島の小規模な観光施設であるので、応募があるのかどうか疑問に思う」（八重山会場）

以上



司会・開会あいさつ(沖縄地域インターンシップ推進協議会会長 松本 剛氏)



うりずんプロジェクト概要等の説明(川平 敦コーディネーター)



学生によるインターンシップ経験談（琉球大学3年次 庄司 健太君）



学生によるインターンシップ経験談（沖縄国際大学4年次 若山 恵美さん）



インターンシップ受入企業によるメリット報告 ㈱お菓子のポルシェ
右 桜井 真由美氏
左 棚原 優美氏



インターンシップ受入企業によるメリット報告 全保連株式会社 長谷川 元宏氏



質疑応答後の情報交換（琉球大学会場）



3地区同時TV会議方式の画面（左から宮古島地区、八重山地区、琉大会場）琉球大学会場より



宮古島地区会場の企業向け説明会（宮古市中央公民館）の様子



八重山地区会場の企業向け説明会（石垣市立図書館）の様子
※船便の都合で途中退席の企業あり

平成27年2月4日

うりずんプロジェクト2015夏期インターンシップ 企業向け説明会アンケート（集計・本島）

本日はご参加いただき誠にありがとうございます。今後より良いものにするために、皆様の満足度やご意見・ご感想（裏面）をお聞かせください。（1～8までは○をつけてください）

1. 差し支えなければ、業種および従業員数を教えてください。

債権管理回収業（60人）/公務（地方自治体 340人）/情報サービス業（120人）/情報処理サービス業（210人）/新聞製作/証券業（95人）/那覇空港ハンドリング業務（970人）/飲食業（12人）/宿泊業（30人）/旅行・レンタカー業（600人）/IT業（68人）/地方自治体（340人）/就職支援機関（14人）/

2. 本日の企業向け説明会はいかがでしたか？

①十分満足した（2）②概ね満足した（10）③あまり満足できなかった（1）④満足できなかった（0）

3. 「うりずんプロジェクトとインターンシッププログラムの概要説明」はいかがでしたか？

①十分満足した（2）②概ね満足した（12）③あまり満足できなかった（1）④満足できなかった（0）

4. 「学生によるインターンシップ経験談」はいかがでしたか？

①十分満足した（3）②概ね満足した（10）③あまり満足できなかった（2）④満足できなかった（0）

5. 「インターンシップ受入企業によるメリット報告」はいかがでしたか？

①十分満足した（5）②概ね満足した（6）③あまり満足できなかった（2）④満足できなかった（0）

6. 本説明会を知ったきっかけを1つ選んでください。

- ①大学からの案内（13）④沖縄地域インターンシップ推進協議会のHPを見て（0）
②大学教員や職員からの紹介（0）⑤その他（ ）（0）
③チラシ・ポスター（2）

7. 本説明会に参加した目的は何ですか。（複数回答可）

- ①夏期インターンシップ受入を検討中のため情報収集（7）
②うりずんプロジェクトとインターンシッププログラムの概要説明に興味があった（3）
③学生によるインターンシップ経験談に興味があった（2）
④インターンシップ受入企業によるメリット報告に興味があった（4）
⑤その他（2）（情報収集/学生へ会社を作ってもらおう機会をつくりたいので。）

8. 本説明会は今後役に立つ内容でしたか。

- ①非常に役立つ (4)
- ②役立つ (8)
- ③あまり役に立たない (2)
- ④まったく役に立たない (0)

企業の実情（受入のメリット）に興味があった/受入企業によるメリットが分かったから。モチベーションを上げる方法が見つかりそう/インターン経験後、受入企業による報告を同時に聞くことができ、両者の視点からインターンシップのメリットを知ることができた/事務局の役割や実像が大体見えてきた/参加目的の内容ではなかった。夏期インターンシップに向けた具体的な説明が欲しかった/琉球大学からのインターンシップ学生が当社に希望することを期待/インターンシップのメリットが参考になった/インターンシップを本格的に受入するためのきっかけを作りたいから/学生体験談・企業のメリット報告を通じてプログラムの作成に役立てる

9. インターンシップ受入の際の悩みや知りたいことがありましたら教えてください。

学生ニーズに合わせてプログラム作成についてあまりノウハウがなく、充実したインターンシップになっているか難しい部分がある。学生の興味、希望のある部署へインターンシップ受入を調整しているが、時期によっては調整が難しいことがある。/担当者の負担が大きいの、集合型で実施可。/受入企業のインターンシップをもともと希望していない学生のやる気のなさが周りに影響する。インターンシップ参加が大学の単位取得に直結するとそのような学生が増えるのではないかと心配している。インターンシップ参加者が実際就職志望になったのか、データが欲しい。/顧客に対応するには、資格が必要な職種なので、内容が制限される。/魅力ある受け入れ体制はどう構築していくのか？長期インターンシップの学生が体験だけでは物足りなく次のステップを考えている話を聞いて考えてしまった。/受入企業側の目標設定の方法や事例等をもっと多く聞いてみたい。/学生によって目的が異なる（目的があいまい）。企業側の現場への理解が弱い。成果が見えづらい（企業側、インターンシップ学生ともに）。

10. 本説明会についてお気づきの点や改善すべき点などありましたら具体的にご記入ください。

インターネットを使ったサテライト会場とリアルタイムで同じ研修、講義をできるようにしているのはとても効率的で、情報収集が瞬時にできてよいと思った。/学生の講義でインターンシップが必須項目ではないので、琉大からの応募がありません。/説明会の目的がどこにあるのか分からなかった。インターンシップのプロジェクト紹介（制度の説明）であれば、資料配布で十分でしたし、インターンの参加を企業に促すためであれば、すでに参加を決めていたので、事前にその旨を知らせて欲しかった。/他企業のインターンシッププログラムが具体的に知りたかった。/サテライトの初期対応や全保連のデータ等、事前に予め準備すべきだった。/宮古と八重山の中継に不備がありました。

11. その他ご意見・ご感想などありましたら、お聞かせください。

本日の説明会のポイントは何？プロジェクト説明、報告になっており、何故夏期インターンシップを取り入れ春期インターンシップとのつながりがあるのか？マイクを持ってお話しするより、ピンマイク等を使用し、伝える人が気軽にできるようにしたら。/事前研修の際、会社の情報を伝える場があれば参加したい。/参考になりました。/短期（3日間）のインターンシップは何度も受入しているが、中期（2週間～1ヶ月）はまだ受入をしたことがないので今後は是非やってみよう。/このような機会がありましたらご紹介ください。スケジュール管理を調整して欲しい。

平成27年2月4日

うりずんプロジェクト 2015 夏期インターンシップ 企業向け説明会アンケート（宮古島）（集計）

本日はご参加いただき誠にありがとうございます。今後より良いものにするために、皆様の満足度やご意見・ご感想（裏面）をお聞かせください。（1～8までは○をつけてください）

1. 差し支えなければ、業種および従業員数を教えてください。

新聞発行業（40人） / 公務（1,300人：正職員800、臨時・嘱託500） / 不動産業（50人） / 宿泊業（160人） / ホテル業（400人） / 不明3
--

2. 本日の企業向け説明会はいかがでしたか？

①十分満足した（1）②概ね満足した（5）③あまり満足できなかった（1）④満足できなかった（1）

3. 「うりずんプロジェクトとインターンシッププログラムの概要説明」はいかがでしたか？

①十分満足した（0）概ね満足した（5）あまり満足できなかった（1）④満足できなかった（2）

4. 「学生によるインターンシップ経験談」はいかがでしたか？

①十分満足した（1）②概ね満足した（4）③あまり満足できなかった（3）④満足できなかった（0）

5. 「インターンシップ受入企業によるメリット報告」はいかがでしたか？

①十分満足した（2）②概ね満足した（4）③あまり満足できなかった（0）④満足できなかった（0）

不明（2）※十分満足した、概ね満足したのメモ書きに「特に全保連」「全保連さんのメリット報告は良かった」との記載あり

6. 本説明会を知ったきっかけを1つ選んでください。

①大学からの案内（4）④沖縄地域インターンシップ推進協議会のHPを見て（0）

②大学教員や職員からの紹介（1）⑤その他（ダイレクトメール）（1）

③チラシ・ポスター（2）

7. 本説明会に参加した目的は何ですか。（複数回答可）

①夏期インターンシップ受入を検討中のため情報収集（4）

②うりずんプロジェクトとインターンシッププログラムの概要説明に興味があった（4）

③学生によるインターンシップ経験談に興味があった（2）

④インターンシップ受入企業によるメリット報告に興味があった（2）

⑤その他（0）（行政の立場（商工業の振興のための情報収集として））

8. 本説明会は今後役に立つ内容でしたか。

①非常に役立つ（2）

②役立つ（6）

③あまり役に立たない（0）

④まったく役に立たない（0）

その理由をご記入ください

インターンシップの概要を知ることができた。/①インターンシップを受け入れることのメリットについて具体的に聞くことができた。②インターンシップ経験談も、具体的な感想を聞き、学生がどういった気持ちで職場体験をやってみたいかということが分かった。/インターンシップ生への指導方法・内容のヒントを得ることができた。

9. インターンシップ受入の際の悩みや知りたいことがありましたら教えてください。

期間/ (インターンシップは) 短期間で終了してしまうため、労働力・戦力として期待ができない。そのため「とにかく手数が必要」という部署にしか配属できず、学生側もいい印象を与えられない。繁忙期の受入れのため現場が学生さんに対して十分なケアができない。(ホテル業)

10. 本説明会についてお気づきの点や改善すべき点などありましたら、具体的にご記入ください。

3会場同時開催がうまく機能しなかった気がします。受入企業メリット紹介は、スライドを見ている中で音声のみなので、臨場感が伝わらずメリットがメリットとして聞こえません。全保連さんのお話は大変分かりやすかったです。/ ①音声②お菓子のポルシェさんの説明、データ表示は意味が無いと思います。

11. その他ご意見・ご感想などありましたら、お聞かせください。

インターンシップ説明会の趣旨に賛同しますが、説明会の開催方法については改められた方がいいと思います。沖縄本島と大学の無い離島の温度差を感じました。/ 既にインターンシップを受け入れている企業のこれまでの試行錯誤を聞くことができ、今後の参考になりました。貴重な会を開催していただきありがとうございました。/ 会場が寒かった。

ご協力ありがとうございました！

 **うりずんプロジェクト**
沖縄地域インターンシップ推進協議会

平成27年2月4日

うりずんプロジェクト 2015 夏期インターンシップ 企業向け説明会アンケート（石垣）（集計）

本日はご参加いただき誠にありがとうございます。今後より良いものにするために、皆様の満足度やご意見・ご感想（裏面）をお聞かせください。（1～8までは○をつけてください）

1. 差し支えなければ、業種および従業員数を教えてください。

観光業（リゾート施設運営）（50人 2施設） / 公務（120人） / サービス業（200人）

2. 本日の企業向け説明会はいかがでしたか？

- ①十分満足した (0) ②概ね満足した (2) ③あまり満足できなかった (1) ④満足できなかった (0)

3. 「うりずんプロジェクトとインターンシッププログラムの概要説明」はいかがでしたか？

- ①十分満足した (0) ②概ね満足した (3) ③あまり満足できなかった (0) ④満足できなかった (0)

4. 「学生によるインターンシップ経験談」はいかがでしたか？

- ①十分満足した (0) ②概ね満足した (1) ③あまり満足できなかった (2) ④満足できなかった (0)

5. 「インターンシップ受入企業によるメリット報告」はいかがでしたか？

- ①十分満足した (0) ②概ね満足した (2) ③あまり満足できなかった (1) ④満足できなかった (0)

6. 本説明会を知ったきっかけを1つ選んでください。

- ①大学からの案内 (0) ④沖縄地域インターンシップ推進協議会のHPを見て (0)
②大学教員や職員からの紹介 (1) ⑤その他（FAXによる案内 / 代理のため不明です） (2)
③チラシ・ポスター (0)

7. 本説明会に参加した目的は何ですか。（複数回答可）

- ①夏期インターンシップ受入を検討中のため情報収集 (1)
②うりずんプロジェクトとインターンシッププログラムの概要説明に興味があった (0)
③学生によるインターンシップ経験談に興味があった (0)
④インターンシップ受入企業によるメリット報告に興味があった (1)
⑤その他 (1)（行政の立場（商工業の振興のための情報収集として））

8. 本説明会は今後役に立つ内容でしたか。

- ①非常に役立つ (0)
②役立つ (3)
③あまり役に立たない (0)
④まったく役に立たない (0)

その理由をご記入ください
商工業、雇用の改善や、八重山にUターンで戻ってくる学生のために役に立つということを目的に、地元企業に提案できると思ったため。/インターンシップ学生のインターンシップ経験談、またインターンシップ受入企業のメリット報告を直接聞いて良かった。

（裏面につづきます）

9. インターンシップ受入の際の悩みや知りたいことがありましたら教えてください。

離島の小規模な観光施設であるので、応募があるのかどうか疑問に思う。(学生は単なるアルバイト程度にしか思わない可能性もある。) / 効果的な内容にするべく、プログラム内容を工夫していることがわかりましたが、学生の立場になり、何を学びたいかを考えなければならないと感じました。

10. 本説明会についてお気づきの点や改善すべき点などありましたら、具体的にご記入ください。

たくさんのメリットがあることがわかりました。

11. その他ご意見・ご感想などありましたら、お聞かせください。

特にありません。

ご協力ありがとうございました！

 **うりずんプロジェクト**
沖縄地域インターンシップ推進協議会

2-4

【評価検証】

平成 26 年度評価検証報告書

平成26年度大学改革推進事業

うりずんプロジェクト～「沖縄型」インターンシップの展開～

評価検証報告書

平成27年3月25日

沖縄地域インターンシップ推進協議会

評価検証部会

評価検証部会名簿

(敬称略、平成27年2月現在)

NO	区 分	所 属	役職名	氏 名	備 考
1	大 学	沖縄女子短期大学	教 授	元山 和仁	部会長
2	行政機関	内閣府沖縄総合事務局 経済産業部地域経済課	課 長	平良 浩二	
3	〃	沖縄県商工労働部雇用 政策課	課 長	又吉 稔	
4	学識経験者	名桜大学	教 授	宮平 栄治	
5	外部委員	琉球大学	監 事	北原 秋一	
6	〃	沖縄県キャリアセンター	センター長	福 廣之進	

【評価検証部会 開催経過】

第1回 平成27年2月27日（金）10:00～12:10 5名出席（代理出席含む。）

- (1) 平成26年度実施計画と数値目標の確認について
- (2) 事業進捗が確認できるエビデンス書類との突合について
- (3) その他（次回開催日の確認）

第2回 平成27年3月16日（月）10:00～12:00 4名出席（代理出席含む。）

- (1) 事業進捗が確認できるエビデンス書類との突合について（1回分除く。）
- (2) 評価検証部会の報告書（案）について
- (3) その他

平成26年度大学改革推進事業

うりずんプロジェクト～「沖縄型」インターンシップの展開～

評価検証結果報告（概要）

評価検証部会（部会3）では、平成26年度文部科学省大学改革推進事業「**産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業【テーマB】インターンシップ等の取組拡大**」において採択された「うりずんプロジェクト～「沖縄型」インターンシップの展開～（略称「うりずんプロジェクト」）について、交付申請書に記載した下記の平成26年度補助事業実施計画の進捗を2回にわたって評価検証を行い、結果を取りまとめました。

記

平成26年度の補助事業実施計画 ①～⑨

- ①「沖縄地域インターンシップ推進協議会」の開催（7月下旬）、「連絡協議部会（部会1）の開催（7月下旬）、「プログラム検討協議部会（部会2）の開催（8月中旬）、事務補佐員及びインターンシップ・コーディネーターを採用（7月）
- ②インターンシップとその事前・事後学習のための学内講座のカリキュラム、及びその評価検証手法の確立に着手する（8月）。
- ③インターンシップの受入れ企業を開拓する（7月～1月）。また実施後、効果検証のためのインタビュー調査、アンケート調査を行う（9月と3月）。
- ④インターンシップ実施前に「インターンシップフェア」（12月）を開催し、参加希望学生と受入れ希望企業・団体とのマッチングを行う（12月～1月）。
- ⑤学生のインターンシップとその事前学習（1月）・事後学習（2月）。②に並行して進め、学生へのアンケート調査結果を逐一②に反映させる。
- ⑥大学内でインターンシッププログラムを実施する人材を養成するためのカリキュラムの開発（8月～3月）。②の結果を検証しつつ進める。
- ⑦評価部会開催により、②の評価手法（参加学生へのインタビュー調査・アンケート調査を含む）による評価を行う。

⑧26年度の成果を報告するための「シンポジウム」(3月)の開催。参加学生、コーディネーター、外部有識者による講演が中心となる。

⑨年度末までに、インターンシッププログラムのカリキュラム、評価手法、専門人材育成テキストを含む実施報告書を作成する。

〈その他1〉うりずんプロジェクト～「沖縄型」インターンシップの展開～の取組の達成目標(参加学生数、参加率、開拓企業)

〈その他2〉事業実施計画項目になかったもので実施した事項

評価指標と進捗状況

評価指標と点数	事業進捗状況	項目①～⑨、その他1、その他2	件数
平成26年度計画より特に進捗している（5点）	実施後、新たな事項に着手	無	0
平成26年度計画よりやや進捗している（4点）	実施済・継続中	⑤、その他1、その他2	3
平成26年度計画どおり実施している（3点）	事業着手・実施	①、②、③、④、⑥、⑦、⑧、⑨	8
平成26年度計画よりやや遅れている（2点）	検討中	無	0
平成26年度計画より特に遅れている（1点）	未実施	無	0

計11件

※別添「評価検証部会（部会3）で評価する事項」様式で各部会員が評価した。

<部会による評価観点>

- ・事業に係る資料の整理及び整備状況はどうか。
（きちんと整理されている。）
- ・沖縄地域インターンシップ推進協議会及び各部会の開催状況はどうか。
（活発に開催している。）
- ・幹事校と連携校との取組み協力はできているか。
（充分ではないができています。）
- ・行政機関や企業・団体の巻き込みはどうか。協力できているか。
（きちんと協力ができています。）
- ・学生向けのイベントや企業等向けイベントの参加者評価はどうか。
（好評である。）

委員の意見（事業の効果に関する評価、次年度事業に反映を講ずる意見を含む）

○平成27年3月16日（月）開催の第2回評価検証部会での議事要旨のとおり。

評価検証部会(部会3)で評価する事項(第1回部会、第2回部会)

事項	第1回資料(P1~P246) 資料のページ	第2回資料(P250~P387) 資料のページ	コメント記入欄	評価点(1-2-3-4-5)
<p>平成26年度の補助事業実施計画①~③</p> <p>平成26年度大学改革推進補助金(大学改革推進事業)交付申請書(参考資料として申請書)</p> <p>①「沖縄地域インターンシップ推進協議会」の開催(7月下旬)、「上海協賛部会(部会1)」の開催(7月下旬)、「プログラム検討協議部会(部会2)」の開催(8月中旬)。事務補佐員及びインターンシップコーディネーターを採用(7月)。</p> <p>②「沖縄地域インターンシップ推進協議会」の開催に関する資料(例:開催通知、会議次第、議事要旨、広報記事等)</p> <p>③「5月19日オープンプロジェクト連携大学・連絡協議会」の開催に関する資料(例:開催通知、会議次第、議事要旨)</p> <p>④「3」インターンシップ等連絡協議部会(部会1)の開催に関する資料(例:開催通知、会議次第、議事要旨等)</p> <p>⑤「プログラム検討協議部会(部会2)」の開催に関する資料(例:開催通知、会議次第、議事要旨等)</p> <p>⑥「事務補佐員及びインターンシップコーディネーターを採用に関する資料(例:採用手続き審議、人事異動通知書等)</p> <p>⑦ インターンシップとその事前・事後学習のための学内課履のガイダンス、及びその評価検証手法の確立に着手する(8月)。</p> <p>⑧「インターンシップとその事前・事後学習のための学内課履のガイダンス」に関する資料(例:事前研修案内、プログラム内容等)</p> <p>⑨「評価検証手法の確立に着手した資料(例:評価検証手法、部会2の議事要旨等)</p> <p>⑩ インターンシップの導入企業を招待する(7月~1月)。また実施後、効果検証のためのインタビュー調査・アンケート調査を行う(8月と3月)。</p> <p>⑪「インターンシップの導入企業」の招待に関する資料(例:企業向け説明会の開催通知、チラシ、広報記事等)</p> <p>⑫「実施後、効果検証のためのインタビュー調査・アンケート調査」に関する資料(例:企業アンケート結果)</p> <p>⑬ インターンシップ実施前に「インターンシップフェア」(12月)を開催し、参加希望学生と導入企業・団体とのマッチングを行う(12月~1月)。</p> <p>⑭「インターンシップ実施前に「インターンシップフェア」に関する資料(例:インターンシップフェア開催通知、チラシ、広報記事等)</p> <p>⑮「参加希望学生と導入企業・団体とのマッチングに関する資料(例:学生名簿、企業名簿、マッチング資料)</p> <p>⑯ 学生のインターンシップとその事前学習(1月)、事後学習(2月)。⑯と並行して、学生へのアンケート調査結果を②に反映させる。</p> <p>⑰「学生のインターンシップとその事前学習・事後学習に関する資料(例:参加学生名簿、プログラム内容、記録写真等)</p> <p>⑱「学生へのアンケート調査結果に関する資料(例:学生アンケート結果等)</p> <p>⑲ 大学内でインターンシッププログラムを実施する人材を養成するためのガイダンス(8月~9月)。⑲の結果を検証しつつ進める。</p> <p>⑳「大学内でインターンシッププログラムを実施する人材を養成するためのガイダンス」に関する資料(例:公募要領、申合せ、選定委員会報告、掲載書、その他資料)</p> <p>㉑「⑲の結果を検証しつつ進めた資料(例:専門人材養成研修案内チラシ、参加者アンケート等)</p> <p>㉒ 評価検証計画(1)に、⑲の毎月手続(参加学生へのインタビュー調査)による評価結果を記載する(9月)。</p> <p>㉓「評価検証計画に関する資料(例:部会3の開催通知、報告した資料、議事要旨等)</p> <p>㉔「⑲の評価手法(参加学生へのインタビュー調査を含む)による評価を実施した資料(例:アンケート結果等の報告書)</p> <p>㉕「1」26年度の成果を報告するためのシンポジウムの開催に関する資料(例:シンポジウム開催通知、チラシ、プログラム等)</p> <p>㉖「2」参加学生、コーディネーター、外部有識者による講演に関する資料(例:シンポジウム開催通知、チラシ、プログラム等)</p> <p>㉗ 発表までに、インターンシッププログラムのガイダンス、評価手法、専門人材養成研修案内チラシ、専門人材養成研修報告を作成する(3月)。</p> <p>㉘「インターンシッププログラムのガイダンスに関する資料(例:公募要領、企画書、議事要旨)</p> <p>㉙「評価手法に関する資料(例:評価アンケート等)</p> <p>㉚「専門人材養成研修案内チラシ、専門人材養成研修報告書」に関する資料(例:実施報告書等)</p>	有 1~15	有 16~25 26~31 32~51 52~72 83~104 142~158	コメント記入欄	386~377 254, 256 284, 345~347
<p>①「参加学生数に関する資料(例:文科省に提出した申請書、参加大学・学生名簿等)</p> <p>②「参加に関する資料(例:文科省に提出した申請書、参加大学・学生名簿等)</p> <p>③「開拓した企業に関する資料(例:文科省に提出した申請書、参加企業名簿等)</p> <p>④「事業実施計画項目になかったものを実施した事項</p> <p>⑤「1」26年度インターンシップ実施のニーズ調査(本島、宮古島、石垣)</p> <p>⑥「2」2015夏期インターンシップ実施のニーズ調査(本島、宮古島、石垣)</p> <p>⑦「3」在沖米商工会議所傘下の企業開拓、導入実施(3社)</p>	有 211~223	有 224 226~249		378~383

平成26年度（第2回）評価検証部会
議事要旨

1. 日 時：平成27年3月16日（月）10:00～12:00
2. 場 所：琉球大学共通教育棟1号館2階 大会議室
3. 参加者：沖縄女子短期大学教授 元山和仁（部会長）、内閣府沖縄総合事務局経済産業部
地域経済課長 平良浩二、沖縄県商工労働部雇用政策課副参事 喜友名朝弘（代理
出席）、名城大学教授 宮平栄治
計4名出席（代理出席含む）
欠席者：琉球大学監事 北原秋一、沖縄県キャリアセンター長 福廣之進
陪 席：琉球大学 松本剛、高橋神奈男、比嘉義明、川平敦

4. 審議事項

（1）第1回会議で確認できなかった事業進捗のエビデンス書類との突合について

はじめに比嘉就職課長から、北原委員と福委員から欠席報告があった旨と両委員には事前にエビデンス書類（P250～P397）を渡しており、既に評価結果を受領している旨の報告があった。

引き続き、比嘉就職課長から、配布資料の確認があり、エビデンス書類（P250～P397）に基づき、資料「評価検証部会（部会3）で評価する事項（第1回部会、第2回部会）」（A3版）中の「①～⑨」、「その他」の項目について関連するページの特定と概要説明があった。

委員から次の意見があった。

- ・物づくり企業がかなり少ない。製造業やIT系企業に働きかけてほしい。
- ・連携大学の中で協力が弱いと思われる大学があるので、働きかけてほしい。
- ・「評価検証部会（部会3）で評価する事項」（A3版）中の①～⑨の後の細分化表示が〈1〉となっており、項立て表示として違和感があるので、(a)とかの別の表示に変えてほしい。
- ・ビール会社や製鉄会社などの製造業は、学生が（インターンシップで）現場に出ることに制限がある。総務系や商品管理部門であれば問題ないが。
- ・アメリカでは寮生活を通して、教員が学生に対して「人間教育」や「人格教育」を行っている。また、東京中小企業家同友会の「社長弟子入りツアー」では、インターンシップ宿泊研修を通して学生の成長が実感できた。うりずんプロジェクトでも学生のモチベーションを高くするために「宿泊型インターンシップ」を検討したらどうか。
経費が必要となるので、企業のスポンサー作り（寄付することで税金免除も考えられる）が必要となる。
- ・企業の求める学生の評価項目（社会人基礎力）を聞いてほしい。
- ・課外活動や学生が経験する様々なもの（アルバイト含む）が社会人基礎力の元になっている。

- ・資料 P260 のプログラムの方針の③ “失敗する” の表現は修正した方が良いのでは。
→結果から学ぶなどに表現を変える予定である。
- ・資料 P268 の図表で WILL（意思）の部分は「want」か「wish」ではないか。
- ・県内は、観光産業など第3次産業が多い。過去最高の求人数があり、ホテル等では人手不足となっているので、声かけしてはどうか。
- ・学生は、企業説明会などで CM 等で知られている企業に片寄りがちであるが、B to B 企業を見せるとか、導くことが必要であるのではないか。
- ・将来の企業の衰退を考えて、就業なのか就社なのかを教えていく必要がある。
- ・社会に出てからの「学び」もあるので、社員の出身学部を見せたらどうか。
- ・P292 の業務日誌で「1日のふりかえり」とあるが、今日の目標を入れたらどうか。
- ・P349 の専門人材養成テキストの書きぶりは、一般的な概要の説明のようにも見えるが、マニュアル的なものとはならないのか。
→次年度に専門人材養成カリキュラム研修を更に進めていく予定であり、マニュアル的テキストも考えている。

(2) 評価検証部会の報告書(案)について

比嘉就職課長から、資料2「評価検証結果報告書(案)」に基づき、提案説明があった。審議の結果、部会による評価観点の確認を行い、(評価)について次のように確定した。

- ・事業に係る資料の整理及び整備状況はどうか。(きちんと整理されている。)
- ・沖縄地域インターンシップ推進協議会及び各部会の開催状況はどうか。(活発に開催している。)
- ・幹事校と連携校との取組み協力はできているか。(十分ではないができています。)
- ・行政機関や企業・団体との巻き込みはどうか、協力できているか。(きちんと協力ができている。)
- ・学生向けのイベントや企業等向けイベントの参加者評価はどうか。(好評である。)
- ・学生の就職意識(意欲)が、うりずんプロジェクトで改善されているか。()

委員の意見項目欄について、比嘉就職課長から①エビデンス資料(取扱い注意)は持ち帰って、既にご送付している「評価検証部会で評価する事項」(A3版)の電子媒体に各自で評価事項を記載願いたい。②沖縄地域インターンシップ推進協議会開催の3月25日までに評価報告書を出す必要があるため、3月20日(金)までに評価事項の提出をお願いしたい旨の説明があった。

また、取りまとめ作成した評価検証結果報告書(案)を再度、委員に対しメール会議で確認する旨の報告と協力依頼があった。

(3) その他

特になし。

以 上

3. 平成 27 年度事業報告

3-1

【会議等】

沖縄地域インターンシップ推進協議会設置要領

[平成26年(2014年)8月1日制定]

(名称)

第1条 本会は、「沖縄地域インターンシップ推進協議会」(以下「推進協議会」という。)と称する。

(目的)

第2条 推進協議会は、平成26年度大学改革推進等補助金「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業【テーマB】インターンシップ等の取組拡大」の中で採択された「うりずんプロジェクト～「沖縄型」インターンシップの展開～」に基づき、構成大学(幹事校:琉球大学、連携大学:名桜大学、沖縄大学、沖縄キリスト教学院大学及び沖縄国際大学)と地域産業界等が相互に交流を図り、「沖縄型」就労事情に沿ったインターンシップ推進体制を整備するため、インターンシップ等支援組織(地域経済団体・行政機関・民間団体・NPO法人等)との連携強化を基に、インターンシッププログラムを提供する仕組み(プラットフォーム)を確立し、併せてインターンシップ推進に関する情報交換及びインターンシップの普及・推進を図ることを目的とする。

(協議事項)

第3条 推進協議会は、次の各号に掲げる事項について協議する。

- (1) インターンシップの実施計画の策定に関すること。
- (2) インターンシップの調査に関すること。
- (3) インターンシップ事業の実施状況及びその報告に関すること。
- (4) インターンシップ情報の収集及び提供に関すること。
- (5) その他目的を達成するために必要なこと。

(組織)

第4条 推進協議会は、会長及び委員で組織する。

- 2 会長は、幹事校の事業推進責任者(就職センター長)をもって充てる。
- 3 委員は別表の通りとし、構成大学及びインターンシップ等支援組織から選任された者、及び学識経験者若干名とする。
- 4 前項にかかわらず、会長は、必要と認める者を新たに委員として加えることができる。

(会長)

第5条 会長は、推進協議会を総括する。

- 2 会長に事故あるとき又は欠けたときは、会長があらかじめ指名する委員が職務を代行する。

(会議)

第6条 推進協議会(会議)は、会長が必要に応じて招集し、会長が議長となる。

- 2 推進協議会は、委員の過半数の出席がなければ会議を開くことができない。
- 3 議決を要する事項については、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 4 委員は、都合により会議を欠席する場合は代理人を出席させることができるとし、代理人の出席をもって当該委員の出席とみなす。

(部会)

第7条 推進協議会の下に、次の部会を置く。

- (1) インターンシップ等支援組織内連絡協議部会(「部会1」という。)
- (2) プログラム検討協議部会(「部会2」という。)
- (3) 評価検証部会(「部会3」という。)

(部会の目的)

第8条 前条に定める部会は、次のことを行う。

- (1) 部会1は、インターンシップ等支援組織の登録・連携システムの構築、及び円滑な学生支援の体制作りを行う。
- (2) 部会2は、1～4年次の体系的なキャリア形成支援プログラム及び専門人材養成カリキュラムの開発検討、開発したプログラム及びカリキュラムの実施、結果の検証を行う。
- (3) 部会3は、事業の進捗と効果に関する評価を実施し、次年度事業への反映を講ずる。

(部会の組織)

第9条 部会は、部会長及び部会員で組織する。

- 2 部会の長は、会長が指名する。ただし、複数の部会の長を兼務することはできない。
- 3 部会1及び部会2の部会長又は部会員は、部会3の部会長又は部会員を兼務することはできない。
- 4 部会員は、会長と部会の長が協議して委嘱する。

(任期)

第10条 推進協議会委員及び部会員の任期は、2年間とする。

- 2 推進協議会委員及び部会員に欠員が生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(事務局)

第11条 推進協議会の事務局は、琉球大学就職センター内に置く。

- 2 事務局に琉球大学特命一般職員及び非常勤職員を置く。
- 3 推進協議会及び部会の庶務は、事務局が処理する。
- 4 事務局に関し、必要な事項は会長が別に定める。

(雑則)

第12条 この要領に定めるもののほか、推進協議会及び部会の運営に関し必要な事項は、会長が定める。

(改廃)

第13条 この要領の改廃は、推進協議会の議を経て会長が行う。

附 則

- 1 この要領は、平成26年(2014年)8月1日から施行する。
- 2 本要領の制定当初の推進協議会委員及び部会員の任期は、第10条第1項の規定にかかわらず、平成28年(2016年)3月31日までとする。
- 3 第4条第4項に基づく新たな委員の任期は、前項を準用する。

附 則(平成27年3月26日)

- 1 この要領は、平成27年(2015年)4月1日から施行する。
- 2 改正後の第4条第3項(別表)に基づく新たな委員の任期は、第10条第1項の規定にかかわらず、平成28年(2016年)3月31日までとする。

別表（第4条関係） 沖縄地域インターンシップ推進協議会委員

NO	区分	構成大学及びインターンシップ等支援組織	被選任者	備考
1	幹事校	琉球大学	就職センター長	会長
2	〃	〃	学生部長	
3	連携大学	名桜大学	学生部長	
4	〃	沖縄大学	学生部長	
5	〃	沖縄初声教学院大学	学生支援部長	
6	〃	沖縄国際大学	学生部長	
7	地域経済団体	沖縄県中小企業家同友会	専務理事	
8	〃	在沖米国商工会議所	会頭	
9	行政機関	内閣府 沖縄総合事務局 経済産業部 地域経済課	課長	
10	〃	沖縄労働局職業安定部職業安定課	課長	
11	〃	沖縄県商工労働部 雇用政策課	課長	
12	学識経験者	大学	教授	
13	〃	〃	教授	
14	〃	〃	教授	

Okinawa Internship Promotion Conference Establishment Guideline

[Enactment: August 1, 2014]

(Name)

Article 1 This organization shall be referred to as “Okinawa Internship Promotion Conference” (hereafter referred to as “Conference”).

(Purposes)

Article 2 The purposes of the Conference are to establish a system (platform) for providing internship programs, and promote internship programs and exchange relevant information by strengthening collaboration with internship-supporting organizations (regional economic associations, administrative bodies, private organization, NPO corporations and others), in order to promote mutual exchange among participating universities (organizer university: University of the Ryukyus, member universities: Meio University, Okinawa University, Okinawa Christian University, Okinawa International University) and regional business communities in Okinawa and develop system for promoting internship programs, taking into consideration working circumstances in Okinawa, under “Urizun Project-Promotion of Okinawa-style Internship” accepted for 2014 Project for reform and enhancement of university education to meet industry’s needs-Promotion of internships [Theme B].

(Agendas)

Article 3 The Conference shall discuss the matters prescribed in the following clauses:

- (1) regarding developing implementation plans for internship programs
- (2) regarding surveys of internship programs
- (3) regarding implementation status and report of internship programs
- (4) regarding gathering and providing information about internships
- (5) other matters necessary to accomplish objectives of the project

(Organization)

Article 4 The Conference shall consist of the chairperson and committee members.

2. The project leader of the organizer university (Director, Placement Center), shall serve as chairperson.
3. The committee members shall be those selected by the member universities and internship supporting organizations and few academic experts, as specified in the attached list.
4. Notwithstanding preceding paragraph, the chairperson shall be able to newly assign a person as a committee member if the chairperson finds it necessary.

(Chairperson)

Article 5 The chairperson shall manage the Conference.

2. In the event that the chairperson is incapacitated due to an accident or absence, a committee member who is designated by the chairperson in advance shall perform its duty on its behalf.

(Meetings)

Article 6 The chairperson shall call a conference meeting when necessary and chair a meeting.

2. The Conference may not hold any meetings unless a majority of committee members are in attendance.

3. Concerning matters which require resolutions, the decision shall be made by the majority of attending committee members, and in the case of a tied vote, the decision shall be made by the chairperson.

4. When a committee member cannot attend a meeting for certain reasons, the member may have his/her proxy attend a meeting and attendance by the proxy shall be regarded as attendance of the said committee member.

(Working Groups)

Article 7 The following working groups shall be set up under the Conference.

- (1) Network for internship supporting organizations (referred to as "WG 1")
- (2) Program exploratory conference (referred to as "WG 2")
- (3) Reviewing and evaluation (referred to as "WG 3")

(Objectives of the working groups)

Article 8 The working groups prescribed in the preceding article shall conduct the following activities.

(1) WG 1 shall create a system for registration of internship supporting organizations and cooperation, as well as for student support.

(2) WG 2 shall examine and develop systematic programs for career support for students in the first year through fourth year and curriculum for development of personnel with specialties, conduct those programs and curriculum, and examine outcomes.

(3) WG 3 shall evaluate the progress of the project and conduct evaluations regarding outcomes, and examine measures for the project for the following year reflecting such evaluations.

(Structures of the working groups)

Article 9 A working group consists of a chair and working group members.

2. The chair of a working group shall be appointed by the chairperson, provided that a person cannot serve as a chair of two or more working groups.

3. The chairs and members of WG 1 and WG 2 cannot serve as a chair or member of WG 3.

4. Working group members shall be appointed in consultation with the chairperson and the chair of the group.

(Term of appointment)

Article 10 The term of appointment for committee members and working group members is two years.

2. In the event where there is a vacancy on committee members or working group members, the term of appointment for a replacement is the remaining term of the predecessor.

(Secretariat)

Article 11 The secretariat of the Conference shall be established in the Placement Center of the University of the Ryukyus.

2. The University of the Ryukyus regular staff member(s) with special assignment and part-time staff can be assigned to the secretariat.

3. Administrative works for the Conference and the working groups shall be processed by the secretariat.

4. Necessary matters regarding the secretariat shall be specified individually by the chairperson.

(Miscellaneous matters)

Article 12 In addition to the matters prescribed in this guideline, matters necessary in regard to the management of the Conference and the working groups shall be decided by the chairperson.

(Revision or abolition)

Article 13 This guideline shall be revised or abolished by the chairperson, after discussion by the Conference.

Additional Clauses:

1. This guideline will take effect from August 1st, 2014.

2. Notwithstanding Article 10 Clause 1, the term of office of committee members and working group members appointed at the time of enactment of the guideline expires on March 31, 2016.

3. For the term of appointment for a committee member prescribed in Article 4 Clause 4, the preceding clause shall apply *mutatis mutandis*.

Additional Clauses (March 26th, 2015):

1. This guideline will take effect from April 1st, 2015.

2. Notwithstanding Article 10 Clause 1, the term of office of new committee members

appointed based on the revised Article 4 Clause 3 (See Appendix) expires on March 31st, 2016.

Appendix (Article 4) Okinawa Internship Promotion Conference Committee Members

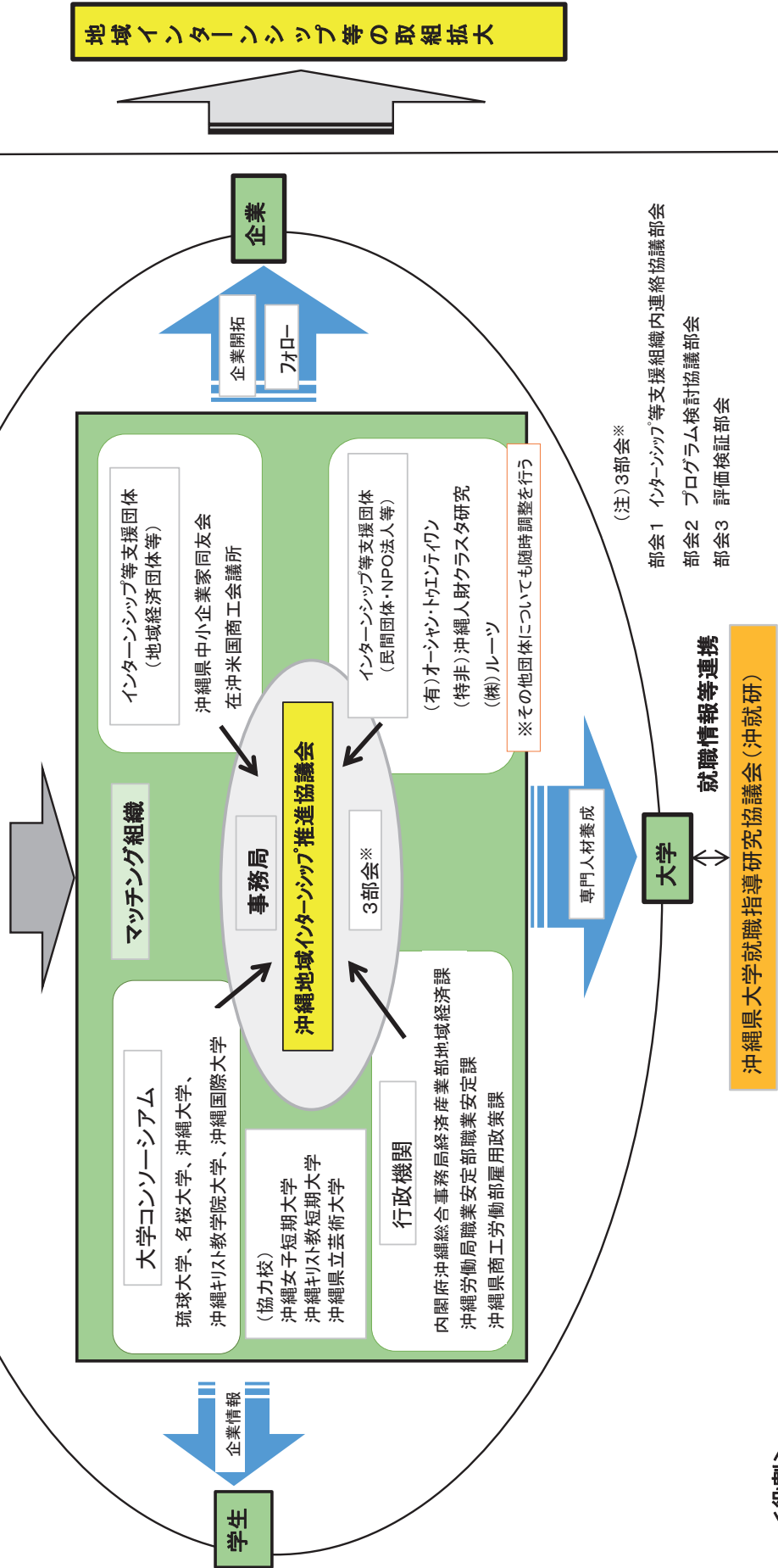
NO	Category	Member universities and internship supporting organizations	Appointed members	Notes
1	Organizer university	University of the Ryukyus	Director, Placement Center	Chairperson
2	"	"	Director, Student Affairs Division	
3	Member university	Meio University	Director, Academic Affairs Division	
4	"	Okinawa University	Director, Student Affairs Division	
5	"	Okinawa Christian University	Director, Student Support Division	
6	"	Okinawa International University	Director, Student Affairs Division	
7	Regional Economic Association	Okinawa Association of the Associations of Small- and Medium-Size Enterprises	Executive Director	
8	"	American Chamber of Commerce In Okinawa	President	
9	Administrative Body	Regional Economy Section Economy and Industry Division Okinawa General Bureau, Cabinet Office	Director	
10	"	Employment Security Division, Employment Security Department, Okinawa Labor Bureau	Director	
11	"	Employment and Policy Section Commerce and Labor Division Okinawa Prefectural Government	Director	
12	Academic Expert	Universities, etc		
13	"	"		
14	"	"		

事業名称：うりずんプロジェクト～「沖縄型」インターンシップの展開～

平成27年4月1日現在

沖縄産学官協働人財育成円卓会議

人材育成構想観点から提言（緊密な連携）



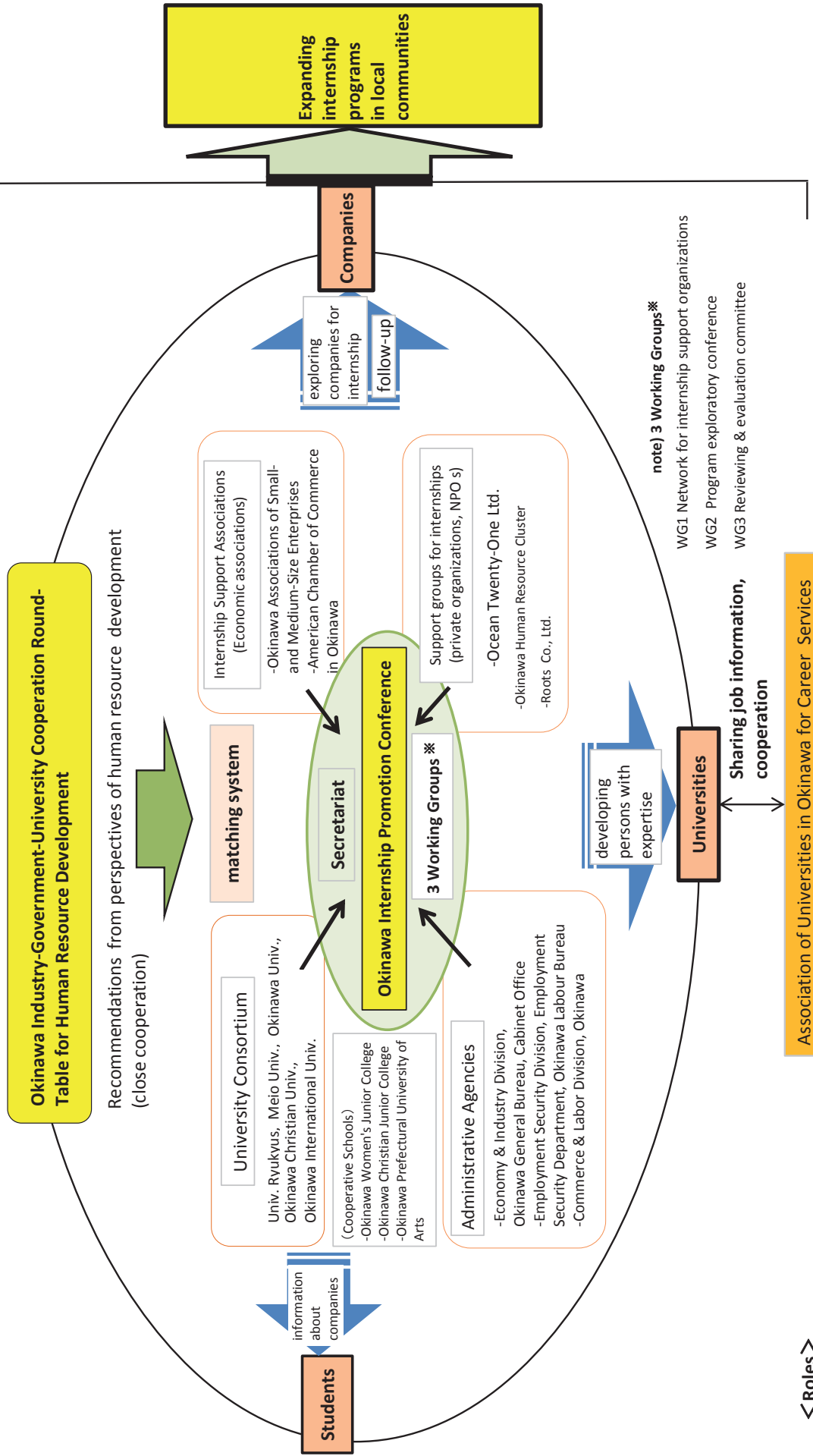
地域インターンシップ等の取組拡大

<役割>

沖縄産学官協働人財育成円卓会議：沖縄地域人材の育成・輩出を強かに推し進めていくためのプラットフォームで、産学官各界の長が連携して取り組む。

沖縄地域インターンシップ推進協議会：インターンシップ支援組織の連携システム構築、方針策定、インターンシップ企画、インターンシップ支援団体参加への働きかけを行う。

Urizun Project: Development of "Okinawan-style" Internship



< Roles >

- Okinawa Industry-Government-University Cooperation Round-Table for Human Resource Development:** Platform for promotion of human resource development in Okinawa in cooperation among leaders of each sector
- Okinawa Internship Promotion Conference:** Establishing cooperation system for internship support groups, developing measures, planning internship fairs, encouraging participation in internship support groups

沖縄地域インターンシップ推進協議会委員

NO	委嘱理由	所 属	役職名	氏 名	備考
1	幹事校	琉球大学	就職センター長	松本 剛	会 長
2	〃	〃	学生部長	高橋 神奈男	1 部会長
3	連携大学	名桜大学	学生部長	渡具知 伸 H26. 12. 1～H28. 3. 31	
4	〃	沖縄大学	学生部長	山代 寛	
5	〃	沖縄刊し大学院大学	学生支援部長	上原 明子	
6	〃	沖縄国際大学	学生部長	山入端 津由	2 部会長
7	地域経済団体	沖縄県中小企業家同友会	専務理事	大城 辰彦	
8	〃	在沖米国商工会議所	会頭	ジヤスティン・ウェントワース H26. 8. 1～H27. 12. 31	
			会頭	レイチエル・デビッドソン H28. 3. 11～H28. 3. 31	
9	行政機関	内閣府 沖縄総合事務局 経済産業部 地域経済課	課長	平良 浩二	
10	〃	沖縄労働局職業安定部職業安定課	課長	城間 邦正 H27. 4. 1～H28. 3. 31	
11	〃	沖縄県商工労働部 雇用政策課	課長	喜友名 朝弘 H27. 4. 1～H28. 3. 31	
12	学識経験者	沖縄国際大学	教授	名嘉座 元一	
13	〃	名桜大学	教授	宮平 栄治 H26. 8. 1～H27. 10. 31	
			准教授	宮城 敏郎 H27. 11. 2～H28. 3. 31	
14	〃	沖縄女子短期大学	教授	元山 和仁	3 部会長

任期：平成26年8月1日～平成28年3月31日

なお、上記任期中に委員の変更があった者については、個別に任期を記載した。

インターンシップ等支援組織内連絡協議部会（部会1）

NO	区分	所属	役職名	氏名	備考
1	幹事校	琉球大学	学生部長	高橋 神奈男	部会長
2	〃	〃	学生部就職課長	比嘉 義明	
3	インターンシップ 支援団体	沖縄県大学就職指導研究 協議会	事務局長	國吉 正人 H27. 4. 1~H27. 6. 30	
				大城 貴之 H27. 7. 1~H28. 3. 31	
4	連携大学	名城大学	学生部キャリア支援課長	上原 康成 H26. 12. 1~H28. 3. 31	
5	〃	沖縄大学	学生部就職支援課長	國吉 正人 H26. 8. 1~H27. 6. 30	
				大城 貴之 H27. 7. 1~H28. 3. 31	
6	〃	沖縄刊カブ教学院大学	学生支援部キャリア支援課長	與那原 馨	
7	〃	沖縄国際大学	学生部キャリア支援課長	井口 忠	
8	地域経済団体	沖縄県中小企業家同友会	事務局長	島尻 裕己	
9	〃	在沖米国商工会議所	—	—	
10	行政機関	内閣府沖縄総合事務局 経済産業部 地域経済課	課長補佐 産業人材政策専門官	宮平 勉	
11	〃	沖縄労働局職業安定部職 業安定課	課長	城間 邦正 H27. 4. 1~H28. 3. 31	
12	〃	沖縄県商工労働部 雇用政策課雇用対策班 (若年者雇用支援チーム)	主査	平仲 久美子 H27. 4. 1~H28. 3. 31	
13	インターンシップ 支援団体	有限会社オーシャン・ト ウエンティワン	社員	神部 愛 H27. 4. 1~H28. 3. 31	
14	〃	特定非営利活動法人沖縄 人財クラスタ研究会	代表理事	白井 旬	
15	〃	株式会社ルーツ	コーディネーター	平田 直大	

任期：平成26年8月1日～平成28年3月31日

なお、上記任期中に部会員の変更があった者については、個別に任期を記載した。

プログラム検討協議部会（部会2）

NO	区分	所属	役職名	氏名	備考
1	連携大学	沖縄国際大学	学生部長	山入端 津由	部会長
2	〃	名城大学	学生部長	渡具知 伸 H26. 12. 1~28. 3. 31	
3	〃	沖縄大学	学生部長	山代 寛	
4	〃	沖縄刊外大学院大学	教学支援部長	浜川 仁 H27. 4. 1~H28. 3. 31	
5	幹事校	琉球大学	就職センター長	松本 剛	
6	〃	琉球大学	就職センター就職指導 部門長	田中 寛二 H27. 4. 1~H28. 3. 31	
7	インターンシップ支援 団体	沖縄県大学就職指導研究協 議会	会長	山代 寛 H27. 4. 1~H28. 3. 31	
8	地域経済団体	沖縄県中小企業家同友会	専務理事	大城 辰彦	
9	〃	在沖米国商工会議所	理事	豊川 明佳	
10	行政機関	内閣府沖縄総合事務局 経済産業部 地域経済課	課長補佐 産業人材政策専門官	宮平 勉	
11	〃	沖縄県商工労働部 雇用政策課 雇用対策班	主幹	金城 広宜 H27. 4. 1~H28. 3. 31	
12	学識経験者	沖縄国際大学	教授	名嘉座 元一	

任期：平成26年8月1日～平成28年3月31日

なお、上記任期中に部会員の変更があった者については、個別に任期を記載した。

※受託事業者の有限会社オーシャン・トゥエンティワン担当者が陪席する。

評価検証部会（部会3）

NO	区分	所属	役職名	氏名	備考
1	連携大学	沖縄女子短期大学	教授	元山 和仁	部会長
2	行政機関	内閣府 沖縄総合事務局 経済産業部 地域経済課	課長	平良 浩二	
3	〃	沖縄県商工労働部 雇用政策課	課長	喜友名 朝弘 H27. 4. 1~H28. 3. 31	
4	外部委員	琉球大学	監事	北原 秋一 H28. 2. 1~H28. 3. 31	
5	〃	沖縄県キャリアセンター	センター長	福 廣之進 H28. 2. 1~H28. 3. 31	

任期：平成26年8月1日～平成28年3月31日

なお、上記任期中に部会員の変更があった者については、個別に任期を記載した。

平成27年度の会議開催状況 ※会議体ごとに記録

沖縄地域インターンシップ推進協議会

平成27年度（第1回）沖縄地域インターンシップ推進協議会

日時 平成27年5月20日（水） 15:00～16:30

場所 琉球大学共通教育棟1号館2階 大会議室

参加者 計10名（代理出席含む。）

1 審議事項

- (1) 平成27年度事業計画について
- (2) 企業向け情報交換会について
- (3) 2015夏期インターンシップフェアについて
- (4) 平成27年度の委託事業（案）について
- (5) 体系的なキャリア教育プログラム及び評価指標の運営実施（案）について
- (6) その他

平成27年度（第2回）沖縄地域インターンシップ推進協議会

日時 平成27年11月2日（火） 15:00～16:05

場所 琉球大学共通教育棟1号館2階 大会議室

参加者 計10名（代理出席含む。）

1 審議事項 なし

2 報告事項

- (1) インターンシップ等推進委員会における取組状況ヒアリングについて
- (2) 第2回企業向け情報交換会について
- (3) 2016春期インターンシップフェアについて
- (4) 体系的なキャリア教育プログラム及び評価指標の運営実施について
- (5) 平成27年度の委託事業について
- (6) その他

平成27年度（第3回）沖縄地域インターンシップ推進協議会

日時 平成28年3月11日（金） 10:00～11:40

場所 琉球大学共通教育棟1号館2階 大会議室

参加者 計9名

1 審議事項

- (1) 平成27年度事業報告について
- (2) 沖縄地域インターンシップ推進協議会の今後について

2 報告事項

- (1) その他

インターンシップ等支援組織内連絡協議部会（部会1）

平成27年度（第1回）インターンシップ等支援組織内連絡協議部会（部会1）

日時 平成27年4月17日（金）10:00～11:40

場所 琉球大学共通教育棟1号館2階 大会議室

参加者 計12名出席（代理出席含む。）

1 審議事項

- (1) 平成27年度事業計画（案）について
- (2) 企業向け情報交換会（案）について
- (3) 2015夏期インターンシップフェア（案）について
- (4) その他

2 報告事項

- (1) 2015産学官連携うりずんプロジェクトシンポジウム実施報告について
- (2) その他

平成27年度（第2回）インターンシップ等支援組織内連絡協議部会（部会1）

日時 平成27年6月24日（水）13:00～14:30

場所 琉球大学共通教育棟1号館2階 大会議室

参加者 計12名出席

1 審議事項

- (1) うりずんプロジェクト2015夏期インターンシップのスケジュールについて
- (2) うりずんプロジェクト2015夏期インターンシップ事前研修・事後研修について（案）
- (3) その他

2 報告事項

- (1) うりずんプロジェクト2015夏期インターンシップフェアについて
- (2) うりずんプロジェクト2015夏期インターンシップマッチング面談について
- (3) 専門人材養成研修について
- (4) その他

平成27年度（第3回）インターンシップ等支援組織内連絡協議部会（部会1）

日時 平成27年9月9日（水）13:00～14:30

場所 琉球大学共通教育棟1号館2階 大会議室

参加者 計12名出席（代理出席含む。）

1 審議事項

- (1) 2016春期インターンシップ企業向け情報交換会について
- (2) その他

2 報告事項

- (1) うりずんプロジェクト2015夏期インターンシップ事前研修について
- (2) うりずんプロジェクト2015夏期インターンシップ事後研修について
- (3) 専門人材養成研修について
- (4) JASSOインターンシップ等専門人材ワークショップin北海道について
- (5) インターンシップ等推進委員会における取組状況ヒアリングについて
- (6) その他

平成27年度（第4回）インターンシップ等支援組織内連絡協議部会（部会1）

日時 平成27年10月9日（金）13:00～14:20

場所 琉球大学共通教育棟1号館2階 大会議室

参加者 計11名出席（代理出席含む。）

1 審議事項

(1) 2016春期インターンシップフェア（案）

(2) その他

2 報告事項

(1) うりずんプロジェクト2015夏期インターンシップ事後研修について

(2) JASSO インターンシップ等推進委員会における取組状況ヒアリングについて

(3) その他

平成27年度（第5回）インターンシップ等支援組織内連絡協議部会（部会1）

日時 平成27年12月16日（水）13:00～14:28

場所 琉球大学共通教育棟1号館2階 大会議室

参加者 計10名出席（代理出席含む。）

1 審議事項

(1) 2016春期インターンシップ実施要領について

(2) 2016春期インターンシップ関連書類について

(3) うりずんプロジェクト2016春期インターンシップ事前研修・事後研修について

(4) うりずんプロジェクト2016シンポジウムについて

(5) その他

2 報告事項

(1) 2015専門人材養成研修について

(2) 2016春期企業向け情報交換会について

(3) 2016春期インターンシップフェアについて

(4) 平成27年度インターンシップ等実務者研修について

(5) その他

プログラム検討協議部会（部会2）

平成27年度（第1回）プログラム検討協議部会（部会2）

日時 平成27年5月1日（金） 10:15～11:55

場所 琉球大学共通教育棟1号館2階 大会議室

参加者 計6名（代理出席含む。）

1 審議事項

- (1) 平成27年度事業計画について
- (2) 平成27年度の委託事業（案）について
- (3) 体系的なキャリア教育プログラム及び評価指標の運営実施について（案）
- (4) その他

2 報告事項

- (1) 2015産学官連携うりずんプロジェクトシンポジウム実績報告について
- (2) その他

平成27年度（第2回）プログラム検討協議部会（部会2）

日時 平成27年6月23日（火） 13:00～15:45

場所 琉球大学共通教育棟1号館2階 大会議室

参加者 計8名（代理出席含む。）

1 審議事項

- (1) 平成27年度の委託事業について（案）
- (2) その他

2 報告事項

- (1) 評価指標（ルーブリック）について
- (2) うりずんプロジェクト2015夏期インターンシップフェアについて
- (3) うりずんプロジェクト2015夏期インターンシップマッチング面談について
- (4) 2015夏期インターンシップ事前研修・事後研修について（案）
- (5) その他

平成27年度（第3回）プログラム検討協議部会（部会2）

日時 平成27年10月28日（水） 15:00～16:45

場所 琉球大学共通教育棟1号館2階 大会議室

参加者 計8名（代理出席含む。）

1 審議事項

- (1) 体系的なキャリア教育プログラム及び評価指標の運営実施について（継続審議中）
- (2) 専門人材養成研修の実施とカリキュラムの検証について
- (3) その他

2 報告事項

- (1) 2015夏期インターンシップ事後研修
- (2) インターンシップ等推進委員会における取組状況ヒアリングについて
- (3) 第2回企業向け情報交換会
- (4) インターンシップフェア
- (5) その他

平成27年度（第4回）プログラム検討協議部会（部会2）

日時 平成27年12月11日（金） 13:00～14:45

場所 琉球大学共通教育棟1号館2階 大会議室

参加者 計8名（代理出席含む。）

1 審議事項

- (1) 体系的なキャリア教育プログラム及び評価指標の運営実施について（継続審議）
- (2) 専門人材養成研修の実施とカリキュラムの検証について（継続審議）
- (3) その他

2 報告事項

- (1) 2016春期インターンシップフェア
- (2) 平成27年度インターンシップ実務者研修
- (3) その他

平成27年度（第5回）プログラム検討協議部会（部会2）

日時 平成28年1月28日（木） 15:00～16:22

場所 琉球大学 大学会館 学生課会議室

参加者 計6名（代理出席含む。）

1 審議事項

- (1) 大学キャリア教育 専門人材養成テキストについて（継続審議中）
- (2) その他

2 報告事項

- (1) 第5回専門人材養成研修
- (2) うりずんプロジェクトシンポジウム
- (3) その他

評価検証部会（部会3）

平成27年度（第1回）評価検証部会（部会3）

日時 平成28年2月19日（金）10:00～11:15

場所 琉球大学共通教育棟1号館2階 大会議室

参加者 計4名出席

1 審議事項

- (1) 平成27年度実施計画と数値目標の確認について
- (2) 事業進捗が確認できるエビデンス書類との突合について
- (3) その他（次回開催日）

平成27年度（第2回）評価検証部会（部会3）

日時 平成28年3月4日（金）10:00～12:05

場所 琉球大学共通教育棟1号館2階 大会議室

参加者 計5名出席

1 審議事項

- (1) 事業進捗が確認できるエビデンス（証拠・根拠）書類との突合について
- (2) 評価検証部会の報告書（案）について

3-2

【イベント等】

(夏期)

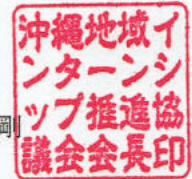
2015 夏期インターンシップ
企業向け情報交換会

開催概要	
■ 概要	
事業名	産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業【テーマ B】インターンシップ等の取組拡大
資料内容	2015夏期インターンシップ企業向け情報交換会 開催概要
■ 打合せ内容詳細	
<p>主催 沖縄地域インターンシップ推進協議会 後援 沖縄県商工労働部雇用政策課 協力 琉球大学、名桜大学、沖縄大学、沖縄キリスト教学院大学・沖縄キリスト教短期大学、沖縄国際大学、沖縄県立芸術大学、沖縄女子短期大学、沖縄県中小企業家同友会、在沖米国商工会議所、有限会社オーシャン・トゥエンティワン、特定非営利活動法人沖縄人材クラスタ研究会、株式会社ルーツ、沖縄県大学就職指導研究協議会</p> <p>○期日／時間(平成 27 年 5 月 7 日(木)13:30～16:00) ○会場:琉球大学研究者交流施設・50 周年記念館 1F 多目的室 ○対象:2015 夏期インターン受入確定企業、インターンシップ受入を希望する企業、インターンシップ関連団体、県、市町村自治体の人事担当者、またはインターンシップ受入担当者 ○目的:2015 夏期インターンシップに向けての情報交換 ○ねらい:企業間での情報交換、交流、新規受入企業の開拓 ○実施内容／時間</p> <p>①事前プログラムガイダンス(30分)13:30～14:00 説明:インターンシップ・コーディネーター ・インターンシップ開始までのスケジュールや事前講座、実施期間中、事後研修など基本的なプログラムの概要説明(うりずんプロジェクトの内容紹介を含む。)</p> <p>②受入経験企業によるインターンシップの事例紹介(15分×2)14:00～14:30 企業説明者:株式会社りゅうせき管理本部人事担当 玉城健太郎様、ヒルトン沖縄北谷リゾート人事業務部HRコーディネーター 小橋川妃様 〈休憩14:30～14:45〉</p> <p>③グループに分かれて情報交換(14:45～15:45) ④共有(アンケート、感想)・今後の流れ(15分)15:45～16:00 ・アンケート、感想の回収</p> <p>○その他 5月23日(土)開催の「2015 夏期インターンシップ・フェア」(学生と企業とのマッチング)を周知する。</p>	

平成27年4月21日

企業・インターンシップ関連団体等 各位

沖縄地域インターンシップ推進協議会
(琉球大学就職センター長)
会長 松本 剛



2015夏期インターンシップ企業向け情報交換会の開催について (ご案内)

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、平成26年度文部科学省「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業【テーマB】インターンシップ等の取組拡大」の補助金事業において、琉球大学を幹事校とする県内4大学(名桜大、沖縄大、沖縄キリスト教学院大、沖縄国際大)の「うりずんプロジェクト～「沖縄型」インターンシップの展開～」が採択されて同プロジェクトの下、産学官連携の沖縄地域インターンシップ推進協議会が平成26年8月1日に設置され、事業がスタートしました。

ご承知のとおり、平成26年度より就職活動時期の変更に伴い、学生(短大生含む。)が企業及び業界内容を知るため、インターンシップ実施の重要度が増しております。

そのため、平成27年度行事として、県内学生(短大生含む。)を対象とした2015年夏期インターンシップ(以下「IS」という。)実施に焦点をあて、IS受入れ企業の新規開拓及び既にIS受入れ経験した企業・団体等との情報交換のため、情報交換会を開催することとなりました。

貴社・団体等におかれまして、今年度の夏期にインターンシップ受入のご予定・ご希望がありましたら、趣旨をご理解いただき、ご担当者様の派遣をよろしくお願いいたします。

なお、参考までに「2015夏期インターンシップ企業向け情報交換会」のチラシを送付します。
敬具

記

1 依頼内容 (チラシ)

平成27年5月7日(木) 2015夏期インターンシップ企業向け情報交換会

2 開催概要

別添開催概要のとおり

3 問合せ先・申込み先

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地

沖縄地域インターンシップ推進協議会事務局

(琉球大学就職センター内)

インターンシップ・コーディネーター 川平敦、事務補佐員 早川杏里

電話 098-895-8981 FAX 098-895-8119

E-mail urizun@to.jim.u-ryukyu.ac.jp

うりずんプロジェクト2015 夏期インターンシップ

情報交換会

- ◆日時 平成27年5月7日(木) 13:30~16:00
- ◆場所 琉球大学研究者交流施設・50周年記念館1階 多目的室
- ◆対象 うりずんプロジェクト2015夏期インターンシップ受入企業・インターンシップ関連団体等の人事担当者、または受入担当者
- ◆目的 インターンシップに関する情報交換による、インターンシッププログラムの充実・質の向上。
- ◆プログラム うりずんプロジェクトの夏期スケジュールの確認、受入経験企業によるインターンシップの事例紹介を行います。
後半はグループに分かれて、受入のノウハウや悩みについての情報交換の場を予定しております。

申込み方法

企業名・ご所属・担当者名・Telを、右記のメールアドレスまで送信してください。事務局より返信いたします。

※Faxでもお申込みできます。(裏面をご利用ください)



↑
こちらからもリンクできます

お問い合わせ・申込み

沖縄地域インターンシップ推進協議会事務局
(琉球大学就職センター内) 電話 098-895-8981
メール urizun@to.jim.u-ryukyu.ac.jp

主催：沖縄地域インターンシップ推進協議会 後援：沖縄県商工労働部雇用政策課
協力：琉球大学、名桜大学、沖縄大学、沖縄キリスト教学院大学・沖縄キリスト教短期大学、沖縄国際大学、沖縄県立芸術大学、沖縄女子短期大学、沖縄県中小企業家同友会、在沖米商工会議所、有限会社オーシャン・トゥエンティワン、特定非営利活動法人沖縄人材クラスタ研究会、株式会社ルーツ、沖縄県大学就職指導研究協議会(後援・協力申請中含む)

うりずんプロジェクト2015 夏期インターンシップ企業向け情報交換会

日 時：平成27年5月7日（木）13:30～16:00

場 所：琉球大学研究者交流施設・50周年記念会館1階（多目的室）

参加者：30名（参加企業18社25名、大学関係者5名）



挨拶：松本 剛
（琉球大学就職センター長）



事前プログラムガイダンス

川平 敦（琉球大学就職センター コーディネーター）



受入経験企業によるインターンシップの事例紹介（15分×2）

企業説明者：株式会社りゅうせき管理本部人事担当 玉城 健太郎 様



ヒルトン沖縄北谷リゾート人事業務部 HR コーディネーター 小橋川 妃 様



グループに分かれて情報交換



平成27年5月7日実施

うりずんプロジェクト2015夏期インターンシップ 企業向け情報交換会アンケート（集計）

本日はご参加いただき誠にありがとうございます。今後より良いものにするために、皆様の満足度やご意見・ご感想をお聞かせください。

1. ご所属（○をつけてください）

- ①受入企業・団体等企業（10）②企業・団体等（受入検討中）（8）③インターンシップ支援団体
④人材育成系企業 ⑤行政関係者（2）⑥大学関係者（3）⑦その他（ ）（0） 無回答（0）

2. 本日の企業向け情報交換会はいかがでしたか？

- ①十分満足した（11）②概ね満足した（12）③あまり満足できなかった（0）④満足できなかった（0） 無回答（0）

受け入れ企業はもちろん、検討企業の話が聞けたため。/各企業の状況を知ることができ、良かった/好事例発表と意見交換が良かった。/もっと情報交換の時間が欲しかった。/他企業からのアドバイスを直に受けられたのが良かった。/色々な人たちと話ができて良かった（3）
/様々な企業、業界の方と情報交換をすることができたため。/他社の受入状況、気運を感じられた。/様々な情報交換を行えた。/他の企業の皆様の受入に関する取り組みを学ぶことができる貴重な会でした。どうもありがとうございました。/企業側の意見交換だけでは、参加している企業はもともと受入をしていて、ノウハウを持っている。/受入企業のプレゼンから現場の状況を少し伺い知ることができました。

3. 「事前プログラムガイダンス」はいかがでしたか？

- ①十分満足した（10）②概ね満足した（13）③あまり満足できなかった（0）④満足できなかった（0） 無回答（0）

全体の流れが分かりやすい。/流れを確認できて良かった。/県全体の現状をすることができ、勉強になりました。/分かりやすかったです。/概要が分かった。/少し難しかったところもあった。/時間的に短かったのではないかと思う。/とても分かりやすく、長すぎず良かったです。

4. 「受入経験企業によるインターンシップの事例紹介」はいかがでしたか？

- ①十分満足した（15）②概ね満足した（8）③あまり満足できなかった（0）④満足できなかった（0） 無回答（0）

メリットなどを、企業の担当者から聞いたことは、他企業にも影響力がある。/とても参考になりました。（3）/インターンシップの「目的」は重要だと感じました。/他社の色が分かって良かった。/短期・長期のインターン事例が聞いてとても良かったです。/すごく気にな

っていた内容だったので、参考になりました。/やはり実際の経験者からの話は勉強になる。
/他企業の事例を聞くことができ大変勉強になりました。/企業側の受入努力を知る機会と
なった。/多くの方と交換できる場を持ちたい。/続けて欲しい。参考にしたいと思います。
/今後の受入の貴重な事例紹介でした。/事務局も一緒に取り組み、「うりずん PJ」ならではの
事例紹介があると良い。

5. 「グループに分かれて情報交換」はいかがでしたか？

①十分満足した (12) ②概ね満足した (10) ③あまり満足できなかった (0) ④満足できなかった (0) 無回答 (1)

「生の声」「顔合わせ」ができた。今後のインターンシップの調整に良い影響を与える。/各
企業の取り組み確認ができて良かったです。/ざっくばらんに意見交換ができたこと。/他社
の担当者の話を聞いて、大変勉強になりましたが、人事1年目のグループもあったので、イ
ンターンシップの受入歴でグループ分けを頂いたほうが、もっと知識がついたかなと感じま
した。/もっと時間が欲しかった。/他企業様の価値観や実際の取組が参考になりました。大
変勉強になりました。/他事例の話を聞けましたので良かったです。/色々なインターンシッ
プのノウハウが聞いて良かったです。/アドバイスを受けやすかった。2回目以降のグルー
プ分けもされていて、とても良かったと思います。/各社の情報が分かり、勉強になった。/
移動が少しスムーズではなかったのと、大学の方が多い気がした。/ネットワークを広げる
ことができました。ありがとうございました。/実際の企業担当者の思いや、企業サイドの
考え方を知ることができた。/直に話を聞いて、とても良かったです。/様々なISの受入形
態について情報交換することができた。再開催望みます。/参加していなかったのでノーコ
メントです。

6. 本日の企業向け情報交換会を知ったきっかけを1つ選んでください。

①大学からの案内 (19) ②大学教員や職員からの紹介 (1) ③チラシ・ポスター (0)
④沖縄地域インターンシップ推進協議会のHPを見て (0) ⑤その他 (案内(2)) 無回答 (0)

7. 本日の企業向け情報交換会に参加した目的は何ですか。(複数回答可)

①夏期インターンシップ受入を検討中のため情報収集 (10)
②うりずんプロジェクトとインターンシッププログラムの概要説明に興味があった (7)
③受入経験企業によるインターンシップの事例紹介に興味があった (14)
④グループに分かれての情報交換に興味があった (14)
⑤その他 () (0) 無回答 (0)

8. 本日の企業向け情報交換会は今後役に立つ内容でしたか。

①非常に役立つ (15) ②役立つ (9) ③あまり役に立たない (0) ④まったく役に立たない (0)
無回答 (0)

各企業と交流ができて良かったです。/他社の受入機関などが知れた。/他企業のインターンシップの内容や考え方を参考にさせていただきます。/事例のある企業から生の声が聞けて良かった。こういう機会があまりないので今後も是非参加したいです。/参考にしたい。/今後のインターンシップの方針など。/視野を広げることができた。/大学内でのインターンシップの取り組みにプラスになった。/色々な受入企業の取り組みを知ることができた。/今後の参考にしたいと思うご意見をたくさん頂戴しました。/事務局側（学生からの意見など）の情報が欲しかった。/他社のインターンシップの考え方が参考になった。/定期開催望む！

**9. 本日の企業向け情報交換会について、お気づきの点や改善すべき点などありましたら、具体的に
ご記入ください。**

うりずんの説明、事例紹介、情報交換など、タイムスケジュールは適当でした。今後役に立てたいと思います。/5月23日に向けて、資料作成や参加できる人員体制を整えたい。/様々な企業と関わらせてすごく良かったです。もう少しお時間を組んで頂いても良かったかなと思います。/休憩時間が少し短い気がした。/もっと様々な企業の事例を聞いてみたいです。/うりずんプロジェクトの説明についての資料については、事前にもらえると良かった。当日は、資料を見ながらではなく、PPTに注目させたほうが良かったと思う。/事例紹介を共有できるようにしていただきたい。採用担当者の名簿に作成をお願いしたい。/この形式で十分勉強することができました。/長期ISの受入手法を知りたい。/企業側の受入事例をもう少し見てみたいと思いました。/特になし。

10. その他ご意見・ご感想などありましたら、お聞かせください。

夏期は不参加の予定ではありますが、今後参加することになった際は、今回の話を活かして受入をしていきたいと思っています。/情報交換のローテーションを増やして欲しかった。/インターンの目的や意義を見つめ直すとてもよい機会となりました。本日はありがとうございました。/すごく参考になりました。今後も参加していきたいと思っています。/本日は、このような機会を設けていただき、ありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。/次の開催もよろしく願いいたします。/勉強になりました。ありがとうございました。/夏期インターンシップもよろしく願いいたします。/特になし。

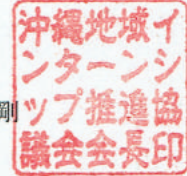
2015 夏期インターンシップ
フェア

開催概要	
■ 概要	
事業名	産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業【テーマ B】インターンシップ等の取組拡大
資料内容	うりずんプロジェクト2015夏期インターンシップフェア 開催概要
■ 内容詳細	
<p>主催 沖縄地域インターンシップ推進協議会 後援 内閣府沖縄総合事務局、沖縄労働局職業安定部職業安定課、沖縄県商工労働部雇用政策課 協力 琉球大学、名桜大学、沖縄大学、沖縄キリスト教学院大学・沖縄キリスト教短期大学、 沖縄国際大学、沖縄県立芸術大学、沖縄女子短期大学、沖縄県中小企業家同友会、 在沖米国商工会議所、(有)オーシャン・トゥエンティワン、(特非)沖縄人財クラスタ研究会、 (株)ルーツ、沖縄県大学就職指導研究協議会</p> <p>○期日/時間:平成 27 年 5 月 23 日(土)10:00～15:30 ○会場:琉球大学学生会館 3F 特別会議室 ○対象:大学1～4 年、修士 1 年～2 年、受入企業担当者、大学関係者、インターンシップ関連団体 担当者 ○目的:うりずんプロジェクト 2015 夏期インターンシップの実施 ○実施内容/時間</p> <p>【第 1 部】(受付開始 9:30)</p> <p>①インターンシッププログラムの説明(30分)10:00～10:30 ・インターン開始までのスケジュールや事前研修、実施期間中、事後研修など基本的なプログラ ムの概要説明。</p> <p>②講演「インターンシップ活用術」(仮)(30分)10:30～11:00 沖縄タイムス社 編集局 社会部 記者 伊禮 由紀子 様</p> <p>③キャリアアドバイザーによるエントリーシート・履歴書作成のポイント(60 分)11:00～12:00 株式会社ニッチ 代表取締役 次呂久 由利恵 様 〈昼食 12:00～13:00〉</p> <p>【第 2 部】(受付開始 13:00)</p> <p>⑤インターンシップ受入れ企業によるブース説明会(20分×6巡)13:30～15:30 ⑥共有(アンケート、感想)・今後の流れ・交流会(30 分)15:30～16:00 ・アンケート、感想の回収 ・15:30 に終了し、残り 30 分は交流時間とする。できるだけ交流を促すが、途中で帰る学生にも 今後やり取りできる流れを作っておく。</p>	

平成27年4月21日

企業・インターンシップ関連団体等 各位

沖縄地域インターンシップ推進協議会
【琉球大学就職センター長】
会長 松本 剛



2015夏期インターンシップフェアの開催について（ご案内）

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、平成26年度文部科学省「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業【テーマB】インターンシップ等の取組拡大」の補助金事業において、琉球大学を幹事校とする県内4大学（名桜大、沖縄大、沖縄キリスト教学院大、沖縄国際大）の「うりずんプロジェクト～「沖縄型」インターンシップの展開～」が採択され、同プロジェクトの下、産学官連携の沖縄地域インターンシップ推進協議会が平成26年8月1日に設置され、事業がスタートしております。

ご承知のことと存じますが、平成26年度より就職活動時期の変更に伴い、学生が企業及び業界内容を知るためのインターンシップ実施の重要度が増しております。

そのため、平成27年度行事として、県内学生（短大生含む。）を対象としたインターンシップ実施に焦点をあて、学生と受入企業とのマッチングを目的とした「2015夏期インターンシップフェア」を下記のとおり開催致します。

同フェアは1部・2部形式で行い、1部はインターンシップ・プログラムの説明、講演「インターンシップの活用術（仮題）」等、休憩を挟んで2部では、ブース形式で学生に対して受入企業による自社が実施するインターンシップ概要説明を行う予定としております。

貴社・団体等におかれまして、2015夏期にインターンシップ受入のご予定・ご希望がありましたら、趣旨をご理解いただき、ご担当者様の派遣をよろしくお願いいたします。

敬具

記

- 1 うりずんプロジェクト 2015夏期インターンシップフェア
日時：平成27年5月23日（土）10:00～15:30
場所：琉球大学 大学会館（別添 会場案内図のとおり）

- 2 開催概要（参考資料）
・別添開催概要のとおり

- 3 問合せ・申込み先
〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地
沖縄地域インターンシップ推進協議会事務局（琉球大学就職センター内）
インターンシップ・コーディネーター：川平 敦
事務補佐員：早川杏里
電話 098-895-8981 FAX 098-895-8119
E-mail urizun@to.jim.u-ryukyu.ac.jp

MATCHING EVENT

服装自由

県内
大学・短大
対象

全学年
対象

県内のさまざまな企業と出会い、
担当者からの興味深い話を聞く、
交流するイベント

うりずんプロジェクト 2015 夏期 インターンシップフェア

2015
5/23 (土)
10:00~15:30

- 場 所 琉球大学 大学会館3階 特別会議室
対 象 県内大学生1~4年、短大、企業担当者、
大学関係者、インターンシップ関連団体
内 容 【第1部】10:00~12:00
①インターンシッププログラムの説明
②講演「インターンシップ活用術」
③エントリーシート・履歴書作成のポイント
【第2部】13:30~15:30
④インターンシップ受入企業によるブース説明会
⑤交流会

参加企業一覧 (50音順)

- | | |
|--|---------------------------|
| Asia Logistics Partners (卸・小売業) | (独) JICA 沖縄国際センター (公務) |
| アソビュー (株) (IT 関連) | 全保連 (株) (その他) |
| (株) アパレオホールディングス (サービス業) | (有) タイド (サービス業) |
| American Engineering Corporation (建築・不動産業) | 大同火災海上保険 (株) (金融・保険業) |
| (有) うえざと木工 (製造業) | ダブルツリー-by ヒルトン那覇 (飲食・宿泊業) |
| (有) オーシャン・トゥエンティワン (教育及び教育支援業) | (株) ていーだスクエア (IT 関連) |
| (株) Okicom (IT 関連) | (株) テラ・ウェブクリエイト (IT 関連) |
| (株) 沖縄教育出版 (卸・小売業) | ヒルトン沖縄北谷リゾート (飲食・宿泊業) |
| (株) 沖縄銀行 (金融・保険業) | 前田産業ホテルズ (飲食・宿泊業) |
| (株) 沖縄タイムス社 (マスコミ・広告・出版業) | 宮古島東急ホテル&リゾート (飲食・宿泊業) |
| (株) 沖縄債権回収サービス (その他) | (株) ヤブサチ (飲食・宿泊業) |
| おきなわ証券 (株) (金融・保険業) | 琉球インタラクティブ (株) (IT 関連) |
| 沖縄ホンダ (株) (卸・小売業) | (株) 琉球銀行 (金融・保険業) |
| (株) 沖縄メディコ (卸・小売業) | (株) 琉球新報社 (マスコミ・広告・出版業) |
| オリエンタルヒルズ沖縄 (飲食・宿泊業) | (株) ルーツ (マスコミ・広告・出版業) |
| オリックスビジネスセンター沖縄 (株) | ※5/21 現在 (随時追加予定) |
| (公財) 公国立劇場おきなわ (公務) | |
| (株) シーエー・アドバンス (IT 関連) | |

受入情報は Web で Check !!

申込み方法

学生は大学名・学年・氏名・Tel を、その他の方はご所属・氏名・Tel を、右記のメールアドレスまで送信してください。事務局より返信します。
※Fax でも申込みできます。(裏面をご利用ください)



↑
こちらからもリンクできます

お問い合わせ・申込み

沖縄地域インターンシップ推進協議会事務局
(琉球大学就職センター内) 電話 098-895-8981
メール urizun@to.jim.u-ryukyu.ac.jp

主催：沖縄地域インターンシップ推進協議会
後援：内閣府沖縄総合事務局、沖縄労働局職業安定部職業安定課、沖縄県商工労働部雇用政策課
協力：琉球大学、名桜大学、沖縄大学、沖縄キリスト教学院大学・沖縄キリスト教短期大学、沖縄国際大学、
沖縄県立芸術大学、沖縄女子短期大学、沖縄県中小企業家同友会、在沖米商工会議所、(有)オーシャン・
トゥエンティワン、(特非) 沖縄人材クラスター研究会、(株)ルーツ、沖縄県大学就職指導研究協議会 (調整
中含む)

うりずんプロジェクト

2015夏期インターンシップフェアが開催されました

平成27年5月23日(土)10時～15時30分まで、琉球大学 大学会館3階 特別会議室で、うりずんプロジェクトの「2015夏期インターンシップフェア」が開催されました。

うりずんプロジェクトとは、文部科学省の大学改革推進等補助金事業の「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業【テーマB】インターンシップ等の取組拡大」で採択された**沖縄型のインターンシップ事業**(正式名称：うりずんプロジェクト～「沖縄型」インターンシップの展開～)で、琉球大学が幹事校となり、名桜大学、沖縄大学、沖縄キリスト教学院大学及び沖縄国際大学の4大学が連携校となって、インターンシップを活用したキャリア教育を行う体制の整備や、学生と企業等との懸け橋となるインターンシップの仕組みづくりを行っています。

インターンシップフェアの内容は、次のとおりです。

【第1部】10:00～12:00

1. インターンシップ・プログラムの説明等

就職センター インターンシップ・コーディネーター 川平 敦

2. 講演「インターンシップ活用術」

沖縄タイムス社編集局社会部 記者 伊禮 由紀子氏

3. 「エントリーシート・履歴書作成のポイント」

株式会社ニッチ 代表取締役(キャリア・アドバイザー) 次呂久 由利恵氏

【第2部】13:30～15:30

4. インターンシップ受入企業によるブース説明会

5. 交流会

同フェアでは、まず、松本剛就職センター長による挨拶の後、川平敦コーディネーターから、うりずんプロジェクトで実施するインターンシップの内容及び種類等について概要説明があった。続いて、琉球大学を一昨年卒業し、沖縄タイムス社記者となった伊禮由紀子氏による「インターンシップ活用術」と題する講演があり、その中で「インターンシップでは自分を良く見せようと肩肘はらずに自分が成長する場をとらえること」、「社会人と接する練習になる」、「学生時代に、失敗を恐れず自分の能力より少し高い目標を設定して自分に負荷をかけたことが社会に出てから役立った」等、自身のインターンシップ経験を通して数々の貴重なアドバイスをありました。

引き続き、キャリア・アドバイザーの次呂久由利恵氏による「エントリーシート・履歴書作成のポイント」の説明では、自分が企業の人事担当者なら履歴書のどの部分を見るか、その理由は?という問いかけから始まり、良い履歴書例、悪い履歴書例を使った実践的な内容で説明を行い、参加した学生らはすぐに応用できるポイントを学ぶことができました。

午後からは、インターンシップ受入企業等担当者によるブース説明会がありました。開始前に松本剛就職センター長から「企業等担当者から一方的に話を聞くだけでなく、必ず質問するように!」と学生を激励し、学生達は20分ごとにブースを移動しながら、次々と企業の業務内容やインターンシップ取組み等の説明を聴き、どこにエントリーするか真剣に考えていました。

終了後の学生アンケートでは、「インターンシップは職場体験であって、仕事を体験するものだと考えていましたが、その他にも社会人として働いている人とのふれ合いの中でマナーや自分の得意・不得意を見つけ、改善できる機会であることに気付かされました」、「自分は現在2年次で、当初インターンシップは3年次から始めようと思っていたが、今回の機会を得て積極的に今からインターンシップなどに参加しようと思った」など、参加した学生からは、満足度の高いインターンシップフェアとなりました。(アンケート回収55名中、とても満足(36)、まあまあ満足(19)との回答結果)

【参加学生内訳】

学校名	1年次	2年次	3年次	4年次	院生	計
琉球大学	4	13	29	1	1	48
名桜大学		4	3			7
沖縄大学			3	1		4
沖縄初声大学院大学						0
沖縄国際大学			5			5
沖縄女子短期大学	3					3
合計	7	17	40	2	1	67

【参加企業等内訳】

企業等区分	企業等・団体数	参加者数(人)
企業等(ブース含む)	34	56
大学等	5	17
行政機関	2	3
合計	41	76



【第1部】
松本就職センター長による挨拶



インターンシップ・プログラムの説明



沖縄タイムス社記者 伊禮由紀子氏による講演「インターンシップ活用術」



キャリア・アドバイザーの次呂久由利恵氏による「エントリーシート・履歴書作成のポイント」

【第2部】受入企業によるブース説明会の模様



[ここに入力]

[ここに入力]

平成27年5月23日実施

うりずんプロジェクト2015夏期インターンシップフェア

学生アンケート（集計）

1. 大学名、学年を教えてください。（○をつけてください）

名桜大学(7)・沖縄大学(3)・沖縄キリスト教学院大学(0)・沖縄キリスト教短期大学(0)
沖縄国際大学(4)・沖縄県立芸術大学(0)・沖縄女子短期大学(3)・琉球大学(37)・無回答(1)

学年	学部等
1年(6)	理学部(1) 観光産業科学部(2) 総合ビジネス(3)
2年(12)	法文学部(4) 国際学群(3) 工学部(3) 農学部(1) 無回答(1)
3年(34)	理学部(12) 法文学部(9) 法経学部(3) 国際学群(3) 農学部(2) 工学部(1) 経済学部(1) 総合文化学部(2) 産業情報学部(1)
4年(1)	理学部(1)
修士(1)	無回答(1)
無回答(1)	無回答(1)

2. 本日のインターンシップフェアはいかがでしたか？

①とても満足(36) ②まあまあ満足(19) ③あまり満足ではない(0) ④満足ではない(0)

3. インターンシッププログラムの説明はいかがでしたか？

①とても満足(38) ②まあまあ満足(17) ③あまり満足ではない(0) ④満足ではない(0)

4. 「インターンシップ活用術」はいかがでしたか？

①とても満足(38) ②まあまあ満足(16) ③あまり満足ではない(0) ④満足ではない(0) 無回答(1)

5. 「エントリーシート・履歴書作成のポイント」はいかがでしたか？

①とても満足(37) ②まあまあ満足(16) ③あまり満足ではない(1) ④満足ではない(0) 無回答(1)

6. ブース説明会はいかがでしたか？

①とても満足(35) ②まあまあ満足(10) ③あまり満足ではない(0) ④満足ではない(0) 無回答(10)

7. うりずんプロジェクトの夏期インターンシップに参加したいと思いますか？

①とても思う(31) ②まあまあ思う(19) ③あまり思わない(2) ④まったく思わない(1) 無回答(2)

[ここに入力]

[ここに入力]

8. インターンシップを希望する企業・団体等がありましたか？

- ①とても思う(27) ②まあまあ思う(19) ③あまり思わない(6) ④まったく思わない(0) 無回答(3)

9. 本イベントを知ったきっかけを1つ選んでください。(⑤と⑥の二つを選択した回答1件)

- ①インターンシップ経験者から紹介(0) ⑥大学のホームページを見て(1)
②その他の友人から紹介(15) ⑦フェイスブックで見て(0)
③大学の先生や職員から紹介(10) ⑧沖縄地域インターンシップ推進協議会のホームページを見て(1)
④大学の講義で聞いて(14) ⑨その他(1) 無回答(3)
⑤大学でチラシ・ポスターなどを見て(11)

10. 本イベントに参加した目的は何ですか。(複数回答可)

- ①インターンシップに興味があった(41) ⑥夏期のインターンシップ参加を決めているから(4)
②うりずんプロジェクトのプログラムに興味があった(2) ⑦話を聞きたい企業等の参加があったから(4)
③講演内容に興味があった(10) ⑧その他(1) (将来が不安だったから)
④エントリーシート・履歴書作成のポイントに興味があった(17) 無回答(3)
⑤企業等のブース説明会に興味があった(10)

11. 今日、心に残った言葉やフレーズを教えてください。

仕事は 100-1=0 になる、ということ。(継続が大事) /インターンシップでは常にアンテナを張る/「自分はどういう業種で社会貢献したいのか?」「自分の職業観とは?」を考えることが大切/「ビジネスは論理的」だという伊禮さんの言葉/就職=恋愛(3) /全ての企業さんの言葉にすごくよく感じる言葉がたくさんありました/2 年次で動き出すのはとても周りとの差をつける大きな一歩だね!といわれたのがとても嬉しかったです/「沖縄から世界へ」/「働く意味」を考えるというフレーズが心に残った。インターンシップなどを通してこの意味について考えたい/地域貢献/心にのこりました/受動的ではなく、能動的に動く。「知っている」から「できる」のトレーニング。自分で社会人となった時の姿を重ねる。積極性、結果のフィードバック/伊禮由紀子さんの「お客さん気分ではなく、自分が社会人になった時の姿と重ねる」/「アンテナをはる」という言葉(3) /ビジネスは論理的/自分ができることをアピールするのではなく修得するために何をしてきたかをアピールする/「知っている」と「できる」は違う/会社を好きになるんじゃなくて、人を好きになること/就職に関する意識が変わる! アイディアを直接社長にプレゼン/資格はあまりみない。資格より能力の方をみる/何事も一生懸命にとりくむこと/就職への自分の思っていることと現実にはギャップがある/学んだことだけを書いていくのではなく、それを学んだことで何を得たのか、どう自分が変わっていったのかを分析し書いていく/興味のない業種でも体験したことによって「働く」ということがわかる/障がい者と商業を

[ここに入力]

[ここに入力]

つなぐ仕事があってもいい/履歴書は社会人として大丈夫かチェックしている。自分が社会人になった時の姿と重ねる/自分の強みと弱みを知る！インターンシップで価値観（見方）が変わる/就職後にどれだけ努力したかがやりがい。

12. 本イベントに参加して、考え方や価値観に変化があれば教えてください。

自分のやりたい業務内容を判断して、インターンシップを考えたい。いくつも行きたい会社があった！/様々な職種（業種）があることを知った/これから積極的に物事に取り組んでいきたい。海外インターンシップにも興味が出たので機会があれば参加したいと思う/どの仕事もやりがいがあるとおもしろそう/自分は現在2年次で、当初インターンシップは3年次から始めようと思っていたが、今回の機会を経て積極的に今からインターンシップなどに参加しようと思った/インターンシップは職場体験であって、仕事を体験するものだと考えていましたが、その他にも社会人として働いている人とのふれ合いの中でマナーや自分の得意・不得意を見つけ、改善できる機会であることに気付かされました。/実際に参加して企業の方とお話した中で古いイメージがあった企業も実際は凄く地域の方に密着したりしているんだと感じ、話を聞いてみなければ分からないものだなと感じた/いろいろなところに足を運んで、知ろうと思うことに抵抗感がなくなった/インターンシップは、中学の時などに行われる「職場体験」のようなものかと思っていたけど、もっと責任があったり、自分を成長させるものだとわかった/興味があまりなかった分野に対しても、積極的に学び、知りたいと思いました。/自分の考え方が少し変わってきた。/あまり就職について意識してなかったが、周りにはもう始めてるんだと気づいた/資格はあまり見ない/学生のうちに社会人と接する機会があるのは非常にいいことだと感じた/Start dashのきっかけになった/今回参加して、好きな仕事でも、少し嫌になる時があることを知り、そこで、続けていって、やりがいをみつけていくことが大事なことがわかりました/仕事は本当にやりがいのあるのを見つけることが大切だと改めて思いました。インターンシップは早い段階から積極的に参加することが大切だと分かりまし。/沖縄県内の企業に興味を溢れた/実際の企業と接触してインターンの希望を変更しました。すごく良いフェアでした。/わくわくしてきました/自分で視野を狭めていたんだと感じた/就職について今まで以上に考え、調べていこうと思った/自分が思ったより、楽しそうな会社、企業はたくさんある！と思った/自分にあまり自信がなかったですが、ブース説明会を経て、やりたい事がみつかった気がして、ちょっと自信がつかしました/甘く見ていましたが社会にとっても興味を持ちました。/もっと積極的に就活イベントに参加しようと思います/多くの大学生が参加していて、驚いた/百聞は一見にしかずで、実際に行動したりすることが大事だと言うことを学んだ/今までの職業観が変わりました/色々な仕事がある事が分かった。

[ここに入力]

[ここに入力]

13. その他ご意見・ご感想などありましたら、お聞かせください。

社会人として働いていらっしゃる方々の話を直に聞くことができとても良かったです/ブース説明会の時間がもう少しほしいです/冷房がききすぎていたと思います。いろいろ勉強になりました/これから就活を頑張っていきたい!!/色々な企業さんの話がきけたので良かったです。履歴書のかき方も、身についたので良かったです。ありがとうございました/インターンシップがどんなものか雰囲気だけでもつかめた/初めてインターンシップに参加するので不安がありましたが、とても丁寧な説明だったので前向きに取り組みたいとあらためて思った/とても詳しくインターンシップのことや、仕事のこと、そして、積極性の大切さ、また履歴書の詳しい書き方を知れて良かったです。今回は3, 4限が情報科学演習、キャリア教育の必修授業だったため、午後は参加できませんでしたが、次回は参加したいです。現代経営の授業を受講しています/企業説明の回数を増やしてほしい/来る前と後でインターンシップに対する考え方が変わりました/いろいろな企業の人事の方や、社員さんと交流できることが、とても良かった/実際に企業の方の話を聞いて良かったです/貴重な体験でした/とてもいいイベントで、参加出来て良かったです/また機会があれば参加したいです。/会社様のお話がたくさん聞けてインターンシップにすごく参加したくなりました/とても為になった/一部のみしか参加できなかったのですが、この説明会に来て、よりインターンシップに参加したい気持ちを高めることが出来ました。履歴書の書き方を詳しくポイントを知り、自分の履歴書をかきかけを得ることができた/午前から参加すれば良かったです。このイベントが大学内（琉大）で周知されていなかったのが残念。



うりずんプロジェクト
沖縄地域インターンシップ推進協議会

うりずんプロジェクト2015 夏期インターンシップフェア
企業・団体等アンケート (集計)

1. ご所属 (○をつけてください)

- ①受入企業・団体等企業(16) ②企業・団体等 (受入検討中) (0) ③インターンシップ支援団体(0)
④人材育成系企業(0) ⑤行政関係者(1) ⑥大学関係者(0) ⑦その他(0) 無回答(1)

2. 本日のインターンシップフェアはいかがでしたか?

- ①十分満足した(2) ②概ね満足した(11) ③あまり満足できなかった(4)
④満足できなかった(1)

宜しければその理由をお書きください	②学生にとってフェアで会社について事前に行けるのが良い。/②参加学生が予想していたよりも少なかった。/③もっと多くの学生に来てもらうために、告知したほうが良いと思う。(学内メール等)/④参加人数が少ない/②IT企業さんがたくさん参加されている中で、小さな当社の説明会に来てくれる学生もいたので良かったと思いました。/第1部は学生の状況を知れて良かったです。2部も意欲的な学生と出会えました。/③学生の興味を引く工夫がもっと必要だったと感じました。/②参加人数が期待よりも下回った為/②学生さんのみならず、他の企業様の様子も拝見できたので/②地元読谷村出身の生徒さん3名にお会いできた。
-------------------	--

3. インターンシッププログラムの説明はいかがでしたか? (ご覧いただいた方のみ)

- ①とても満足(2) ②まあまあ満足(1) ③あまり満足ではない(0) ④満足ではない(0)

宜しければその理由をお書きください	②もう少し時間をかけて説明した方がより理解できたと思うから。
-------------------	--------------------------------

4. 「インターンシップ活用術」はいかがでしたか? (ご覧いただいた方のみ)

- ①とても満足(2) ②まあまあ満足(0) ③あまり満足ではない(0) ④満足ではない(0)

宜しければその理由をお書きください	① 実体験をまじえて、親近感のある内容だった。
-------------------	-------------------------

5. 「エントリーシート・履歴書作成のポイント」はいかがでしたか? (ご覧いただいた方のみ)

- ①とても満足(2) ②まあまあ満足(0) ③あまり満足ではない(0) ④満足ではない(0)

宜しければその理由をお書きください	① もう少し時間を掛けられればよかった。
-------------------	----------------------

6. ブース説明会はいかがでしたか?

- ①十分満足した(2) ②概ね満足した(12) ③あまり満足できなかった(2) ④満足できなかった(1)
無回答 (1)

宜しければその理由をお書きください	②説明時間が20分だと足りなかった。説明後に毎回10分程度のフリートーク時間があるとよかった。/②いろいろな学校から来ていた/②1・2年生を含めて意識の高い学生さんとお会い
-------------------	--

	<p>することができました。/②学生の全体数がもう少し少いたら良かった。/④参加人数が少ない/①少人数への説明だったので質問しやすかったです。⑥沖縄国際大学や沖縄大学の学生にもPRしたい。集客をお願いします。/②皆さまが学生さんを一生懸命誘導されているので非常に有難かったです。/②一定数の学生が着席してくれました。</p>
--	--

7. 交流会はいかがでしたか？

- ①十分満足した(1) ②概ね満足した(3) ③あまり満足できなかった(5)
④満足できなかった(1) 無回答(8)

<p>宜しければその理由をお書きください</p>	<p>③帰ってしまう学生が多いので、最後にまとめてとるのではなく、説明のたびに都度時間をとる方が良いと思う。/③交流会のイメージができず、多くの企業が退席していた。/③特に学生も話しかけていただけなかったので少し寂しかったです。/②興味おありの学生様が残っていただけ為/③学生が少なかったため…。/②③学生が少ない/もう少しお話したかった学生さんがアルバイトで先を急がれた為</p>
--------------------------	---

8. 本日のイベントは今後役に立つ内容でしたか。

- ①非常に役立つ(6) ②役立つ(8) ③あまり役に立たない(0) ④まったく役に立たない(1)
無回答(3)

<p>宜しければその理由をお書きください</p>	<p>④まだ当社は名前も知られていないので、IT企業として認知してもらっただけでも第一歩/②インターンシップ希望者と直接話げできた。/①観光業界に興味のある学生さんとお話をする機会があったのが良かった。④学生に説明できなかった。②今後やる気のある学生さんを積極的に受け入れたいと思いました。/①ITのイメージ向上につながったと思う。/①学生の興味のある業界や動きを知ることができました。/②企業PRに役立ちました。/①これからも継続して参加させていただきたいです。</p>
--------------------------	--

9. 本イベントについて、お気づきの点や改善すべき点などありましたら、具体的にご記入ください。

<p>春より学生がインターンシップに対してモチベーションが低い気がする。前期は3学年が多いこともあり、就職を意識していたからなのか…。/もう少しスペースが広いと助かります。/学生がスーツではなく、私服だったので堅くなく良かった。/是非、事前のPRに関して御協力させて下さい。/参加する学生数がもう少し多いと良いと思いました。</p>
--

10. その他ご意見・ご感想などありましたら、お聞かせください。

<p>企業同士のインターンシップに関する情報交換ができればよいと思います。/ありがとうございました。/参加している学生の学部・学科の割合を知りたい。/本日はありがとうございました。/急な飛び込みにも関わらず、快く受け入れて下さいまして有難う御座いました。/今回参加した学生の皆様はインターンシップ受け入れ企業の説明を聞く目的ということもあり、当方の就職相談へ足を運ぶ学生が少なかった。ある意味相談がないことはよい事だと思ふ。</p>
--

2015 夏期インターンシップ
事前研修

○うりずんプロジェクト 2015 夏期インターンシップ事前研修スケジュール

【事前研修】

Day 1 (2015/7/11 (土) 琉球大学 大学会館 3階特別会議室 (代替日 7/12 (日) 大学会館 3階特別会議室)

時間	題目	内容
9:00 ~ 10:00	ガイダンス、参加者の自己紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・本日の内容確認 ・自己評価表記入 ・自己紹介
10:00 ~ 10:45	意識付け	<ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップの意味を考える
11:00 ~ 12:00	受入企業による講話	<ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップ先で学生に求められるもの
12:00~13:00 お昼休み		
13:00 ~ 15:00	マナー講座①	<ul style="list-style-type: none"> ・身だしなみ、挨拶、返事、態度 ・文章の書き方、話し方、指示の受け方、メモの取り方、電話のかけ方、受け方、ハウレンソウ(報告連絡相談)、質問のタイミングと仕方、内部情報の取り扱い
15:15 ~ 16:45	目標設定ワークショップ①	<ul style="list-style-type: none"> ・インターン受け入れ先企業(業界)の研究 ・グループ共有 ・A3用紙で発表
16:45 ~ 17:30	まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・日報の作成(本日学んだこと、気づいた点、反省点、明日の目標設定)

Day 2 (2015/8/8 (土) 琉球大学 大学会館 3階特別会議室 (代替日 8/9 (日) 大学会館)

時間	題目	内容
9:00 ~ 9:30	オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・本日の内容確認
9:30 ~ 10:45	先輩の体験からの学習	<ul style="list-style-type: none"> ・体験談の意味 ・体験談を聞くにあたっての留意点 ・事例研究①「失敗」から学ぶ ・事例研究②「ほめられたこと」から学ぶ ・事例研究③「困ったこと」から学ぶ ・まとめ
11:00 ~ 12:00	プレゼンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップ志望理由 ・自己PR ・実習先の受入内容 ・実習の目標
12:00~13:00 お昼休み		
13:00 ~ 15:00	マナー講座②	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶を工夫する、会話の間は相手に視線を向ける、適切な相づち、呼ばれたらすぐに立つ ・積極性のアピール
15:00 ~ 17:00	目標設定ワークショップ②	<ul style="list-style-type: none"> ・宣言タイム ・企業+インターン生の共有&個別相談タイム ・宣言(1名1分+1社1分)
17:00 ~ 17:30	まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・日報の作成(本日学んだこと、気づいた点、反省点、今後の目標設定)

うりずんプロジェクト2015夏期インターンシップ事前研修①

日時：平成27年7月11日（土）9：00～17：30

開催場所：琉球大学学生会館3階 特別会議室

参加学生：105名

欠席者：10名

【参加学生内訳】

学校名	1年次	2年次	3年次	4年次	院生	計
琉球大学		4	68	2	1	75
名桜大学		1	4			5
沖縄大学			10			10
沖縄福祉教短期大学						0
沖縄国際大学			10			10
沖縄女子短期大学	5					5
合計	5	5	92	2	1	105

●事前研修内容

【第1部】

(1) ガイダンス (60分)

説明：インターンシップ・コーディネーター 川平敦

松本就職センター長挨拶、学生の自己紹介、自己評価表（ループリック）記入

(2) 意識付け「インターンシップの意味を考える」 (45分)

説明：インターンシップ・コーディネーター 川平敦

インターンシップに参加する目的や、インターンシップで何を学ぶべきかを再度見直すなど、「本番」に向けた意識付け

(3) 受入企業による講話「インターンシップ先で学生に求められるもの」 (60分)

全保連株式会社人事総務部長 長谷川元宏氏

インターンシップ受入企業側の視点での講話

【第2部】

(4) マナー講座 (120分)

有限会社スカイ・グループ代表取締役 宇久田恵美子氏

ビジネスマナー講座、名刺交換練習などのご指導

(5) 目標設定ワークショップ (90分)

インターンシップ受入企業・団体（業界）の研究

(6) まとめ 事前研修②の連絡・日報・アンケート回答

説明：インターンシップ・コーディネーター 川平敦

うりずんプロジェクト2015夏期インターンシップ事前研修①の様子



松本就職センター長による挨拶



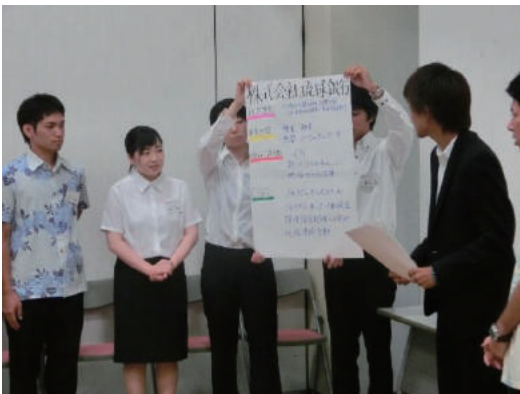
川平コーディネーターによるガイダンス



長谷川元宏氏による企業講話



宇久田恵美子氏によるマナー講座①



インターンシップ受入企業・団体の研究



まとめ 日報・アンケートの作成

うりずんプロジェクト2015夏期インターンシップ事前研修②

日時：平成27年8月8日（土）9：00～17：30

開催場所：琉球大学学生会館3階 特別会議室

参加学生：80名

欠席者： 9名

【参加学生内訳】

学校名	1年次	2年次	3年次	4年次	院生	計
琉球大学		1	51		1	53
名城大学			3			3
沖縄大学			8			8
沖縄リサ教短期大学	2					2
沖縄国際大学			10			10
沖縄女子短期大学	4					4
合計	6	1	72		1	80

●事前研修内容

【第1部】

(1) ガイダンス (30分)

説明：インターンシップ・コーディネーター 川平敦
インターンシップ直前の「本番」に向けた意識付け
松本就職センター長挨拶

(2) 「先輩の経験からの学習」 (45分)

琉球大学4年 岩下優佑、琉球大学3年 外間由佳利
インターンシップ経験学生によるインターンシップ体験談と質疑応答

(3) 企業・団体（業界）研究 (90分)

受入企業ごとにグループを構成・ポスター作成（目標宣言の発表準備）

【第2部】

(4) マナー講座 (120分)

有限会社スカイ・グループ代表取締役 宇久田恵美子氏
アシスタント 渡嘉敷智子氏
ビジネスマナーの実践指導

(5) 「目標宣言プレゼンテーション」 (90分)

全参加学生によるインターンシップ実習にあたっての目標宣言

(6) まとめ (30分)

インターンシップ実習日程と事後研修等の連絡・日報・アンケート回答
説明：インターンシップ・コーディネーター 川平敦

うりずんプロジェクト2015夏期インターンシップ事前研修②の様子



ガイダンス



インターンシップ経験学生による体験談



企業・団体（業界）研究



宇久田恵美子氏によるマナー講座②



目標宣言プレゼンテーション



松本就職センター長による学生へのアドバイス

うりずんプロジェクト2015夏期インターンシップ事前研修②（補講日）

日時：平成27年8月9日（日）9：00～17：30

開催場所：琉球大学学生会館3階 特別会議室

参加学生：20名

【参加学生内訳】

学校名	1年次	2年次	3年次	4年次	院生	計
琉球大学		1	18			19
名桜大学						
沖縄大学			1			1
沖縄サテライト短期大学						
沖縄国際大学						
沖縄女子短期大学						
合計		1	19			20

●事前研修内容 8月8日と同プログラム

【第1部】

(1) ガイダンス (30分)

説明：インターンシップ・コーディネーター 川平敦
インターンシップ直前の「本番」に向けた意識付け
松本就職センター長挨拶

(2) 「先輩の経験からの学習」映像 (45分)

(3) 企業・団体（業界）研究 (90分)

受入企業ごとにグループを構成・ポスター作成（目標宣言の発表準備）

【第2部】

(4) 「マナー講座」映像 (120分)

説明：インターンシップ・コーディネーター 外間裕子
有限会社スカイ・グループ代表取締役 宇久田恵美子氏によるビジネスマナー講座の映像を見ながら、外間コーディネーターによる実践指導

(5) 「目標宣言プレゼンテーション」 (90分)

全参加学生によるインターンシップ実習にあたっての目標宣言

(6) まとめ (30分)

インターンシップ実習日程と事後研修等の連絡・日報・アンケート回答
説明：インターンシップ・コーディネーター 川平敦

うりずんプロジェクト2015夏期インターンシップ事前研修②（補講日）の様子



川平コーディネーターによるガイダンス



外間コーディネーターによるマナー講座



長谷川元宏氏による名刺交換



企業・団体（業界）研究



目標宣言プレゼンテーション

うりずんプロジェクト2015夏期インターンシップ事前研修① 実習生向けアンケート

1. 大学名、学部系統、学年、性別を教えてください。(○をつけてください)

大学名	琉球大学	76	名桜大学	5	沖縄大学	11	沖縄国際 大学	10	沖縄キリスト教 短期大学	3	沖縄女子 短期大学	5
学部系統	文系	79	理系	27	その他	2						
その他内訳												
学年	1年	7	2年	6	3年	94	4年	2	大学院1年	1		
性別	男性	58	女性	52								

2. 事前マッチングについて（満足度を5点満点で評価してください。）

ア. 面談日の日程調整	5	77	4	14	3	15	2	4	1	0	無回答	0
イ. インターン希望先の充実	5	67	4	33	3	7	2	2	1	0	無回答	1
ウ. 面談の内容	5	66	4	37	3	7	2	0	1	0	無回答	0
エ. 必要（提出）書類の事前説明	5	61	4	40	3	8	2	1	1	0	無回答	0
オ. 事務局の対応	5	72	4	36	3	2	2	0	1	0	無回答	0

3. 事前研修①について（満足度を5点満点で評価してください。不参加の場合は0を記入。）

ア. ガイダンス	5	65	4	35	3	7	2	0	1	0	無回答	3
イ. 意識付け	5	72	4	29	3	7	2	0	1	0	無回答	2
ウ. 受入企業による講話（長谷川様）	5	80	4	19	3	6	2	0	1	1	無回答	4
エ. マナー講座①（宇久田様）	5	84	4	21	3	2	2	0	1	0	無回答	3
オ. 目標設定ワークショップ①（企業/団体（業界）研究）	5	55	4	35	3	16	2	1	1	0	無回答	3

4. 今回の事前研修で学んだ内容以外に、どのような内容を学びたいですか。できるだけ具体的に記入してください。

具体的な実習内容/さらにマナーを学びたい/もし、失敗をしてしまったときの対応等/プレゼンテーションのコツ等/マナー講座を引き続き学びたい/敬語の使い方を学びたい/職場マナーについて学びたい/インターンをやったことによるメリットは何か?先輩や人事担当の方に意見を聞きたい/インターンシップが始まるまでの具体的な準備とはどのようなものがあるかが知りたいです。企業が新卒に求めるものを学びたい/企業の目上の方との話し方ややってはいけないよくある注意点などが知りたい/事前研修で前回参加した方のお話/実際にインターンシップを経験した方のお話を聞きたい/企業研究のポイントやペアでの自己研究をもっと深めたい/企業研究において必要なこと/もっと敬語/インターンシップ先での大きな流れなどをもう少し具体的に知りたい/「働くこと」についてのモチベーションアップ。意見交換の場をもうける/細かい部署についての説明/企業が求めること/インターンシップ体験者の話を聞き、体験後にどのような変化があったのか知りたい/マナーについてもっと知りたい(メールマナーとかも)/コミュニケーション能力/敬語をもっと詳しく学びたい/メモ力や質問の質を高める研修を学びたい/学生として求められていることをもう少し具体的に説明して欲しいと感じた/仲間作り、アイスブレイクのためのレク/私の社会に必要とされる部分が残りの2年でどれくらい補えるのか/夢探し/参加者全員で何か活動をしたい/発表することもあったので、発表する際の技術、またグループディスカッションでのうまい進め方を学びたい/グループワークなどインターンシップで実際に行われることの実践練習やコツ等を教えて欲しい/社会で働く上での意識を学びたい/面接の仕方や社会人とのコミュニケーションの取り方についてインターンシップに向けて学んでいきたい/間違いやすい点等あまりあまり知っていない点など教えていただけたら幸いです/好感度が高くなる立ち振る舞い方/社会人の経験談/できるだけ多くの人とたずさわれるグループワークを取り入れて欲しい/もっと他の学生とのふれ合いをもうけて欲しい/マナー研修をもっとやりたいと思った/グループワークの取り組み方について/ビジネスメールの打ち方を学びたい/今回やったグループ学習のように事前に受入企業に行ってグループで企業研究を行ってみたい/グループディスカッションをもっと充実させたい/企業が現在抱えている問題への対策/もっと深くグループで企業研究をしたい/その他の業界のことについて詳しく学びたい/社員の方とよりよくコミュニケーションを取るためにはどうしたらいいか、話す内容、話し方、質問の仕方、ほめ方(?)など/企業に事前訪問したい/みんなの前でうまくプレゼンができるようになるためのコツや方法など/社会に対して基本的なマナー、コミュニケーション能力/会話力、プレゼン力、話をする力、いきなり前に出て自分の思い、自己紹介、企業の発表がまったくできないのもっとうまくなりたい/インターンシップに向けた心の準備だけでなく、これからの人生においてずっと役に立つマナーについても学べたので良かったです。

5. その他、うりずんプロジェクト事務局に関するご意見/ご要望/ご提案/ご感想などを記入してください。

とても良かった。意識付けができた/ありがとうございました/うりずんプロジェクトでは緊張感をもつ取り組みができました/社会に出たときに必要なマナーを学ぶことができ有意義な時間を過ごすことができました/マナー講座は知らないことだらけだったのでよかったです/もっとグループの子と仲良くなりたい!/面談日などの希望日をいくつか提案してくれるのでありがたいです/マナーの授業とグループワークがとても良かったです/こちらからの連絡にも素早く対応して下さる迅速さと丁寧さに感謝しています/実際にインターンシップに行く前に危機感がめばえてよかったです/事前研修があったおかげでインターンシップへの準備の重要性を感じました/特にはないです。ありがとうございます/今日の研修はとても充実していたので楽しく学べました。ありがとうございます/マナー、意識付けなど就活に活かせる内容で不安がなくなりました/事前研修でのマナー講座やグループワークは自分にはないものが発見できるのでとても良かったです/わかりやすい説明で怠惰な心にむちを打ってくれるような意識付けにうれしかった/とても良い機会を与えていただきありがとうございます。たくさん学べることがあり、自分にプラスになることばかりでとてもたすかりました/補講を設定していただきありがとうございます/また、うりずんプロジェクトに参加したいと思った/質問や疑問などに対してやさしく丁寧に対応して下さって本当にありがとうございます。今後ともよろしくお願いします。

うりずんプロジェクトに参加させて頂いている身ではありますが、もう少し事務局と学生の関係に一体感が欲しいです。やや一方的、高圧的に感じる場合があります。/講演に呼ぶ人はしっかり選んでほしい/事前研修の日程をあらかじめ知りたかったです/他の受入先企業の話聞いてみたい/インターン受入の決定通知の期間をもっと最初からハッキリさせて頂きたかったです/研修は短時間で回数を増やしてほしい/研修日程をもっとコンパクトにしてほしい。要点をまとめて短めをお願いします/むちゃぶり又は発言の場を多くしてほかった/H P以外にその企業を調べられない(グループワークで困りました)/マナー講座の時間が足りず、とても残念だった。時間の制約は仕方ないがもっと深く学びたい/時間オーバーしすぎていると思う/もっと書く時間がほしいです/新聞を書く時間がもっと欲しかった/実習先をもう少し広げてほしいです。

うりずんプロジェクト2015夏期インターンシップ事前研修② 実習生向けアンケート回答

1. 大学名、学部系統、学年、性別を教えてください。(○をつけてください)

大学名	琉球大学	73	名桜大学	3	沖縄大学	11	沖縄国際大学	10	沖縄キリスト教短期大学	3	沖縄女子短期大学	5
学部系統	文系	78	理系	27	その他	0						
その他内訳												
学年	1年	7	2年	3	3年	92	4年	2	大学院1年	1		
性別	男性	53	女性	50								

2. 事前研修②について(満足度を5点満点で評価してください。不参加の場合は0を記入。)

ア. オリエンテーション	5	51	4	43	3	9	2	1	1	1	無回答	0
イ. 先輩の体験からの学習	5	61	4	36	3	7	2	1	1	0	無回答	0
ウ. 目標設定ワークショップ②プレゼンテーション	5	56	4	31	3	17	2	1	1	0	無回答	0
エ. マナー講座②(宇久田様)	5	64	4	32	3	7	2	2	1	0	無回答	0
オ. 目標設定ワークショップ③目標宣言	5	61	4	33	3	8	2	2	1	1	無回答	0

3. 全2回の事前研修で学んだ内容以外に、どのような内容を学びたいですか。できるだけ具体的に記入してください

リーダーシップについて。どのような人がリーダーに向いているのか/体験談やマナー講座だけでなく、プレゼンテーションを行う回数が多く、とても勉強になりました/何かしらご迷惑を先方に向けた場合の謝罪方法を勉強したいと思いました。お礼文の送り方などが知りたいです。満足です/グループワークでの繋がりを深める/特になし(3)/実際に企業の担当者さんと顔合わせやメールでのやり取りが増えると良いなと感じました/インターンシップ当日の様子を、もっと詳しく具体的に知りたい/社会人になったばかりの方から話をきいてみたい/なし/上司がされて嬉しいこと、言葉などを知りたい/まとめの時間をもっと取ってほしかったなと思いました/マナー研修をもっとやりたかったです/もっと深くマナーを学びたいです/インターンシップ先との連絡方法のマナーをもう少し詳しく学びたい/お礼のメールなどを送る上で注意すべきこと、書く印象アップになることなど/内容以外ではないですが、マナーをさらに学びたい(お茶だしなど)/プレゼンテーションの上手なやり方について学びたいです/女性限定ですが、社会での正しい化粧のしかたが知りたいです。必要だとは知っていますが、アドバイスをいただくとありがたいと思います/物事を正確にわかりやすく伝えるにはどうしたらいいか学べるといいと思います/もっとグループワークを増やしてほしいです/お辞儀の角度ができていくか自分で確認できるような見るポイント、企業の方が見るポイントを聞けたらよかったです/実習先が同じか似ているグループでまったく違う業種の人たちのグループとディスカッションがしたい/グループワークを通して、もっと他の人の意見を取り入れたい/もっと社会に通用するマナーを知りたい/その他の学生にありがちな欠点や今回で学んだこととは違うビジネスマナーなどをもっと知りたいと思いました/失敗談を聞きたい/電話対応の仕方をもっと学びたかったです。あと表情のつくり方や身なりなども学びたいと思いました/プレゼンテーションのコツなども教えてほしいです/インターンシップ中に実際にありそうな場面を想定した実践の対処法を学びたいです/新入社員さんあら見る社会に入るに当たってのアドバイス等/敬語の使い方をもう少し学びたかったです/名刺は報連相をしっかり実践していきたいです/実際の取組みと企業の講話がもっと欲しい/名刺の作り方/簡潔にわかりやすく伝える方法のポイントを知りたいです。/プレゼン能力をどうやって向上させるかについて/マナーと伝えたい事を整理して実行する方法→伝えたい事が先に頭によぎるとマナーが疎かになってしまう欠点があるため/いざ、インターンシップが始まり、業務にも少し慣れてきたときに、相手方のお手伝いをする際の気遣いや、話のかけ方を学びたい/マナー講座で教えてもらったことを、実践していきたい、さらに深めて生きたいと思います/プレゼンの気をつけるべき点などの講義が欲しい/社会人はどうやって困難を乗り越えているのかを知りたいです。メンタルケア、問題解決のための知識をどこで得たのか/もう少し企業の人の講話が欲しい/どのような質問をしたら良いかわからないので(例)とかあれば参考になります/社会人1年目の話。社会人としてのマナーは固定、しかし、個性を生かす研修/2社行くが、研修内容が異なるため、バランスが難しかったです。同じ内容の研修を受けてみたいです/実際にインターンシップ先でのマナーを気をつける。特に言葉遣い、態度に気をつける。目標に向けて頑張れる/緊張しない方法/それぞれ代表企業のいくつかの一日の仕事内容などの例を知りたい/就職活動で学生に求められていることを学びたい。将来を見据えて成長できるため。

4. その他、うりずんプロジェクト事務局に関するご意見/ご要望/ご提案/ご感想などを記入してください。

とても満足のいくプログラム内容でした。ありがとうございました/事前研修で学んだことをインターンシップで実践できるように頑張ります。ありがとうございました/面接から履歴書の添削・メールや電話対応など、うりずんプロジェクトに係る人達の思いを汲んでインターンシップを頑張っていきます/事前研修とても大きな学びとなりました。ありがとうございます。インターンシップがんばります!/丁寧に事前研修を行っていただき、とても勉強になりました。ありがとうございました/おそらくこのようなプロジェクトがないと、自分ではインターンシップをしようと思わないので、その機会を与えてくださり感謝しています。ありがとうございました/大勢の人の前で発表する機会があってとてもよかった/先輩の話聞いた事で、学生目線での困ったことや、どのような事を準備していたのか、聞いたので、先輩たちの声を活かしたいです。長谷川さんなどの企業の方などからの企業の方々の生の声やアドバイスをもらう機会を作ってください、ありがとうございます/社会に対する不安はとても大きいですが、事務局の方と接していると、それ以上に大きなバックアップがあると感じる/勉強になりました/すぐく学生思いの対応だったと思います。これからもよろしくお願いします/自分の為になる研修になったと感じるのでとても良かった/とても良い学びになった。社会人の基礎は難しいが、とても重要なことに気付かされた/全2回の事前研修を終え、正直、一回目の研修を終えたときは、マナーについての不安がまだまだあったのですが、2回目を終え、実践を何度も繰り返すことでマナーが力付いてきた感じがしました/とても身になる実習内容で有難いです/連絡事項のときにリンクも一緒に貼ってくれているので、分かりやすく助かりました/特になし(4)

消しカスを入れる小さいゴミ箱をセッティングして欲しい/難しいとは思いますが、インターンシップ先の担当者様との質疑等、打ち合わせの機会があればと感じました/「わかる」から「できる」へ。プレゼンを通して、実践するきっかけがあったので、今日のようなプレゼンに力を入れて欲しいです/宿題(プレゼン作り)をここでやるのではなく各自家で仕上げそれをグループでシェアをしてプレゼンするのもいいのかなと感じました/企業のプレゼンテーションの用紙作成の時間がもう少しあったらよかった/時間は守って欲しい/今回テスト期間とかぶっており、テストと研修の両立がとても大変であった。休日の1日はテスト期間では非常に大きいため、お忙しい中承知していますが、ご考慮よろしく願い致します。

2015 夏期インターンシップ
実習

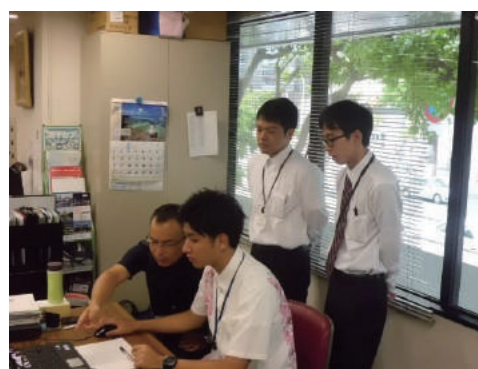
うりずんプロジェクト2015夏期インターンシップ受入企業・団体一覧

事業所 NO	企業名	業種	エリア	インターンシップ種類①	インターンシップ種類②
1	株式会社御菓子御殿	その他	中部エリア - 読谷村	長期インターンシップ	
2	株式会社沖縄教育出版	卸・小売業	南部エリア - 那覇市	短期インターンシップ	
3	株式会社沖縄銀行	金融・保険業	南部エリア - 那覇市	短期インターンシップ	
4	特定非営利活動法人沖縄人材クラスタ研究会	サービス業	南部エリア - 那覇市	短期インターンシップ	長期インターンシップ
5	沖縄ホンダ株式会社	卸・小売業	南部エリア - 浦添市	短期インターンシップ	
6	株式会社沖縄メディコ	卸・小売業	南部エリア - 浦添市	短期インターンシップ	長期インターンシップ
7	株式会社オリエンタルリゾートアソシエイツ オリエンタルヒルズ沖縄	飲食・宿泊業	北部エリア - 恩納村	短期インターンシップ	長期インターンシップ
8	有限会社オーション・トゥエンティワン	教育及び教育支援業	南部エリア - 那覇市	長期インターンシップ	
9	アソビュー株式会社	IT関連	中部エリア - 宜野湾市	長期インターンシップ	
10	独立行政法人国際協力機構 (JICA) 沖縄国際センター	公務(国家・地方)	南部エリア - 浦添市	短期インターンシップ	
11	全保連株式会社	その他	南部エリア - 那覇市	短期インターンシップ	
12	大同火災海上保険株式会社	金融・保険業	南部エリア - 那覇市	短期インターンシップ	
13	有限会社タイド	サービス業	中部エリア - 読谷村	短期インターンシップ	長期インターンシップ
14	北谷ホテルアンドリゾート株式会社 ヒルトン沖縄北谷リゾート	飲食・宿泊業	中部エリア - 北谷町	長期インターンシップ	
15	前田産業ホテルズ(株式会社前田産業)	飲食・宿泊業	北部エリア - 名護市	短期インターンシップ	
16	琉球インタラクティブ株式会社	IT関連	中部エリア - 宜野湾市	短期インターンシップ	長期インターンシップ
17	株式会社琉球銀行	金融・保険業	南部エリア - 那覇市	短期インターンシップ	
18	株式会社りゅうせき	卸・小売業	南部エリア - 浦添市	短期インターンシップ	
19	株式会社ルーツ	マスコミ・広告・出版業他	南部エリア - 浦添市	長期インターンシップ	
20	オリックス・ビジネスセンター沖縄株式会社	IT関連	南部エリア - 那覇市	短期インターンシップ	
21	株式会社沖縄タイムス社	マスコミ・広告・出版業他	南部エリア - 那覇市	短期インターンシップ	長期インターンシップ
22	American Engineering Corporation	建築・不動産業	中部エリア - 宜野湾市	短期インターンシップ	
23	Asia Logistics Partners (ALP)	卸・小売業	中部エリア - 北谷町	短期インターンシップ	英語でインターンシップ
24	DoubleTree by Hilton Naha	飲食・宿泊業	南部エリア - 那覇市	短期インターンシップ	英語でインターンシップ
25	株式会社テラ・ウェブクリエイト	IT関連	南部エリア - 浦添市	短期インターンシップ	
26	株式会社シーサー	サービス業	南部エリア - 那覇市	長期インターンシップ	
27	株式会社シーエー・アドバンス	IT関連	南部エリア - 那覇市	短期インターンシップ	
28	株式会社ヤブサチ	飲食・宿泊業	南部エリア - 南城市	短期インターンシップ	長期インターンシップ
29	有限会社うえざと木工	製造業	離島エリア - 石垣市	短期インターンシップ	
30	株式会社琉球新報社	マスコミ・広告・出版業他	南部エリア - 那覇市	短期インターンシップ	
31	おきなわ証券株式会社	金融・保険業	南部エリア - 那覇市	短期インターンシップ	
32	沖縄県農業協同組合	複合サービス事業	南部エリア - 那覇市	短期インターンシップ	
33	株式会社okicom	IT関連	中部エリア - 宜野湾市	短期インターンシップ	
34	株式会社沖縄債権回収サービス	その他	南部エリア - 那覇市	短期インターンシップ	
35	宮古島東急ホテル&リゾート	飲食・宿泊業	離島エリア - 宮古島市	長期インターンシップ	
36	株式会社アパレオホールディングス	サービス業	中部エリア - 北谷町	長期インターンシップ	
37	公益財団法人国立劇場おきなわ	公務(国家・地方)	南部エリア - 那覇市	短期インターンシップ	
38	株式会社 碧	飲食・宿泊業	南部エリア - 那覇市		
39	株式会社いでーだスクエア	IT関連	南部エリア - 浦添市	短期インターンシップ	長期インターンシップ
40	株式会社グランドシステム	航空・海運・陸運業	南部エリア - 那覇市	短期インターンシップ	
41	株式会社いえらぶ琉球	IT関連	南部エリア - 那覇市	短期インターンシップ	長期インターンシップ
42	トランスコスモス株式会社		南部エリア - 那覇市		

新規受入企業

長期受入企業

2015 夏期インターンシップ 実習風景



※写真の掲載については、受入先の許可を得ています。

うりずんプロジェクト 2015 夏期インターンシップ 受入企業・団体向けアンケート(集計 有効回答 11)

1. 実習期間をどのように評価されていますか。

①短期間過ぎる ②適当である ③長期間過ぎる ④わからない ⑤その他

意見	<p>②適当である (10)</p> <p>・2週間から4週間が適当。企業体質や業務内容の理解を得るには期間が短いですが、現場体験をするには適当。 (番号選択無し)</p> <p>・短い人で1週間、長い学生で3週間でしたが、やはり1週間は短いと思います。</p>
----	---

2. 実習時期をどのように評価されていますか。

①適当である ②不適当である ③その他

意見	<p>①適当である (9)</p> <p>一年でも一番忙しい夏の繁忙期を体験することは良い。/学生の皆さんがしっかりと活動ができる夏休み期間でしたので、時期的には問題ありません。/受入時期について事前にご相談いただければ対応します。/夏休みが望ましい。</p> <p>②不適当である (2)</p> <p>新卒採用の時期と重なったので、できれば7月中に終わらせたい。/テスト期間との重複により期間が短くなったのは残念だったが、夏休み期間中の実施が妥当と感じる。</p>
----	--

3. マッチング結果について、どのように評価されていますか。

①とても満足している ②満足している ③どちらともいえない ④どちらかといえば不満がある ⑤かなり不満がある

意見	<p>①とても満足している (1)</p> <p>私たちは学生の実力に感心しました。</p> <p>②満足している (6)</p> <p>人物はとても優秀で、目的をもってインターンシップを行ったが、サービス業に興味を持った人物のほうがよい。/マッチングイベントの際には学生の方があまり来られなかったが、事務局コーディネーターの方のおかげで3名の学生のエントリーがあったので、助かりました。/自由な発想を持っている方で、学生視点が新鮮でした。</p> <p>③どちらともいえない (3)</p> <p>当社を選択してくれた理由は、当社を知らないがプログラムの内容を見てという学生さんが多く、インターンシップフェアでの説明とその後の事務局のフォローのおかげだと思う。/「見聞を広げる」という程度の学生がいたのは残念でした。/初年度ということもあり、独自に実施している選考と事務局との選考基準のすり合わせが少々足りなかった。</p>
----	--

4. 参加学生のモチベーションについて、どのように評価されていますか。

①とても高い ②高い ③どちらかといえば低い ④低い ⑤かなり低い

意見	<p>①とても高い (5)</p> <p>参加するまではあまり積極的ではなかった学生も、2週間後には非常に前向きに変わってくれた。/うりずんの参加学生は、毎回「学んで持ち帰ろう」という姿勢が強く、他からの参加者を引っ張ってくれている印象がある。 (番号選択なし)</p> <p>個人差はありましたが、おおむね①と②の間でした。</p> <p>②高い(5)</p> <p>選考を基に参加しているため本人のやる気は高く、積極的な質問・業務への関わりがみられた。</p>
----	---

5. 受入によって効果があったと思われるものは何ですか。(複数回答可)

- ①社会貢献 ②指導する若手社員の成長 ③職場が活性化した ④自社の認知度を高める ⑤大学との交流
⑥将来の採用の人材の見極め ⑦学生の意見で職場の改善 ⑧その他

意見	<p>①社会貢献(3) いつでも喜んで将来のリーダーとなる学生の成長をお手伝いします。</p> <p>②指導する若手社員の成長(4) 指導するスタッフが業務内容の再確認を行ったり、一つ一つの業務内容の目的を理解したりと、教える側の意識も変わった。/参加学生の意識・意欲の高さに周りの若手社員に良い影響が出た。</p> <p>③職場が活性化した(2)</p> <p>④自社の認知度を高める(4) 事前研修・事後研修に参加させていただき講義をさせてもらったことで当社の認知度がアップし、当社の人材育成の考え方を直接伝える場が持てた。</p> <p>⑤大学との交流(5) 母集団形成の一つとしては効果を感じた。</p> <p>⑥将来の採用の人材の見極め(4) 受入学生が最終年次の場合に限り該当します。</p> <p>⑦学生の意見で職場の改善(2)</p> <p>⑧その他(1) 弊社の課題に対して、参加学生にアイデアをもらっているの、今後の弊社の動きの1つとして展開出来そうだと思う。また、私自身が貴重な経験となりました。</p>
----	---

6. 受入にあたって、苦勞したことは何ですか。(複数回答可)

- ①組織内でのインターンシップの周知・理解 ②人事面の手当て ③受入部門の決定 ④インターンシップ・プログラムの作成 ⑤その他

意見	<p>①組織内でのインターンシップの周知・理解(3) 特に苦勞ということではないが、忙しい期間であるためお客様優先(当り前のことですが)になるため、指導が後回しになってしまう場面も見られた。</p> <p>②人事面の手当て(1) 出張の回数が多くなり、時間調整するのが大変だった。</p> <p>③受入部門の決定(3) 細かいプログラムの策定は、インターン専従社員がいないと難しい。/各部署の繁忙と重なり、受入部門の選定で工数がかかった。</p> <p>④インターンシップ・プログラムの作成(5) インターンシップ・プログラムの作成と日報の記入は難しいことではありませんが、忙しい一日の終わりにも確実に私たちの時間と労力を要します。</p> <p>⑤その他(2) 初期段階で設定をしていたインターンシップ期間で実施をすることで出来ず、参加学生と事務局の方にはとても迷惑をおかけしたと思います。申し訳ありません。</p>
----	--

7. 今回のインターンシップを実施して良かったですか。

- ①良かった ②悪かった ③どちらともいえない

意見	<p>①良かった(11) これからも、会社の方針として沖縄県の学生の資質向上のお役に立ちたいと考えている。/母集団形成の一つとして継続していきたいと感じた。/今後も引き続き学生を受け入れることを心待ちにしています。/春と夏の受入方の違いが明確になった。春のインターンシップも2週間程度の期間で行いたい。/学生の皆さん、忙しい中で弊社からの課題に対して情熱を持ってアプローチしてもらっているので、とても学びが多く、成長が出来ていると実感しています。/学生さんがとても積極的で明るかったので、スタッフももっと頑張ろうと、力をもらいました。</p>
----	---

8. 今後のうりずんプロジェクトインターンシップの受入について、どのようにお考えですか。

- ①引き受け可能 ②引き受け不可能 ③未定

意見	<p>①引き受け可能(10) もっと多くの学生さんに参加してもらえよう、プログラムを充実させていきたい。/春夏共に受入を行いたいと思っています。サービス業に興味のある学生さんが当社にくるように、認知度が上がるように努めていきたい。/今後ともインターンシップの受入企業として学生の皆さんの学びの場・成長の場として、お付き合いが出来ればと思っています。</p> <p>③未定(1) 採用活動スケジュール変更の可能性があり、現時点では未定とさせていただきます。</p>
----	---

9. 大学への要望

- ①学生の目的意識を高める ②事前にビジネスマナー講習を徹底する ③機密保持の徹底を図る
 ④実習内容に関連した専門知識を勉強する ⑤担当者の巡回を徹底する ⑥なし ⑦その他

意見	<p>①学生の目的意識を高める ・何故インターンシップがあるのか、インターンシップに参加する目的とは何かを学生一人一人がしっかりと自身で考えて明確化する流れがあると、遅刻や態度などの表面的なものも自然と少なくなっていくと思います。 ・今回のインターンシップでは目的意識を明確にした良い内容でした。引き続き、学生さん本人に目的や目標を持たせるような指導をお願いします。また、思考力が必要とする指導をお願いしたいと思っています。教わることも大切ですが、自らが学ぶ姿勢や、自分考えて答えを見つけ出す姿勢が足りないように感じます。進学や試験のための勉強ではなく、身につく勉強が必要なのだと思います。</p> <p>③機密保持の徹底を図る ・職種上、発表前の重要情報が集まるため、業務上得た情報の管理について意識徹底をお願いしたい。特に SNS 利用が当たり前になっている学生の軽はずみな書き込みが重大な不祥事につながる可能性が高いため、事前研修に組み込んでほしい。</p> <p>④実習内容に関連した専門知識を勉強する ・大学のインターンシップ担当職員や、教員の皆さんにもぜひインターンシップをしてほしいと思います。民間企業で働く人が、どのような時間意識、コスト意識で業務を遂行しているか、一度見てもらい、事前研修や事後研修にフィードバックしてもらうのもひとつの方法ではないかと思います。</p> <p>⑤担当者の巡回を徹底する ※弊社ではインターンシップ中の担当者の巡回は不要ですが、無給での社員確保のため、インターンシッププログラムを乱用する企業もあるとのこと、学生から耳にしますので、そのような企業においては担当者に視察・調査していただくようお願いいたします。</p> <p>⑦その他 受入企業が努力しようとしてもできないのが、インターンシップ参加学生の確保です。せっかく多くの企業が受入を表明して、準備しても学生が集まらなければ意味がないのではないのでしょうか。琉球大学のみならず、各大学での個別説明会等</p>
----	---

の開催も検討や、大学側で手が回らないのであれば企業側で協力できることはもっとたくさんあるはずだと思います。また、参加者を増やすために、2週間以上で大学が認定した企業のプログラムに参加した学生には単位を与えることを検討していただきたい。/積極的に頑張ろうとする姿勢や、明るい笑顔で対応をしていただければ問題ないです。

10. その他ご意見・ご要望など、どのようなことでもかまいませんので自由に記入ください。

意見・要望

- ・インターンシップ本来の目的は、あくまでも教育の一環として学生に職業体験をさせることによって、職業観を育てることではないかと思えます。企業側が、採用目線でインターンシップに取り組むことにも問題があると思えますが、学生の行きたい企業を選択させると同時に、短期間でも、全く興味のない業種も体験させたほうが本来の目的に合致すると思います。人気企業にだけ参加させていたのでは、効果は半減するのではないのでしょうか。また、人気企業は独自にインターンシップを行ってもそれなりの学生は集まるので、インターンシップへの協力企業を増やすのであれば、独自にインターンシップ募集をしたくてもできない企業に光があたるような仕掛けが必要だと思えます。毎回、銀行と有名企業に学生が集中していたのでは、参加したいと思う企業は減少するのではないのでしょうか。
- ・大学生の期間に不規則な生活習慣を身につけてしまうと、それを改めることが一手間になってしまいます。また、責任を自覚しない学生さんも見受けられるので、大学生活の間に社会にでるための、責任を自覚させるような教育をして頂ければ、企業側は助かります。
- ・1年目から即戦力になる学生さんは、大企業に就職してしまうから余計そのように感じてしまうのかもしれない。当社の認知度をあげられるようにと願っております。
- ・前回のアンケートにて、必要書類が全て英語だと他の外国企業でのインターンシップ受入の促進に繋がると記入したところ、早速今期から英語での覚書や受入条件確認書が届き、非常に助かりました。
- ・今回は事前に告知していましたが期間中での実施が出来ず、期間を先延ばしにしてしまい、本当に申し訳ありません。今後はそのような事が無いようしっかりと対処していきたいと思っております。

事後研修の際にインターンシップ参加学生の皆さんから多くの学びの言葉が出ていたので、弊社としても私個人としても嬉しい限りでした。今後とも微力ではございますが、ご協力させて頂ければと思いますので、宜しくお願い致します。

- ・企業での実務を行うインターンシップ期間中でも、新聞に目を通すなどの社会人としての基本動作が出来ていないなど、今後、就職活動をする上で気になる点がありました。

以前拝見しましたが、挨拶の仕方や名刺の受け渡しなど外形的なマナー講習だけでなく、社会人として必要な気持ちの持ち方や情報収集の仕方などについても、一定の事前準備が必要だと感じました。

- ・事後報告会が特に良かったです。次回からは事前勉強会へも積極的に参加し、学生の成長を見ていきたいです。
- ・期限ギリギリの参画にも関わらず、色々手配してくださりありがとうございました。引き続き、可能な限り受入を継続していきたいと存じますので、よろしく願いいたします。
- ・可能であれば、実習後の評価票や日報等の報告書類を簡素化していただきたい。
- ・今年度が初めての提携だったが、県内大学のインターンシップ手続きの一本化はメリットが大きく、今後も協力したい。反面、会社独自に参加への基準を課しているため、県外大学生参加者を選ぶ社内の選考とうりずん内の選考が統一されず、参加学生のレベルの違いが若干みられた。今後は、統一された選考基準で県内・外の学生に対する平等な選考が課題だと思う。

2015 夏期インターンシップ
事後研修・報告会

【2015 夏期インターンシップ事後研修・報告会】

事前講義	インターンシップ研修を通じて得た問題意識や成果を客観的に振り返る。
グループワーク	個人的に振り返った内容を基に、グループでインターンシップでの学びを議論・共有することで、多様な視点からインターンシップを振り返る。
グループワーク + 事前研修総括発表	グループワークによる成果発表
事前・事後研修を通じた 最終総括	インターンシップ研修先での体験を総括し、自己及び専門分野とのかかわり等について考察し、今後の学習目標を設定、キャリアプランを明確にする。

(2015/9/19 (土)) 琉球大学 大学会館 3 階特別会議室 (代替日 10/17 (土) 大学会館)

時間	題目	内容
9:00～ 10:00	オリエンテーション・意識 付け	・本日の内容確認(身だしなみ・挨拶等も合わせて確認)
10:00～ 12:00	成果報告	・学生自身の①IS経験、②今後のキャリアプランを報告しあう。発表資料はA3 用紙 1 枚。あらかじめ作成。発表方法、ポイント等を確認し、午後に備える。
12:00～13:00	お昼休み	
13:00～ 13:15	オリエンテーション	・流れの確認
13:15 ～ 14:45	企業担当者を含めた成果 報告	IS経験学生+企業担当者+大学教職員を含めたグループを作り、経験学生による発表、質疑応答を行う。
14:45～15:00	休憩	
15:00～ 16:00	IS受入企業、大学教職員 による総括(パネルディス カッション)	・受入企業の担当者・各大学教職員より学生の変化・成長・今後のアドバイス等をいただく。
16:00 ～ 16:30	学生によるキャリアプラン 発表	・舞台上で全学生にキャリアプランを発表してもらう(マイクなし)。
16:30～ 17:00	まとめ・交流会・記念撮影	・終了、修了証を配布、アンケート回収、平成 28 年春期インターンシップの案内

うりずんプロジェクト2015夏期インターンシップ事後研修

日 時：平成27年9月19日（土）9：00～17：30

開催場所：琉球大学 大学会館3階 特別会議室

参加学生： 83名 (欠席者：22名)

参加企業： 11社 (13名)

大学関係者： 9名 (琉球大学：7名)

【参加学生内訳】

学校名	1年次	2年次	3年次	4年次	院生	計
琉球大学		1	55	1	1	58
名桜大学			2			2
沖縄大学			7			7
沖縄リソ教短期大学	2	1				3
沖縄国際大学			8			8
沖縄女子短期大学	5					5
合計	7	2	72	1	1	83

●事後研修内容

【第1部】

(1) ガイダンス (15分)

説明：インターンシップ・コーディネーター 川平敦

松本就職センター長挨拶、プログラムの流れを説明、学生同志の名刺交換による自己紹介

(2) 意識付け (15分)

説明：インターンシップ・コーディネーター 川平敦

身だしなみのチェック、事前研修のふりかえり

(3) グループワークとふりかえり (75分)

午後の発表に備え、実習内容と実習目標の達成度や実習先で学んだこと、気づいたこと、実習の反省点等をふりかえり、ポスター作成

(4) グループワークとキャリアプラン発表 (60分)

今後の大学生活や就職活動、「在りたい自分」のポスター作成・発表

企業担当者・大学関係者受け入れ準備（学生による迎え入れ・誘導）

【第2部】

(5) オリエンテーション (15分)

説明：インターンシップ・コーディネーター 川平敦

学生挨拶、午後のプログラム確認

(6) 企業担当者を含めた成果報告 (90分)

学生・企業担当者・大学教職員を含めた、経験学生による発表と質疑応答

(7) 学生によるキャリアプランの発表 (90分)

全学生によるキャリアプランの発表と、受入企業の担当者・各大学教職員より、今後のアドバイス等

(8) まとめ (45分)

高橋学生部長挨拶、記念撮影、アンケート回答、修了証書の授与

うりずんプロジェクト2016春期インターンシップの案内

学生による挨拶

うりずんプロジェクト2015夏期インターンシップ事後研修の様子



松本就職センター長による挨拶



川平コーディネーターによるガイダンス



グループワークとキャリアプラン発表準備



キャリアプラン発表

うりずんプロジェクト2015夏期インターンシップ事後研修の様子



企業・大学職員を含めた成果報告



高橋学生部長による挨拶



修了証書の授与



記念撮影



学生による挨拶

うりずんプロジェクト2015夏期インターンシップ事後研修 実習生向けアンケート (集計)

1. 今回の企業・団体でのインターンシップ実習に関して (満足度を5点満点で評価してください。)

①. 実習内容は適当であったか

【1社目】

5	64	4	18	3	1	2	0	1	0	無回答	0
---	----	---	----	---	---	---	---	---	---	-----	---

【2社目】 (15名)

5	11	4	3	3	1	2	0	1	0	無回答	0
---	----	---	---	---	---	---	---	---	---	-----	---

理由

【高評価】
・講義・グループワーク・支店実習など色々な経験ができた。
・インターンシップ生の希望も聞いてくれ、一人ひとりに丁寧に関わってくれた。
・自分で考えて行動する内容だったが、とても身になった。
・実習先の部署が自らの所属学科対象とその他で分かれており、専門性の高い実習が受けられた。また、自身の学びたいものと一致していた。
・プログラムが体系的にまとめられており、良く設計されていた。
・今の自分のレベルが浮き彫りになったので、今後の課題がはっきりしてとても良かった。
・各部署で全く違う仕事内容であったが、受け入れ先の方が幅広く、できる範囲の仕事をどんどん割り振ってもらった。
・日本企業にはない考え方も教えていただいたため、良い経験になった。
・マスコミだからといって、取材・記事を書くという作業だけではなく、イベントの手伝いだったり、プレゼンもできて充実していた。
・国際的機関と一言で言っても様々な事業がある中、講座から研修への同行まで色々な体験をさせて頂いた。
・沖縄伝統芸能を理解でき、業務内容も知れた。
【意見】
・支店実習が短い。座学・講義が多い。
・違う部署の体験がしたかった。
・グループワークに少し時間がかかった。

②. 実習期間は適当であったか

【1社目】

5	53	4	17	3	7	2	2	1	2	無回答	2
---	----	---	----	---	---	---	---	---	---	-----	---

【2社目】 (15名)

5	8	4	3	3	2	2	1	1	0	無回答	1
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	-----	---

【高評価】
・2週間という期間は適切であり、緊張感を持ち、様々なことを学べた。
・3日と4日の2社での実習であったが、企業様がプログラムを盛り込んでくれたため、たくさんの方に触れることができた。
【意見】
・台風の影響ではあったが、1日は短いと感じた。
・1ヶ月くらい厳しくやってもよいなと感じた。
・企業の業務内容を知るには適切な期間であった。しかし、課題の改善をするには少し短く感じた。
・長期間も良かったが、2週間ほどにして他の会社も見てみるのも良かったのかもしれない。
・3日間は少ないと感じた。
・自らの希望で1ヶ月にしてもらったのだが、やはり当初の6ヶ月であったほうがもっと深くプロジェクトにも取り組めることができたとと思う。

③. 社員との交流やコミュニケーションはあったか

【1社目】

5	61	4	11	3	9	2	1	1	0	無回答	1
---	----	---	----	---	---	---	---	---	---	-----	---

【2社目】 (15名)

5	11	4	3	3	0	2	1	1	0	無回答	0
---	----	---	---	---	---	---	---	---	---	-----	---

理由

【高評価】
・多くの社員の方(新人社員・中堅社員・人事担当・上役)と建設的な話ができた。また昼休みは社員の方々と食堂で食事をしたので、そのときに色々な話を聞いたり、また懇親会に参加することで交流することができた。
・常にマンツーマンで指導いただいた。
・外国人研修員との交流も多く取れた。
【意見・課題】
・自ら積極的にコミュニケーションを取れなかった。
・皆さん忙しそうだった。

④. 今回のインターンシップ実習を総合的に評価して

【1社目】

5	63	4	16	3	2	2	0	1	0	無回答	2
---	----	---	----	---	---	---	---	---	---	-----	---

【2社目】 (15名)

5	12	4	2	3	1	2	0	1	0	無回答	0
---	----	---	---	---	---	---	---	---	---	-----	---

理由

【高評価】
・インターンシップでは自分の強みや弱みを知ることができ、残りの学生生活をどのように過ごすべきなのかを知るきっかけになりました。
・自身の成長にも、周囲の意識や能力を知るのにもいい実習だと思う。これを次のステップに活かしたい。
・作業などの業務はしっかりできたが、業務以外で直すことがあった。
・インターンシップをせずにのうのうと大学生活を送っていたのは気づけなかったであろう事を知ることができた。就活に対するやる気が出た。参加して本当に良かった。
・実習だけではなく、事前事後もサポートしていただいたので感謝したい。
・日々学びを得てきた。1日1日が大変素晴らしく、接客業への苦手意識も克服することができた。
・インターンシップを受ける前と比べて職種の魅力に気づけた。2社目は自分の課題を知ることができ、今後の目標につなげようと思うようになった。
・目標であった職業選択の幅も広がり、新しい分野に飛び込み体験できたことは本当に充実した実習になったと思う。
・他のインターンシップにも行きたいと思うようになった。
・研修はとも体力を使うけれど、どれも含めてかなりためになった。
・受入企業様の協力で充実したインターンシップになったと思う。また、事後研修でも経験を振り返り、自身やモチベーションにもつながった。
・挑戦してよかった。これで終わりでなく、これからも精進していきたい。
・求めている以上の成果を得ることができた。将来のキャリアプランも固まり、よい機会になった。
【課題】
・積極的に行動できていなかった。5点中4点です。

2. 今回のインターンシップで経験した内容以外に、どのような実習を経験したいですか。できるだけ具体的に記入してください

・営業、社長同行、社員との交流など、トップの人の働きを見たい。
 ・発電所、エネルギー関係、教育関係、またものづくり関係のインターンシップ
 ・新入社員や内定者の方々との交流。企業の職員の方との交流会。
 ・県外インターンシップ。経営者の話を聞き、実習にも参加したい。
 ・企画や舞台制作、舞台スタッフとしての仕事を体験してみたい。
 ・実践的に課題解決できる内容。グループで話して、一つのものを作り上げる仕事。
 ・商品企画から販促、そして販売という経験をしてみたい。
 ・発表が苦手なので、人前で発表するコツを学びたかった。
 ・事務における”国際協力”も経験してみたい。
 ・新人研修の内容、半年や1年にわたるインターンシップも経験してみたい。
 ・GAPのような商品開発型の実習。
 ・学生だけではなく、企業の方ともグループワークを行い、同じことに取り組んでみたい。
 ・担当者の方からフィードバックを頂く機会を設けて欲しい。

6. 実習先企業・団体の採用試験を受けようと思いますか？

①とても思う	...	36
②まあまあ思う	...	29
③どちらともいえない	...	10
④あまり思わない	...	5
⑤まったく思わない	...	0

無回答 3

7. その他、うりずんプロジェクト事務局に関するご意見/ご要望/ご提案/ご感想などを記入してください。

【全体】
 ・とても貴重な体験ができた。
 ・事務局の対応から、ずっとやさしさの中に厳しさを感じていた。そして、それが自分を成長させるいい結果を促してくださったと思う。

【事前研修・事後研修】
 ・名刺交換の練習をしてインターンシップに臨み、褒められたので嬉しかった。事前研修は大事なと感じた。
 ・事後研修では、今まで学んだことがふわふわしていたのですが、実際に書き出して言葉にすることで明確になった。
 ・2回の事前研修では、実際に企業に行く前の下準備としてビジネスマナーやグループワーク等を行い、心構えをすることができた。事後研修でも、学んだことを自分自身に落とし込み、インターンシップの経験を更に深めることができたので良かった。
 ・今回、うりずんプロジェクトの研修、インターンシップを通して、自分が将来就きたい業種を知ることだけではなく、自分の事を見直すいい機会になった。
 ・今までの大学生活の中で一番成長できた。

【事務局の対応】
 ・事務局の方々が本気で取り組んでいたのが、素敵なインターンシップを経験することができた。
 ・事前研修やインターンシップまでの案内等メールで細かく連絡くれたことにとても感謝しています。
 ・インターンシップを受けるかどうか相談した際に親身に話を聞いてくれ、また、履歴書添削の際にも仕上がるまで何回も添削してもらった。
 ・うりずんプロジェクトに参加しなければ、インターンシップにも参加していなかったと思うので、応募してよかった。是非今後も続いて欲しいと思う。多くのご指導、本当にありがとうございました。

【意見・課題】
 ・日報や事後研修のお知らせ、記入書類などが書かれたしおりなどがあればよかった。
 ・友人から声をかけられなければ、うりずんプロジェクトに気づけなかったのも、もっと大々的に告知しても良いと思う。
 ・琉球大学が研修場所になっていて遠かったのも、交通が便利な場所で行って欲しい。
 ・アイスブレイクやグループワークなどをもっと増やして欲しい。
 ・単位があると良いと思う。
 ・マナー研修でも少しビジネスマナーについて学びたかった。
 ・事後研修前のレジュメの作成に関し、キャリアプランの欄を考えるためのサンプル等があると考えやすいと感じた。

うりずんプロジェクト 2015 夏期インターンシップ事後研修 企業・団体等アンケート（集計）回答（8）

本日はご参加いただき誠にありがとうございます。今後よりよい研修にするために、皆様の満足度やご意見・ご感想をお聞かせください。

1. ご所属（○をつけてください）

- ①受入企業・団体等(7) ②企業・団体等（受入検討中）③インターンシップ支援団体
④人材育成系企業 ⑤行政関係者 ⑥大学関係者 ⑦その他（①③④(1)）

2. 事後研修について（満足度を5点満点で評価してください。不参加の場合は0を記入。）

- ①オリエンテーション・意識付け（午前）・・・【5(2), 0(5), なし(1)】
②実習学生同士の成果報告・・・【5(1), 4(2), 0(4), なし(1)】
③キャリアプラン準備・・・【5(1), 4(1), 3(1), 0(3), なし(2)】
④企業担当者を含めた成果報告(午後)・・・【5(5), 4(1), 3(2)】
⑤学生によるキャリアプラン発表・・・【5(2), 4(3), 3(2), なし(1)】
⑥まとめ・交流会・写真撮影・・・【5(2), 4(2), 3(1), 1(1), 0(1), なし(1)】

3. 参加学生の研修に取り組む態度はいかがでしたか？

- ①とても良かった(5) ②概ね良かった(3) ③あまり良くなかった ④良くなかった

4. 本日の研修は今後役に立つ内容でしたか。

- ①非常に役立つ(5) ②役立つ(3) ③あまり役に立たない ④まったく役に立たない

5. 本研修について、お気づきの点や改善すべき点などありましたら、具体的にご記入ください。

・「学生の評価書」とても素晴らしい内容ですが、評価が細かいので、「とても良い（5）、良い（4）、普通（3）・・・」と簡素化すると評価しやすいなと感じました。

・席移動で時間がとられるので席移動はないほうがよいのでは。

・幅広く、内外問わず、集客をされると良いと思います。

・学生によるキャリアプラン発表会は全員ではなく代表者 20 名くらいでも良いと思う。学生の前では全員発表でも良いと思う。

・特にありません。

・積極的な学生には様々な社会人にふれてほしい。そういう意味で午前中から企業人と関われる内容にすると良いと思います。

・各プログラムの時間がもう少し取ればよかった。琉球大学生でもうりずんプロジェクトのことを知らない学生も多かったと聞いています。

6. その他ご意見・ご感想などありましたら、お聞かせください。

・「学生の評価とても素晴らしいな」と感じていたのですが、事前研修がしっかりとされており、川平さんをはじめスタッフの方の熱い指導があると感じ、感謝の思いでいっぱいです。今後も企業としてしっかり学生を受入れて参ります。

・意識の高い学生が多く楽しく参加できました。学んだ事をしっかり実践していただきたいと思います。

・学生、企業側が話せる時間があるとよい。

・非常に良いと思います。有難うございました。

・学生にとってはすごくいい経験になったと思います。また今後も継続してほしいです。

・やはり最後の研修ということもあってか、最後の方になると学生の皆さんの緊張感が少し抜けてきている点が気になった。

・学生の評価シート作成は、慣れていない企業もあったのではなかと思うので、次回は、事前に説明しておいた方が良いと思います。冬でうりずんプロジェクトは終了すると思いますが次につながるプログラムを是非期待しています。

3-2

【イベント等】

(春期)

2016 春期インターンシップ
企業向け情報交換会

開催概要	
■ 概要	
事業名	平成26年度産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業【テーマB】インターンシップ等の取組拡大【平成27年度は「大学教育再生加速プログラム」(インターンシップ等を通じた教育強化)に名称変更】
資料内容	2016春期インターンシップ企業向け情報交換会 開催概要
■ 打合せ内容詳細	
<p>主催 沖縄地域インターンシップ推進協議会</p> <p>後援 内閣府沖縄総合事務局、沖縄労働局職業安定部職業安定課、沖縄県商工労働部雇用政策課</p> <p>協力 琉球大学、名城大学、沖縄大学、沖縄キリスト教学院大学・沖縄キリスト教短期大学、沖縄国際大学、沖縄県立芸術大学、沖縄女子短期大学、沖縄県中小企業家同友会、在沖米国商工会議所、有限会社オーシャン・トゥエンティワン、特定非営利活動法人沖縄人財クラスタ研究会、株式会社ルーツ、沖縄県大学就職指導研究協議会（後援・協力申請中含む。）</p> <p>○日時:平成27年10月15日(木)13:00～16:00</p> <p>○会場:琉球大学学生会館3階 特別会議室</p> <p>○対象:2016春期インターンシップ受入企業、インターンシップ受入を希望する企業、インターンシップ関連団体、県、市町村自治体の人事担当者、またはインターンシップ受入担当者</p> <p>○目的:2016春期インターンシップに向けての情報交換</p> <p>○ねらい:インターンシップ受入検討中の企業と受入を経験した企業・団体等との情報交換</p> <p>○実施内容・時間:</p> <p>①事前プログラムガイダンス(30分)13:00～13:30 説明:インターンシップ・コーディネーター 川平敦 ・インターンシップ開始までのスケジュールや事前研修、実施期間中、事後研修など基本的なプログラムの概要説明(うりずんプロジェクトの内容紹介を含む)</p> <p>②受入経験企業によるインターンシップの事例紹介(20分×2)13:30～14:10 ・企業説明者:おきなわ証券株式会社常務取締役 翁長良守氏、全保連株式会社人事総務部長 長谷川元宏氏 (休憩14:10～14:25)</p> <p>③グループに分かれて情報交換(20分×4)14:25～15:45 ・受入期間別、業種別、受入実績別、ランダムでグループを構成</p> <p>④共有(アンケート、感想)・今後の流れ(15分)15:45～16:00 ・アンケート、感想の回収</p> <p>○その他 「2016春期インターンシップ・フェア」の案内 ・期日 平成27年11月28日(土) ・場所 琉球大学 学生会館3階特別会議室 ・目的 2016年春期のインターンシップを希望する学生と受入企業のマッチング</p>	

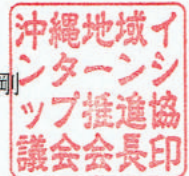
平成27年9月25日

企業・インターンシップ関連団体等 各位

沖縄地域インターンシップ推進協議会

会長 松本 剛

(琉球大学就職センター長)



2016春期インターンシップ企業向け情報交換会の開催について (ご案内)

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、平成26年度文部科学省「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業【テーマB】インターンシップ等の取組拡大」、(平成27年度は「大学教育再生加速プログラム(インターンシップを通じた教育強化)」に名称変更)の補助金事業において、県内大学・短大(琉球大学、名桜大学、沖縄大学、沖縄キリスト教学院大学、沖縄キリスト教短期大学、沖縄国際大学、沖縄県立芸術大学、沖縄女子短期大学)による産学官連携の沖縄地域インターンシップ推進協議会(以下「推進協議会」という。)が設置され、同事業がスタートしております。

ご承知のとおり、平成26年度より就職活動時期の後ろ倒しに伴い、学生(短大生含む。)が企業及び業界内容を知るため、全国的にインターンシップの重要度が増しております。

そのため、平成27年度行事として、「2015夏期インターンシップ」を実施しているところですが、更に「2016年春期インターンシップ」実施に焦点をあて、インターンシップ受入れ検討中の企業と受入れを経験した企業・団体等との情報交換を目的とした「2016春期インターンシップ企業向け情報交換会」を開催いたします。

つきましては、下記により貴社・貴団体のご参加を賜りたいと存じますので、来年度の春期にインターンシップ受入れのご予定・ご希望がありましたら、趣旨をご理解いただき、ご担当者様の派遣をよろしくお願い申し上げます。

なお、ご参考までに「2016春期インターンシップ企業向け情報交換会」のチラシを送付いたします。

敬具

記

1 ご案内

2016春期インターンシップ企業向け情報交換会

日時：平成27年10月15日(木) 13:00~16:00

2 開催概要

別添開催概要のとおり

3 問合せ先・申込み先

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地

沖縄地域インターンシップ推進協議会事務局

(琉球大学就職センター内)

インターンシップ・コーディネーター 川平敦、外間裕子

事務補佐員 早川杏里

電話 098-895-8981 FAX 098-895-8119

E-mail urizun@to.jim.u-ryukyu.ac.jp

うりずんプロジェクト 2016 春期インターンシップ

企業・団体向け

情報交換会

- ◆日 時 平成 27 年 10 月 15 日 (木) 13:00~16:00
- ◆場 所 琉球大学大学会館 3 階特別会議室
- ◆対 象 うりずんプロジェクト 2016 春期インターンシップ受入企業・インターンシップ関連団体等の人事担当者、または受入担当者
- ◆目 的 インターンシップに関する情報交換による、インターンシッププログラムの充実・質の向上。
- ◆プログラム うりずんプロジェクトの春期スケジュールの確認、受入経験企業によるインターンシップの事例紹介を行います。
後半はグループに分かれて、受入のノウハウや悩みについての情報交換の場を予定しております。

申込み方法

企業名・ご所属・担当者名・Tel を、右記のメールアドレスまで送信してください。事務局より返信いたします。

※Fax でもお申込みできます。(裏面をご利用ください)



↑
こちらからもリンクできます

お問い合わせ・申込み

沖縄地域インターンシップ推進協議会事務局
(琉球大学就職センター内) 電話 098-895-8981
メール urizun@to.jim.u-ryukyu.ac.jp

主催：沖縄地域インターンシップ推進協議会

後援：内閣府沖縄総合事務局（予定）、沖縄労働局職業安定部職業安定課、沖縄県商工労働部雇用政策課

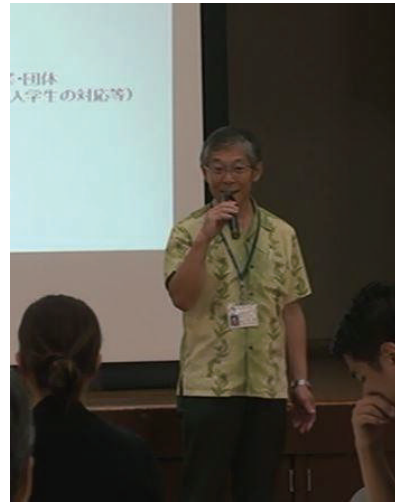
協力：琉球大学、名桜大学、沖縄大学、沖縄キリスト教学院大学・沖縄キリスト教短期大学、沖縄国際大学、沖縄県立芸術大学、沖縄女子短期大学、沖縄県中小企業家同友会、在沖米国商工会議所、有限会社オーシャン・トゥエンティワン、特定非営利活動法人沖縄人材クラスタ研究会、株式会社ルーツ、沖縄県大学就職指導研究協議会（後援・協力予定）

うりずんプロジェクト2016 春期インターンシップ企業向け情報交換会

日 時：平成27年10月15日（木）13：00～16：00

場 所：琉球大学大学会館3階特別会議室

参加者：44名（参加企業31社39名、大学関係者5名）



開会挨拶
松本 剛（琉球大学就職センター長）



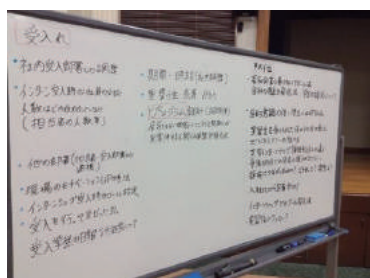
事前プログラムガイダンス
川平 敦（琉球大学就職センター コーディネーター）

受入経験企業によるインターンシップの事例紹介 (25分×2)

企業説明者：おきなわ証券株式会社
常務取締役 翁長 良守 氏



企業説明者：全保連株式会社
人事総務部長 長谷川 元宏 氏



グループに分かれて
意見交換

閉会挨拶
高橋 神奈男
(琉球大学
学生部長)



実施日：平成 27 年 10 月 15 日

うりずんプロジェクト 2016 春期インターンシップ 企業向け情報交換会アンケート **(集計)**

**有効回答(41):受入企業・団体(16) 受入検討企業・団体(20) インターンシップ支援団体(1)
大学関係者(3)**

1. ご所属 (○をつけてください)

- ①受入企業・団体等 **(16)** ②企業・団体等(受入検討中) **(20)** ③インターンシップ支援団体 **(2)**
④人材育成系企業 **(0)** ⑤行政関係者 (0) ⑥大学関係者 **(3)** ⑦その他 **(0)**

2. 本日の企業向け情報交換会はいかがでしたか？

- ①十分満足した **(16)** ②概ね満足した **(25)** ③あまり満足できなかった **(0)** ④満足できなかった **(0)**

【受入企業・団体】意見交換会の内容が充実していた/他業種の方との情報交換が為になった/他社様の実施内容や抱えている問題等を知れて良かった/他企業様の悩み・不安が聞けた(同じ悩みが多い)/他企業の取組が知れて良かった。/もう少し時間が欲しかった/違う業種の方と情報交換ができた。/他企業のプログラムが聞けて良かった。

【受入検討企業・団体】インターンシップについての流れがつかめました/インターンシップに求める成果についての考え方について、実態の理解が進んだ。/他社の取り組みで、自社にも活かせそうなカリキュラムがあり、大変満足しました。ただ時間が足りず、職種・業種別の交換会があればと思いました。/受入期間・プログラム内容等参考になりました/プログラムや、何を目的とするかヒントが得られたため/参加企業が課題としていることを共有できて良かったです/インターンの進め方やメリットなど、他企業から意見を聞くことができ、とても有意義な時間となりました/企業PR、採用につなげたいという思いと社会貢献したいという思いがあります。どちらに重きを置くかは企業によって異なりますが、良い人材確保が主な目的であることを理解しました/企業のインターンの内容を知れた。G u t 'sやうりずんプロジェクトの学生評価を知れた/色々意見が聞けた。

【インターンシップ支援団体】受入企業の工夫や生の声を聞くことができたり、受入についての課題など、これから取り組んでいきたいことが見えたから。

【大学関係者】多くの企業関係者と出会うことができた点は良かった。

3. 「事前プログラムガイダンス」はいかがでしたか？

- ①十分満足した **(12)** ②概ね満足した **(27)** ③あまり満足できなかった **(1)** ④満足できなかった **(0)**

無回答 **1**

【受入企業・団体】時間が短かった。/次回までの日程を含めて確認できたので良かった。

【受入検討企業・団体】単なるインターンシップではなく、キャリア教育が目的であることに感動しました/今後のイメージが掴めました/そもそもの目的、ビジョンがなく、手順のみとなっていた。

【インターンシップ支援団体】うりずんプロジェクト実施に関する報告や概要を聴くことができ、参考になった。

【大学関係者】丁寧でよかった。

4. 「受入経験企業によるインターンシップの事例紹介」はいかがでしたか？

- ①十分満足した (24) ②概ね満足した (17) ③あまり満足できなかった (0) ④満足できなかった (0)

【受入企業・団体】全保連長谷川様の話は大変良かった。プログラム方法は為になった (2) /他企業様の情報が聞けた。/小さい事業所の事例も聞いてみたい/実際に企業様 (受入) のプログラム内容を教えてもらい真柄も、「大事にした点」等を教えてもらうことにより、次回につなげられそうなのでよかった/短期や長期のプログラム、インターンのメリットがあった/職場との考えを統一することを学んだ。/各業界の苦勞・工夫が分かった。

【受入検討企業・団体】事例紹介でプログラムの内容を聞くことができて良かった/負担を考慮しつつ、充実した内容とする取組について悩みを共感できた/インターンシップの取り組みはどうしても受入部署との調整が難しく…。しかし、2社の皆様の表情などから、窓口の部署のやる気・勢いで、受入部署も乗り気にさせるのもありだなと思えました/長谷川部長のプレゼンは大変勉強になりました。/プログラムの内容がとても参考になりました/インターンシップに参加する学生の為に何がもっとも今後役に立つのかを考えたプログラムにすることを理解しました/具体的なお話がためになりました/実際の経歴が聞いて良かった/目的に対する、実績が分からなかった (取組内容のみではないのか?)。

【大学関係者】長谷川部長の元気の良い説明と、翁長さんの具体的なインターンシップの紹介が良かった。

5. 「グループに分かれて情報交換」はいかがでしたか？

- ①十分満足した (22) ②概ね満足した (15) ③あまり満足できなかった (2) ④満足できなかった (0)

無回答 2

【受入企業・団体】各企業同じ課題を抱えているんだと安心しました。納得できる量の情報交換ができなかったもので、是非また機会があれば参加したいと感じました/テーマの絞込みが足りなかった/情報交換する際の内容がふわっとして、これから受入を考えている企業の方がどう思っているか少し不安になった/情報交換はできたが、時間が短かった。/社内調整の方法が聞けた。/情報交換の時間が短い。回転の時間がもったいない。

【受入検討企業・団体】具体的な意見が聞けた。聞きたいことが聞けました/本音の部分の悩みが聞けた/もっといろいろお話をお伺いしたいと思えました/業種別でもっとお話したかったです!/受け入れ企業様のお話が聞いて大変参考になりました/色々な意見が聞けてとても良かったです/どの企業も同じ悩みを抱えていると知り、共に頑張りたいという気持ちになれました/困っているところを共有できたので良かった/色々な企業さんが抱えている問題点や課題などを聞いて、勉強になりました/各企業 (インターンシップ) の本音の部分が聞けて良かったです/漠然としたテーマだったので、各自の言いたい内容で終了した。

【インターンシップ支援団体】各企業の発言等のコーディネートの目安は欲しかったものの、結果的にいろんな意見を伺うことができ、勉強になりました。

【大学関係者】異業種の方々と就職に対する課題で盛り上がりました。

6. 本日の企業向け情報交換会を知ったきっかけを1つ選んでください。

- ①大学からの案内 (26) ②大学教員や職員からの紹介 (6) ③チラシ・ポスター (4)
④うりずんプロジェクトのホームページを見て (0) ⑤その他 (上司より) (1) 無回答 (4)

7. 本日の企業向け情報交換会に参加した目的は何ですか。(複数回答可)

①春期インターンシップ受入検討のための情報収集 (26) ②うりずんプロジェクトとインターンシッププログラムの概要説明に興味があった (11) ③受入経験企業によるインターンシップの事例紹介に興味があった (15) ④グループに分かれての情報交換に興味があった (15) ⑤その他 (0)

8. 本日の企業向け情報交換会は今後役に立つ内容でしたか。

①非常に役立つ (18) ②役立つ (23) ③あまり役に立たない (0) ④まったく役に立たない (0)

【受入企業・団体】 企業によってインターンシップというモノの捉え方が全く違うことが把握できつつも、今後の課題が見えてきた。/他社の事例が参考になった/他業種の動向がうかがえた/今後の受入。採用に繋がればよいと思った/各社のノウハウ・プログラムなどを知ることができた。

【受入検討企業・団体】 今回はメリット面を企業から聞いたので良かった/キャリア教育に力を入れたプログラムであることが今後のプログラム(企業)開発に活かせそうです/他の企業様がどのようにインターンシップのプログラムを作っているのか、受け入れ体制を聞くことができ、とても参考になりました/具体的なお話があり、自社に持ち帰れそう。/

9. 本日の企業向け情報交換会について、お気づきの点や改善すべき点などありましたら、具体的にご記入ください。

【受入企業・団体】 本日のプレゼン内容を可能な範囲で公開して頂きたい/グループ分けは同業種でも良いと思いますが、討議テーマで分けるのもいいと思いました/今回の交流会で色々な意見が聞けて良かったです。また、色々な企業の情報が聞けたらよいと思った/2回目のグループは1回目と全く違うメンバーが良かった。/情報交換の際に話される具体的な内容は事前に提出しておいたほうがスムーズに進めたと思います。また、1グループに少なくとも2企業は受入経験企業が欲しいです(1社だけだったので、受入を考えている企業の方々に偏った話しかしてないのでと不安になりました) /情報交換に参加させて、又、開催して頂きありがとうございました。グループ討議については、今回興味のある課題(付箋紙に書いた)のものを交換会の前に事前に声を拾い、その目的が近いグループを設定したら効率が良いと思う/情報交換の場はとても満足したが、時間が短く、深い話は聞けなかった/事務局で基本的なプログラムがあれば参加しやすい/参加社の簡単なプログラム内容(長期/短期・参加型/講義型)を前もって知りたい。

【受入検討企業・団体】 事例報告をもっと拝聴したいと感じました/事例紹介が時間不足だったような気がする/結果的に、うりずん参加者が採用に至ったのか、が知りたいです。中小企業にとって、少ない人数でどれだけの影響があるのか、気になります/インターンシップの在り方について、大変勉強になりました/情報交換の時間がもう少し欲しかったです/ディスカッションにおいては、テーマを決めて行くと良いと思います/多数の企業と情報交換ができるように、工夫が必要ではないかと思いました。/受入企業の事例紹介だけではなく、大学側の意見や大学生の目線を知りたいと思いました。また、参加学生の学部別の人数のデータも確認したいです/今回はメリット面のみ聞けましたが、社内調整などの課題があるので、そのあたりの情報交換ができればと思いました。情報交換の場がもう少し長い

と更に掘り下げた時間になると感じました/今の時間配分で実施するのでしたら、テーマを決めて実施して頂けると
時間内で終了できると思います。/もう少し長い時間設定を！！/情報交換の時間が足りない/情報交換をした成果の共
有が計れていない。

【インターンシップ支援団体】このような企業同士、大学関係者同士での情報交換の機会は少ないので、とても有
意義な時間になりました。プログラムや資料など素晴らしく、とても参加できて良かったです。

【大学関係者】インターンシップを採用であると具体的に発言している方がおられた。インターンシップをもっと広
い意味で学生に「企業と何か？」を教える場として捉え、学生を社会が鍛えていくということを前提にインターンシ
ップを進めてもらいたいものである。

10. その他ご意見・ご感想などありましたら、お聞かせください。

【受入企業・団体】今後も情報交換の場を持って欲しい/今後も連携の民間企業として、受入企業としても微力ながら
お手伝いをさせていただきますのでよろしくお祈いします/今後とも宜しくお願いします/インターンの内容日程に
悩んでいましたが、他の会社様の実施方法や意見を聞いてとても参考になりました/平成 28 年も継続できるよう頑
張って下さい。

【受入検討企業・団体】今後、内容を改善した内容で開いて欲しい/学生の事前教育の際に、ビジネスマナーについ
での研修があると思いますが、“リアクション”（話を聞くときのポイント、うなづきなど）すると、教える側も嬉し
いという事を伝えて欲しいです/とても勉強になりました。キャリア教育の重要性を広げていきたいと思ひます/良い
取り組みと存じます。引き続き、よろしくお祈いします/今日お遅れてすみませんでした。今後どうぞよろしくお
祈いします/社会貢献を目的としたインターンシップは、小企業にとっては厳しい。

【インターンシップ支援団体】

【大学関係者】うりずんプロジェクトが継続していくことを祈念しております。

2016 春期インターンシップ
フェア

開催概要	
■ 概要	
事業名	産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業【テーマ B】インターンシップ等の取組拡大【平成 27 年度は「大学教育再生加速プログラム」(インターンシップ等を通じた教育強化)に名称変更】
資料内容	うりずんプロジェクト2016春期インターンシップフェア 開催概要
■ 内容詳細	
<p>主催 沖縄地域インターンシップ推進協議会 後援 内閣府沖縄総合事務局、沖縄労働局、沖縄県(予定含む) 協力 琉球大学、名桜大学、沖縄大学、沖縄キリスト教学院大学・沖縄キリスト教短期大学、沖縄国際大学、沖縄県立芸術大学、沖縄女子短期大学、沖縄県中小企業家同友会、在沖米国商工会議所、(有)オーシャン・トゥエンティワン、(特非)沖縄人財クラスタ研究会、(株)ルーツ、沖縄県大学就職指導研究協議会</p> <p>○期日/時間:平成 27 年 11 月 28 日(土)10:00~16:00 ○会場:琉球大学 大学会館 3F 特別会議室 ○対象:大学1~4 年、短大 1~2 年、修士 1 年~2 年、受入企業担当者、大学関係者、インターンシップ関連団体担当者 ○目的:うりずんプロジェクト 2016 春期インターンシップの実施 ○実施内容/時間</p> <p>【第 1 部】(受付開始 9:30)</p> <p>①インターンシッププログラムの説明(30分)10:00~10:30 ・インターンシップ開始までのスケジュールや事前研修、実施期間中、事後研修など基本的なプログラムの概要</p> <p>②講演「インターンシップ活用術」(30分)10:30~11:00 ・株式会社JTB沖縄 営業開発第二課 人財バンクグループ グループリーダー 柳原浩之氏 〈休憩11:00~11:10〉</p> <p>③学生によるインターンシップ経験談(50 分)11:10~12:00 ・2015 夏期インターンシップ経験学生 3 名に質問形式で実施(琉球大学 4 年次 酒本萌子、沖縄大学 3 年次 堀川恭世、沖縄女子短期大学 1 年次 上江洲実香) 〈昼食 12:00~13:00〉</p> <p>【第 2 部】(受付開始 13:00)</p> <p>⑤インターンシップ受入れ企業によるブース説明会(20分×5巡)13:30~15:30 ⑥共有(アンケート、感想)・今後の流れ・交流会(30 分)15:30~16:00 ・アンケート、感想の回収 ・15:30 に終了し、残り 30 分は交流時間とする</p> <p>○その他 ※参加学生は服装自由</p>	

平成27年11月9日

琉球大学
各学部ご担当者 各位

沖縄地域インターンシップ推進協議会
会長 松本 剛
(琉球大学就職センター長)



2016春期インターンシップフェアの開催について (ご案内)

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、平成26年度文部科学省「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業【テーマB】インターンシップ等の取組拡大」(平成27年度は「大学教育再生加速プログラム(インターンシップを通じた教育強化)」に名称変更)の補助金事業において、県内大学・短大(琉球大学、名桜大学、沖縄大学、沖縄キリスト教学院大学・沖縄キリスト教短期大学、沖縄国際大学、沖縄県立芸術大学、沖縄女子短期大学)による産学官連携の沖縄地域インターンシップ推進協議会(以下「推進協議会」という。)が設置され、同事業がスタートしております。

ご承知のとおり、平成26年度より就職活動時期の変更に伴い、学生(短大生含む。)が企業及び業界内容を知るため、インターンシップ実施の重要度が増しております。

そのため、平成27年度行事として、県内学生(短大生含む。)を対象としたインターンシップ実施に焦点をあて、学生と受入企業とのマッチングを目的とした「2016春期インターンシップフェア」を下記のとおり開催いたします。

同フェアは1部・2部形式で行い、1部はインターンシップ・プログラムの説明、講演「インターンシップ活用術」等、2部はブース形式で学生に対して、受入企業が実施するインターンシップ概要説明を行う予定としております。

つきましては、貴学部での「2016春期インターンシップフェア」の周知を賜りたく、チラシを送付いたしますので、ご協力よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

1 ご案内

うりずんプロジェクト2016春期インターンシップフェア

日時：平成27年11月28日(土) 10:00~16:00

場所：琉球大学 大学会館3階 特別会議室(別添 会場案内図のとおり)

2 開催概要(参考資料)

別添開催概要のとおり

3 問合せ・申込み先

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地

沖縄地域インターンシップ推進協議会事務局(琉球大学就職センター内)

インターンシップ・コーディネーター：川平敦、外間裕子

事務補佐員：早川杏里

電話：098-895-8981 FAX：098-895-8119

E-mail：urizun@to.jim.u-ryukyu.ac.jp

MATCHING EVENT

服装
自由

県内
大学・短大
対象

全学年
対象

県内のさまざまな企業と出会い、
担当者からの興味深い話を聞く、
交流するイベント

うりずんプロジェクト 2016 春期

インターンシップフェア

2015

11/28(土)

10:00~16:00

場 所: 琉球大学 大学会館 3階 特別会議室

対 象: 県内大学 1~4年次、短大、企業担当者、
大学関係者、インターンシップ関連団体

内 容: 【第1部】 10:00~12:00

① インターンシッププログラムの説明

② 講演「インターンシップ活用術」

③ 学生によるインターンシップ経験談

【第2部】 13:00~16:00

④ インターンシップ受入企業によるブース説明会

⑤ 共有(アンケート、感想)・今後の流れ、交流会

受入企業一覧 (50音順)

※11月26日現在

IBS Global Bridge (IT 関連)
 株式会社アイラーニング (教育及び教育支援業)
 American Engineering Corporation (建築・不動産業)
 安藤証券株式会社 (金融・保険業)
 EY 税理士法人 (その他)
 南うえざと木工 (製造業)
 南オーシャン・トゥエンティワン (教育及び教育支援業)
 株式会社御菓子御殿 (その他)
 株式会社okicom (IT 関連)
 株式会社沖縄銀行 (金融・保険業)
 沖縄県農業協同組合 (JA おきなわ) (サービス業)
 株式会社沖縄ソフトウェアセンター (IT 関連)
 (一財)沖縄美ら島財団 (サービス業)
 沖縄ホンダ株式会社 (卸・小売業)
 株式会社沖縄メディコ (卸・小売業)
 オリエンタルヒルズ沖縄 (飲食・宿泊業)
 オリックスビジネスセンター沖縄株式会社 (IT 関連)
 全保連株式会社 (その他)
 ソニービジネスオペレーションズ株式会社 (その他)
 大同火災海上保険株式会社 (金融・保険業)
 株式会社タップ (IT 関連)
 Double Tree by Hilton Naha (飲食・宿泊業)
 株式会社イーダクラウド (IT 関連)

株式会社テラ・ウェブクリエイト (IT 関連)
 トランスコスモス株式会社 (IT 関連)
 パーデハウススクミ島 (サービス業)
 PHR 沖縄ホテルマネジメント株式会社 (飲食・宿泊業)
 ヒルトン沖縄北谷リゾート (飲食・宿泊業)
 株式会社碧 (飲食・宿泊業)
 ホテル日航アリビラ (サービス業)
 前田産業ホテルズ (飲食・宿泊業)
 宮古島東急ホテル&リゾート (飲食・宿泊業)
 株式会社やさしい手 (医療・福祉業)
 株式会社ヤブサチ (飲食・宿泊業)
 株式会社リウコム (IT 関連)
 リゾートホテル久米アイランド (飲食・宿泊業)
 琉球インタラクティブ株式会社 (IT 関連)
 株式会社琉球銀行 (金融・保険業)
 株式会社りゅうせき (卸・小売業)
 りゅうせき商事株式会社 (卸・小売業)
 りらいあコミュニケーションズ株式会社 (その他)
 株式会社ルーツ (マスコミ・広告・出版業他)
 株式会社ロワジール・ホテルズ沖縄 (飲食・宿泊業)

他

*情報は随時更新 受入情報は HP で Check!!

うりずんプロジェクト

検索

申し込み方法

学生は大学名・学年・氏名・TEL を、その他の方は
ご所属・氏名・TEL を、下記のメールアドレスまで
送信してください。事務局より返信します。

※Fax でも申し込みできます(裏面をご利用ください)。

urizun@to.jim.u-ryukyu.ac.jp

こちらからも
リンクできます



お問い合わせ

沖縄地域インターンシップ推進協議会事務局
(琉球大学就職センター内)

電話: 098-895-8981

メール: urizun@to.jim.u-ryukyu.ac.jp

主催: 沖縄地域インターンシップ推進協議会

後援: 内閣府沖縄総合事務局, 沖縄労働局, 沖縄県

協力: 琉球大学, 名桜大学, 沖縄大学, 沖縄キリスト教短期大学, 沖縄国際大学,
沖縄県立芸術大学, 沖縄女子短期大学, 沖縄県中小企業家同友会, 在沖米国商工会議所, (有)オーシャン・
トゥエンティワン, (特非)沖縄人材クラスタ研究会, 株式会社ルーツ, 沖縄県大学就職指導研究協議会

うりずんプロジェクト

2016春期インターンシップフェアが開催されました

平成27年11月28日(土)10時～16時、琉球大学 大学会館3階 特別会議室で、うりずんプロジェクトの「2016春期インターンシップフェア」が開催されました。

うりずんプロジェクトとは、文部科学省の大学改革推進等補助金事業の「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業【テーマB】インターンシップ等の取組拡大」(平成27年度は「大学教育加速プログラム」(インターンシップ等を通じた教育強化)に名称変更)で採択された沖縄型のインターンシップ事業(正式名称:うりずんプロジェクト～「沖縄型」インターンシップの展開～)で、琉球大学が幹事校となり、名桜大学、沖縄大学、沖縄キリスト教学院大学、沖縄国際大学の4大学が連携校として、また沖縄県立芸術大学、沖縄キリスト教短期大学、沖縄女子短期大学が協力校としてインターンシップを活用したキャリア教育を行う体制の整備や、学生と企業等との懸け橋となるインターンシップの仕組みづくりを行っています。

うりずんプロジェクトによるインターンシップフェアは、今年度は5月に続き今回で2回目となり、31社の企業、66人の学生が参加しました。

2016春期インターンシップフェアの内容は、次のとおりです。

【第1部】10:00～12:00

1. インターンシップ・プログラムの説明等

就職センター インターンシップ・コーディネーター 川平 敦

2. 講演「インターンシップはうらやましい！」

株式会社JTB沖縄 人材バンクグループ 柳原 浩之氏

3. 学生によるインターンシップ経験談

琉球大学4年次 酒本萌子さん 沖縄大学3年次 堀川恭世さん 沖縄女子短期大学1年次 上江洲実香さん

【第2部】13:00～16:00

4. インターンシップ受入企業によるブース説明会

5. 交流会

はじめに、松本就職センター長の挨拶があり、「休日にもかかわらず皆さんのために準備をして来てくださる企業の方々への感謝を忘れず、出来るだけ多くの企業の方と積極的に話をして、フェアが終わる頃には、もうすぐ社会人になるのだという自覚をもって帰ってほしい」と述べました。

続いて、インターンシップ・コーディネーターの川平氏から、同プロジェクトの概要説明がありました。また、川平コーディネーターは「インターンシップで一番大切なのは目的意識を持つこと」と話し、受け身にならず辛くてもやりとげることで大きな成果が得られると激励しました。

引き続き、JTB沖縄 人材バンクの柳原浩之氏による「インターンシップはうらやましい！」と題した講演がありました。柳原氏はインターンシップを“ちょっと気になる人とお試しデートができる”と表現し、インターンシップのメリットをどう活かすかについて話されました。また、人生の大きな比重を占める”仕事”に向き合う姿勢についてご自身の経験も交えて語られ、リラックスした雰囲気の中にも仕事に対する熱意の感じられる講演でした。

午前の部の最後は、2015夏期インターンシップを経験した学生達による報告でした。学生達は、何故インターンシップを希望したか、インターンシップをして気づいたこと、事前準備と振り返りの大切さなどについて発表しました。また、フェアに参加した学生に対し「インターンシップに行くかどうか迷っているなら必ず行くべき、インターンシップをして無駄なことは何もない」と力強く話していました。

午後からは、インターンシップ受入企業による説明会があり、学生達は各企業のブースを回って担当者から直接、話を聞きました。説明会は20分毎にブースを移動しながら行われました。回りきれなかった企業やもっと話を聞きたい企業については、その後の交流会で自由に話をすることができ、参加者にとって有意義な一日となったようです。

【参加学生内訳】

学校名	1年次	2年次	3年次	4年次	院生	不明	計
琉球大学	2	6	33	1	1		43
名桜大学			10				10
沖縄大学			7			1	8
沖縄国際大学			5				5
合計	2	6	55	1	1	1	66

【参加企業等内訳】

企業等区分	企業等・団体数	参加者数(人)
企業等(ブース含む)	31	51
大学等	2	12
行政機関	1	1
その他	1	1
合計	35	65

【第1部】松本就職センター長による挨拶



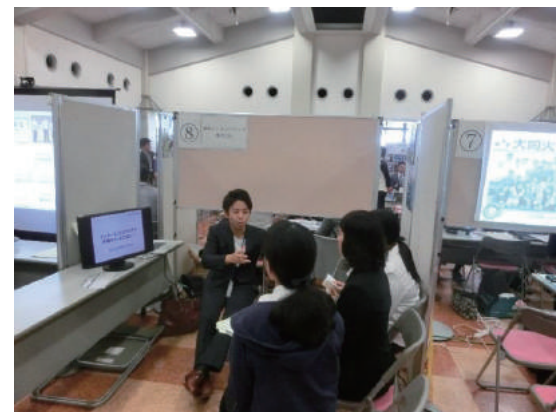
インターンシップ・プログラムの説明



JTB沖縄 柳原浩之氏による講演「インターンシップはうらやましい！」



【第2部】受入企業によるブース説明会の模様



うりずんプロジェクト2016春期インターンシップフェア 学生向けアンケート 集計

1. 大学名、学部系統、学年を教えてください。

大学名	琉球大学	39	名桜大学	9	沖縄大学	6	沖縄国際 大学	5	沖縄キリスト 教	0	沖縄女子 短期大学	0
学部系統	文系	41	理系	17	その他	1						
その他内訳												
学年	1年	1	2年	6	3年	51	4年	0	大学院1年	0		
									無回答	1	計	59

2. 本日のインターンシップフェアはいかがでしたか？

①とても満足した ②満足した ③あまり満足できなかった ④満足できなかった

①	44	②	14	③	0	④	0	無回答	1
---	----	---	----	---	---	---	---	-----	---

3. インターンシッププログラムの説明はいかがでしたか？

①とても満足した ②満足した ③あまり満足できなかった ④満足できなかった

①	35	②	24	③	0	④	0	無回答	0
---	----	---	----	---	---	---	---	-----	---

4. 講演「インターンシップはうらやましい！」はいかがでしたか？

①とても満足した ②満足した ③あまり満足できなかった ④満足できなかった

①	30	②	24	③	2	④	0	無回答	3
---	----	---	----	---	---	---	---	-----	---

5. 「学生によるインターンシップ経験談」はいかがでしたか？

①とても満足した ②満足した ③あまり満足できなかった ④満足できなかった

①	22	②	26	③	8	④	0	無回答	3
---	----	---	----	---	---	---	---	-----	---

6. ブース説明会はいかがでしたか？

①とても満足した ②満足した ③あまり満足できなかった ④満足できなかった

①	46	②	13	③	0	④	0	無回答	0
---	----	---	----	---	---	---	---	-----	---

7. うりずんプロジェクト2016春期インターンシップに参加したいと思いますか？

①とても思う ②まあまあ思う ③あまり思わない ④まったく思わない

①	44	②	15	③	0	④	0	無回答	0
---	----	---	----	---	---	---	---	-----	---

8. インターンシップを希望する企業・団体等がありましたか？

①あり 合計122社

①	54	②	0	③	0	④	0	無回答	0
---	----	---	---	---	---	---	---	-----	---

9. 本イベントを知ったきっかけを1つ選んでください。

①インターンシップ経験者から紹介 ②その他の友人から紹介 ③大学の先生や職員から紹介 ④大学の講義で聞いて ⑤大学でチラシ・ポスターなどを見て ⑥大学のホームページを見て ⑦フェイスブックを見て ⑧うりずんプロジェクトのホームページを見て ⑨その他

①	5	②	8	③	12	④	4	⑤	17
⑥	0	⑦	0	⑧	3	⑨	2	無回答	1

10. 本イベントに参加した目的は何ですか、(複数回答可)

①インターンシップに興味があった ②うりずんプロジェクトのプログラムに興味があった ③講演内容に興味があった ④「学生によるインターンシップ経験談」に興味があった ⑤企業等のブース説明会に興味があった ⑥春期のインターンシップ参加を決めているから ⑦話を聞きたい企業の参加があったから

①	49	②	9	③	3	④	2	⑤	26
⑥	8	⑦	10	⑧	0	無回答	1		

11. 今日、心に残った言葉やフレーズを教えてください。

就職＝恋愛。企業研究、選べが大事。自己分析できた人が勝つ／今しか聞けないからたくさん聞いたほうが良い／「偶発性理論」です。チャンスはどこにあるか分からないので、常にアンテナを張ろうと思った／「チャンス」はいつでも作れる／目標に向かって努力すること／「やって後悔したほうが良い」って言葉です／やらないのは一生の恥(2)。行動するべき／就活は恋愛に似ている／最終的には「やり遂げる気持ちが大切」本当にその通りだと思いました／思うだけでなく即行動／自分が納得いくまで行動し続ける／行動することが大事。地域、社会貢献／東京に行かなくても沖縄で東京のような仕事ができる、仕事が面白くない人生は退屈な人生だ(2)／人脈を作る／笑顔でお客さんと接すること／とにかく一度行ってみる／チャンスは考動するものにあり／学生の数だけ体験がある／次に行くブースを迷っていることを企業の方にお話すると「この機会に自分の興味が無い所も見たほうがよい」とアドバイスをいただきました／思うだけじゃ変わらん！行動せよ！／自想、自創。つながって育つ。誰と、どこで、何をやるか、何をやるか、何を伝えるか、何でやるの、みんなで作る、みんなで作る／どんな仕事でも問題解決をする能力は必要で、どの思考プロセスで解決するかを学ぶことが大事である／「知っている」⇒「できる」／就職＝恋愛。自分の個性を素直に出す／仕事とは、自己成長の最高の機会。仕事が面白くない人生は、退屈な人生だ／仕事は自己成長もできて、賃金も頂ける最高の機会／安心感を与える。心を開かせることが「営業職」／「迷うなら、インターンシップに行ったらほうが良い」、「3年間続けてようやく自分のやりたいことができるようになっていく」、「弱みばかりを考えるのではなく、まずは強みを伸ばす」／インターンシップは「知っている」から「できる」に変えるための研修(訓練)／沖縄銀行の方の「切捨てる勇気も必要」という言葉が印象に残りました／企業側もあなたたちを選び、あなたたちも企業を選ぶ。イコールの立場／目的を持つこと／仕事は自己成長させてくれる／なぜ仕事をするか？自己成長。しかもお金ももらえる⇒「しかも」という考え方／営業はお客様の目線で考え行動することが大切／「実際に体験することで得られるものは大きい」／「志は高く」、「日本が危ない」／「志を高く持つ」／受動的にやるのではなく、能動的にやること

12. 本イベントに参加して、考え方や価値観に変化があれば教えてください。

仕事はお金をもらいながら、自分を成長させるチャンスであると実感しました／「営業職」もいいかもと思った／色々な所を回ったので興味が沸いた／実際に企業の方からお話を聞くことはよいことだと思った／興味がある職種はあったが、具体的にどんな企業があるのかわらなかつたので、知れて良かった。積極的に行動を起こそうと思った／あまり興味のない企業への魅力とかを感じることが出来た／もっと積極的にアンテナを張っていきたくい／仕事に対する考え方が、前より後の方が社会人よりになれたような気がしました(社会貢献がしたい、etc)／就活にすごい不安な気持ちしかない状態だったが、話を聞いてその不安がやる気になった気がする／自分の知らない企業の話聞いて視野が広がった／イメージしてた会社と違う会社がいっぱいあった／多くの企業の情報を収集することで、企業研究の幅が広がると思いました／よくコミュニケーションが必要とあり、性格的なものかと思っていたけれど、話を聞くとそうでない感じがした／とりえず興味のない分野でもやってみようと思いましたが、やっぱりインターンシップには行くべきだ／いろんな理念を持った会社がいっぱいあって、そこでいろんな考えや目標を持った人たちが頑張っているんだなって思った／その企業に入って、そこで終了ではなく、そこから自分をどのようにスキルアップできるかを考えることの大切さを感じる必要だと気づきました／とりえずやっている／今までは企業のHPでしか企業のイメージがなかったけど、今日のイベントで人事の「人柄」に惹かれ、この会社に入りたいという気持ちの変化がありました／銀行業にもともと興味はなかったが、今回で考え方が180度変わった／接客業について深めていきたいと思いましたが、インターンシップは、会社について知ることが主だと思っていましたが、取組みを通じて、自己理解や成長、今後のキャリアデザインを形成していくことにも繋がるんだと思いました／聞いてみていろいろな考え方や働き方があったので、価値が変わってきました／興味以外の企業の話も聞いて良かった／就活に対する考え方がより具体的になりました。ありがとうございました／民間企業も様々だとか、公務員志望だけど、民間もいかなんと少し思った／IT系もありと思った／銀行員のイメージが変わりました／考え方次第でやりがいになる／様々な企業の方々と接して、その企業はもちろん、他の自分の興味を持てるような企業を探していきたい／視野を広げて、様々な企業を見て、自分に合う場所も探せるようなこういった会に積極的に参加していきたいと思うようになった／何事に挑戦／チャレンジすることの重要さが学べた／インターンシップは、長いものになればなるほど、その企業に深く入ることになり、社会人の一員として扱われるのだと実感しました

13. その他ご意見・ご感想などありましたら、お聞かせください。

インターンシップへの意欲が向上しました／ぜひインターンシップに参加してみたいという気持ちが大きくなった／こういう機会があれば参加したい／とても有意義な時間になった。ありがとうございました／初めて説明会に参加して緊張していたけど、たくさん話も聞いてもらえてとても良かった。人生相談みたいな将来の不安を聞いてもらえて良かった／とても有意義な時間で楽しかったです／とても勉強になったし、楽しかった／また機会があれば参加したいです／とても有意義でした／複数企業のブースすごく良かったです／もう少し話したいなって方もいたので、もう少し時間が欲しかったかなと思いました／様々な業界のお話を聞くことで何がしたいのかのヒントを得られたような気がします。今回このイベントに参加して本当に良かったです／夏にインターン経験された方のお話や実際に採用担当者のお話を聞くことができてとても有意義だった／本日のイベントのように直接企業の方とお話できる機会がもっとあれば是非参加していきたいと思いましたが、とても勉強になりました／ブース説明の企業さんの募集の際に、学生のニーズを反映させることが出来たら是非お願いしたいなと思いました。同じ学科の人達にも来て欲しい！と思うほど、良いお話を聞くことが出来ました。本当にありがとうございました／今回インターンシップに挑戦したいです／もう少し幅広い業種を集めてきて欲しい。ホテル業界、接客業、コールセンター、IT企業など偏りがある感じがする／わざわざご招待いただいた企業・その他関係者の皆様ありがとうございました

うりずんプロジェクト 2016 春期インターンシップフェア
アンケート（企業・団体等）

1. ご所属（○をつけてください）

- ①受入企業・団体等(27) ②企業・団体等（受入検討中） ③インターンシップ支援団体(2)
④人材育成系企業 ⑤行政関係者 ⑥大学関係者 ⑦その他(1)（ ①③④ ） 無回答(1)

2. 本日のインターンシップフェアはいかがでしたか？

- ①十分満足した(14) ②概ね満足した(14) ③あまり満足できなかった(2) ④満足できなかった
無回答(1)

①多くの魅力的な学生に会えた。大学生と交流できた。意欲高い大学生との出逢い。素晴らしい場の運営。意識の高い学生が多くいた／想いが強い学生様が増えた感があります／学生と話す良い機会でした。
②学生との接点を持てたことと、仕事をする事への意識の高い学生が多かった／来場学生の人数が思っていたよりも多かった／最後のクールまで残っている学生が多かった。学生が少なかった。／当社に興味を持った方が来てくれた／学生が前向きに様々な企業に興味を持っているのが伝わった／一人ひとりの意識が高く素晴らしかったです／企業周知ができた／意欲のある学生が多くいたから。
③学生数が少ない／ブースに来てくれた学生が少なかった。アピールの工夫が必要だと思いました。

3. インターンシッププログラムの説明はいかがでしたか？（ご覧いただいた方のみ）

- ①十分満足した(3) ②概ね満足した(6) ③あまり満足できなかった ④満足できなかった
無回答(22)

①午前中から学生の動機づけへの取組みがきちんとされていて安心して受入できます。
②学生の反応が良かった

4. 講演「インターンシップはうらやましい！」はいかがでしたか？（ご覧いただいた方のみ）

- ①十分満足した(2) ②概ね満足した(3) ③あまり満足できなかった ④満足できなかった
無回答(26)

①企業の人事・教育担当の方の講演でしたので、学生も今後インターンシップへのイメージがしやすかったと思います。また、私達も他社の方のお話を聞いてとても参考になりました。

5. 「学生によるインターンシップ経験談」はいかがでしたか？（ご覧いただいた方のみ）

- ①十分満足した ②概ね満足した(3) ③あまり満足できなかった(1) ④満足できなかった
無回答(27)

なし

6. ブース説明会はいかがでしたか？

- ①十分満足した(10) ②概ね満足した(18) ③あまり満足できなかった ④満足できなかった
無回答(3)

①十分な説明の時間が頂けた。そこまで多くの学生と話すとは想定していなかつたので程よい人数と話せた。時間配分も良く、多くの出逢いを頂けた。意識の高い学生が多くいた／思ったように学生に来ていただけなかった。私の反省事項です／昨年よりも意識の高い学生が多かつた。
②着席人数が少なかった／業界研究に熱心な学生に会社をPRすることができた／少人数での対応ができることが Good。総体人数がもう少し多ければなおいいと思う。意識が高い学生が多い／学生とフランクに話せてよかった／学生が前向きに様々な企業に興味を持っているのが伝わった／ブースに学生さんが来たので。

7. 本日のイベントは今後役に立つ内容でしたか。

- ①非常に役立つ(16) ②役立つ(13) ③あまり役に立たない ④まったく役に立たない
無回答(2)

①大学生のみんなの意識上げとして。インターンシップの内容等を直接学生へ伝えきれたこと／少人数のため学生との距離が近く、いろいろ話げできた／インターンシップを通じて、業界や会社のことを深く知ってもらえた。インターンシップの説明を行える企画があまりないため／学生さんたちと直接コミュニケーションがとれるいい機会だと思います。
②早期の母集団形成につながる。／インターンシップを通じた業界研究ができる／自社をPRする良い訓練になった／学生の動きや反応を見ることができた／インターンシップ先を決める前に担当者話し、より詳細に情報を集めることができる／企業周知ができた

8. 本イベントについて、お気づきの点や改善すべき点などありましたら、具体的にご記入ください。

荷物の搬入について、非常に感謝(大きく改善されていて助かりました。近くに車を止めて作業ができる点。会場前の鉄?が無い点。アプローチのルート)／入り口に、各企業の資料を設置するスペースがあると尚よいと思います／時間を区切ってアナウンスで促してくださったことは大変ありがたかつたです。一方移動時間がやや短いように感じました。最終セッション後、フリータイムを設けてくださったことで、関心のある学生が戻ってきてくれて、大変よかつたです／一部、二部の両方参加したかつたのですが、準備時間が短く途中退席せざるを得なかつた／参加学生数がもう少し多いとありがたいです／学生さんをもっと集めてほしい。会場はもう少し広いとありがたい。／学生への認知度を上げ、集客する工夫が必要だと思います／学生さんの意見や考えが聞けて勉強になりました。／やはりプロモーションかなと思います。マスコミなどへの働きかけも含めて当日の取材等行くと更に良いかと存じます。

9. その他ご意見・ご感想などありましたら、お聞かせください。

今後ともこのような機会をよろしく願ひします／今後もインターンシップ受入は継続して行っていきたいと考えていますので是非プロジェクトを継続していただきたいです／今回のブース設置・配置よかつたです／学生の皆さんと話しながら、学生たちが疑問に思ふことや、企業に対して聞きたいことなどを直接聞くことができよかつた。／学生の意識が高く良い機会だと思ひました。ありがとうございました。今後よろしく願ひ致します／いつも大変お世話になり感謝です。外国人留学生様を対象にした催しもあつたら嬉しいです／フェア以外での学生との接点を持てるようなツール。

2016 春期インターンシップ
事前研修

【うりずんプロジェクト 2016 春期インターンシップ事前研修】

【事前研修】

事前研修①(2016/1/30(土))琉球大学 大学会館 3 階特別会議室 (代替日 1/31(日)大学会館 3 階特別会議室)

時間	題目	内容
9:00 ~ 10:00	ガイダンス	・本日の内容確認 ・自己評価表記入 ・自己紹介
10:00 ~ 10:45	意識付け	・インターンシップの意味を考える ・自己分析
11:00 ~ 12:00	受入企業による講話	・インターンシップ先で学生に求められるもの
12:00~13:00 昼休み		
13:00 ~ 15:00	マナー講座①	・身だしなみ、挨拶、返事、態度 ・文章の書き方、話し方、指示の受け方、メモの取り方、電話のかけ方・受け方、ホウレンソウ(報告連絡相談)、質問のタイミングと仕方、内部情報の取り扱い
15:15 ~ 16:45	目標設定ワークショップ① 企業・団体(業界)研究	・インターン受け入れ先企業・団体(業界)の研究 ・グループ共有 ・A3用紙で発表
16:45 ~ 17:30	まとめ	・日報の作成(本日学んだこと、気づいた点、反省点、次回事前研修②の目標設定) ・アンケート回答

事前研修②(2016/2/11(木・祝))琉球大学 大学会館3階特別会議室(代替日 2/12(金)琉球大学 50 周年記念館)

時間	題目	内容
9:00~ 9:30	オリエンテーション	・本日の内容確認
9:30~ 10:15	先輩の体験からの学習	・なぜ体験談を聞くのか ・体験談を聞くにあたっての留意点 ・質疑応答
10:30 ~ 12:00	目標設定ワークショップ② プレゼンテーション	・インターンシップ志望理由 ・自己 PR ・実習先の受入内容 ・実習の目標
12:00~13:00 昼休み		
13:00 ~ 15:00	マナー講座②	・挨拶を工夫する、会話の間は相手に視線を向ける、適切な相づち、呼ばれたらすぐに立つ ・積極性のアピール
15:15~ 17:00	目標設定ワークショップ③ 目標宣言	・企業+インターン生の情報共有 & 個別相談タイム ・宣言(1名1分)
17:00 ~ 17:30	まとめ	・日報の作成(本日学んだこと、気づいた点、反省点、今後の目標設定) ・アンケート回答

うりずんプロジェクト2016 春期インターンシップ事前研修

①実施しました。

去る1/30（土）に第1回目の事前研修を行いました。初めてのインターンシップにチャレンジする学生、夏期インターンシップの経験を経て更にスキルアップを目指す面々が一堂に会しました。午前には自己紹介、意識付け、受入企業である株式会社ヤブサチ代表取締役社長大城直輝氏による講話、午後はスカイグループ宇久田恵美子氏のマナー講座と続き、最後は受入企業の強みを社員になりきって発表するセッションを行いました。

次回は2/11（木・祝）琉球大学学生会館3階大会議室にて実施。企業・団体ご担当者様の見学も大歓迎です。



うりずんプロジェクト2016 春期インターンシップ事前研修

②実施しました。

琉球大学 大学会館3階で2月11日（木・祝）に2回目となる事前研修を実施いたしました。琉球大学、名桜大学、沖縄大学、沖縄キリスト教学院大学、沖縄国際大学、沖縄キリスト教短期大学から約75名の学生が研修に参加し、インターンシップ開始に向けてのプログラムに励みました。午前はうりずんプロジェクトのインターンシップコーディネーターによるガイダンスとインターンシップの意識付け、「先輩の経験からの学習」と題し、インターンシップ経験学生2名による経験談の発表、午後はスカイグループ代表 宇久田恵美子氏によるマナー講座、目標宣言プレゼンテーションでは【企業・団体（業界）研究】の発表をグループごとに行いました。最後は沖縄地域インターンシップ推進協議会会長（琉球大学就職センター長）松本剛より、インターンシップ実施を目前とした学生へアドバイスがありました。これから、うりずんプロジェクト2016春期インターンシップは沖縄県内の企業・団体様のご協力のもとスタートしていきます。次回はインターンシップ終了後の事後研修を3月23日（水）に実施いたします。



(集計) うりずんプロジェクト2016春期インターンシップ事前研修① 実習生向けアンケート**1. 大学名、学部系統、学年、性別を教えてください。(○をつけてください)**

大学名	琉球大学	35	名桜大学	7	沖縄大学	15	ト教学院大 学	5	沖縄国際大 学	19	沖縄キリスト 教短期大 学	1
学部系統	文系	60	理系	22	その他	0						
その他内訳	未提出2、未回収4											
学年	1年	3	2年	4	3年	75	4年	0	大学院1年	0		
性別	男性	36	女性	44	無回答	2						

2. 事前マッチングについて (満足度を5点満点で評価してください。)

ア. 面談日の日程調整	5	52	4	20	3	8	2	2	1	0	無回答	0
イ. インターン希望先の充実	5	52	4	26	3	3	2	1	1	0	無回答	0
ウ. 面談の内容	5	51	4	28	3	3	2	0	1	0	無回答	0
エ. 必要(提出)書類の事前説明	5	49	4	24	3	8	2	1	1	0	無回答	0
オ. 事務局の対応	5	60	4	18	3	4	2	0	1	0	無回答	0

3. 事前研修①について (満足度を5点満点で評価してください。不参加の場合は0を記入。)

ア. ガイダンス	5	55	4	24	3	2	2	0	1	0	無回答	1
イ. 意識付け	5	67	4	13	3	2	2	0	1	0	無回答	0
ウ. 受入企業による講話(大城様)	5	65	4	15	3	2	2	0	1	0	無回答	0
エ. マナー講座①(宇久田様)	5	72	4	10	3	0	2	0	1	0	無回答	0
オ. 目標設定ワークショップ①(企業/団体(業界)研究)	5	55	4	20	3	6	2	0	1	0	無回答	0

4. 今回の事前研修で学んだ内容以外に、どのような内容を学びたいですか。できるだけ具体的に記入してください。

グループワークを主に取り入れて、もっと人前で話す場を作って欲しいです/自己分析の詳しいやり方/重要度の高い敬語表現(2)/自分に合う職業の分析など/もう少しマナーを詳しくやりたいです/もう少し早めに研修を行って欲しいです。皆同じ条件ですが、考査期間だと集中して取り組むことが難しく思います/電話対応のマナーなど(6)/希望している企業の業界全体が今どのような状況なのか、業界を深く掘り下げて学びたい/過去に同じインターンに行った先輩のアドバイスなどが知りたいです(3)/企業研究の方法をより具体的にアドバイスして欲しいです/アイスブレイク(2)/企業担当者とのメールをやり取りする上でのマナー(2)/自分の伝えたいことをうまく伝える方法が知りたいです/マナー講座をもっと学びたい。ロールプレイ方式(4)/同企業のメンバーでも、企業研究をしたいと思いました(2)/もっと多くの企業研究の発表を聞きたかったです。新聞の読み方講座などがあれば受けたいです/沖縄社会について(雇用は悪いのか、など)/企業の人から直接話を聞きたい(3)/メイク講座(就活の時)なども学んでみたいです(2)/最近(特に2016年度卒)の学生の方々の就職について、傾向を知りたいです(動きは早かったか?遅かったか?やエントリー数と内定数の関係性等)/インターンシップ先の方とのコミュニケーションの取り方(2)/心構えやマナー講座等、とても充実していたので良かったです/自己分析のブラッシュアップ等/社会人のプライベートの過ごし方/メンタル面の支え方など学びたいです/女性のスーツの着こなし方を学びたい/社会人になって、人間関係(上下関係や人との付き合い)でうまく人と協調していくために取り組んでいることを企業の方に聞いてみたいです/満足。

5. その他、うりずんプロジェクト事務局に関するご意見/ご要望/ご提案/ご感想などを記入してください。

今回、ビジネスマナーを学べたことが一番良かったし、少なからず成長できたと思いました/マナー講座が充実しててやりやすいし、わかりやすかったです/土曜日に行ってもらい、とても良かったです/ガイダンスのパワポがあったら良いなと思いました。時間どおりにスムーズに進めるような説明が欲しかったです/事前研修の日報を後日(3日以内など)で提出させて欲しい/事前マナー講座は参考になりました。インターン先の紹介で、私は敬語の使い方が下手だと実感しました/とても雰囲気ギリギリしていて、気が引き締まる/今後の就職活動が有意義になりそうです/この度は、インターンシップを受入れてくださり、ありがとうございます。/研修内容がとても充実していて勉強になりました/必要提出書類の説明が少し分かりにくいです/大変素晴らしいプロジェクトだと感じます。一旦プロジェクトが終わるということで、ゆくゆくは復活して欲しいと思います/いつも助かっています!ありがとうございます/今日一日を通してインターンシップの大切さ、重要さを学ぶことができました。長い時間ありがとうございました。/周りの学生ともコミュニケーションを取れるような環境だったので、楽しかったです/充実していると思います。

うりずんプロジェクト2016春期インターンシップ事前研修② 実習生向けアンケート回答

1. 大学名、学部系統、学年、性別を教えてください。(○をつけてください)

大学名	琉球大学	30	名桜大学	8	沖縄大学	14	沖縄国際 大学	18	沖縄キリスト 教短期大学	2	沖縄キリスト教 学院大学	5
学部系統	文系	57	理系	19	その他	0						
その他内訳												
学年	1年	4	2年	4	3年	69	4年	0	大学院1年	0		
性別	男性	35	女性	41								

2. 事前研修②について(満足度を5点満点で評価してください。不参加の場合は0を記入。)

ア. オリエンテーション	5	49	4	24	3	4	2	0	1	0	無回答	0
イ. 先輩の体験からの学習	5	36	4	24	3	15	2	2	1	0	無回答	0
ウ. 目標設定ワークショップ②プレゼンテーション	5	56	4	18	3	3	2	0	1	0	無回答	0
エ. マナー講座②(宇久田様)	5	57	4	17	3	2	2	0	1	0	無回答	1
オ. 目標設定ワークショップ③目標宣言	5	55	4	19	3	2	2	0	1	0	無回答	1

3. 全2回の事前研修で学んだ内容以外に、どのような内容を学びたいですか。できるだけ具体的に記入してください

<p>【ビジネスマナー関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスメール・手紙・お礼状の書き方について学びたい。(5) ・よりロールプレイの時間を取って欲しい(具体的に企業訪問時のシミュレーション、名刺交換といった内容)。(3) ・飲み会での社交辞令や上司との接し方など、業務以外でのマナーを学んでみたい。(2) ・実際に名刺交換などでできてとても良かったのですが、見ているだけではなく、実際にお茶の配り方などもやりたかった。(2) ・まだ私の知らない社会での常識(例として、軽装やメール)について学びたい。(2) ・女子の化粧などスーツの着方など、身だしなみについて知りたい。 <p>【プレゼンテーション等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンがもっとうまくなりたい。(2) ・プレゼンについてもっと学びたい。(3) ・グループワークをもっと長くやりたい。(2) ・企業研究の際に他の人々の発表も聞きたい。 ・人事の方のお話をもっと聞きたい。 <p>【先輩の体験談等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もっと様々な企業の講話、先輩の体験談を聞きたいと思った。(2) ・先輩の体験がもう少し内容の濃いものにして欲しい。 ・先輩の体験談のとき、プレゼンテーションなどを用いて、写真とか引用して体験を話してくれるとよいと思う。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブラック企業回避セミナー(改善セミナー) ・充実した内容でしたので、非常に満足している。(2) ・大学での学び・研究と、インターンシップをどう関連付けていけるか、考える機会があると良い、と思った。 ・社会人としての行動力(臨機応変な対応や、失敗してしまったときのフォローの仕方など) ・企業側から見てどのような学生が好感がもてるのか知りたい。 ・インターンシップであった良い事例の話を知りたいと思った。これは会社側からの意見を聞いて良い例を学ぶことができるより良い研修ができるのかなと思った。 ・アイスブレイクの時間。 ・具体的なイメージを(企業のインターンシップ内容について)できるようにしたい。 ・もう少し自己分析の時間を設けて欲しいと思った。

4. その他、うりずんプロジェクト事務局に関するご意見/ご要望/ご提案/ご感想などを記入してください。

【意見・要望】

- ・今後ともこのような活動を続けて欲しい。
- ・先輩からの体験を聴くプログラムはグループを作って、その中に先輩を一人置いたほうが質問しやすく、質問の質も上がるのではないかと思った。
- ・最後に発表するときが一番前で発表する人たちのポスターが見えづらいので、ポスターをスクリーンに映した方がよいと思った。
- ・来年度もあるなら早めに提示して欲しい。
- ・やる内容が具体的に分からなくて、探り探りになることがあるので、内容がちゃんと分かるようにして欲しい。

【感想】

- ・プログラムが実になった。(5)
- ・プレゼンが良い体験になった。(4)
- ・事務局の対応が良かった。(3)
- ・自分の成長に繋がった。(2)
- ・他の友人に勧めたい。
- ・多くの人と話せて良かった。
- ・マナー講座が勉強になった。
- ・インターンシップの大事さを改めて感じる事ができた。
- ・特になし(2)

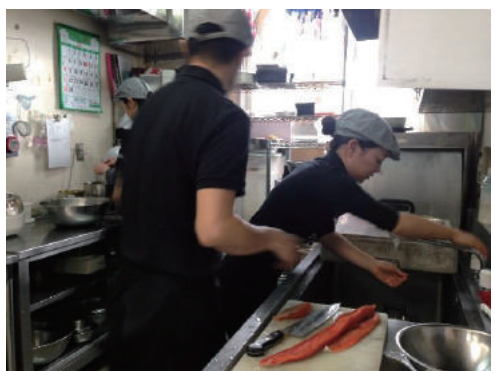
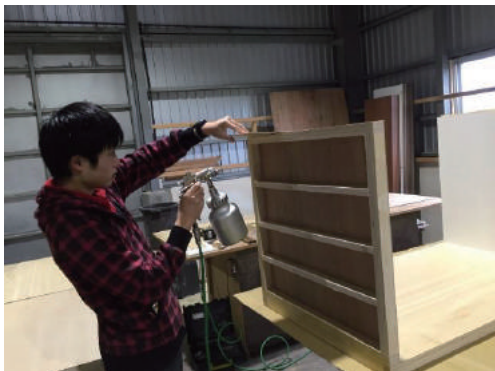
2016 春期インターンシップ
実習

うりずんプロジェクト2016春期インターンシップ受入企業・団体一覧

	企業名	業種	エリア	インターンシップ 種類①	インターンシップ 種類②
1	株式会社御葉子御殿	その他	中部エリア-読谷村	短期	
2	株式会社沖縄銀行	金融・保険業	南部エリア-那覇市	短期	
3	沖縄ホンダ株式会社	卸・小売業	南部エリア-浦添市	短期	
4	株式会社沖縄メディコ	卸・小売業	南部エリア-浦添市	長期	
5	株式会社オリエンタルリゾートアソシエイツ オリエンタルヒルズ沖縄	飲食・宿泊業	北部エリア-恩納村	短期	長期
6	有限会社オーシャン・トゥエンティワン	教育及び教育支援業	南部エリア-那覇市	長期	
7	全保連株式会社	その他	南部エリア-那覇市	短期	
8	大同火災海上保険株式会社	金融・保険業	南部エリア-那覇市	短期	
9	北谷ホテルアンドリゾート株式会社 ヒルトン沖縄北谷リゾート	飲食・宿泊業	中部エリア-北谷町	長期	
10	前田産業ホテルズ(株式会社前田産業)	飲食・宿泊業	北部エリア-名護市	短期	長期
11	琉球インタラクティブ株式会社	IT関連	中部エリア-宜野湾市	短期	長期
12	株式会社琉球銀行	金融・保険業	南部エリア-那覇市	短期	
13	株式会社りゅうせき	卸・小売業	南部エリア-浦添市	短期	
14	株式会社ルーツ	マスコミ・広告・出版業他	南部エリア-浦添市	長期	
15	オリックス・ビジネスセンター沖縄株式会社	IT関連	南部エリア-那覇市	短期	
16	American Engineering Corporation	建築・不動産業	中部エリア-宜野湾市	短期	
17	DoubleTree by Hilton Naha	飲食・宿泊業	南部エリア-那覇市	短期	英語
18	株式会社テラ・ウェブクリエイト	IT関連	南部エリア-浦添市	短期	
19	株式会社ヤブサチ	飲食・宿泊業	南部エリア-南城市	短期	
20	有限会社うえざと木工	製造業	離島エリア-石垣市	短期	
21	沖縄県農業協同組合(JAおきなわ)	サービス業	南部エリア-那覇市	短期	
22	株式会社okicom	IT関連	中部エリア-宜野湾市	短期	
23	宮古島東急ホテル&リゾート	飲食・宿泊業	離島エリア-宮古島市	長期	
24	株式会社碧	飲食・宿泊業	南部エリア-那覇市	短期	
25	株式会社ていーだクラウド	IT関連	南部エリア-浦添市	短期	長期
26	トランスコスモス株式会社	IT関連	南部エリア-那覇市	短期	
27	株式会社ロウジール・ホテルズ沖縄	飲食・宿泊業	南部エリア-那覇市	短期	
28	株式会社やさしい手	医療・福祉業	南部エリア-那覇市	短期	
29	ホテル日航アリビラ	サービス業	中部エリア-読谷村	短期	
30	株式会社沖縄ソフトウェアセンター	IT関連	中部エリア-うるま市	短期	
31	りらいあコミュニケーションズ株式会社	その他	南部エリア-那覇市	短期	
32	株式会社タップ	IT関連	中部エリア-うるま市	短期	
33	株式会社リウコム	IT関連	南部エリア-那覇市	短期	
34	EY税理士法人	その他	南部エリア-那覇市	短期	
35	一般財団法人沖縄美ら島財団	サービス業	北部エリア-国頭村	短期	
36	PHR沖縄ホテルマネジメント株式会社	飲食・宿泊業	北部エリア-国頭村	短期	長期
37	株式会社 IBS Global Bridge	IT関連	南部エリア-那覇市	短期	
38	安藤証券株式会社	金融・保険業	北部エリア-名護市	短期	
39	りゅうせき商事株式会社	卸・小売業	南部エリア-浦添市	短期	
40	株式会社アイ・ラーニング	教育及び教育支援業	南部エリア-浦添市	短期	長期
41	ソニービジネスオペレーションズ株式会社	その他	南部エリア-豊見城市	短期	
42	リゾートホテル久米アイランド	飲食・宿泊業	離島エリア-久米島町	短期	
43	パーデハウス久米島	サービス業	離島エリア-久米島町	短期	
44	糸満ホスピタリティ株式会社 ザンビーチホテル&リゾート沖縄	飲食・宿泊業	南部エリア-糸満市	短期	長期

新規受入企業

2016 春期インターンシップ 実習風景



※写真の掲載については、受入先の許可を得ています。

2016 春期インターンシップ
事後研修・報告会

【うりずんプロジェクト 2016 春期インターンシップ事後研修・報告会】(予定)

(2016/3/23(水))琉球大学 大学会館3階特別会議室(代替日 3/25(金)大学会館 3 階特別会議室)

時間	題目	内容
9:00～ 10:00	オリエンテーション・意識 付け	・本日の内容確認(身だしなみ・挨拶等も合わせて確認)
10:00～ 12:00	成果報告	・学生自身の①インターンシップ経験、②今後のキャリアプランを報告しあ う。発表方法は A3用紙(複数枚使用可)。あらかじめイメージを作成。発表 方法、ポイント等を確認し、午後に備える。
12:00～13:00		昼休み
13:00～ 13:15	オリエンテーション	・プログラムの確認
13:15 ～ 14:45	企業担当者を含めた成果 報告	インターンシップ経験学生+企業担当者+大学教職員を含めたグループを 作り、経験学生による発表、質疑応答を行う。
15:00 ～ 16:30	キャリアプラン発表	・全学生によるキャリアプランの発表を行う。
16:30～ 17:30	まとめ・交流会・記念撮影	・終了、アンケート回収

平成27年度
産学官連携シンポジウム

開催概要

■ 概要	
事業名	産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業【テーマB】インターンシップ等の取組拡大(平成27年度は「大学教育再生加速プログラム」(インターンシップ等を通じた教育強化)に名称変更)
資料内容	うりずんプロジェクト 2016 シンポジウム 開催概要

■ 内容詳細

主催 沖縄地域インターンシップ推進協議会
 後援 内閣府沖縄総合事務局、沖縄県商工労働部雇用政策課
 協力 琉球大学、名桜大学、沖縄大学、沖縄キリスト教学院大学・沖縄キリスト教短期大学、沖縄国際大学、
 沖縄県立芸術大学、沖縄女子短期大学、沖縄県中小企業家同友会、在沖米国商工会議所、
 (有)オーシャン・トゥエンティワン、(特非)沖縄人財クラスタ研究会、(株)ルーツ、沖縄県大学就職指導研究協議会

1. 日時:平成 28 (2016)年 3 月 16 日 (水)13:30～17:00
2. 会場:琉球大学 大学会館3階 特別会議室
3. プログラム
 - 総合司会:松本 剛 (琉球大学 就職センター長)
 - ①開会あいさつ 渡名喜 庸安(琉球大学 理事(教育・学生支援・法務担当)・副学長)
 - ②基調講演 「うりずんプロジェクトの今後に繋がるインターンシップの可能性」
 加藤 敏明 氏(文部科学省 産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業委員会 専門委員)
 (資料1) 13:35～14:20(45 分)
【本事業における取り組み】(75 分)
 - ③テーマ1. 「うりずんプロジェクト取り組みの達成目標と実績報告」 (資料2)
 松本 剛 (琉球大学 就職センター長) 14:20～14:35(15 分)
 - ④テーマ2. 「専門人材養成カリキュラムの開発及び評価指標の開発と実施報告」(資料3)
 山入端 津由(沖縄国際大学 学生部長) 14:35～14:50(15 分)
 - ⑤テーマ3. 「うりずんプロジェクト インターンシップ経験学生による成果報告」
 琉球大学就職センター・コーディネーター、経験学生(資料4) 14:50～15:35(45 分)
 - 【休憩】15:35～15:45(10 分)**
 - ⑥パネルディスカッション「うりずんプロジェクトの成果と今後」(資料5) 15:45～16:45(60 分)
 司会:松本 剛 (琉球大学 就職センター長)
 パネリスト:加藤 敏明 氏(文部科学省 産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業委員会 専門委員)
 山入端 津由 (沖縄国際大学 学生部長)
 元山 和仁 (沖縄女子短期大学 学生支援部長)
 高橋 神奈男 (琉球大学 学生部長)
 玉城 昌常(沖縄県商工労働部雇用政策課 副参事)
 柳原 浩之 氏(株式会社JTB沖縄 人財バンクグループ グループリーダー)
 - ⑦質疑応答
 16:45～16:55(10 分)
 - ⑧閉会あいさつ 松本 剛 (沖縄地域インターンシップ推進協議会 会長)
 16:55～17:00(5 分)
 - ◎情報交換会／17:30～19:00 会場:琉球大学 中央食堂(予定)

平成28年2月16日

各位

沖縄地域インターンシップ推進協議会会長

松本 剛

(琉球大学就職センター長)



産学官連携シンポジウム うりずんプロジェクト～「沖縄型」インターンシップの展開～
開催について（ご案内）

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、平成26年度文部科学省「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業【テーマB】インターンシップ等の取組拡大」（平成27年度は「大学教育再生加速プログラム（インターンシップ等を通じた教育強化）」に名称変更）の補助金事業において、県内大学・短大（琉球大学、名桜大学、沖縄大学、沖縄キリスト教学院大学・沖縄キリスト教短期大学、沖縄国際大学、沖縄県立芸術大学、沖縄女子短期大学）による産学官連携の沖縄地域インターンシップ推進協議会（以下「推進協議会」という。）が設置され、同事業を展開しております。

本事業は平成26年度から27年度の2年間、インターンシップを積極的に活用するキャリア教育体制の整備や、県内8大学学生によるインターンシップ実施に焦点をあて、各大学・県内の経済団体・行政・インターンシップ支援団体等のご協力のもと、インターンシップの実施に取り組んで参りました。

この度、事業の終了に伴い、2年間の成果報告として「産学官連携シンポジウム うりずんプロジェクト～「沖縄型」インターンシップの展開～」を下記のとおり開催いたします。

つきましては、ご多用の折とは存じますが、ぜひご参加いただきますようご案内申し上げます。

なお、ご参加いただく際には、参加申込書（別紙チラシ裏面）に必要事項をご記入の上、FAX又はメールで、3月4日（金）までにご送信ください。

敬 具

記

1 開催日

平成28年3月16日（水）13:30～17:00

※シンポジウム終了後（17:30～19:00）、琉球大学中央食堂にて情報交換会（参加費：3,000円）を開催いたします。併せてぜひご参加ください。

2 会場

琉球大学 大学会館3階 特別会議室（別紙チラシ裏面参照）

3 開催概要

「産学官連携シンポジウム うりずんプロジェクト～「沖縄型」インターンシップの展開～」
（別紙チラシのとおり）

【問合せ先】沖縄地域インターンシップ推進協議会事務局
（琉球大学就職センター内）
コーディネーター 川平敦・外間裕子
事務補佐員 早川杏里
〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地
電話：098-895-8981
FAX：098-895-8119
E-mail：urizun@to.jim.u-ryukyu.ac.jp

文部科学省 平成26年度採択「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業
【テーマB】インターンシップ等の取組拡大」
(平成27年度は「大学教育再生加速プログラム」(インターンシップ等を通じた教育強化)に名称変更)

産学官連携シンポジウム うりずんプロジェクト ～「沖縄型」インターンシップの展開～

開催概要

日時：平成28(2016)年3月16日(水) 13時30分～17時00分(13時より受付開始)

会場：琉球大学 大学会館3階 特別会議室

主催：沖縄地域インターンシップ推進協議会

プログラム

- 13:30～13:35 **開会あいさつ** 渡名喜 庸安(琉球大学 理事(教育・学生支援・法務担当)・副学長)
- 13:35～14:20 **基調講演「うりずんプロジェクトの今後に繋がるインターンシップの可能性」**
加藤 敏明 氏(文部科学省 産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業委員会 専門委員)
- 14:20～15:35 **本事業における取り組み**
テーマ1.「うりずんプロジェクト取り組みの達成目標と実績報告」 松本 剛(琉球大学 就職センター長)
テーマ2.「専門人材養成カリキュラムの開発及び評価手法の開発と実施報告」 山入端 津由(沖縄国際大学 学生部長)
テーマ3.「うりずんプロジェクト インターンシップ経験学生による成果報告」
琉球大学就職センター・コーディネーター、経験学生
- 15:35～15:45 **(休憩)**
- 15:45～16:45 **パネルディスカッション「うりずんプロジェクトの成果と今後」**
司会：松本 剛(琉球大学 就職センター長)
パネリスト：加藤 敏明 氏(文部科学省 産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業委員会 専門委員)
山入端 津由(沖縄国際大学 学生部長)
元山 和仁(沖縄女子短期大学 学生支援部長)
高橋 神奈男(琉球大学 学生部長)
玉城 昌常(沖縄県商工労働部雇用政策課 副参事)
柳原 浩之氏(株式会社JTB 沖縄 人材バンクグループ グループリーダー)
- 16:45～16:55 **質疑応答**
- 16:55～17:00 **閉会あいさつ** 松本 剛(沖縄地域インターンシップ推進協議会 会長)

◎情報交換会／17:30～19:00 会場：琉球大学 中央食堂(予定)

産学官連携シンポジウム
うりずんプロジェクト～「沖縄型」インターンシップの展開～
参加申込方法

参加ご希望の方は、「氏名」「所属」「連絡先(電話番号)」をご記入の上、
3月4日(金)までにメールでまたはFAX(裏面)にてお申込ください。

参加申込メールアドレス：urizun@to.jim.u-ryukyu.ac.jp

産学官連携シンポジウム

うりずんプロジェクト～「沖縄型」インターンシップの展開～

会次第

1. 日時:平成 28 (2016)年 3 月 16 日(水)13:30～17:00
2. 会場:琉球大学 大学会館3階 特別会議室
3. プログラム
総合司会:松本 剛 (琉球大学 就職センター長)
 - ① **開会あいさつ** 渡名喜 庸安(琉球大学 理事(教育・学生支援・法務担当)・副学長)
13:30～13:35(5分)
 - ② **基調講演** (仮題)「うりずんプロジェクトの今後に繋がるインターンシップの可能性」
加藤 敏明 氏(文部科学省 産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業委員会 専門委員)
(資料1)
13:35～14:20(45分)
【本事業における取り組み】14:20～15:35(75分)
 - ③ テーマ1.「うりずんプロジェクト取り組みの達成目標と実績報告」(資料2)
松本 剛 (琉球大学 就職センター長)
14:20～14:35(15分)
 - ④ テーマ2.「専門人材養成カリキュラムの開発及び評価手法の開発と実施報告」(資料3)
山入端 津由(沖縄国際大学 学生部長)
14:35～14:50(15分)
 - ⑤ テーマ3.「うりずんプロジェクト インターンシップ経験学生による成果報告」
琉球大学就職センター・コーディネーター、経験学生(資料4)
14:50～15:35(45分)

【休憩】15:35～15:45(10分)
 - ⑥ **パネルディスカッション「うりずんプロジェクトの成果と今後」**(資料8)
15:45～16:45(60分)
司 会:松本 剛 (琉球大学 就職センター長)
パネリスト:加藤 敏明 氏(文部科学省 産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業委員会 専門委員)
山入端 津由 (沖縄国際大学 学生部長)
元山 和仁 (沖縄女子短期大学 学生支援部長)
高橋 神奈男 (琉球大学 学生部長)
玉城 昌常(沖縄県商工労働部雇用政策課 副参事)
柳原 浩之 氏(株式会社JTB 沖縄 人財バンクグループ グループリーダー)
 - ⑦ **質疑応答**
16:45～16:55(10分)
 - ⑧ **閉会あいさつ** 松本 剛 (沖縄地域インターンシップ推進協議会 会長)
16:55～17:00(5分)
- ◎情報交換会/17:30～19:00 会場:琉球大学 中央食堂

以上

産学官連携シンポジウムうりずんプロジェクト

～「沖縄型」インターンシップの展開～

日 時：平成28年3月16日（水）13:30～17:00

場 所：琉球大学 大学会館3階 特別会議室

参加者：53名（大学23名、企業・団体20名、行政8名、学生2名）



学長挨拶：代読

渡名喜 庸安（琉球大学理事・副学長）



基調講演「うりずんプロジェクトの今後に繋がるインターンシップの可能性」

加藤 敏明氏（文部科学省 産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業委員会 専門委員）

【本事業における取組み】

テーマ1「うりずんプロジェクト取組みの達成目標と実績報告」松本 剛(琉球大学就職センター長)



テーマ2「専門人材養成カリキュラムの開発及び評価手法の開発と実施報告」
山入端 津由(沖縄国際大学 学生部長)



テーマ3「うりずんプロジェクト インターンシップ経験学生による成果報告」
外間 裕子（琉球大学就職センター インターンシップ・コーディネーター）



インターンシップ経験学生



田里 彩奈（沖縄キリスト教短期大学 卒業生）



高柳 玲那（琉球大学 3年）



2部 パネルディスカッション「うりずんプロジェクトの成果と今後」



参加者スナッフ

質疑応答 参加者から意見及び期待が寄せられた。



うりずんプロジェクト2016産学官連携シンポジウムアンケート(集計)

(回答:22)

平成28年3月16日

本日はご参加いただき誠にありがとうございます。今後の取り組みに活かすために、皆様の満足度やご意見・ご感想(裏面)をお聞かせください。(1~6までは○をつけてください。)

1. ご所属(○をつけてください)

①受入企業・団体等	10	②企業・団体等	4	③インターンシップ支援団体	0	④人材育成系企業	0	⑤行政関係者	3
⑥大学関係者	4	⑦大学生	0	⑧短大生	0	⑨大学院生	0	⑩その他	0
無回答	1								

2. 基調講演はいかがでしたか？

①十分満足した	17	②概ね満足した	5	③あまり満足でなかった	0	④満足できなかった	0	無回答	0
---------	----	---------	---	-------------	---	-----------	---	-----	---

3. 本事業における取組について

(1) テーマ1「うりずんプロジェクト取組の達成目標と実績報告」はいかがでしたか？

①十分満足した	10	②概ね満足した	12	③あまり満足でなかった	0	④満足できなかった	0	無回答	0
---------	----	---------	----	-------------	---	-----------	---	-----	---

(2) テーマ2「専門人材養成カリキュラムの開発及び評価手法の開発と実施報告」はいかがでしたか？

①十分満足した	9	②概ね満足した	11	③あまり満足でなかった	1	④満足できなかった	0	無回答	1
---------	---	---------	----	-------------	---	-----------	---	-----	---

(3) テーマ4「うりずんプロジェクト インターンシップ経験学生による成果報告」はいかがでしたか？

①十分満足した	12	②概ね満足した	8	③あまり満足でなかった	0	④満足できなかった	0	無回答	2
---------	----	---------	---	-------------	---	-----------	---	-----	---

4. パネルディスカッション「うりずんプロジェクトの成果と今後」はいかがでしたか？

①十分満足した	4	②概ね満足した	6	③あまり満足でなかった	1	④満足できなかった	0	無回答	11
---------	---	---------	---	-------------	---	-----------	---	-----	----

5. 本イベントを知ったきっかけを1つ選んでください。

①大学からの案内	6	②大学のホームページを見て	0	③大学教員や職員からの紹介	4	④うりずんプロジェクトのホームページを見て	1	⑤沖縄地域インターンシップ推進協議会事務局からの案内	12
⑥その他	0	無回答	0						

6. 本日のシンポジウムはいかがでしたか。

①十分満足した	11	②概ね満足した	11	③あまり満足できなかった	0	④満足できなかった	0	無回答	0
---------	----	---------	----	--------------	---	-----------	---	-----	---

(その理由をご記入ください)

加藤さんの話を聞くことで、外国では長期インターンシップが当然のようにあり、日本は遅れているということを知ることができた。また、実際インターンシップを終えた学生の話を知ることができて良かった。基調講演だけでも大変参考になりました。また、学生さんの発表を拝聴でき良かったと思います。各教育関連の方々のご意見を聞く機会が出来よかったです。又、今後インターンを受け入れするにあたってのポイントなども気づかされた。参考になるご意見が聞けました。学生の意見(要望等)を知ることが出来て良かった。評価方法が参考になった。基調講演にて、アメリカ等の事例を知れた点。学生の生の声が聞けた点。少し時間が足りない感じを受けた。ディスカッションではなく、意見発表に終わってしまっている。インターンシップ経験学生の生の意見が参考になりました。県内大学が連携してキャリア教育に取り組んでいるということが分かり、大変すばらしいと思います。県内の失業率の問題への解決に向けても、全体で問題意識を持って取り組むことは重要だと思いますので、今回話が伺えて良かったです。本プロジェクトにおける企画者(実行者、大学)、参加者(学生)、そして協力者(企業)の三者それぞれの視点から意見、考え方を拝聴できて良かったです。受け入れ企業の話も聞きたいと思いました。基調講演で、キャリア教育の歴史やインターンシップの世界各国での現状等を聞いたのは良かったです。県内大学(私大学)の参加が少なかったのは残念であったが、全体として2年間の成果が分かり、良かったと思う。学生の発表等、事例を知ることができて良かったです。加藤先生の基調講演がとても良かったです。インターンシップの海外事情、事前学習のカリキュラムの作成方法等が学べた。2名の学生のプレゼンが良かった。インターンシップ経験学生による成果報告で、会場からのちょっと難しい質問にも笑顔で一生懸命しっかり受け答えするところがよかったです(インターンシップ経験の成果とも思えました)。素人知識であったインターンシップの成り立ちについて学びと深めることができ、現在の沖縄の状況を考える参考になりました。

7. 本イベントについて、お気づきの点や改善すべき点、また質問などありましたら、具体的にご記入ください。

インターンシップを通じて、社員研修や学生のキャリア教育に貢献できる可能性を感じた。学生のキャリア教育にどのように関わるかを企業として考えていきたい。受け入れ企業の指導してくれた担当者からの評価や、気づきがあればもっと良かったかなと思います。インターンシップをしても、研修が終わってどうだったか?という面談的なものは学校と学生間はあるけれども、企業と学生間はなかなかせずインターンシップが終わってしまいます。もしそれが出来れば、もっと学生の成長や気づきを得ると思っています。我々企業も意識してやっていこうと考えております。パネルディスカッション等でうりずんプロジェクトの「今後」についての展望等が聞けるかと思いましたが、ほとんどが「取組についての報告」であったのが残念でした。つまり「沖縄のインターンシップの後はどうなるのですか」、「インターンシップを通して沖縄をどのようにしていきたいのですか」とお聞きしたいです。加藤氏のお話をさらにお聞きしたいです。うりずんプロジェクトの年度の締め合いとして、評価できるものだったと思います。今後、関心が高まっているインターンシップへ、どのようにこの成果を情報発信していただけるかが課題だと思います。うりずんプロジェクトは是非継続してもらいたい。「沖縄型社長弟子入りツアー」を作ってもらいたい。会社内部が分かるような、社長、幹部、新入社員の声が聞けるようなインターンシップを展開してもらいたい。

8. その他ご意見・ご感想などありましたら、お聞かせください。

今後も永続的に続いていくことを願います。事務方側の御苦労も非常に大きかったとお察しいたします。関係者の皆様、お疲れ様でした。弊社はまだまだ小さな受け入れ企業ですが、参加させていただき、大変有難いと感謝しております。私どもの企業名、BPO業界もまだまだ認知度が低いので、今後ともインターンなどを通して企業理解していただける方を増やしていきたいと思っております。評価手法の評価表の分類が細かくて企業側から致しますと評価が難しかった。理由:5日間~10日間と短い時間で大人数(48~50人)の対応のため、評価をそこまで落としこめない。とても貴重な時間を過ごせました。ありがとうございました。インターンシップ経験学生の発表、とても良かったです。インターンシップを受け入れるって…大変だろうな…何をさせるべき?などいろいろ気になっていました。受け入れる側もしっかり計画的に行わないといけない事を実感しました。専門人材カリキュラムの開発は大変すばらしい取り組みだと思います。企業側もインターンシップを受け入れる部署や担当者によって、学生の指導方法が変わってくると感じていました。ですので、ぜひ継続していただき、次回は専門人材養成カリキュラムの成果と修正点についても報告していただければ幸いです。うりずんプロジェクトは今後の沖縄の若者を育てていく取り組みとして大変素晴らしいと思います。継続を期待します。日本がキャリア教育、インターンシップの面において、世界から取り残されているというのがよく分かった。これら乗り越える総合的なプロデュースが必要だと感じた。小中高からのキャリア教育の推進も大学と同じように重要であるので、総合的な取り組みが必要。「うりずんプロジェクト」を運営していただいた琉大の皆様大変ご苦労様でした。感謝申し上げます。可能であればネットで資料やパネルディスカッションを説明あるいは動画記録などあれば(会員登録)公開があるとうれしいです。

3-3

【評価検証】

平成27年度評価検証報告書

平成27年度大学改革推進事業

うりずんプロジェクト～「沖縄型」インターンシップの展開～
評価検証報告書

平成28年3月10日

沖縄地域インターンシップ推進協議会
評価検証部会

評価検証部会名簿

(敬称略、平成28年3月現在)

NO	区 分	所 属	役職名	氏 名	備 考
1	大 学	沖縄女子短期大学	教 授	元山 和仁	部会長
2	行政機関	内閣府沖縄総合事務局 経済産業部地域経済課	課 長	平良 浩二	
3	〃	沖縄県商工労働部雇用 政策課	課 長	喜友名朝弘	(代理) 玉城昌常 副参事
4	外部委員	琉球大学	監 事	北原 秋一	
5	〃	沖縄県キャリアセンター	センター長	福 廣之進	

【評価検証部会 開催経過】

第1回 平成28年2月19日(金) 10:00～11:15 4名出席

- (1) 平成27年度実施計画と数値目標の確認について
- (2) 事業進捗が確認できるエビデンス書類との突合について
- (3) その他(次回開催日の確認)

第2回 平成28年3月4日(金) 10:00～12:05 5名出席(代理出席含む。)

- (1) 事業進捗が確認できるエビデンス書類との突合について(1回分除く。)
- (2) 評価検証部会の報告書(案)について
- (3) その他

平成27年度大学改革推進事業

うりずんプロジェクト～「沖縄型」インターンシップの展開～

評価検証結果報告（概要）

評価検証部会（部会3）では、平成27年度文部科学省大学改革推進事業「**大学再生加速プログラム（インターンシップ等を通じた教育強化）**」において採択された「うりずんプロジェクト～「沖縄型」インターンシップの展開～（略称「うりずんプロジェクト」）について、交付申請書に記載した下記の平成27年度補助事業実施計画の進捗を2回にわたって評価検証を行い、結果を取りまとめました。**【各項目5段階での評価点】**

記

平成27年度の補助事業実施計画 ①～⑤、その他

- ① プラットフォームとなる「沖縄地域インターンシップ推進協議会」の事務局を運営する。インターンシップ・コーディネーター2名、及び事務補佐員1名については、4月に採用（又は前年度からの契約更新）する。「推進協議会」（本会議）を年3回（5月頃・10月頃・3月頃）開催し、年度計画の承認、成果報告等を行う。また、プラットフォーム運営（本会議・インターンシップ関連イベント開催）のため、部会1を4月～3月の間、隔月開催する。

評価【3. 8点/5点中】
- ② 前年度に開発されたインターンシッププログラム（事前・事後学習を含む）のカリキュラムについて、インターンシップを実施しながら検証し、必要に応じて改善を行う。またその評価指標を確立する。進捗状況の確認と方針決定のため、部会2を隔月開催する。

評価【3. 5点/5点中】
- ③ 沖縄県内経済団体等を通じて、或は個別に、インターンシップの受入れ企業を開拓する。そのための企業向け説明会を2回（8月、2月）実施する。また、インターンシップ実施後には、効果検証のためのインタビュー調査・アンケート調査（夏期向けは9月、春期向けは3月）を行う。

評価【3. 8点/5点中】
- ④ インターンシップ実施前に「インターンシップフェア」（夏期向けは5月～6月頃、春期向けは11月～12月頃）を開催し、参加希望学生を受入れ希望企業・団体に引き合わせ、マッチングを行う。

評価【4点/5点中】
- ⑤ インターンシップ・コーディネーターの指導のもと、各参加学生がインターンシップとその事前研修（夏期向けは8月、春期向けは2月）・事後学習（夏期向けは9月、春期向けは3月）を行う。インターンシップ実施中及び実施後に学生に対してインタビュー調査・アンケート調査を行い、その結果を逐一②に反映させる。

評価【3. 9点/5点中】

- ⑥ 大学内でインターンシッププログラムを実施することのできる人材を養成するためのカリキュラムを開発する。これについては、部会2で検討を行い、インターンシップ等支援団体（民間団体、NPO等）に一部委託する。

評価【4点/5点中】

- ⑦ 部会3（注）を開催（2月と3月の2回）し、プロジェクト全体の評価検証を実施する。

評価【3.6点/5点中】

- ⑧ 27年度の成果を報告するためのシンポジウムを開催（3月下旬）する。参加学生、インターンシップ・コーディネーター、外部有識者による講演が中心となる。

評価【3.8点/5点中】

- ⑨ インターンシッププログラムのカリキュラム、評価指標、専門人材育成テキストを含む実施報告書を作成（3月下旬）する。これらの成果物は本プログラムのウェブページ上で公開する。

評価【3.3点/5点中】

その他

- ・うりずんプロジェクト～「沖縄型」インターンシップの展開～の取組の達成目標（参加学生、参加者、開拓企業数等）、文科省委員から実地調査で指摘された事項の取組

評価【3.7点/5点中】

【評価指標と進捗状況の評価】

評価指標と点数	事業進捗状況	実施計画①～⑨、その他（5点満点）	項目
平成27年度計画より特に進捗している（5点）	実施後、新たな事項に着手		0
平成27年度計画よりやや進捗している（4点）	実施済・継続中	④ ⑥	2
平成27年度計画どおり実施している（3点）	事業着手・実施	① ② ③ ⑤ ⑦ ⑧ ⑨ その他	8
平成27年度計画よりやや遅れている（2点）	検討中		0
平成27年度計画より特に遅れている（1点）	未実施は0点		0

計10項目

※別添「評価検証部会（部会3）で評価する事項」（P6）について各部会員で評価した。

<部会による評価観点>

- ・事業に係る資料の整理及び整備状況はどうか。
- ・沖縄地域インターンシップ推進協議会及び各部会の開催状況はどうか。
- ・交付申請書にある目的等は達成されているか。
- ・大学や学生、受入企業・団体のニーズを取り込んでいるか。また、協力できているか。
- ・学生向けのイベントや企業等向けイベントの参加者評価はどうか。

委員の意見（事業の効果に関する評価、課題、総括的意見を含む。）

各項目に対する部会員の主なコメントを記載（順不同）。

①の項目について

- ・平成27年度の事業計画が遅滞なく進捗している。
- ・関係文書に基づいて計画的に実施されている。
- ・計画どおり良く実施されている。
- ・開催通知、会次第、議事要旨等がきちんとまとめられている。
- ・計画どおりコーディネーター2名、事務補佐員1名の採用がなされている。

②の項目について

- ・ほぼ計画どおりに部会が開催され、プログラム作成・検証がなされていることが確認できた。
- ・議事録、評価指標等の関係資料がよくまとめられている。
- ・関係書類が整理され適切に事業が実施されているが、P74の資料「平成27年度体系的なキャリア教育プログラム及び評価指標の運営実施（案）」等が添付されていれば更に実施内容が理解できたと思う。議事録と関係資料が前後するところがあった。

③の項目について

- ・企業へのインタビューやアンケート結果一覧等の関係資料の整備がしっかりとされている。
- ・受入企業数が目標値（100社増）に対し約8割となったが、離島や米国系企業の開拓等の取組は評価、団体等への協力依頼方法等を含め、引き続き受入先拡大への取組に期待。
- ・アンケート調査結果については、丁寧であり高評価であることがわかった。

④の項目について

- ・学生の希望が分かる資料、受入企業とのマッチング実施資料がきちんと揃えられている。
- ・開催内容が充実しており、学生や企業からの評価も高いものとなっている。一方で、特定企業への学生の集中等の指摘もされており、今後の対策の検討も必要。

⑤の項目について

- ・事後研修の内容が分かる配付資料、開催写真、参加学生数などの資料が取り揃えられている。
- ・インターンシップの振り返り等を通して研修成果の定着や改善等に資するための内容になっている。

⑥の項目について

- ・専門人材対象者の理解度を高め、インターンシップ学生評価手法等内容が期待以上に充実したものにしていることが確認できた。
- ・養成テキスト等については、内容の充実等を鑑みると今後の発展のベースとなるものが出来た。

⑦の項目について

- ・評価部会を開催し、プロジェクト全体の評価検証をしっかりと実施している。
- ・部会の開催通知、委員名簿、評価検証資料、エビデンスはしっかりと取り揃えられている。

⑧の項目について

- ・外部有識者への講演依頼、承諾書、その他書類はしっかりとできている。
- ・最終版ではないが適切に資料が整理され、事業が実施されている。

⑨の項目について

- ・インターンシップのカリキュラム、評価指標及び専門人材養成テキストが未刊である。
- ・専門人材育成のための理解度を高める工夫や学生評価等によるプログラムの検証も可能な内容になっており、充実したプログラムとなっている。
- ・HP を用いた公表等もしっかりなされている。

その他の項目について

- ・文部科学省、JASSO に提出した報告書、参加学生数等がしっかりと整理保管されている。
- ・今後の充実発展のためには、経済同友会、経営者協会、商工会議所等への連携密着した有機的な関係構築等が望まれる。

部会での主な意見等（課題を含む。）

○平成27年度（第1回）評価検証部会議事要旨のとおり。

○平成27年度（第2回）評価検証部会議事要旨のとおり。

平成27年度（第1回）評価検証部会
議事要旨

1. 日 時：平成28年2月19日（金）10:00～11:15
2. 場 所：琉球大学共通教育棟1号館2階 大会議室
3. 参加者：沖縄女子短期大学教授 元山和仁（部会長）、内閣府沖縄総合事務局経済産業部
地域経済課長 平良浩二、琉球大学監事 北原秋一、沖縄県キャリアセンター長
福 廣之進 計4名出席
欠席者：沖縄県商工労働部雇用政策課長 喜友名朝弘
陪 席：琉球大学 松本剛、高橋神奈男、比嘉義明、川平敦、外間裕子

元山部会長から開会あいさつがあった。
事務局から評価検証部会（部会3）の目的について、沖縄地域インターンシップ推進協議会
設置要領第8条第3号に基づき確認があった。

4. 審議事項

（1）平成27年度実施計画と数値目標の確認について

元山部会長から、資料「評価検証部会（部会3）で評価する事項」（A3版）に基づき、
準備したエビデンス等資料で評価を行うが、評価点（1～5）方法については、事務局
（比嘉就職課長）から説明する旨の概要説明があった。

比嘉就職課長より、昨年（平成26年度）の部会3において決定した評価点方法を踏襲
し、今年度の評価をお願いしたい旨の説明と提案があった。

（評価点方法は、次のとおり）

- ・ 1点は計画より遅れている（未実施は0点）。
- ・ 2点は計画よりやや遅れている。
- ・ 3点は計画どおり実施している（普通）。
- ・ 4点は計画よりやや進捗している。
- ・ 5点は計画より特に進捗している。

審議の結果、提案どおりの方法で評価することになった。

（2）事業進捗が確認できるエビデンス書類との突合について

比嘉就職課長から、配布資料の確認の後に、エビデンス書類（通し番号）に基づき、
資料「評価検証部会（部会3）で評価する事項」の中「①～⑨」、「その他」の項目につ
いて読み上げて説明があった。

委員から次の意見や質疑があった。

- ・ 部会1と部会2の名簿をつけてほしい。
→ その場で各名簿を配付した。
- ・ P288で、各大学の取組を見ると、平成26年度より平成27年度の参加率が増加して
いるが、沖縄キリスト教学院大学だけは減少している。何か理由があるのか。
→ 平成27年度のインターンシップは、同大学の語学系選択必須科目と時間重複があ
ったため参加者が減少した。

- ・最初に企業開拓を行う際に、企業開拓先名簿に基づいて開拓作業を行ったと思われるが、当該名簿を見せてもらいたい。
→ 準備して提出します。
- ・夏期インターンシップ及び春期のインターンシップの周知は、チラシ以外にどんな方法を用いたのか。例えば、記者発表など新聞活用など行ったのか。
→ 準備して説明します。
- ・「インターンシップ実施後に、インタビュー調査・アンケート調査を行う」とあるが、アンケート結果について、要約したものをA4版一枚にまとめて提出してほしい。
→ 準備して提出します。
- ・実習期間中に学生の面談等は、行っているのか。
→ 見学日等で企業担当者・実習学生双方からのヒアリングを行っている。
- ・実習プログラムは充実しているか。簡単な業務等にとどまっていないか。
→ ホテル日航アリビラ様の例でいうと、実際の収支状況を資料（社外秘）として用いて学生に講義を行っていた。また、ハイアットリージェンシー那覇のプログラムは、フロント・料飲部門（料理と飲食）・ルーム清掃以外に、経営戦略などの項目を盛り込むなど、特色ある試みを行っている。
- ・離島の企業開拓は怎么样了のか。
→ 直接企業を訪問してインターンシップ受け入れの依頼を行っている。また、平成26年度は、サテライトキャンパスを活用した企業向け説明会を実施した。
平成27年度は久米島の企業を訪問し、2社から受入可との返答を得た。
- ・企業開拓において、学生のニーズを反映しているのか。例えば、学生が希望する企業を開拓する等。
→ 学生から特定の企業でインターンシップを行いたいという話は余りない。ただ、サンエーでインターンシップを行いたいという希望は少なからずあるが、同社は独自に1day・インターンシップを行っているので、そちらを紹介している。

比嘉就職課長から、①エビデンス資料（取扱い注意）は持ち帰って、「評価検証部会で評価する事項」のデータをメールにて送付するので当該様式に評価等事項を記載願いたい、第2回開催までに提出できないエビデンス資料については、当該資料が調い次第、メール会議形式で確認・評価をお願いしたい、③沖縄地域インターンシップ推進協議会開催（3月中旬予定）までに、部会3の評価報告書を取りまとめ作成・提出する必要があるため、部会員ごとに評価等記入をお願いしたい、との説明があった。

（3）その他（次回開催日の照会）

元山部会長から、次回開催の提案があり、3月3日（木）、4日（金）又は7（月）のいずれかで事務局からメール照会を行うので、返信について協力依頼があった。

なお、開催時間（10:00～12:00）と会場は、今回と同じとする。

以上

平成27年度（第2回）評価検証部会
議事要旨

1. 日 時：平成28年3月4日（金）10:00～12:05
2. 場 所：琉球大学共通教育棟1号館2階 大会議室
3. 参加者：沖縄女子短期大学教授 元山和仁（部会長）、内閣府沖縄総合事務局経済産業部
地域経済課長 平良浩二、沖縄県商工労働部雇用政策課副参事 玉城昌常、
琉球大学監事 北原秋一、沖縄県キャリアセンター長 福 廣之進 計5名出席
陪 席：琉球大学 松本剛、高橋神奈男、比嘉義明、川平敦、外間裕子、早川杏里

元山部会長から開会あいさつがあった。

4. 審議事項

事務局（比嘉就職課長）から、前回の部会議事要旨について確認の後、前回の部会審議の中で求められた資料1～3において、資料1及び2について説明があった。

北原部会員から、資料1中のP18～21は名桜大学からの提供されたインターンシップ受入先企業名簿、P22は沖縄キリスト学院大学からのインターンシップ先企業名簿と明記されているが、P8～17における提出大学の確認と、当該資料はインターンシップ先企業名簿ではなく、単なる企業情報一覧となっていることから説明を求めたい旨の意見があった。

事務局（比嘉就職課長）から、事業当初はインターンシップ受入企業の手持ち情報がなかったため、連携大学に対してインターンシップ受入企業の情報提供依頼を行っており、当該資料は沖縄国際大学から提供された企業名簿であり、インターンシップ受入実績の企業名簿ではない。これらの企業名簿を基に、事務局が抽出して計103社の企業に対して、第1回企業向け説明会の開催通知を送付した旨の説明があった。

北原部会員から、資料提出の際に趣旨が異なる資料等が混在している場合は、その旨の注意書きを記してほしい旨の要望があった。

引き続き、事務局（川平コーディネーター）から、資料3【2015夏期インターンシップの学生向けアンケート集計結果】及び追加資料【2015夏期インターンシップの受入企業・団体向けアンケート集計結果】に基づき、学生と企業等から概ね良い評価を受けているとの説明があった。

(1) 事業進捗が確認できるエビデンス（証拠・根拠）書類との突合について

事務局（比嘉就職課長）から、資料A3版「評価検証部会（部会3）で評価する事項」の中の「①～⑨」、「その他」の項目評価等について、次のとおり提案したい旨の説明があった。

- ・項目①～⑨、その他を併せて10項目について、各5点満点中の評価点を記載する。
その際に、項目中の細項目ごとに評価点を付し、その平均点を項目の評価点とする。
(平均点となっていることから結果3.5点とか端数評価がある。)
- ・細項目で、評価点以外にコメントがあれば、当該コメント欄に記載する。
- ・⑨では未提出のエビデンス（完成版テキスト）があるが、字句修正中の「専門人材養成テキスト（手引き、ワークシート）」を提出するので、評価対象としてほしい。
- ・①～⑨、その他の項目評価だけでなく、別の「評価検証報告書」（案）にある部会の評価観点を考慮の上、評価する。
- ・3月7日（月）17時までに、A3版の当該エクセルシートに評価点等を記載して、事務

局へメールで提出する。

審議の結果、提案どおり評価し、提出することが確認された。

(2) 評価検証部会の報告書(案)について

事務局(比嘉就職課長)から、資料「評価検証報告書」(案)に基づき、沖縄地域インターンシップ推進協議会に提出する報告書内容項目の提案と説明があり、審議の結果、了承された。

元山部会長から、報告書中の部会による評価観点及び総括的観点から、部会員による意見交換を行いたい旨の説明があった。

部会員から、主に次の意見等があった。

- ・資料P288の「達成目標及び実施数値一覧表」の達成目標の参加数(200人増)と延べ参加人数が一致していないように見える。どれが2年間の数値なのか。

→本事業の実施にあたり、申請時の各大学のインターンシップ参加学生数を調査して2年間を終えた時点で何名のインターンシップ参加者を増やせたのか、企業開拓を何社行ったのか、何名の専門人材を増やせたのか等の達成目標を設定した。参加学生については2年間の期間中に200人増とし、実際は延べ259人の学生が参加できた。

- ・同資料を見ると、期間中のインターンシップ受入企業延べ数は80社程度となっているが、実際の新規開拓企業は40社程度なのか。

→ そのとおり。受入表明した企業も多くあったが、学生が希望しない企業もあった。

- ・企業がせっかく手を挙げているのに、学生が希望しなかったというのは、何かもったいない気がする。企業紹介の仕方・特徴的なものをもう少し視覚的に訴える方法等はなかったのか。

→うりずんサイトを紹介している企業情報は、決まった様式で紹介する形態となっており、サイト仕様が企業HPへリンクが貼れるようになっていれば、企業の画像や特徴が分かる状態になったかもしれない。

補足説明だが、すべて決まった項目の中ではあるが企業が自由に記入できるようになっている。なお、学生はHPでの情報だけで決めているわけではなく、インターンシップフェアなどで企業担当者の説明や雰囲気等に触れて、この企業でインターンシップを受けてみたいなどのケースで動く学生は多い。一方、事務局ではしっかりプログラムができている企業の立場から、学生に紹介している。マッチングがうまく行かなかった企業もあるが、これは学生の第一希望から第三希望までの中で当該企業を割り当てる場合があり、学生のスケジュールから調整は無理と判断して、第一希望と第二希望のみを優先(結果、第三希望企業が受入できない状況となる)している。この状況を明記している資料はないが、マッチング面談の中で感じていることである。

- ・ループリック(自己評価)手法は面白いと感じているが、ただ、表し方が数値だけとなっているので簡単な折れ線グラフを使い、重ねて使うことにより、評価点が4から5へ、反対に4から3へ、また変化しなかった項目など、学生がどう変わったのかとの変化を見ることができるのではないか。

→今後は可視化など工夫していきたい。

なお、ルーブリックは琉球大学のキャリア科目で使っている。授業を受ける前と後に実施することで、自分の意識がどう変わったのか自己評価が分かりやすいようにしている。

- ・県内企業ランキング100社の中にうりずんプロジェクトに関わる企業は何社あるのか。魅力ある企業を学生に提供しているかとの観点での質問である。

→資料1（うりずん受入企業60社）見るとおよそ10社程度と思われる。

製造や理系関係の企業開拓は弱いところがある。

- ・製造や理系関係を含めて、琉球大学出身の経営者や主要部署に琉大出身者がいる企業等を中心に開拓してはどうか。例えば、国場組などは県内で幅広く展開していて魅力的な企業の一つではないか。

次回の課題としては、そういった企業を訪問したり、又は別の企業を紹介してもらうなど、学生にとって魅力ある就職先となる企業開拓を行い、そこでインターンシップ実施できるプロジェクトにしてもらいたい。

- ・インターンシップ期日が2日、3日などの短期なものはGut'sなど他に任せて、各大学ともインターンシップの単位化を求めているので、2週間以上の単位が与えられるインターンシップに絞り込んでやっていただきたい。

- ・評価検証報告書（案）にある部会の評価観点の5項目のうち、「大学や学生、受入企業・団体のニーズを取り込んでいるか。協力ができているのか。」との項目では、学生が望むようなインターンシップ先を開拓したかとか、企業が協力的であったかということ、あまり当てにできない部分もあったのではないか。

また、国立大学と公私立大学との5大学の連携で進めていったが、大学間の協力体制も今一だったのではと感じる。コンソーシアムを構成する動機づけをもう少し明確にする必要があったのでは。幹事校の琉球大学は国立で強力であり、私立大学側からするとライバルの関係もあって協力体制は難しいかと思う。しかし、うりずんプロジェクトは、琉球大学が幹事校として進めたことがかなり評価されてインターンシップ受入れも良かったのではないか。そのあたりの課題を克服してやっていく必要がある。

→琉球大学が幹事校として進めてきたが、琉大生だけを対象にやってきたわけではない。

大学コンソーシアムとして県内の大学・短大、専門学校生を含めて学生の底上げを図る視点をもっている。

手っ取り早いのは、うりずんプロジェクトの事業発表を行っている円卓会議に参加している企業に声かけし、足繁く通って開拓をしていくのが次の課題と考えている。

なお、国場組は円卓会議のメンバーとなっているのか。

→企業開拓の件では、企業加盟団体に企業紹介をお願いしたが、思うとおりに行かなかった。

また、産業まつり等に出店している企業で面白いことをやっているところも見つけたが、その場で大学生のインターンシップ受け入れできないかと直接声かけするわけにもいかず、企業開拓はかなり難しいと思った。

→中高生のジョブシャドウ的なインターンシップの受入れは、企業側からは割に受け入れ易いが、大学生対象ともなると、個人情報に関わる業務に携わるなど、ある程度本格的なプログラムを作らないといけないと構えてしまう企業もある。

どの企業でも課題があるわけで、学生視点による課題解決など PBL を今後、県内でも進めていきたい。現在、琉球大学就職センターでは、(株)ルーツと連携して一部 PBL を進めており、来年度は、(有)オーシャン・トゥエンティワンの酒元氏と CIS 行動学の延長で PBL インターンシップを実施していく予定である。

- この前、(有)オーシャン・トゥエンティワンが企画して琉球大学観光産業科学部学生が実施した課題解決型インターンシップを見せてもらったが、非常に良かった。

また、うりずんプロジェクトが実施した専門人材養成研修にも参加したが、その中で企業担当者も参加していて、例えば、(株)御菓子御殿さんの新商品のお菓子を開発するという PBL があり、若い学生の感性で課題を見つけ解決して発表するというのも非常に良かった。

このようなことから、今後、課題解決型インターンシップが主流になっていくと思われる。

- P265 で、学生のインターンシップ先の希望のところで「JICA 以外しか考えていない」などと記入している学生がいるが、第一希望が外れた場合はインターンシップをあきらめるのか、事務局ではどう対応しているのか。

→第一希望しか提出しないという学生の意思を尊重しながら、実際、熱意はあるものの実習に対する理解はしていないという学生もいるので、書類を出す前にコーディネーターとしては、JICA 関係の知識を積み上げながら中身が伴うような書類作成ができるようアプローチしている。

- 関連した質問であるが、前にキリ学から JICA へのインターンシップ応募枠の件で、うりずんプロジェクトに要望があったと記憶しているが、どうなったのか。

→JICA は今まで各大学にまばらのインターンシップ受入れ枠をもっていたが、うりずんプロジェクトに一本化できないかとの相談があった。その際、各大学から枠の懸念が出てきて一本化は各大学に弊害が出るので、JICA に再度考慮いただいた経緯がある。

それ以外にも複数の企業からうりずんプロジェクトに窓口一本化できないかとの相談もあった。それは、企業への提出書類をチェックして事前に学生の意識付けして送り出しているという、うりずんプロジェクトの評価に繋がっている部分もあるのかと思われる。

- 5大学とのコンソーシアムというところで、大学独自でインターンシップと就職を結び付けて考えた時に、自分の大学のインターンシップ枠を確保したいとの想いの部分、共同実施すべきところと、一方では個別の競争という側面もあり、その点は理想ではあるが課題にもなっている。

→企業側からは、うりずんプロジェクトの知名度が急激に上がり、うりずんに頼めば全大学に手配してもらえるという印象を与えてしまったのではないかと。

理想形かもしれないが、現実にはそれが課題となっている。

- うりずんプロジェクトのインターンシップ取組を非常に評価している。

かつて自分が企業の経営者及び大学教員であった立場からすると、企業等の受入側は、各大学から申し込みがバラバラで大変だった。それを一本化したプロジェクトを評価したい。同プロジェクトで線から面になってきた。県全体で雇用に繋がるメルクマールを2年間で作り上げたと考える。発展的な考えで続けていただきたいと個人的な希望である。

- ・沖縄経済同友会で理事をしており、同友会の部会の観光委員会の委員長も経験した。沖縄経済同友会は、企業経営者の利益追求の場ではなく、ボランティア団体である。観光委員会では関係機関が集まり、具体的ビジョンを県に提案していた。雇用の面から、もう少しかみ合うようにしてもらいたい。

- ・評価方法について確認したい。5段階で3点があるが、ねらいどおり実施していれば3点で良いか。プラスアルファがあれば4点又は5点とする考えで良いかとの確認である。
→その位置づけで良いと思う。

- ・「評価指標及び専門人材養成テキスト(手引書・ワークシート)」を拝見したが素晴らしい内容となっている。教員、コーディネーター及び企業経営者等へのプレテストとか、プレヒアリング、事前ヒアリングを経て作成しているのか。どこからか持ってきたものなのか。
→基本的にベースがあったが、昨年は3回、今年は5回の講習をして、その結果編集したものである。講習会には、教員、企業担当者、コーディネーター及び受入れ企業担当者が参加して、インターンシップ・プログラム作成や現場の課題・問題をあげて解決策を検討しながら修正等をしたものである。コピー・ペーストではない。

- ・沖縄県は観光立県でありホテル業界が重要と思われる。資料1の受入れ企業リストの60社の中で、インターンシップ受入れホテルは何社あるのか。
→資料1の受入れ企業の中で、黄色×部分は、企業が受入れ表明しているが、学生の希望者がいない。グレーは、企業の多忙な状況により受入れできないことを示している。
新規受入れは日航アリビラなど3社で、実際に学生を送り出した。離島では久米島でホテル2社(58番リゾートホテル久米アイランド、59番バーデハウス久米島)の受入れ希望があったが、学生からの希望がなかった。
ホテル業界、観光業界のインターンシップ受け入れは、まだ万全ではないと思う。
引き続き、ホテル業界も受け入れを希望しているので対応していきたい。
→観光を専攻する学生が観光業界へ行かないで普通の業界に就職する学生も多い。逆に観光とは関係ない学部、例えば、生物専攻の学生がホテルに就職するケースもあった。
就職先とインターンシップは、必ずしも専門とリンクするとは限らない。

- ・雇用政策課の業務について1年程度であるが、「評価指標及び専門人材養成テキスト(手引書・ワークシート)」がもっと前に作成されていければ良かったと思う。議事録の中でアンケート結果、例えば、好評価が95%とあるがすごく説得力を持つと思われる。
→アンケート結果では5段階で評価してもらっている。評価が4点や5点が多ければ、まあ評価されたと考える。たまに2点などがあると何が原因かと検討課題となる。

- ・素晴らしい報告書があるので、次に繋がるものとしてほしい。リリースできる材料も持っているので県内新聞2紙だけでなく、日経新聞の九州版に、具体的な数値を上げるなど依頼の仕方を工夫してリリースしてもらいたい。

元山部会長から、閉会のあいさつがあった。

以上

4. 体系的なキャリア教育プログラムの開発 及び評価手法の開発

4-1

プログラム検討協議部会の下に置く
選定委員会の取扱い

プログラム検討協議部会の申合せ

[平成26年(2014年)8月20日会長制定]

(名称)

第1条 本部会は、沖縄地域インターンシップ推進協議会設置要領(以下「要領」という。)第7条第2号に基づき、「プログラム検討協議部会」(以下「部会」という。)と称する。

(目的)

第2条 部会の目的は、要領第8条第2号に定めるところによる。

(協議事項)

第3条 部会は、次の各号に掲げる事項について協議する。

- (1) 1～4年次の体系的なキャリア形成支援プログラムの作成に関すること。
- (2) 専門人材育成カリキュラムの開発検討に関すること。
- (3) 前1号及び2号で開発したプログラム及びカリキュラムの実施検証に関すること。
- (4) その他部会の目的を達するために必要なこと。

(組織)

第4条 部会は、要領第9条により、部会長及び部会員で組織する。

- 2 部会長は、要領第9条第2項により、沖縄地域インターンシップ推進協議会会長(以下「会長」という。)が指名する。
- 3 部会員は、要領第9条第4項により、会長と部会長が協議して委嘱する。
- 4 部会長は会長と協議の上、必要と認める者を新たに部会員として加えることができる。

(部会長)

第5条 部会長は、部会を総括する。

- 2 部会長に事故あるとき又は欠けたときは、部会長があらかじめ指名する部会員が職務を代行する。

(会議)

第6条 部会は、部会長が必要に応じて招集し、部会長が議長となる。

- 2 部会は、部会員の過半数の出席がなければ会議を開くことができない。
- 3 議決を要する事項については、出席部会員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 4 部会員にやむを得ない事情があるときは、代理人の出席をもって出席とみなす。

(任期)

第7条 部会長及び部会員の任期は、要領第10条により、2年間とする。

- 2 部会長及び部会員に欠員が生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(庶務)

第8条 部会の管理・運営は、沖縄地域インターンシップ推進協議会事務局において行う。

(雑則)

第9条 この申合せに定めるもののほか、部会の運営に関し必要な事項は、部会長と会長とが協議の上、会長が定める。

(改廃)

第10条 この申合せの改廃は、部会の議を経て会長が行う。

附 則

- 1 この申合せは、平成26年(2014年)8月20日から施行する。
- 2 本申合せの制定当初の部会長及び部会員の任期は、第7条第1項の規定にかかわらず、平成28年(2016年)3月31日までとする。
- 3 第4条第4項に基づく新たな部会員の任期は、前項を準用する。

プログラム検討協議部会（部会２）の下に置く

選定委員会の取扱いについて

[平成26年(2014年) 8月20日会長制定]

（目的）

第1条 沖縄地域インターンシップ推進協議会設置要領（以下「要領」という。）第8条第2号並びにプログラム検討協議部会（以下「部会」という。）の申合せ第3条第1号及び第2号に基づく「プログラム開発」及び「カリキュラム開発」の契約に係る業者を適正に選定するため、部会の下に選定委員会（以下「委員会」という。）を置く。

（役割）

第2条 委員会は、次の事項を審議及び実施する。

- （1）公募要領及び仕様書に基づく企画提案書の評価（総合順位を付すことを含む）に関すること。
- （2）第1次選考で書類審査、第2次選考でプレゼンテーションの実施に関すること。

（委員会）

第3条 委員会は、委員長及び委員をもって組織する。

2 委員長には、部会長をもって充てる。

3 委員には、部会長が沖縄地域インターンシップ推進協議会会長（以下「会長」という。）と協議の上、次に掲げる者について選任する。

- （1）部会員
- （2）沖縄地域インターンシップ推進協議会委員（事務局含む。）の中で、部会員以外の者
- （3）外部有識者

（委員長の職務）

第4条 委員長は、委員会を総括する。

2 委員長は、委員会を招集し、委員長が議長となる。

（定足数）

第5条 委員会は、委員の3分の2以上の出席がなければ会議を開くことができない。

2 委員会の議事は出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

（委員の秘密保持）

第6条 委員は、審議の経過及び結果については、秘密を守らなければならない。

（審査結果）

第7条 委員長は、審査結果について会長に書面で報告する。

2 会長は、学長（財務部経理課外部資金管理室）に速やかに審査結果を書面で報告する。

3 委員長は、直近で開催される部会において審査結果を報告するものとする。

（庶務）

第8条 委員会の庶務は、要領第11条で定める沖縄地域インターンシップ推進協議会事務局で処理する。

附 則

この取扱いは、平成26年8月20日から適用する。

4-2

体系的なキャリア教育プログラム と評価手法

公募要領

1. 事業名 体系的なキャリア教育プログラムの開発及び評価手法の開発
「うりずんプロジェクト～「沖縄型」インターンシップの展開～」
2. 事業の内容
 - (1) インターンシップを核とした体系的なキャリア教育プログラムの開発と検証
 - ① プログラム検討協議部会への出席及び協議。
 - ② 体系的なキャリア形成支援プログラムの開発、プログラム実施手順書の作成。
 - ③ 開発したプログラムの結果の検証。
 - (2) 取組の実施効果について評価基準と評価体制等の確立及び評価の実施
 - ① 事業全体の評価実施要領書及び手順書の作成。
 - ② 評価・検証のためアンケートの種類、項目の検討。
 - ③ アンケート調査結果を集計・分析し、評価検証部会で報告。
3. 企画競争に参加する者に必要な資格に関する事項
 - (1) 国立大学法人琉球大学の会計実施規程第14条の規定に該当しない者であること。
 - (2) 契約責任者から取引停止の措置を受けている期間中の者でないこと。
4. 提出種類
 - ① 企画提案書
事務連絡先（担当者名・電話番号・Eメールアドレス）についても明記すること。
 - ② 実施工程表（別紙、年度工程表を参考とすること。）
 - ③ 見積書
別紙様式に経費内訳を明示すること。
経費見積もりには、本調達に係る経費すべてを含むものとし、当該積算内訳を詳細に記載すること。（別紙：経費見積書（エクセル様式））
 - ④ 過去における関連業務の実施実績リスト
5. 提出期限
平成26年7月31日（木）17時必着
6. 提出場所並びに問合せ先
住 所：〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地
担 当：琉球大学学生部就職課 比嘉
電 話：098-895-8117（ダイヤルイン）
FAX：098-895-8119
Eメール：syucho@to.jim.u-ryukyu.ac.jp

7. 書類の提出方法

紙媒体により7部を郵送又は持参により提出すること。

(郵送の場合)

- ・簡易書留、宅配便等で送付すること。
- ・受領次第、受領通知を事務連絡先にEメールで通知する。

(持参の場合)

- ・受付時間：平日9時から17時（12時～13時除く。）

なお、書類の作成費用については、選定結果に関わらず企画提案者の負担とする。

8. 選考方法

(1) 第一次選考

各社からの提出書類により書類審査及び必要に応じプレゼンテーションを実施してもらい、選考委員会において評価の上決定する。

(2) 審査基準

別途定めた審査基準のとおり。

(3) 選定結果の通知

選定終了後、平成26年8月4日（月）までに選定結果（総合順位）を財務部経理課から担当者へEメールにて通知する。

9. 事業規模（予算）及び採択数

事業規模：5,000千円未満

採 択 数：1件

10. 契約締結

選定の結果、契約予定者と企画提案書を基に契約条件を調整するものとする。

なお、契約予定者が辞退した場合は、次点者が契約予定者となる。

11. 契約締結に関する問合せ先

住 所：〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地

担 当：琉球大学財務部経理課

電 話：098-895-8038（ダイヤルイン）

FAX：098-895-8952

Eメール：krdairig@to.jim.u-ryukyu.ac.jp

12. スケジュール

- ①公募開始 : 平成26年7月15日(火)
- ②企画提案書の提出期限 : 平成26年7月31日(木)
- ③企画提案書に関するプレゼンテーション : 必要に応じ、追って連絡する。
- ④契約締結 : 平成26年8月8日(金)
- ⑤契約期間 : 平成26年8月8日(金)～平成27年3月31日

13. その他

事業実施にあたっては、契約書及び企画仕様書等を遵守すること。

国立大学法人
琉球大学長 大城 肇



平成26年7月15日

仕様書

琉球大学就職センター長

1. 概要

本仕様書は、文部科学省平成26年度大学改革推進事業「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業【テーマB】インターンシップ等の取組拡大」による、「うりずんプロジェクト ～「沖縄型」インターンシップの展開～」の実施における、体系的なキャリア教育プログラムの開発及び評価手法の開発の委託業務について定める。

2. 業務内容

- (1) 大学1～4年次を通じたインターンシップを核とした体系的なキャリア教育プログラムの開発とその実施検証
 - ① 大学コンソーシアムの5大学（幹事校：琉球大学、連携大学：名桜大学、沖縄大学、沖縄キリスト教学院大学及び沖縄国際大学）及び有識者等を中心としたプログラム検討協議部会（平成26年9月・11月及び平成27年1月開催予定）に出席し、プログラム開発のため、部会員と十分に協議を行う。
 - ② 県内大学の課題・県内産業構造・就業の課題等を十分に精査の上、それらに基づき、1～4年次学生に対する体系的なキャリア形成支援プログラムを開発し、プログラム実施手順書を作成する。
 - ③ 開発したプログラムは、幹事校である琉球大学を中心に、連携大学からも参加の上実施し、その結果の検証を行う。
 - ④ より効果的なプログラムを構築すべく、プログラム開発と並行して、連携企業や連携経済団体等の更なる発掘を行う。
- (2) 取組の実施効果についての定量及び定性的評価基準と評価体制等の確立及び評価の実施
 - ① 本事業全体の評価・検証のための方法・手順を検討し、評価実施要領書及び手順書を作成する。
 - ② 定性的・定量的評価・検証のために参加学生に対して実施するアンケートの種類、項目を検討する。
 - ③ ②に従って学生に対して実施したアンケート調査結果を集計・分析し、評価検証部会（平成27年3月開催予定）で報告する。

3. 協力・連携体制

本委託業務を進めるに当たり、受注者は琉球大学就職センター内に設置される「沖縄地域インターンシップ推進協議会」（事務局）と十分に連携を取るものとし、毎週1回、2時間程度の定例打合せ・進捗報告を琉球大学内で行うこととする。

4. 提出書類及び提出期限

(1) 実施前（提出期限：平成 26 年 7 月 31 日）

- ① 企画書
- ② 実施工程表
- ③ 見積書（経費内訳を明示すること）
- ④ 過去における関連業務の実施実績リスト

なお、受注業者の選定に当たっては、琉球大学就職センター長、同学生部長、同就職課長及び同コーディネーター、連携大学のうちインターンシップを専門する教員及び有識者から成る業者選定委員会による上記提出書類の審査が行われる。

(2) 完了後（提出期限：平成 27 年 3 月 20 日）

完了報告書

なお、上記 2.（業務内容）に関わるキャリア形成支援プログラム実施手順書、評価実施要領書、評価実施手順書については、完了報告書の一部（別冊）とすることができる。

5. 疑義

本委託業務を実施するに当たり疑義が生じた場合は、発注者・受注者双方の協議により解決することとする。

6. 本仕様書に示されない詳細事項について

本仕様書に明記されていない詳細事項については、発注者に確認の上、業務を進めること。

以上

●評価表(ルーブリック)

(実習終了後)学生→推進協議会→学生

		5点	4点	3点	2点	1点
① 自立・創造	自主・自律	<input type="checkbox"/> 言われていないことでも、自ら考え行動し、最後までやり遂げることができる。	<input type="checkbox"/> 言われていないことも、自ら考えて行動しているが、最後まで一人でやり遂げることができない。	<input type="checkbox"/> 言われたことは完遂できるが、自ら考えて行動できてはいない。	<input type="checkbox"/> 言われたことをやろうとするが、完遂できない。	<input type="checkbox"/> 言われたことをやろうとしない。
		<input type="checkbox"/> 積極的に自ら考え、行動することができている。	<input type="checkbox"/> 自ら考え、行動することができているが、積極性に欠ける。	<input type="checkbox"/> 自ら考え、行動しよう意識しているが、周囲の意見に流されやすく、実践できていない。	<input type="checkbox"/> 基本的に他人任せで、自ら考え行動しようとはしないが、不平不満は言わない。	<input type="checkbox"/> 基本的に他人任せで、自ら考え行動しようせず、不平不満が多い。
	自己管理	<input type="checkbox"/> 自己管理が行き届いており、精神的、肉体的健康を良好に保つことができている。前向きで元氣よく毎日を過ごすことができている。	<input type="checkbox"/> 自己管理ができており、精神的、肉体的健康を害することがほとんどない。	<input type="checkbox"/> ある程度自己管理することができているが、時々体調を崩したり、感情を乱すことがある。	<input type="checkbox"/> 自己管理を意識しているが、なかなかうまくできず、精神的、肉体的健康を害することがある。	<input type="checkbox"/> 自己管理意識が低く、精神的、肉体的健康を害することが多い。
		学習・探究・創造	<input type="checkbox"/> 物事に対して積極的に調べ、整理し、分析するだけでなく、新しい価値を創造することができる。	<input type="checkbox"/> 物事に対して積極的に調べ、整理し、分析することが出来るが、新しい価値を創造することができない。	<input type="checkbox"/> 物事に対する関心はあり、積極的に調べたり、考えたりすることはあるが、それらを整理し、分析することができない。	<input type="checkbox"/> 物事に対する関心はあるが、積極的に調べたり、考えたりすることは少ない。
	<input type="checkbox"/> 学ぶ意欲が旺盛で、積極的に学びに行く。自らの経験からも学び、教訓を得て、行動を変え続けることができる。		<input type="checkbox"/> 学ぶ意欲が旺盛で、積極的に他から学ぶ姿勢はあるが、自らの経験から学ぶ力に欠ける。	<input type="checkbox"/> 学ぶ意欲はあるが、積極的に他から学ぶ姿勢に欠ける。	<input type="checkbox"/> 学ぶ意欲は低いが、人に言われたことは学ぼうとする。	<input type="checkbox"/> 学ぶ意欲が低く、人から言われても学ぼうとすることがない。
② 社会参画・貢献	チームワーク	<input type="checkbox"/> 他者の考えと自分の考えを掛け合わせ、新しい価値を生み出すことができる。	<input type="checkbox"/> 他者を尊重しながら、自分の意見を言うことができるが、新しい価値を生み出すには至らない。	<input type="checkbox"/> 他者を尊重しようとするが、相手に合わせることに終始してしまい、自分の意見が言えない。	<input type="checkbox"/> 他人を困らせることは少ないが、尊重し協力しようという姿勢に欠ける。	<input type="checkbox"/> ひとりよがりな行動で、他人を困らせる。
		<input type="checkbox"/> 自らの役割を果たすことはもちろん、他者に協力し、全体としての成果を高めることができる。	<input type="checkbox"/> チーム内での自分の役割を理解しており、その責任を果たすことができているが、他者に協力ができていない。	<input type="checkbox"/> チーム内の自分の役割はわかっているが、その責任を果たすことができていない。	<input type="checkbox"/> チームに参画するが、自分の役割を理解していない。	<input type="checkbox"/> チームへの参加意識がなく、ほとんど参画しない。
	コミュニケーション	<input type="checkbox"/> 自ら明るい挨拶を積極的に行い、周囲の雰囲気良くすることができる。	<input type="checkbox"/> 自ら明るい挨拶をしているが、周囲の雰囲気良くするには至らない。	<input type="checkbox"/> 自ら挨拶をしているが、明るさに欠ける。	<input type="checkbox"/> 自ら挨拶をすることは少ないが、相手から挨拶されれば、返事はする。	<input type="checkbox"/> 自ら挨拶をすることはなく、相手から挨拶されてもきちんと返事をしない。
		<input type="checkbox"/> 相手の話を上手に引き出し、信頼関係をつくることができる。	<input type="checkbox"/> 相手が話しやすいように傾聴し、質問などもできるが、信頼関係をつくるには至らない。	<input type="checkbox"/> 相手の話を傾聴する。但し質問はしない。	<input type="checkbox"/> 相手の言葉に耳を傾けるが、積極的ではない。	<input type="checkbox"/> 相手の話に耳を傾けない。
	モラル	<input type="checkbox"/> 自らの発言を、信頼性や説得力を持たせて、わかりやすく伝えることができる。	<input type="checkbox"/> 自らの発言を相手にわかりやすく伝えることができるが、信頼性や説得力に欠ける。	<input type="checkbox"/> 自ら発言するが、自分が言いたいことがうまく相手に伝わらない。	<input type="checkbox"/> 問われれば自ら発言する。	<input type="checkbox"/> 自ら発言することもなく、問われてもきちんとした回答をしない。
		<input type="checkbox"/> 嘘や隠し事をしないだけでなく、相手のために最善の行動をとっている。	<input type="checkbox"/> 嘘も隠し事もしないが、相手のために最善の行動をとっているとは言えない。	<input type="checkbox"/> 他人に迷惑をかけることはあまりなく、嘘もつけないが、隠すことはある。	<input type="checkbox"/> 利己心で嘘をつくことがあり、時々衝動的になり他人に迷惑をかけることがある。	<input type="checkbox"/> 利己的で嘘をつくことに抵抗がなく、衝動的になって他人に迷惑をかけることが多い。
	マナー	<input type="checkbox"/> 状況(TPO)に応じてベストな対応をすることができている。	<input type="checkbox"/> 基本的なマナーは守ることができているが、状況(TPO)に応じた最適な対応はできていない。	<input type="checkbox"/> マナーが時々実践できていない。	<input type="checkbox"/> 基本的なマナーを理解しているが、実践できていない。	<input type="checkbox"/> 基本的なマナーを理解していない。
		ローカル	<input type="checkbox"/> 沖縄や地元の歴史文化時事に精通しており、地元に対して愛着をもち、貢献することができる。	<input type="checkbox"/> 沖縄や地元の歴史文化時事に関して積極的に情報収集しているが、地域に貢献することはできていない。	<input type="checkbox"/> 沖縄や地元の歴史文化時事に対して関心をもち、様々なことを知っているが、積極的に情報収集はしていない。	<input type="checkbox"/> 沖縄や地元の歴史文化時事に対して関心を持っているが、あまり知らない。
	グローバル		<input type="checkbox"/> 世界的視野で、新しい価値創造に挑んでいる。	<input type="checkbox"/> 世界のことに積極的に情報収集し、世界的視野で物事を考えることができているが、価値創造には挑んでいない。	<input type="checkbox"/> 世界のことに関心を持ち、さまざまな知識や情報を知っているが、積極的に情報収集はしていない。	<input type="checkbox"/> 世界のことに関心を持っているが、あまり知らない。
			<input type="checkbox"/> 高い語学運用力で専門的なコミュニケーションをとることができる。	<input type="checkbox"/> 外国語で日常会話ができるが、専門的なコミュニケーションはとれない。	<input type="checkbox"/> 外国語で簡単な会話ができる。	<input type="checkbox"/> 外国語の運用能力は多少あるが、会話はできない。
③ 課題対応	課題発見	<input type="checkbox"/> 文化の多様性を尊重し、それぞれを活かしながら、新しい価値創造に挑んでいる。	<input type="checkbox"/> 文化の多様性を受け入れ、尊重することができるが、多様性を活かして価値を創造できない。	<input type="checkbox"/> 文化の多様性を受け入れることができるが、尊重することができていない。	<input type="checkbox"/> 文化の多様性を受け入れようとしているが、できていない。	<input type="checkbox"/> 文化の多様性を受け入れようしない。
		<input type="checkbox"/> 問題の本質に自ら気づき、適切な課題設定をすることができる。	<input type="checkbox"/> 問題に自ら気づき、課題に落とし込むことが出来るが、本質からずれることが多い。	<input type="checkbox"/> 問題に自ら気づくことができるが、課題に落とし込むことができない。	<input type="checkbox"/> 問題に自分から気づくことはできないが、人に指摘されれば理解することができる。	<input type="checkbox"/> 問題に気づかず、人に指摘されてもわからない。
	課題解決	<input type="checkbox"/> どんな困難があっても、あきらめず、最終的に解決することができる。	<input type="checkbox"/> 問題の解決に向けて、多少の困難があってもあきらめず、粘り強く取り組む。しかし解決できないことも多い。	<input type="checkbox"/> 問題の解決に向けて取り組むが、困難にぶつかるとあきらめてしまう。	<input type="checkbox"/> 解決しようと思うが、どうしてもいわからずあきらめてしまう。	<input type="checkbox"/> 解決しようと思わない。他者の問題であって自分には関係のないことであると考え。
<input type="checkbox"/> 予想外のことが起こらないほど綿密な計画で、スピーディかつ正確に解決することができる。		<input type="checkbox"/> 緻密な計画を立てて解決に臨み、予想外の出来事にも対応できる。	<input type="checkbox"/> 緻密な計画をたてて解決に臨むが、予想外の出来事に対応することができない。	<input type="checkbox"/> ある程度の計画性をもって解決に臨むが、イレギュラーが多い。	<input type="checkbox"/> 解決策に計画性が全くなく、行き当たりばったりになってしまう。	
<input type="checkbox"/> 他者を巻き込んで解決することができる。		<input type="checkbox"/> 他人を巻き込んで解決に臨むことができるが、解決には至らない。	<input type="checkbox"/> 解決に向けた協力を仰ぐことができるが、上手に巻き込むことができない。	<input type="checkbox"/> 他人に相談するが、解決にむけた協力を仰ぐことができない。	<input type="checkbox"/> 解決に当たって、一人で抱え込んでしまい、他人に相談することがない。	

平成27年9月改訂

うりずんプロジェクト2015夏期インターンシップ事後研修 自己評価表 (集計)

大学名、学部系統、学年、性別

大学名	琉球大学	73	名桜大学	3	沖縄大学	11	沖縄国際大学	10	沖縄キリスト教短期大学	3	沖縄女子短期大学	5
学部系統	文系	78	理系	27	その他	0						
その他内訳												
学年	1年	7	2年	3	3年	93	4年	1	大学院1年	1		
性別	男性	56	女性	49								

学生数 105

回答数 106

/125

① 自立・創造

自主・自立	5	29	4	37	3	38	2	1	1	0	無回答	1
	5	22	4	49	3	30	2	5	1	0	無回答	0
自己管理	5	43	4	47	3	10	2	5	1	0	無回答	1
学習・探求・創造	5	18	4	57	3	24	2	7	1	0	無回答	0
	5	32	4	46	3	28	2	0	1	0	無回答	0

② 社会参画・貢献

チームワーク	5	26	4	53	3	25	2	2	1	0	無回答	0
	5	42	4	45	3	16	2	3	1	0	無回答	0
コミュニケーション	5	33	4	45	3	26	2	2	1	0	無回答	0
	5	33	4	45	3	24	2	3	1	0	無回答	1
	5	18	4	32	3	47	2	7	1	0	無回答	2
モラル	5	42	4	51	3	13	2	0	1	0	無回答	0
マナー	5	20	4	59	3	23	2	4	1	0	無回答	0
ローカル	5	6	4	28	3	37	2	34	1	1	無回答	0
グローバル	5	8	4	23	3	42	2	31	1	2	無回答	0
	5	3	4	11	3	36	2	46	1	8	無回答	2
	5	18	4	59	3	25	2	3	1	1	無回答	0

③ 課題対応

課題発見	5	23	4	47	3	31	2	5	1	0	無回答	0
課題解決	5	30	4	65	3	10	2	1	1	0	無回答	0
	5	2	4	39	3	47	2	17	1	1	無回答	0
	5	25	4	18	3	58	2	4	1	0	無回答	1

うりずんプロジェクト2015夏期インターンシップ 受入先企業等による学生の評価表（集計）

大学名、学部系統、学年、性別

大学名	琉球大学	73	名桜大学	3	沖縄大学	11	沖縄国際大学	10	沖縄キリスト教短期大学	3	沖縄女子短期大学	5
学部系統	文系	78	理系	27	その他	0						
その他内訳												
学年	1年	7	2年	3	3年	93	4年	1	大学院1年	1		
性別	男性	56	女性	49								

学生数 105

回答数 100

/125

①自立・創造

自主・自立	5	49	4	17	3	29	2	0	1	0	無回答	5
	5	62	4	25	3	9	2	2	1	0	無回答	2
自己管理	5	77	4	17	3	3	2	0	1	0	無回答	3
学習・探求・創造	5	43	4	44	3	7	2	1	1	0	無回答	5
	5	72	4	17	3	6	2	0	1	0	無回答	5

②社会参画・貢献

チームワーク	5	68	4	21	3	9	2	0	1	0	無回答	2
	5	78	4	14	3	5	2	1	1	0	無回答	2
コミュニケーション	5	78	4	15	3	7	2	0	1	0	無回答	0
	5	56	4	17	3	26	2	1	1	0	無回答	0
	5	72	4	18	3	8	2	1	1	0	無回答	1
モラル	5	77	4	15	3	0	2	0	1	0	無回答	8
マナー	5	49	4	45	3	0	2	1	1	0	無回答	5
ローカル	5	10	4	10	3	2	2	4	1	0	無回答	74
グローバル	5	9	4	6	3	4	2	1	1	0	無回答	80
	5	9	4	3	3	2	2	3	1	0	無回答	83
	5	12	4	6	3	0	2	0	1	0	無回答	82

③課題対応

課題発見	5	72	4	9	3	10	2	3	1	0	無回答	6
課題解決	5	71	4	14	3	5	2	0	1	0	無回答	10
	5	28	4	44	3	15	2	2	1	0	無回答	11
	5	64	4	9	3	13	2	2	1	0	無回答	12

5. 専門人材養成カリキュラムの開発 及び研修実施

5-1

平成26年度取組状況

公募要領

1. 事業名 専門人材養成カリキュラムの開発及び研修実施の委託業務
「うりずんプロジェクト～「沖縄型」インターンシップの展開～」
2. 事業の内容
 - (1) 専門人材を養成するためのカリキュラムの開発とその実施検証
 - ① 1～4年次学生に対するインターンシップを核とした体系的なキャリア形成支援カリキュラムを実行し得る専門人材を養成するためのカリキュラムを開発し、研修のための「専門人材養成テキスト」を作成する。
 - ② 開発したカリキュラムは、下記(2)に定められる研修の結果も含めた検証を経て、最終版を完成される。
 - ③ 開発方針は、部会(平成26年9月開催予定)で決定され、進捗状況等についても部会(平成26年11月及び平成27年1月開催予定)で検証が行われる。
平成26年11月以降の部会の際は必ず出席し、部会員と十分に協議を行うこと。
 - (2) 研修実施
開発したカリキュラムをもとに、研修テキストを使用して、平成26年11月、平成27年1月及び3月に「専門人材養成研修」を実施する。参加者は、幹事校である琉球大学及び連携4大学の教職員とする。
3. 企画競争に参加する者に必要な資格に関する事項
 - (1) 国立大学法人琉球大学の会計実施規程第14条の規定に該当しない者であること。
 - (2) 契約責任者から取引停止の措置を受けている期間中の者でないこと。
4. 提出種類
 - ① 企画提案書
事務連絡先(担当者名・電話番号・Eメールアドレス)についても明記すること。
 - ② 実施工程表(別紙、年度工程表を参考とすること。)
 - ③ 見積書
別紙様式に経費内訳を明示すること。
経費見積もりには、本調達に係る経費すべてを含むものとし、当該積算内訳を詳細に記載すること。(別紙：経費見積書(エクセル様式))
 - ④ 過去における関連業務の実施実績リスト
5. 提出期限
平成26年9月22日(月)17時必着

6. 提出場所並びに問合せ先

住 所：〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地
担 当：琉球大学就職センター 特命一般職員 川平敦・米澤晃子
電 話：098-895-8981（ダイヤルイン）
FAX：098-895-8119
Eメール：urizun@to.jim.u-ryukyu.ac.jp

7. 書類の提出方法

紙媒体により7部を郵送又は持参により提出すること。

（郵送の場合）

- ・簡易書留、宅配便等で送付すること。
- ・受領次第、受領通知を事務連絡先にEメールで通知する。

（持参の場合）

- ・受付時間：平日9時から17時（12時～13時除く。）

なお、書類の作成費用については、選定結果に関わらず企画提案者の負担とする。

8. 選考方法

（1）第一次選考

各社からの提出書類により書類審査を行い、選考結果を平成26年9月26日（金）までに各社担当者へEメールで連絡する。

（2）第二次選考

第一次選考に合格した業者について、必要に応じプレゼンテーションを実施してもらい、選定委員会において評価の上、委託業者を決定する。

プレゼンテーションの日時・場所は、第一次選考の合格通知と併せて通知する。

（3）審査基準

別途定めた審査基準のとおり。

（4）選定結果の通知

選定終了後、速やかに第二次合格提案者に選定結果（総合順位）を財務部経理課から担当者へEメールにて通知する。

9. 事業規模（予算）及び採択数

事業規模：1,000千円未満

採 択 数：1件

10. 契約締結

選定の結果、契約予定者と企画提案書を基に契約条件を調整するものとする。

なお、契約予定者が辞退した場合は、次点者が契約予定者となる。

1 1. 契約締結に関する問合せ先

住 所：〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地

担 当：琉球大学財務部経理課

電 話：098-895-8038（ダイヤルイン）

FAX：098-895-8052

Eメール：krdairig@to.jim.u-ryukyu.ac.jp

1 2. スケジュール

- ①公募開始：平成26年8月26日（火）
- ②企画提案書の提出期限：平成26年9月22日（月）
- ③企画提案書に関するプレゼンテーション：必要に応じ、追って連絡する。
- ④契約締結：平成26年10月3日（金）
- ⑤契約期間：平成26年10月3日（金）～平成27年3月31日

1 3. その他

事業実施にあたっては、契約書及び企画提案書等を遵守すること。

国立大学法人
琉球大学長 大城 肇



平成26年 8月 26日

仕様書

沖縄地域インターンシップ推進協議会会長
(琉球大学就職センター長)

1. 概要

本仕様書は、文部科学省平成 26 年度大学改革推進事業「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業【テーマ B】インターンシップ等の取組拡大」による、「うりずんプロジェクト ～「沖縄型」インターンシップの展開～」の実施における、専門人材養成カリキュラムの開発、及び研修実施の委託業務について定める。

2. 背景

上記事業は、大学 1～4 年次を通したインターンシップを核とした体系的なキャリア教育プログラムを開発するとともに、その実施検証を行うことを目的としている。プログラム開発に当たっては、県内大学の課題・県内産業構造・就業の課題等が十分に精査される。開発方針等については、大学コンソーシアムの 5 大学（幹事校：琉球大学、連携大学：名桜大学、沖縄大学、沖縄キリスト教学院大学及び沖縄国際大学）及び有識者等を中心としたプログラム検討協議部会（以下、「部会」とする）で決定される。開発されたプログラムは、幹事校である琉球大学に加え、連携 4 大学からも学生が参加して実施される。また年度末には、実施結果の検証が行われる。実施期間中には、新たな連携企業や連携経済団体等の発掘も行われる。これと併せて、本事業では、インターンシップを核としたキャリア教育を行い得る専門人材を養成することもその目的の一つであり、本委託はこの部分に相当する。

3. 業務内容

- (1) 専門人材を養成するためのカリキュラムの開発とその実施検証
 - ① 上記背景を踏まえ、1～4 年次学生に対するインターンシップを核とした体系的なキャリア形成支援カリキュラムを実行し得る専門人材を養成するためのカリキュラムを開発し、研修のための「専門人材養成テキスト」を作成する。
 - ② 開発したカリキュラムは、下記(2)に定められる研修の結果も含めた検証を経て、最終版を完成させる。
 - ③ 開発方針は部会（平成 26 年 9 月開催予定）で決定され、進捗状況等についても部会（平成 26 年 11 月及び平成 27 年 1 月開催予定）で検証が行われる。平成 26 年 11 月以降の部会の際は必ず出席し、部会員と十分に協議を行うこと。
- (2) 研修実施

開発したカリキュラムをもとに、研修テキストを使用して、平成 26 年 11 月、平成 27 年 1 月及び 3 月に「専門人材養成研修」を実施する。参加者は、幹事校である琉球大学及び連携 4 大学の教職員とする。

4. 協力・連携体制

本委託業務を進めるに当たり、受注者は琉球大学就職センター内に設置される「沖縄地域インターンシップ推進協議会」と十分に連携を取るものとし、毎週1回、2時間程度の定例打合せ・進捗報告を琉球大学内で行うこととする。

5. 提出書類及び提出期限

(1) 実施前（提出期限：平成26年9月22日）

- ① 企画書
- ② 実施工程表
- ③ 見積書（経費内訳を明示すること）
- ④ 過去における関連業務の実施実績リスト

なお、受注業者の選定に当たっては、選定委員会による上記提出書類の審査が行われる。

(2) 完了後（提出期限：平成27年3月20日）

完了報告書

なお、上記3.（業務内容）に関わる「専門人材養成テキスト」（完成版）については、完了報告書の一部（別冊）とすることができる。

6. 疑義

本委託業務を実施するに当たり疑義が生じた場合は、発注者・受注者双方の協議により解決することとする。

7. 本仕様書に示されない詳細事項について

本仕様書に明記されていない詳細事項については、発注者に確認の上、業務を進めること。

以上

平成27年1月23日

各位

沖縄地域インターンシップ推進協議会
【琉球大学就職センター長】
会長 松本 剛



**効果的なインターンシッププログラム開発のための研修
「大学キャリア教育専門人材養成研修」特別公開研修について（ご案内）**

拝啓 新春の候、時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

うりずんプロジェクトによるインターンシップ事業について、平素から格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

皆様におかれましては、うりずんプロジェクト春期インターンシップ学生をお受入れいただき、感謝申し上げます。

さて、沖縄地域インターンシップ推進協議会では現在、県内の大学キャリア教育やインターンシップに携わる大学教職員、行政担当者及び中間支援団体などを対象にした「**大学キャリア教育専門人材養成研修**」を実施しております。

国の動向や全国の先進事例等を基にしながら、大学、行政及び中間支援団体等に求められるコーディネート機能や役割について考え、より効果的なキャリア教育・インターンシップを推進するためのプログラム開発やコーディネートのスキル向上を目指しております。

平成27年1月28日（水）に開催される「**効果的なインターンシッププログラムの開発と運営**」では、コーディネーターとして実践型インターンシップを活用した人材育成に携わられている特定非営利法人ETIC（エティック）の伊藤淳司氏を講師としてお招きし、「**大学・企業にメリットをもたらすインターンシッププログラムの開発**」と題して午後の部（13:00～16:00）を特別公開研修とし、企業のインターンシッププログラムを作成するワークショップを開催いたします。

つきましては、別添チラシを参考の上、ご参加いただきたくご案内申し上げます。

なお、席に限りがございますので、お早めにお申し込みください。

敬具

事業主催：

H26 文部科学省事業【産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業】

【うりずんプロジェクト～「沖縄型」インターンシップの展開～】（うりずんプロジェクト）

沖縄地域インターンシップ推進協議会事務局（琉球大学就職センター内）

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地

E-mail urizun@to.jim.u-ryukyu.ac.jp

お申込み・お問い合わせ（受託業者）

担当事務局（有）オーシャン・トゥエンティワン

TEL 098-859-8742 FAX 098-859-0937

E-mail yumekanae@ocean-21.co.jp（担当者：翁長・神部）

大学キャリア教育

インターンシップ等の運営に関わる教員・コーディネーターのための

専門人材養成研修

県内
初開催
無料

【主催】沖縄地域インターンシップ推進協議会

今後ますますニーズが高まる大学キャリア教育。国の動向や全国の先進事例等を基にしながら、大学・中間支援団体・行政等に求められるコーディネート機能や役割について考え、より効果的なキャリア教育・インターンシップを推進するためのプログラム開発スキルやコーディネートスキルの向上を目指します

日時	研修内容
第1日目 11月26日(水) (終了)	大学キャリア教育の基礎的な理解と専門人材の役割 ・大学インターンシップ等における国の施策や動向について ・県内外のインターンシップ等取り組み事例 ・専門人材とは？求められる機能や役割について
第2日目 1月28日(水) (終了)	効果的なインターンシッププログラムの開発と運営 ・大学・企業にメリットをもたらすインターンシッププログラムの開発 ・インターンシップにおけるプロジェクトマネジメント(運営方法)の理解 ・事例研究ワークショップ(プロジェクトを通して起こりうる課題と解決)
第3日目 2月24日(火) 9:00-16:00 ※1時間お昼時間	インターンシッププロジェクトの設計と評価 ・インターンシップにおけるプロジェクトマネジメント(運営方法)の理解 ・大学キャリア教育・インターンシップにおける「評価」の考え方 ・研修全体のまとめ・ふりかえり

対象

- ✓ 大学教員・就職課等担当者
- ✓ 行政担当者
- ✓ 中間支援団体コーディネーター
- ✓ 企業の人事担当者
- ✓ その他大学キャリア教育に携わる方

場所

琉球大学研究者交流施設・
50周年記念館 1階多目的室

※研修内容は、進行状況等により一部変更になることもございます。ご了承ください。



講師：伊藤 淳司

特定非営利法人ETIC.(エティック)

チャレンジ・コミュニティ・プロジェクトマネージャー

- ✓ 1997年からETIC.に参画し、コーディネーターとして実践型インターンシップを活用した人材育成、少数精鋭組織のコンサルティングに関わる。
- ✓ 2004年から「若者×経営者×地域=挑戦が生まれる日本」を目指すチャレコミプロジェクトに参画。その他、社会起業家予備軍の成長過程におけるプロセス評価分析、行政・地方自治体とのリーダー育成協働プロジェクト、大学との実践型カリキュラム開発も担当。早稲田大学MBA取得。

申込み ⇒ 【FAX】098-859-0937 【メール】yumekanae@ocean-21.co.jp (事務局：(有)オーシャン21)

大学名・所属団体名 (部署名)	TEL :
	FAX :
	住所 :
参加者氏名1 :	役職・担当部署等 :
参加者氏名2 :	役職・担当部署等 :

※ご記入いただきました個人情報につきましては、【沖縄地域インターンシップ推進協議会】にて責任をもって管理し、本事業の目的以外には利用いたしません。
※2名様以上のご参加の場合は、本用紙をコピーをしご活用下さい。また、メールでのお申込みもご活用ください。

大学キャリア教育専門人材養成研修(第1回)

■ 実施概要

研修名	大学キャリア教育専門人材養成研修(第1回)
日時	平成26年11月26日(水) 13:30~17:00
場所	琉球大学共通教育棟1号館2階大会議室

■ 次第

1) 開会の挨拶

沖縄地域インターンシップ推進協議会事務局 会長 松本剛
(幹事校琉球大学就職センター センター長)

2) 研修

(講師: NPO 法人 ETIC. チャレンジ・コミュニティ・プロジェクトマネージャー伊藤淳司)

13:30~14:00 自己紹介・問題意識の共有

14:00~15:15 各大学の取組み、中間支援機関のプログラムを知る

15:15~15:30 休憩

15:30~16:00 話題提供(専門人材とは?他地域の事例紹介・国の政策の動向)

16:00~16:30 ミニ・プロジェクト設計ワークショップ(ケーススタディ)

16:30~17:00 Q&Aセッション・次回のお知らせ・アンケート記入

■ 研修研修内容

事務連絡

- ・事前課題の提出
- ・次回研修会について(ファイルの取組み)

■ 配布資料

事務局配布資料

- ・[研修概要] 大学キャリア教育専門人材養成研修(概要チラシ)
- ・[案内] うりずんPJ 春期インターンシップフェア2015(チラシ)
- ・[案内] 「沖縄の未来を担う人材」を明らかにするワークショップ(チラシ)
- ・[案内] 『沖縄キャリア教育 EXP02014』(チラシ)

講師配布資料

- ・[研修資料] スライド資料
- ・[研修資料] 『教育的効果の高いインターンシップ・プログラム評価シート
(「中国四国地区産業界のニーズに対応した協働型人材育成事業」)
- ・[テキスト] 『教育的効果の高いインターンシップ実践のためのコーディネーターガイドブック』
- ・[テキスト] 『成長する企業のためのインターンシップ活用ガイド(基本編)』
- ・[テキスト] 『成長する企業のためのインターンシップ活用ガイド(活用編)』

■ 研修内容

1) 自己紹介と問題意識の共有 (13:30-13:45)

© 2014 ETIC. All rights reserved.

インターンシップ等の運営に関わる教員・コーディネーターのための
大学キャリア教育 専門人材養成研修 第1回

「大学キャリア教育の基礎的理解と専門人材の役割」
～企業にもメリットがある教育的効果の高い
「実践型」インターンシップと学内専門人材の役割・国の施策と動向～

2014年11月26日(水) 13:30～17:00@琉球大学
沖縄地域インターンシップ推進協議会

文部科学省「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」テーマB

NPO法人ETIC (エディック)
チャレンジ・コミュニティ・プロ
ジェクト
マネージャー 伊藤 洋司
i@etic.or.jp

■自己紹介

伊藤 洋司 (いとう じゅんじ)
NPO法人ETIC (エディック) チャレンジ・コミュニティ・プロジェクト 事務局 マネージャー

伊藤 洋司は、2007年10月にETICを設立。現在は、産業界と連携した大学キャリア教育の推進、産業界と連携したインターンシップの推進、企業にもメリットがある教育的効果の高い「実践型」インターンシップと学内専門人材の役割・国の施策と動向について研究している。

ETICは、産業界と連携した大学キャリア教育の推進、産業界と連携したインターンシップの推進、企業にもメリットがある教育的効果の高い「実践型」インターンシップと学内専門人材の役割・国の施策と動向について研究している。

ETICは、産業界と連携した大学キャリア教育の推進、産業界と連携したインターンシップの推進、企業にもメリットがある教育的効果の高い「実践型」インターンシップと学内専門人材の役割・国の施策と動向について研究している。

- ・ 研修の目的の共有
- ・ 講師の紹介
(伊藤洋司氏、瀬沼希望氏)
- ・ 参加者同士で自己紹介
6分間で会場中を歩き回り参加者同士で自己紹介をした。

■自己紹介&問題意識の共有

1. A4の紙に、マジックで大きく記入→同じものを記入してください！(2分)

氏名・所属・お立場
自分キャッチコピー
(10-15文字程度)
今日、絶対持ち帰りたいこと

■自己紹介&問題意識の共有

6分間

- ・ 6分間で、会場中を歩き回って、より多くの方と自己紹介をしてください！
- ・ お手元の紙は、裏面を夕方の振り返りで使用しますので、大事に保管しておいてください。



2) 各大学・中間支援機関のプログラムの特徴と強みを知る (13:45-15:00)

■他大学・中間支援機関のプログラムの特徴と強みを知る！

■事前課題
1. 自大学または自身を取り組むインターンシッププログラムの概要を以下の項目についてまとめる。
→5部コピーして持参。(ワードで2-3枚程度にまとめる)
プログラムの名称と目的
プログラムの概要(事前研修・事後学習、実習内容、実習中のフォロー方法等)
学内での位置づけ(単位認定の有無、所管など)
これまでの参加者数(学年含む)、参加企業数の推移
- 本来の実施目標人数と現状の実施人数
- 代表的な受け入れ企業と実習内容紹介(2事例程度)
- 学生への周知の仕組み(学生向けのチラシ等あったら持参)
- 単位認定の仕組み
- ここは一押し！(工夫している、他大学にも真似て欲しい等)
- 課題や今後の展望

2. 添付の評価項目を読んでる

■他大学・中間支援機関のプログラムの特徴と強みを知る！

■グループ内で各大学の取組みを説明、共有(1名10分ごと)

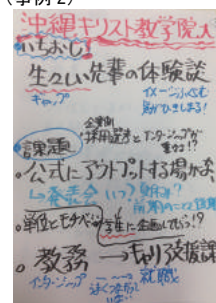
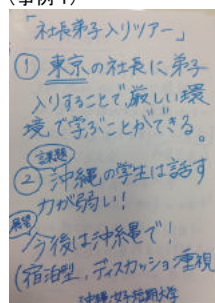
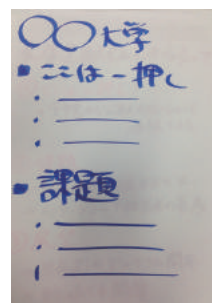
■説明している右隣の方が、聞きながら以下をまとめてます。

■下記をA4で1枚に、まとめてます。
①ここは一押し！(工夫している、他大学にも真似て欲しい等)
②課題や今後の展望

■グループメンバーの枚数分だけ、A3の紙が完成します。

- 参加者には以下の項目等を事前課題として取り組んでもらった。
- ・ 学内での位置づけ
 - ・ 本来の実施目標人数と現状の実施人数
 - ・ 代表的な受け入れ企業と実習内容紹介(2事例程度)等

グループワークで各大や中間支援組織における「ここは一押し」「課題」を共有しました。



- 様々な事例を共有した。
- ここは一押し！
 - ・ 東京の社長に弟子入りすることで厳しい環境で学ぶことができる。
 - ・ 先輩の体験談を聞く場を設ける。
 - 課題
 - ・ 沖縄の学生は話す力が弱い。
 - ・ 発表会などの公式にアウトプットする場がない。

2 研修内容

3) 15:10~15:50 話題提供（専門人材とは？他地域の事例紹介・国の政策の動向等）

■国の政策から見る、実践型教育カリキュラムの拡がり © 2014 ETC. All rights reserved.

地域・海外と連携をした実践的教育カリキュラムが急速に加速。大学・学生・地域（企業、海外等）を繋ぐコーディネーターがより必要に。

- 4つの大学への産学連携強化（伊吹・グローバル・A5理工・社会人の学び直し）
- インターンシップ実習学生数を2%~50%増（産業界の連携、文科省）
- インターンシップに関する取組事業（経産省・文科省）
 - 「産学連携によるインターンシップのあり方に関する調査」(H24・次頁参照)
 - 「教育的効果の高いインターンシップに関する調査」(H24・次頁参照)
- 産業界ニーズGP事業（H27・14頁参照）
 - 企業での学び直し、教育的効果の高いインターンシップの拡充
- COC事業～地（市）の拠点COCクラス～（H27・14頁参照）
 - 大学の特色を活かし、地域の特色を活かして産学連携、地域の中小企業やベンチャー企業、NPO等との連携の強化を促す
- 「1と2と3」留学ジャパン 企業体験プログラム」（官民協働海外留学支援制度）
 - 海外留学の促進へ、民間から100名の奨励金を奨学金へ
 - 実習先海外留学の推進、海外インターンシップ等の実践体験を推進
 - 「就職力アップ」の取組強化（海外インターンシップ等海外実習事業―事後インターン）
- 「学業の多様化とキャリアアップに関する検討会議」
 - 大学・大学院への入学支援
- 大学教育再生加速プログラム（AP）（H27・28頁参照）
 - アジア・グローバル・IPNL、JAL、JAF、JAF、国際機関・自治体、FQSD（海外）等
 - 高度外国学生プログラム（H27）の実施（1年以内の外国学生受け入れ促進）
 - 地方創生（まち・ひと・しごとづくり）×人材育成！？

インターンシップの位置づけを知り、具体的に実行するためのガイドブック © 2014 ETC. All rights reserved.

質と量の拡大に「専門人材（コーディネーター）」の存在が必要不可欠と3省合意にも記載。専門人材向け、企業向けガイドブックも創刊！

- 教育的効果の高いインターンシップの普及に関する調査（平成24年度 調査事業名：NPO&A.ETC.）

以下、ダウンロードできます。

http://www.met.go.jp/policy/economy/izai/in/inter.htm

「教育的効果の高いインターンシップ実践のためのコーディネーターガイドブック」(PDF形式：47KB) PDFファイル

「企業向けインターンシップ実践のためのコーディネーターガイドブック」(PDF形式：12MB) PDFファイル

「産学連携によるインターンシップのあり方に関する調査（平成24年度 調査事業名：NPO&A.ETC.）」(PDF形式：12MB) PDFファイル

以下、ダウンロードできます。

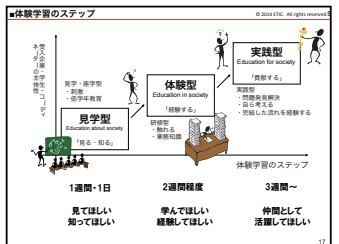
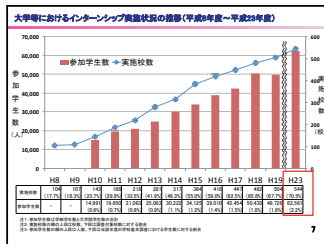
http://www.met.go.jp/policy/economy/izai/in/inter.htm

「産学連携によるインターンシップのあり方に関する調査（平成24年度 調査事業名：NPO&A.ETC.）」(PDF形式：12MB) PDFファイル

「産学連携によるインターンシップのあり方に関する調査（平成24年度 調査事業名：NPO&A.ETC.）」(PDF形式：12MB) PDFファイル

・地域、海外と連携した実践型教育カリキュラムが急速に加速している。大学、学生、地域（企業、海外等）を繋ぐコーディネーターがより必要となってくる。

・見学型、体験型、実践型の体験学習のステップがある。



4.) 15:50~16:40 意見交換会（①～④のテーマ）

■意見交換会 © 2013 ETC. All rights reserved.

■意見交換会（テーマ例）

- ① 沖縄地域の専門人材の役割と育成方法
- ② 意欲の低い学生を含めて参加学生を増やすには？
 - 12月のマッチングイベントにどのように集客するか？マッチングイベント後のフォロー集客方法は？具体的なアクションプランを洗い出す。
- ③ 効果的な学生向け事前研修の方法を考える！
 - 12月に全プログラム共通合同で事前研修をすることしたら？どんな内容があり得るか？どんな効果があるか？
- ④ 効果的な受け入れ企業向け事前研修を考える！
 - 1-2月に全プログラム共通合同で企業向け事前研修をすること

- ① 専門人材の役割と育成方法
- ② 意欲の低い学生を含め参加学生を増やすには？
- ③ オリオンビール様へのインターン提案
- ④ 意欲の低い学生を参加させるには？



5.) 16:40~17:00 Q&A・次回のお知らせ・アンケート記入

■振り返り © 2014 ETC. All rights reserved.

- ① 「今日の最大の学び・気づき」
- ② 次回の研修で知りたいこと、やってみたいこと

・A4の紙に、マジックで記入
・名前も記入してください。

地域とコトを一緒に起こすために具体的に動いてみる。

- 地域ベンチャー留学（大学生対象）
- 地域課題の解決に挑戦する地域インターンシップ
- 地域イノベーション育成アカデミー
- 地域と自分の将来を地域の現場から考える短期集中プログラム
- 地域（若）づくりコーディネーター
- 全国40地域の地域コーディネーターが200名集結。
- 地域コーディネーター全国研修会



■ アンケート結果

講師の指示により以下の2項目でアンケートを行った。

① 今日の最大の学び・気づき ② 次回の研修で知りたいこと・やってみたいこと

回収数 24/出席者数 30名

属性	性別	① 今日の最大の学び・気づき	② 次回の研修で知りたいこと・やってみたい事
大学 就職課	男性	インターンシップにどんな方々が関わっておられるのかを知る事が出来ました。	工学系を担当しているの、「大学での学びを試したい」という気持ちを大切にしたいと考えています。この点、企業の方の意見を伺いたいと思います。
大学 教授	女性	企業側・大学側での連携の取り方等、今だからこそ出来るものだと感じました。(以前やっていたが、効果薄かった)	具体的に企業側の意向を伺ってみたい。
大学	女性	他大学のインターンシップの状況と課題の共有。学内部署横断的連携を検討するきっかけが必要。	実践型インターンの事例
大学	男性	プロジェクトがたインターンシップについて考える事ができた。学生、企業が「本気」という話だが、大学などの教育機関も参画・協力・支援していくこと。	次回は、県外の事前事後研修、インターンシップの実際を知りたい企業、中間支援団体、大学のそれぞれが抱える課題について知りたい。
大学	女性	実習に送り込む時点で学生を MAX の状態にして「来年も来てもらいたい」と企業に思ってもらうための事前研修を考える。(学生のためになる)	うりずんプロジェクトが発足した際の形を少しでも知りたい。
大学	男性	効果的なインターンシップ推進のためには、中間支援団体が間に入って、企業と大学に腹を割ってよく話し合うべき。	専門人材養成のためのテキストボックスとして既存の物の紹介、その適用事例が必要。
大学	男性	参加メンバーの自由な発想に触れられたことが新鮮で良かった。キャリア教育(出口)の問題はこれまで大学が看過してきた分野であり、大学教育が有益な人材にその目的があったのに、それをしてこなかった点があげられている。学士力から社会人基礎力の養成が望まれるところである。	社会に役立つ人材の育成事例について色々聞きたい。
中間支援 (企業)	女性	学校側の取り組み、工夫を理解できた。受け入り企業としてプログラムの重要性を大切に。	沖縄における特徴と課題に対する導入方法。
中間支援 (企業)	男性	これまで企業人事の立場ではインターンはキャリア支援課が担当部署だと思っていたが、実は教務課担当であることが分かり、ターゲットが違っていることに気づいた。	大学教育におけるインターンの位置が各大学でどのようになっているのか個別に分かれれば参考になり有り難い。大学と企業がインターンについての考え方を本音で意見交換してみた。
中間支援 (企業)	男性	必修のインターンシップにおける大学教職員の不可の大きさより効率効果的な仕組みを考えたい。	・大学連携、企業、大学間連携で現状の業務をどう効率・効果的に改善していけるかを考えたい。 ・協議会の継続的な運営の仕組みについて
中間支援 (企業)	女性	様々な立場の人が集まるとたくさんの相ディが生まれる。社員研修のためのインターンがあったこと。	・沖縄の特性を生かしたインターン ・大学×企業×専門機関+学生
中間支援 (企業)	男性	沖縄ならではの地域の課題を探し「価値」をつけるという行動と挑戦。	参加します。

中間支援 (企業)	女性	大学、学生、企業、中間支援者、それぞれの立場できちんとした目的を持って取り組まないといけない重要さが分かりました。インターンシップ。とても有意義なキャリア教育だと思うので、今後の取り組みが楽しみです。	企業のメリットになるインターンシップとして、いろいろなパターンをもっと知りたい。
中間支援 (企業)	男性	三方よしのインターンシップは自然に広がる。	・プログラム ・支援者の継続
中間支援 (企業)	女性	インターンシップ実施学生が2%しかいないこと。良いものは勝手に広がるはずだけど、そうならないことには理由・問題があること。今後は私自身ももっと発信していこうと思いました。	インターンシップの面白い魅力的なプログラム設計の仕方。
中間支援 (企業)	女性	実践型インターンシップの例にあった受け入れ企業側の「仮説」がしっかりあるかないかで、プログラム内容の充実度が大きく違うということ。	事例をもう少し知りたい。受け入れ企業の「仮説」を聞きとるポイントなど。
中間支援 (企業)	男性	全ての人が満足するインターンが重要。(学生、大学、企業)	学生のモチベーションの上げ方について。
中間支援 (NPO)	女性	大学生も大人も本気で向き合い仕事(インターン)すること。沖縄は観光立県のため人の出入りが多い。そのような地域資源も活用しつつ、学生の選択肢を広げる国際的に活躍できる人財となれば嬉しい。	インターンの評価指標制度などに関してあれば知りたい。
行政	男性	各地での事例や動きを知ることができたこと。続けていくためには、企業に価値を見出してもらう必要があることを改めて認識しました。	インターンシップを行政への支援がなくなっても続けていくための仕組みづくり。
行政	女性	県内各大学の取り組みや課題、事業所、企業の方々のISへの中身を知ることが出来、とても有意義な一日でした。	リターンやIターンに対する学生への支援や企業への取り組み等の話し合いが出来ればと思います。
行政	女性	魅力あるインターンシップにするために様々な立場の方々とお話ができ、みなさまの愛を感じました。どちらの立場(企業=学生)でも充実できるシステムを考えていきたいです。	コーディネーター業務を具体的に考えてみたい。それを地域に広まったらどんなに良いだろうかとワクワクしています。
行政	女性	様々な立場から意見やアイデアが飛び交う中で生まれてくるものはやはり貴重だと感じました。このような場が地域と企業、教育機関、そして行政へ働きかけていくきっかけになると改めて思いました。	また様々な視点からの意見交換ができると面白いと感じます。
企業	女性	仮説がないとだめ。つくってプレゼンしてテストしてこれがあると楽しい。	・企業向け事前研修 ・学生の意欲を高めること
行政	男性	インターンシップの重要性 インターンシップの専門性 コーディネートの必要	効果的なプログラムの事例インターンシップに参加した学生をどこまでいつまでフォローするか？プロセスを意識した学生企業への支援は？

5-2

平成27年度取組状況

平成27年5月25日

仕 様 書

沖縄地域インターンシップ推進協議会会長
(琉球大学就職センター長)

1. 件名

「専門人材養成カリキュラム開発、及び専門人材養成研修実施」

2. 概要

本仕様書は、文部科学省平成27年度「大学教育再生加速プログラム（インターンシップ等を通じた教育強化）」による、「うりずんプロジェクト ～「沖縄型」インターンシップの展開～」の実施における、専門人材養成カリキュラムの開発、及び専門人材養成研修実施の委託業務について定める。

3. 背景

上記事業は、大学1～4年次を通じたインターンシップを核とした体系的なキャリア教育プログラムを開発するとともに、その実施検証を行うことを目的としている。

プログラム開発に当たっては、県内大学の課題、県内産業構造、就業の課題等が十分に精査される。開発方針等については、大学コンソーシアムの5大学（幹事校：琉球大学、連携校：名城大学・沖縄大学・沖縄キリスト教学院大学及び沖縄国際大学）及び有識者等を中心としたプログラム検討協議部会（以下、「部会」とする）で決定される。開発されたプログラムは、幹事校である琉球大学に加え、連携4大学及びその他の協力校（沖縄女子短期大学・沖縄県立芸術大学・沖縄キリスト教短期大学）からも学生が参加して実施される。また年度末には、実施結果の検証が行われる。実施期間中には、新たな連携企業や連携経済団体等の開拓も行われる。

これと併せて、本事業では、インターンシップを核としたキャリア教育を行い得る専門人材を養成することもその目的の一つであり、本委託はこの部分に相当する。

4. 業務内容

(1) 専門人材を養成するためのカリキュラムの開発とその実施検証

- ① 上記背景を踏まえ、1～4年次学生に対するインターンシップを核とした体系的なキャリア形成支援プログラムを実行し得る専門人材を養成するためのカリキュラムを開発すること。

- ② 開発したカリキュラムは、下記（２）に定める研修に使用し、またその結果も含めた検証を経て、逐次見直しを行うこと。
- ③ 平成２６年度の成果物「大学キャリア教育専門人材養成テキスト」には、「大学におけるキャリア教育専門人材の業務と役割」の章に、「キャリア教育専門人材の機能と業務」及び「キャリア教育プログラムの全体設計」に関する記載があり、専門人材の業務について項目が列挙されている。本件で開発するカリキュラムにはこれらの個々の業務について具体的な手順を全て網羅すること。
- ④ 専門人材には、「管理者」「教員」「キャリア支援担当職員」の３つのタイプがあるとされる。これらの各タイプの専門人材が担うべき分担事項、及びこれらの３タイプの連携体制・方法等についても、本カリキュラムで扱うこと。
- ⑤ 開発方針は部会（平成２７年５月開催予定）で決定され、それ以降の部会では進捗状況等について検証が行われる。従って、部会には必ず出席し、部会員と十分に協議を行うこと。
- ⑥ 最終的な成果物として、上記の内容を含む「専門人材養成テキスト」を提出すること。
- ⑦ ⑥のテキストは、（２）に定める研修に参加して専門人材となった者が後継者（新たに大学のキャリア支援部署に配属になった職員等）を養成する際にも使用することを踏まえた体裁とすること。
- ⑧ ⑥のテキストは、文部科学省の補助事業により作成されることに鑑み、大学（幹事校・連携校・協力校以外の大学を含む）での専門人材養成のためのテキストとして自由に複製して使用することに同意すること。

（２）研修実施

- ① 開発したカリキュラムをもとに研修テキストを作成し、これを使用して、平成２７年度中に「専門人材養成研修」を計５回実施すること。
- ② 各回の研修事項については、受注者が任意に計画することができる。但し、全５回を通して、上記（１）の③及び④の事項を全て網羅すること。
- ③ 研修参加者は、幹事校・連携校・協力校の「管理者」「教員」「キャリア支援担当職員」の立場の職員とする。また、他大学、キャリア支援担当の関連行政機関、中間支援団体、民間企業人事・研修担当部課（インターンシップ受入側）からも参加することがある。

５． 協力・連携体制

本委託業務を進めるに当たり、受注者は琉球大学就職センター内に設置される「沖縄地域インターンシップ推進協議会」事務局と十分に連携を取るものとし、原則として毎週１回、２時間程度の定例打合せ・進捗報告を琉球大学内で行うこと。

６． 提出書類及び提出期限

(1) 実施前 (提出期限：平成27年6月12日)

- ① 企画書
- ② 実施工程表
- ③ 見積書 (経費内訳を明示すること)

(2) 完了後 (提出期限：平成28年3月22日)

完了報告書

なお、上記4.(業務内容)に関わる「専門人材養成テキスト」(完成版)については、完了報告書の一部(別冊)とすることができる。

7. 疑義

本委託業務を実施するに当たり疑義が生じた場合は、発注者・受注者双方の協議により解決することとする。

8. 本仕様書に示されない詳細事項について

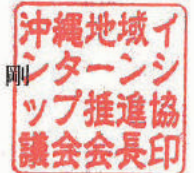
本仕様書に明記されていない詳細事項については、発注者に確認の上、業務を進めること。

以上

平成27年 7月 2日

インターンシップ担当者
連携校・協力校 キャリア教育担当者
沖縄地域インターンシップ推進協議会委員
推進協議会下に置く各部会・部会員 各位

沖縄地域インターンシップ推進協議会
会長 松本 剛
(琉球大学就職センター長)



インターンシップに関連する専門人材養成研修への参加について (ご案内)

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

インターンシップ等の実施について、平素より格別のご理解とご高配を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、沖縄地域インターンシップ推進協議会では、「体系的なキャリア教育プログラムの開発および評価手法の開発」、「専門人材養成カリキュラム開発」を有限会社オーシャン・トゥエンティワンに委託しており、昨年度は「大学キャリア教育専門人材養成テキスト」を成果物として提出していただきました。今年度はこのテキストを基に、下記の通り「専門人材養成研修」を5回のプログラムに分けて実施いたします。できるだけ多方面のご意見が各内容に反映されますよう、多数の方のご参加を必要としております。また「専門人材養成研修」を受けて、最終的に指導テキストを完成する予定でございます。

つきましては、キャリア教育及びインターンシップ担当者の皆様にご参加をお願いするとともに、関係者への周知も併せてお願いいたします。ご多忙のこととは存じますが、万障お繰り合わせの上ご出席くださいますようご案内申し上げます。

敬 具

記

第1回… 7月15日(水) 10:00~16:00 琉球大学 大学会館3階 特別会議室
第2回… 8月11日(火) 10:00~16:00 琉球大学 共通教育棟2階 大会議室
第3回… 9月 8日(火) 10:00~16:00 琉球大学 共通教育棟2階 大会議室
第4回… 11月10日(火) 10:00~16:00 琉球大学 共通教育棟2階 大会議室
第5回… 1月19日(火) 10:00~16:00 琉球大学 50周年記念館 多目的室

※詳しくは別添のチラシをご覧ください。

※お申し込みは、有限会社オーシャン・トゥエンティワン様へ直接お願いいたします。

※TEL 098-859-8742 Email yumekanae@ocean-21.co.jp (担当者: 神部 愛)

【担当】沖縄地域インターンシップ推進協議会事務局
(琉球大学就職センター内)
インターンシップ・コーディネーター 川平 敦・外間 裕子
事務補佐員 早川 杏里
〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地
電話 098-895-8981
FAX 098-895-8119
E-mail urizun@to.jim.u-ryukyu.ac.jp

大学キャリア教育9

県内
初開催
無料

インターンシップ等の運営に関わる教員・コーディネーターのための

専門人材養成研修

【主催】沖縄地域インターンシップ推進協議会

今後ますますニーズが高まる大学キャリア教育。国の動向や全国の先進事例等を基にしながら、大学・中間支援団体・行政等に求められるコーディネート機能や役割について考え、より効果的なキャリア教育・インターンシップを推進するためのプログラム開発スキルやコーディネートスキルの向上を目指します

緊急開催！夏のインターンシップ魅力化ポイント&効果的に進める実践講座

1. 受け入れ企業の生の声から導入目的と対象学生を体感する！
2. 多様なインターンシップの種類と目的、プログラムの設計方法について
3. 受け入れが効果的になる各種フォーマットを開発しよう！
4. コーディネーターを活用しよう

全5回
コース

初回 **7月15日(水)** 10時～16時

場所：琉球大学 大学会館3階 特別会議室

2回目以降の詳細は裏面をご覧ください

対象

- ✓ 大学教員・就職課等担当者
- ✓ 行政担当者
- ✓ 中間支援団体コーディネーター
- ✓ 企業の人事担当者
- ✓ その他大学キャリア教育に携わる方

場所

琉球大学内

※会場の詳細は、裏面を参照ください

※研修内容は、進行状況等により一部変更になることもございます。ご了承ください。



講師：伊藤 淳司

特定非営利法人ETIC. (エティック)

チャレンジ・コミュニティ・プロジェクトマネージャー

- ✓ 1997年からETIC.に参画し、コーディネーターとして実践型インターンシップを活用した人材育成、少数精鋭組織のコンサルティングに関わる。
- ✓ 2004年から「若者×経営者×地域=挑戦が生まれる日本」を目指すチャレコミプロジェクトに参画。その他、社会起業家予備軍の成長過程におけるプロセス評価分析、行政・地方自治体とのリーダー育成協働プロジェクト、大学との実践型カリキュラム開発も担当。早稲田大学MBA取得。

申込み ⇒ 【FAX】098-859-0937 【メール】 yumekanae@ocean-21.co.jp (事務局：(有)オーシャン21)

大学名・所属団体名 (部署名)	TEL :
	FAX :
	住所:
参加者氏名1:	役職・担当部署等:
参加者氏名2:	役職・担当部署等:

※ご記入いただきました個人情報につきましては、【沖縄地域インターンシップ推進協議会】にて責任をもって管理し、本事業の目的以外には利用いたしません。
※2名様以上のご参加の場合は、本用紙をコピーをしご活用下さい。また、メールでのお申込みもご活用ください。

2015 専門人材養成研修スケジュール

産学官一体となった専門人材育成講座を開催し、大学関係者の意識改革、企業関係者へのインターンシップ導入の普及啓発を行う

研修テーマ	研修日程・時間	主な対象	研内内容
インターンシップの基礎の理解	7/15(水) (10:00～16:00) 琉球大学3階 学生会館	大学関係者 経営者・人材育成担当者 コーディネーター	<p>インターンシップの基礎的な理解と専門人材の役割</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. プロジェクトベース若手人材活用事例の紹介 2. 事例内容の深掘り 3. インターンシップ及び専門人材の必要性 4. 専門人材の役割と機能、研修領域の理解 5. 各受入企業(大学)のプロジェクトテーマ設定 6. 研修内容の振り返り
	8/11(火) (10:00～16:00) 琉球大学 共通教育棟2階 大会議室	大学関係者 経営者・人材育成担当者 コーディネーター	<p>インターンシップの具体的運営方法とメリットの理解</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. インターンシップにおけるプロジェクトの理解 2. プロジェクトマネジメント(運営方法)のプロセスの理解 3. 受入企業の現状把握 (顧客、ビジネスモデル、経営理念、挑戦したいこと、課題) 4. プロジェクトテーマ設定 5. 事例研究ワークショップ(プロジェクトを通して起こりうる課題と解決) 6. 研修内容の振り返り
インターンシッププロジェクトにおけるプロジェクトマネジメント基礎編	9/8(火) (10:00～16:00) 琉球大学 共通教育棟2階 大会議室	大学関係者 経営者・人材育成担当者 コーディネーター	<p>インターンシッププロジェクトの設計と準備</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. プロジェクトマネジメントと人材育成 (目標設定、仮説設定、行動計画の設定) 2. 事例研究ワークショップ(プロジェクトを通して起こりうる課題と解決) 3. 研修内容の振り返り
インターンシッププロジェクトにおけるプロジェクトマネジメント実践編	11/10(火) (10:00～16:00) 琉球大学 共通教育棟2階 大会議室	大学関係者 経営者・人材育成担当者 コーディネーター	<p>[特にインターンシップ受け入れ等の実践に取り組み始めた企業・大学等対象]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. プロジェクト進捗ワークショップ(現状共有、プロジェクト進捗場の課題) 2. モニタリング内容の共有と課題化、メンタリング方法の修正、目標再設定、メンタリング計画修正 3. 若手人材向け中間集合研修の設計(中間集合研修の考え方、運営方法、人材定着化への活かし方) 4. 研修内容の振り返り
プロジェクトの振り返りと再設計	1/19(火) (10:00～16:00) 琉球大学 50周年記念館	大学関係者 経営者・人材育成担当者 コーディネーター	<ol style="list-style-type: none"> 1. プロジェクト成果の確認 (プロジェクト目標に対する達成度と課題の確認、挑戦機会の質の確認) 2. 内部成果の確認(人材育成成果、組織変革) 3. 若手人材向け振り返り研修の設計 (人材定着化のための振り返りと意味付けのポイント、運営方法) 4. 次期プロジェクトの枠組み設計ワークショップ 5. 研修内容の振り返り



2015 専門人材養成研修の実施状況（第1～3回）

参加者・名簿

	企業・団体・大学名
1	株式会社沖縄債権回収サービス
2	全保連株式会社
3	株式会社りゅうせきビジネスサービス
4	株式会社 JTB 沖縄
5	琉球インタラクティブ株式会社
6	株式会社ルーツ
7	公立大学法人名桜大学
8	株式会社御菓子御殿
9	和歌山大学キャリアセンター
10	沖縄女子短期大学
11	国立大学法人琉球大学

【参加者 内訳】

	企業・団体数			参加者数(人)		
	7/15(水)	8/11(火)	9/8(火)	7/15(水)	8/11(火)	9/8(火)
企業	6	3	5	9	5	7
大学	3	2	3	7	5	7
行政機関	0	0	0	0	0	0
合計	7	5	8	14	10	14

専門人材養成研修の様子

平成27年7月15日(水) 第1回「インターンシップの基礎的な理解と専門人材の役割」

講師 特定非営利活動法人ETIC. チャレンジ・コミュニティ・プロジェクト

マネージャー 伊藤 淳司 氏

コーディネーター 瀬沼 希望 氏



平成27年8月11日（火）第2回「インターンシップの具体的運営方法とメリットの理解」

講師 特定非営利活動法人ETIC. チャレンジ・コミュニティ・プロジェクト

マネージャー 伊藤 淳司 氏

コーディネーター 瀬沼 希望 氏



平成27年9月8日（火）第3回「インターンシップ・プロジェクトの設計と準備」
講師 株式会社ルーツ 新垣 潤一 氏



2015 専門人材養成研修の実施状況（第4回）

参加者・名簿

	企業・団体・大学名
1	株式会社沖縄債権回収サービス
2	全保連株式会社
3	株式会社りゅうせきビジネスサービス
4	株式会社 JTB 沖縄
5	琉球インタラクティブ株式会社
6	株式会社ルーツ
7	公立大学法人名桜大学
8	株式会社御菓子御殿
9	和歌山大学キャリアセンター
10	沖縄女子短期大学
11	国立大学法人琉球大学

【参加者 内訳】

	企業・団体数				参加者数(人)			
	7/15 (水)	8/11 (火)	9/8 (火)	11/10 (火)	7/15 (水)	8/11 (火)	9/8 (火)	11/10 (火)
企業	6	3	5	5	9	5	7	7
大学	3	2	3	2	7	5	7	3
行政機関	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	9	5	8	7	16	10	14	10

平成27年11月10日（火） 第4回専門人材養成研修

【AM】 10:00～12:40

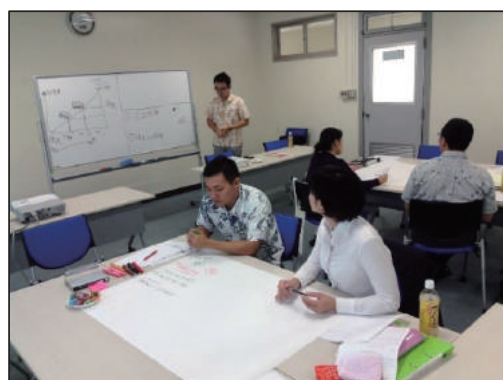
株式会社ルーツ野中さんによる長期実践型インターンシップの実践報告

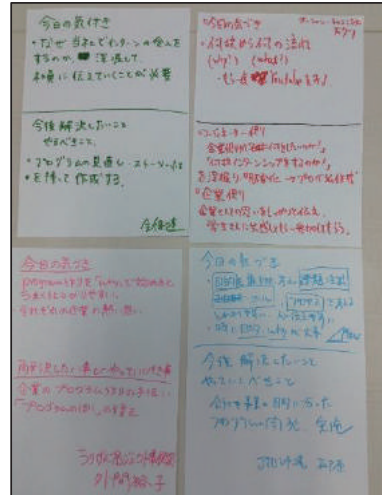
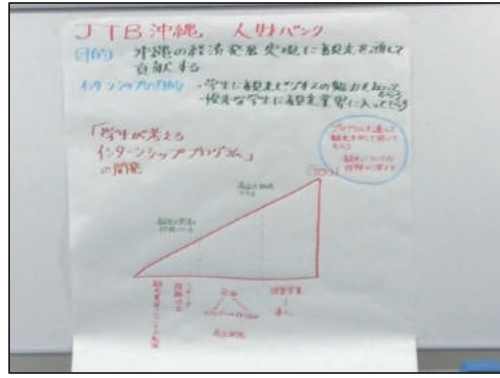
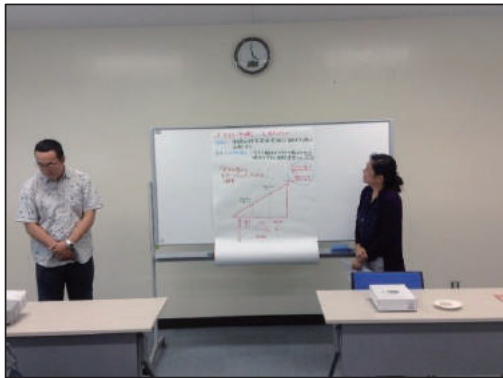
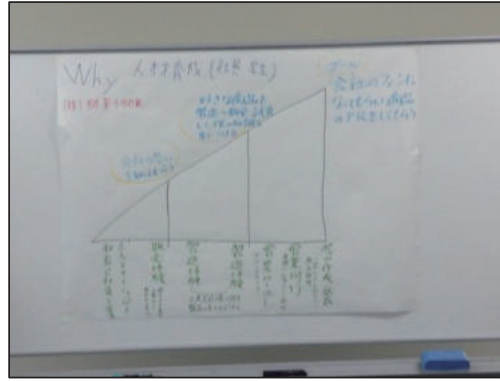
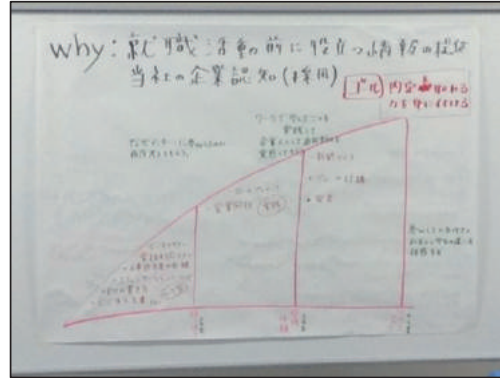
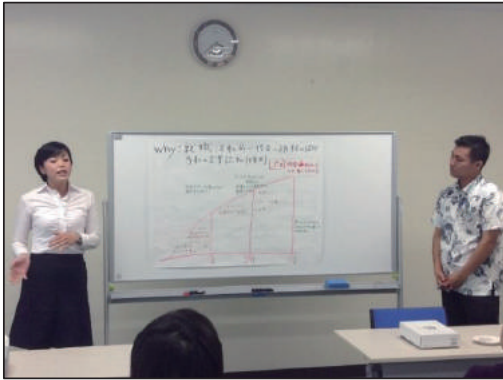
- ・参加者の受入情報の紹介
- ・参加者で共有
- ・参加者の悩み事等

【PM】 13:40～16:00

株式会社ルーツ平田さんによるプログラム設計の仕上げ

- ・TEDの映像による「Why」「How」「What」の説明
- ・インターンシップを「なぜ」実施するのかをもう一度考える
- ・ゴールを明確化し、その「プロセス（過程）」を明確化する。
- ・コーディネーターは受入担当者からヒアリングを行う。受入担当者は「なぜ」インターンシップを行うのか考え、もう一度プログラムを練り直す。
- ・実習終了後、学生がどのように変わっているのかを考察する。
- ・受入担当者の「なぜ」が、ゴールに合致しているか考察する。
- ・「プロセス」を受け入れ担当者とコーディネーターで考察する。
- ・模造紙にまとめる。
- ・発表
- ・共有





2015年度 専門人材養成研修の実施状況 (第5回)

参加者・名簿

	企業・団体・大学名
1	株式会社沖縄債権回収サービス
2	全保連株式会社
3	株式会社りゅうせきビジネスサービス
4	株式会社 JTB 沖縄
5	琉球インタラクティブ株式会社
6	株式会社ルーツ
7	公立大学法人名桜大学
8	株式会社御菓子御殿
9	和歌山大学キャリアセンター
10	沖縄女子短期大学
11	国立大学法人琉球大学

【参加者 内訳】

	企業・団体数					参加者数 (人)				
	7/15 (水)	8/11 (火)	9/8 (火)	11/10 (火)	1/19 (火)	7/15 (水)	8/11 (火)	9/8 (火)	11/10 (火)	1/19 (火)
企業	6	3	5	5	4	9	5	7	7	6
大学	3	2	3	2	1	7	5	7	3	1
行政機関	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	9	5	8	7	5	16	10	14	10	7

平成28年1月19日（火） 第5回専門人材養成研修（大学会館1F 学生課会議室）

講師：特定非営利法人ETIC 伊藤 淳司 様

【AM】10:00～12:00

- ・「氏名」・「所属」・「解決したいこと・聞きたいこと」をA4用紙に書いて発表。
- ・専門人材養成研修テキストを使って学ぶ（質問・情報共有）

【PM】13:00～16:00

- ・事例を使つてのワーク
インターンシップ事例の記事から、「経営者が本気で実現したいこと」、「大まかな行動計画」、及び「仮説検証の繰り返しが必要で内部資源（社員）を投入しにくいこと」について読み解く。
- ・それぞれの「解決したいこと・聞きたいこと」について話し合う。
- ・アンケート記入。



【アンケート結果】

・とても有意義だった。様々なインターンシップがあることがわかり、目的に合わせ色々な使い方があることを知ることができた。重要なのは目的、企業・学生にとってのメリット、それをプログラム等で解決していく、まさにコンサルティングであることがわかったし、事業として成り立つかはどうか、メリット＝価値を提供できるかどうかは、コーディネーターの意志にかかっているのではないかと思った。おそらく時間がかかるものだと思うが、現状のビジネスと絡め、取り組んで行きたい。

・今回のインターンシップ研修を受けて、これまで現場で実施していたインターンシップの受け入れ態勢が、企業側も学生側にもマイナスにしかなくなってなかったことがわかり、今後の受け入れを深く考えるきっかけになり、とても勉強になりました。どちらにもプラスになるインターンシップ体制を会社全体で考え、今後実行していきます。半年間、ありがとうございました。

・コーディネーター1年目の私としては、右も左も分からないままこの世界に飛び込んできたので、「専門人材養成研修」はとても大事な学びの場所になりました。「ここでインプットした事を、業務でアウトプットしていく」という1年でしたので、体感的に学びを感じることが出来たことは本当にありがたいです。又、コーディネーターと受け入れ企業が同じ場所でディスカッションをする事は同じ熱量で考えられる良い機会になりました。

・インターンシップの実施方法はいくつもあり、現状あるプログラムをブラッシュアップしていこうと思います。他企業の方と交流や情報交換が出来、大変有意義な時間でした。ありがとうございました。

・来年度のインターンシップには「目的」を設定してプログラムを作成したいと思う。採用にこだわらず「自社を知ってもらう」「自社の強み」を前面に押し出せていける何かを考える。

・インターンを活用して行きたいと思った（人材育成、課題解決など）。会社として学生を受け入れる態勢を確立する。研修での事例などを参考にして、社内のインターンシップに活かしたい。

・他のインターンシップの事例や、企業様からの意見が聞けてとてもためになりました。こういう貴重な講座に是非大学の教員の方も出席してくれると良いと思います。インターンシップが学生及び企業にとってプラスになっていることも分かって良かったです。どうもありがとうございました。

6. うりずんプロジェクト Web サイト

沖縄地域インターンシップ推進協議会 HP 作成業務 仕様書

1. 概要

沖縄地域インターンシップ推進協議会の立ち上げに伴い、インターンシップ情報の提供及び協議会の周知を目的とし、WEBサイトを作成する。

事務局において相互マッチングを行うため、サイトを通して学生がインターンシップ先の検索・申込みを行い、企業側が学生へインターンシップ情報の提供を行えるようにする。

2. 内容

①WEBページ作成

- ・ページ数 13 ページ程度とする。
- ・デザイン・仕様の作成。
- ・スマートフォンに対応すること。

②CMSの導入

サイト管理を容易に行うため、頻繁に更新が必要なページ及び、下記のページについてCMSを導入する。

(1) 企業検索・登録

【学生向け】

- ・登録された企業の一覧表示及び業種・期間等で検索ができるようにする。

【企業向け】

- ・企業情報及び募集要項等の登録・編集が各企業において行えるようにする。
- ・初回登録時にID及びパスワードの発行を行い、それを用いて登録内容の編集等が行えるようにする。

(2) インターンシップ応募

学生がインターンシップへ応募する際に、必要情報を登録できるようにする。

④管理者向け

- ・管理画面へは、ID・パスワードによるログイン機能をもうける。
- ・企業情報・募集要項の新規登録・編集等について、管理者側で行えるようにする。
- ・学生が応募した記載内容を、所定の様式にて出力できるようにする。

⑤その他

代表的ブラウザからの利用を可能とすること。(IE、Firefox、Chrome)

3. 納 期 平成 26 年 12 月 1 日 (月)

4. 納 品 サーバへのアップロード及び動作確認。

5. その他 納品後の運用・保守サポートについては、別途契約のもで行うものとする。
本仕様書に定めのない事項については、本学職員と協議のうえ決定する。

うりずんプロジェクト Web サイト

うりずんプロジェクト
「仲間と、インターンシップの経験」
098-895-8981

もっと近づく!
その夢に、もっと近づく
うりずんプロジェクト
自分の夢をもっとしっかり形にしたい!
そんなあなたの思い実現をサポートします!
あなたの未来は、どんな仕事に就いていますか?

うちなーんちや
だから、沖縄で!

うりずんプロジェクトとは
推薦状提出
企業・団体の
インターンシップ
企業紹介
お知らせ

ぜひよう
インターン
シップ日

インターンシップ
企業紹介

大学生の
皆様へ
Click!

企業・団体
の皆様へ
Click!

カテゴリ別で探す

短期インターンシップ
長期インターンシップ
就業希望入り
インターンシップ
海外で
インターンシップ

職種別で探す

事務・行政
接客・販売
製造・生産
IT・情報
その他

新着情報

2013.05.0
2013.06.0
2013.07.0
2014.11.0
2014.11.0
2014.11.0
2014.11.0

最新情報一覧

最新ダウンロード
各種書類
プライバシーポリシー

うりずんプロジェクト事務局 (琉球大学読研センター内)
〒905-0213
沖縄県中頭郡読谷町読谷1-1-1 琉球大学読研センター
Tel: 098-895-8981 Fax: 098-895-8119

© 2014 urizun project

- ◆うりずんプロジェクトの概要
- ◆インターンシップ受け入れ企業・団体情報（随時更新）
- ◆インターンシップ参加希望学生エントリー登録
- ◆手続き書類様式ダウンロード
- ◆インターンシップの魅力（学生の声・企業様の声）
- ◆<http://urizun.lab.u-ryukyu.ac.jp/>

7. 資料編

7-1

マッチング資料

①『うりずんプロジェクト』のHPにアクセス、「学生の皆様へ」をクリック



②ページ下段、関連リンクの「応募フォーム」をクリック



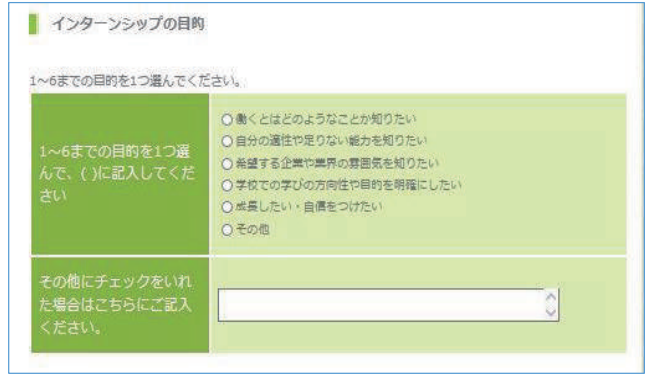
③応募ページに基本情報を入力



④参加可能期間と日数を入力



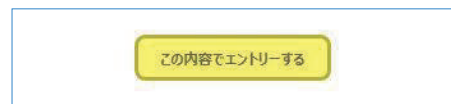
⑤インターンシップの目的を入力



⑥希望する企業・団体を第3希望まで入力



⑦入力後、エントリーボタンをクリック



⑧確認画面がでたら内容を確認し、もう一度エントリーボタンをクリック

⑨『うりずんプロジェクト』ご応募ありがとうございました』というメールが届いたらエントリー完了

※エントリー完了後、事務局より数日以内に面談日調整のメールをお送りします。

※こちらからも
エントリーできます⇒



履 歴 書

年 月 日 現在

ふりがな	印	性 別
氏 名		
生年月日 年 月 日 生 (満 歳)		

写真を貼る位置
1.40mm×30mm
2.裏面に氏名を記入
してから糊付け

ふりがな	
現住所 (〒 -)	
TEL - -	携帯電話 - -
FAX - -	携帯メール
ふりがな	TEL - -
帰省先住所 (〒 -)	FAX - -

年	月	学 歴 ・ 職 歴

年	月	免 許 ・ 資 格

※記入された個人情報は、インターンシップ実習先に渡します。それ以外の目的には使用しません。

インターンシップ希望理由

実習の目標・課題

私の特徴

趣味・スポーツ・サークル活動

得意な科目・興味のある科目

履歴書作成チェックリスト

以下の項目を確認し、口に✓（チェック）を入れて、履歴書と一緒に提出してください。

- ・読み手は企業等（もしくは団体）の担当者と考えて書く。
- ・漢字、言い回し、敬語等について不明な場合はインターネットや辞書で調べ、曖昧にしない。
- ・最終的には手書きでも、最初にPCで作成してみると修正がしやすい。
- ・履歴書は自分用の控えに、必ず提出前にコピーし、保管すること。

全体

- 印鑑はきちんと押されているか（薄い、欠けている、滲んでいる、斜めになっている場合は不可）。
- シミや汚れはないか。
- ホッチキスを使用していないか（クリップの使用は可）。
- 片面のみに書いている又は印刷しているか（両面印刷は不可）。
- 日時等の項目の記入漏れはないか（日付は履歴書提出日）。
- メールアドレスは、PCメール（大学、Gmail、Yahooメール等）を記入。携帯電話・スマートフォンのメールアドレスは不可（事務局からのメールが届かなかったという事例が多いため）。
- 余白が目立っていないか（書いていることがあまりに少ないと良い印象を与えない）。
- 修正テープ・修正液、二重線、訂正印等で修正していないか（どちらも不可。間違いがあれば書き直し）。

写真（応募者の印象を大きく左右する）

- スーツ等フォーマルな服装で撮影しているか。
- 頭髪は華美でないか（カラーリングしたと分かる場合は不可）。
- 顔に髪の毛がかかっているか（印象が違う）。
- アクセサリーをつけていないか。
- 化粧は自然か（派手な化粧は不可）。
- 写真に手を加えていないか（フォトショップ加工等も不可）。
- 写真は履歴書が指定するサイズになっているか。
- 写真の裏に「大学名・氏名」を記入しているか（インクをしっかりと乾かして、貼らずに提出）。

言葉

- 誤字はないか。（例）○講義 ×講議、○専門 ×専門
- 脱字はないか。（例）○思います ×思ます
- 句読点が揃っているか。（例）「、」と「。」又は「，」と「。」か。どちらかに統一。
- 省略語は使用していないか。
（例）×就活 ○就職活動 ×バイト ○アルバイト ×株 ○株式会社
- 「です・ます」調、又は「である」調で統一されているか。
- 重複表現はないか
（例）×まず最初に ○最初に ×必ず必要 ○必要 ×今の現状 ○現状
- 文章の長さは適切か（読みやすい長さで書く）。

- 主語と述語のねじれはないか。
(例) ×私が貴社でのインターンシップを希望する理由は、貴社での〇〇がどういうものか実際に見てみたいと思います(←主語と述語の関係がおかしい)。
- 話し言葉が含まれていないか。(例) ×いい方法 ○良い方法、×すごく ○とても/非常に
- 正しい敬語を使用しているか。
- 「下さい」と「ください」、「頂く」と「いただく」を適切に使い分けているか。
- 例示・並列の「～たり、～たりする」を適切に使用しているか。
(例) ○昨日はテレビをみたり、本を読んだりして過ごした。
×昨日はテレビをみたり、本を読んで過ごした。
- 読み手を不快にさせるような言葉を使用していないか。(例) ×ブラック企業
- 正式名称を記入しているか(企業・団体名、資格名等)。
- 同一表現・単語を多用していないか(文章が単調になり、稚拙な印象を与える)。

PCで作成する場合

- 文字の種類、大きさ、色はそろっているか(書き終わった後に全てを選択して、一度に設定すると良い)。
- スペースが空きすぎているか、不自然ではないか。
- 行間は適切か。
- 文章の両端はそろっているか。また、適度なインデントが設定されているか。
- 数字は全角又は半角で統一されているか。
- 文字の下に赤や青の波線はないか(スペルミスや文法間違いの場合が多いため、破線がある箇所を必ず確認する)。
- 漢字への変換し忘れないか。(例) いちにち → 一日
- ファイル名に氏名、大学、およびインターンシップ先を入力しているか。
(例) うりずん太郎 ○○大学 ○○株式会社様

手書きで作成する場合

- 必ず印鑑から押す(最後に押印を失敗すると、すべて書き直しのため)。
- 黒の万年筆又はボールペンを使用しているか。
- 字の大きさは適切か(小さすぎないか、大きすぎないか)。
- 文頭が適度にインデントされているか。
- 第三者にとって読みにくい文字はないか。(例) 「2」と「Z」、「ソ」と「ン」
- 丁寧に書いているか(字に自信があってもなくても、読み手には、履歴書がゆっくり丁寧に書かれているか否かはすぐに分かる)。
- 明らかに修正したと思われる文字等はないか(上から重ねて書く等)。
- 鉛筆で下書きした文字がきちんと消されているか(下書きした場合)。

インターンシップのための履歴書とは

うりずんプロジェクトインターンシップでは、実習先に参加学生の履歴書を提出します。実習先の担当者はこの履歴書を参考にしながら受け入れ準備を進めることとなります。履歴書を書くにあたっては、インターンシップに対する自分の取組み姿勢をもう一度確認し、具体的にはどのような点に気をつければよいのか理解を深めましょう。

1. なぜインターンシップに参加しようと思ったのか

あなたは、なぜインターンシップを希望したのでしょうか。就職活動を始める前に自分がどのような仕事に向いているか、インターンシップを通じて確認したい人、あるいは実際のビジネスの現場ではどのように仕事が進められているのかを体験したいという人もいるでしょう。履歴書を作成する前に、まずインターンシップを希望した理由を再度考えてみましょう。

ワーク1

初めて大学でインターンシップを知ったとき、あるいは最初にインターンシップに登録したときと、現在では、希望理由にどのような変化があるだろうか。ガイダンス等を経て今までの自分の考え方の変遷を具体的に書き出してみよう。

2. インターンシップのための履歴書を作成しよう

(1) 履歴書の目的

インターンシップ先に提出する履歴書は、受入担当者あるいは直接の指導担当者に対して、実習生としての情報を伝えるためだけのものではありません。それよりはむしろ、自分の前向きな姿勢ややる気を相手に理解してもらうための重要な手段と言えます。インターンシップ開始前に、相手への第一印象をよくしておくための大切な機会でもあります。単に事実のみを淡々と述べた履歴書を書く学生がしばしば見受けられますが、そのような履歴書では、相手への印象はきわめて薄いものになってしまいます。

(2) 分析しながら、自分を知る

履歴書を作成する過程では、自分をアピールできる点を整理していくとともに、今後、自分が学ぶべきこと、あるいは向上させるべきことなどを明確にすることができます。そうした流れの中で自ずから、相手に評価される内容に仕上げようという気持ちや、自分を高めたいという意志が生まれてくるでしょう。

(3) 丁寧に書かないと読んでもらえない

ある企業の担当者から「丁寧に書いていない履歴書には目を通さない」という話を聞いたことがあります。志望動機や自己PRについて時間をかけて考えて書いたとしても、この“文字の丁寧さ”に欠けていたら何にもなりません。文字の大きさがばらばらであったり、文字の並びが曲がっているもの、誤字や脱字、鉛筆書きや修正液を使ったりするのも厳禁です。

(4) 写真が第一印象を大きく左右する

履歴書に貼付する写真も重要です。明るく爽やかな表情の写真と、つまらなそうな表情で写っている写真では、受け入れる側の気持ちにも大きな差が生じるものです。写真による第一印象をアップさせて、実習先から喜んで迎えられるインターンシップをスタートさせましょう。

(5) 履歴書は丁寧に扱う

シワになったり、飲み物のシミを作ってしまったたりするのは厳禁です。丁寧に書いていたとしても紙が汚れては台無しです。提出までクリアファイルに入れて大切に扱きましょう。

* 履歴書作成の注意点 *

- ・積極的な姿勢、やる気を伝えるために書く
- 丁寧な文字で書き、文字の大きさを揃えて曲がらないように書くこと、また誤字・脱字、鉛筆使用や修正液使用は不可
- シワや汚れは厳禁
- 明るく爽やかな表情の写真

ワーク2

次の2つの履歴書を比較し、気づいた点を書き出そう。

--

履歴書 ①

写真を貼る位置
1. 縦50mm × 横40mm
2. 裏面に氏名を記入してから糊付け

ふりがな
氏名

年 月 日 現在
性 別

印

生年月日 年 月 日 生 (満 歳)

ふりがな
現住所 (〒112-0002)
東京都文京区小石川

TEL

FAX

ふりがな
携帯電話
携帯メール @seibun.ac.jp

TEL

FAX

年	月	学 歴 ・ 職 歴
H21	3	高校卒業
21	4	短大 ビジネス学科入学
23	3	卒業

年	月	免 許 ・ 資 格
H21	11	秘書限定2級手得
23	3	ビジネス実務士 手得

* 記入された個人情報、インターネット情報は、インターネット実習先に渡します。それ以外の目的には使用しません。

インターネットボランティア志望理由

友人のすゝめです。受入しました。短い期間で2単位とやるのでがんばろう！と思っています。

実習の目標・課題

実習の目標は「あいわをきちんとすること」です。セーパーがわかることです。何事にも努力をし、きちんと取り組みたいと思います。社員と仲良くし、いい学生だ！と鬼おれろおりにしたいです。

私の特徴

人と接することが好きなので、コミュニケーションをとることは得意です。明るい性格で、周囲を楽しみます。接客アルバイトをしています。(アシスタ)

趣味・スポーツ・サークル活動

趣味は「ジョウロ」、スポーツは、体を動かすこと。昔年、サークル活動は「ボランティア研究会」でアクトパーティーをしました。

得意な科目・興味のある科目

得意、... カラーコーディネート論
興味 ... プレゼンテーション演習

履歴書 ②

写真を貼る位置
1. 縦50mm × 横40mm
2. 裏面に氏名を記入してから糊付け

平成 年 月 日 現在
 氏名 印 性別
 生年月日 年 月 日 生 (満 歳)

よりがな 東京都文京区小石川
 現住所 (〒112-0002)
 TEL 携帯電話
 FAX 携帯メール @seibun.ac.jp
 所属先住所 (〒) TEL FAX

年	月	学歴・職歴
平成 2 / 3		学歴 高等学校 普通科 卒業
平成 2 / 4		短期大学 ビジネス学科 入学
平成 2 / 3		短期大学 ビジネス学科 卒業見込
		職歴 なし
		以上

年	月	免許・資格
平成 2 / 11		秘書検定 2級 取得
平成 2 / 3		ビジネス実務士 取得見込

* 記入された個人情報、インターネットショップ実習先に渡します。それ以外の目的には使用しません。

インターネットショップ志望理由

現在、私はビジネス実務論や、オースコムコミュニケーションを勉強しており、実際のオースコムデスクワークを体験したいと考えるようにおぼしかりました。また、コミュニケーションの重要性については、授業でも学んでいますが、ビジネス現場では、プロの方々から学ぶことがコミュニケーションを図るのには、是非、習得したいと考えています。将来はどのような仕事を相手がとも、上司にコミュニケーションを取ることのできる事務職を目指しているため、ビジネス現場の体験により、自分をさらに成長させたいと思っております。

実習の目標・課題

私は次の3点の目標を立てています。

1. 授業で学んだビジネススキルを最大限に発揮し、特に実際の電話応対を通して、そのスキルアップを図る。与えられた仕事は常に正確さと、効率性を考えながら処理していく。
 2. オースコム「連絡・相談・報告」を通じて交わされる言語表現が相手にどのような印象を与えるのか、その意図を考え、よび的確なビジネスコミュニケーションの習得を目指す。
 3. 職種としての事務職の理解の幅を広げ、今回の就職活動に生かしていく。採用試験の面接等でも、今回のインターネットショップの体験を自信を持ってアピールできるようにする。
- 以上の目標を全て達成できるよう努力いたします。

私の特徴

私は厳しい状況に直面しても、それをプラスに変えることのできる人間です。たとえ、失敗することであっても、何をどのようにすべきかを冷静に考え、次のステップにしていきます。バスケットボール部の活動において、夏の単独大会では試合を前に体調管理を徹底的に行い、出場も危ぶまれるほどのアトバイスをいただき、その結果予定メンバー全員が出場を果たしました。この経験から、厳しい状況の時に落ち着いた行動が正しい方向付けになることを学び、現在も常に意識できるように努めました。

趣味・スポーツ・サークル活動

- ・ 趣味 — 読書、人と話すこと
- ・ スポーツ — 球技全般、アイススケート
- ・ サークル活動 — バスケットボール部、ボランティア委員会

得意な科目・興味のある科目

- ・ 得意な科目 — ビジネス実務論 (特にビジネス心理分野の得意です)
- ・ 興味のある科目 — プレゼンテーション演習 (段階的に上達できるところに達成感があります。)

インターンシップ面談票

学年	氏名	面談日時 月 日 () :
琉球大・名桜大・沖縄大・沖縄キリスト教学院大・沖縄キリスト教短期大学・沖縄国際大・沖縄県立芸術大学・沖縄女子短期大学		

■希望企業

①	②	③
2社希望 する・しない	希望期間:	都合の悪い日程:
インターンシップの経験	無 ・ 有 ()	
単位	無 ・ 有 (講義名: 担当:)	

※ A よい B 基本はできている C 不足 (指導の必要ありコメント→記入)

■質問内容	評価	コメント
インターンシップの 参加目的		
志望動機 (企業を選んだ理由)		
学生時代力を入れたこと (これから力を入れたいこと)		
自己PR、長所・短所等		
■確認・指導	チェック	
身だしなみ		
マナー (挨拶)		
時間厳守		
■連絡事項		
確認票で説明		誓約書、企業独自の書類、保険等
履歴書		再提出・他 ()
宿題		
所見 (次回面談の必要性等)		
備考		

うりずんプロジェクト

琉球大学 名桜大学 沖縄大学
 沖縄キリスト教学院大学・短期大学
 沖縄国際大学 沖縄県立芸術大学
 沖縄女子短期大学

学年

氏名

受入企業

項目	確認 ○ (日付)	
インターンシップ開始前		
履歴書	提出 /	
誓約書	提出 /	
企業・団体等の独自様式 ()	提出 /	
学研災 (写し)	提出 /	
付帯賠 (写し)	提出 /	
生協 ※琉球大学のみ (生命共済と学生賠償責任保険)	提出 /	
インターンシップ終了後		
日報	提出 /	
学生の自己評価表	提出 /	
レポート	提出 /	
配布物 (推進協議会→学生)		
インターンシップ・プログラム	配布 /	
企業等による学生の評価表 (インターンシップ終了後)	配布 /	

うりずんプロジェクト確認事項・提出書類ほか

確認事項

- ① 「うりずんプロジェクト」インターンシップ実施要領
よく読んでください。
- ② インターンシッププログラム
事前研修（2/11）でお渡しします。
- ③ インターンシップ修了の条件について

提出書類（インターンシップ前）（提出先：うりずんプロジェクト事務局）

- ① 履歴書（面接時）
企業・団体に提出します。
- ② 誓約書
インターンシップ先が決まりましたら、宛名（企業名・代表者役職／氏名）を記入してください。企業情報はうりずんプロジェクトHPの「インターンシップ企業・団体紹介」にあります。
- ③ 企業・団体等の独自様式
企業・団体によっては、提出が必要となる場合があります。該当する方にはお渡しします。
- ④ 「学生教育研究災害傷害保険（学研災）」及び「学研災付帯賠償責任保険（付帯賠）」の加入、又は、大学生協の学生総合共済の「生命共済」及び「学生賠償責任保険」の加入を確認する書類の写し。
※沖縄国際大学の学生は、事務局が大学より直接取り寄せしますので、持参の必要はありません。

提出書類（インターンシップ後）（提出先：うりずんプロジェクト事務局）

- ① 日報
- ② 学生の自己評価表
- ③ インターンシップ学生レポート
①、②、③はインターンシップ終了後、1週間以内にうりずんプロジェクト事務局まで提出してください。※事前研修（2016/1/30、2/11）にて再度確認します。

事前研修・事後研修

- | | | |
|-------|-------------------------|------------------|
| 事前研修① | 2016年1月30日（土）9:00-17:30 | 琉球大学 大学会館3階特別会議室 |
| 事前研修② | 2月11日（木・祝）9:00-17:30 | 琉球大学 大学会館3階特別会議室 |
| 事後研修 | 3月23日（水）9:00-17:30 | 琉球大学 大学会館3階特別会議室 |

※ 研修参加は必須です。不明な点等あれば、当事務局へ事前にご連絡ください。

誓 約 書

年 月 日

企業・団体名

代表者（役職・氏名）

様

このたび、私が貴社（団体）においてインターンシップ(以下、「実習」という)をするにあたっては、下記事項を遵守することを誓います。

記

1. 貴社（団体）での実習期間中は、貴社（団体）の就業規則および諸規則を守り、担当者の指示に従い、実習に専念することを誓います。
2. 実習生として貴社（団体）の職務の信用を傷つけ、または不名誉となるような行為をしないことを誓います。
3. 実習上知り得た秘密を、実習中及び実習終了後においても一切外部に漏洩しないことを誓います。
4. 上記の事柄に反する行為をした場合は、貴社（団体）および被害を受けた第三者に対して自ら責任を負うことを誓います。
5. 無断で欠勤、遅刻、早退をせず、やむを得ない場合には必ず実習担当者に連絡します。
6. 実習中および実習場所への移動においては、事故を起こさないよう細心の注意を払って行動することを誓います。
7. 「学生教育研究災害傷害保険」（もしくはこれに該当する保険）に加入し、実習中に自己の不注意により万一災害を受けた場合は、自己の責任において処理します。
8. 「学研災害付帯賠償責任保険」（もしくはこれに該当する保険）に加入し、故意または過失により、貴社（団体）の建物、設備およびその他一切の財産に損害を与えたときは、その損害を賠償します。

以上誓約いたします。

学校名・学年

大学

学部

学科

年

氏名

印

7-2

各種様式&資料 (学生向け)

学生の自己評価表

(実習終了後)学生→推進協議会→学生

大学・学部学科・学年	大学	学部	学科	年				
氏名								
受入先企業・団体名								
実習期間	平成	年	月	日 () ~	月	日 ()	(実働	日間)

※インターンシップ終了後1週間以内に、沖縄地域インターンシップ推進協議会へ提出してください。

業務内容
自身の強み/長所と考えられる点
課題/今後努力を要すると考えられる点

この評価表は、学生がインターンシップ終了後に自己の評価をするためのものです。(学校やその他機関において参加学生の評価をするものではありません。)|受入先による学生の評価|をお渡ししますので、その評価と照らしあわせて、今後に役立ててください。

平成27年9月改訂

●評価表

(実習終了後)学生一推進協議会→学生

中分類	5点	4点	3点	2点	1点	
① 自立・創造	自主・自律	<p>□言われていないことでも、自ら考え行動し、最後までやり遂げることができる。</p> <p>□積極的に自ら考え、行動することができている。</p>	<p>□言われていないことも、自ら考えて行動しているが、最後まで一人でやり遂げることができない。</p> <p>□自ら考え、行動することができているが、積極性に欠ける。</p>	<p>□言われたことは完遂できるが、自ら考えて行動できてはいない。</p> <p>□自ら考え、行動しようと意識しているが、周囲の意見に流されやすく、実践できていない。</p>	<p>□言われたことをやろうとするが、完遂できない。</p> <p>□基本的に他人任せで、自ら考え行動しようとはしないが、不平不満は言わない。</p>	<p>□言われたことをやろうとしない。</p> <p>□基本的に他人任せで、自ら考え行動しようせず、不平不満が多い。</p>
	自己管理	<p>□自己管理が行き届いており、精神的、肉体的健康を良好に保つことができている。前向きで元気よく毎日を過ごすことができている。</p>	<p>□自己管理ができており、精神的、肉体的健康を害することがほとんどない。</p>	<p>□ある程度自己管理することができているが、時々体調を崩したり、感情を乱すことがある。</p>	<p>□自己管理を意識しているが、なかなかうまくできず、精神的、肉体的健康を害することがある。</p>	<p>□自己管理意識が低く、精神的、肉体的健康を害することが多い。</p>
	学習・探究・創造	<p>□物事に対して積極的に調べ、整理し、分析するだけでなく、新しい価値を創造することができる。</p> <p>□学ぶ意欲が旺盛で、積極的に学びに行く。自らの経験からも学び、教訓を得て、行動を変え続けることができる。</p>	<p>□物事に対して積極的に調べ、整理し、分析することが出来るが、新しい価値を創造することができない。</p> <p>□学ぶ意欲が旺盛で、積極的に他から学ぶ姿勢はあるが、自らの経験から学ぶ力に欠ける。</p>	<p>□物事に対する関心はあり、積極的に調べたり、考えたりすることはあるが、それらを整理し、分析することができない。</p> <p>□学ぶ意欲はあるが、積極的に他から学ぶ姿勢に欠ける。</p>	<p>□物事に対する関心はあるが、積極的に調べたり、考えたりすることは少ない。</p> <p>□学ぶ意欲は低い、人に言われたことは学ぼうとする。</p>	<p>□物事に対する関心が薄い。</p> <p>□学ぶ意欲が低く、人から言われても学ぼうとすることがない。</p>
② 社会参画・貢献	チームワーク	<p>□他者の考えと自分の考えを掛け合わせ、新しい価値を生み出すことができる。</p> <p>□自らの役割を果たすことはもちろん、他者に協力し、全体としての成果を高めることができる。</p>	<p>□他者を尊重しながら、自分の意見を言うことができるが、新しい価値を生み出すには至らない。</p> <p>□チーム内での自分の役割を理解しており、その責任を果たすことができているが、他者に協力できていない。</p>	<p>□他者を尊重しようとするが、相手に合わせることに終始してしまい、自分の意見が言えない。</p> <p>□チーム内の自分の役割はわかっているが、その責任を果たすことができていない。</p>	<p>□他人を困らせることは少ないが、尊重し協力しようという姿勢に欠ける。</p> <p>□チームに参画するが、自分の役割を理解していない。</p>	<p>□ひとりよがりな行動で、他人を困らせる。</p> <p>□チームへの参加意識がなく、ほとんど参画しない。</p>
	コミュニケーション	<p>□自ら明るい挨拶を積極的にし、周囲の雰囲気良くすることができる。</p> <p>□相手の話を上手に引き出し、信頼関係をつくることができる。</p> <p>□自らの発言を、信頼性や説得力を持たせて、わかりやすく伝えることができる。</p>	<p>□自ら明るい挨拶をしているが、周囲の雰囲気を良くするには至らない。</p> <p>□相手が話しやすいように傾聴し、質問などもできるが、信頼関係をつくるには至らない。</p> <p>□自らの発言を相手にわかりやすく伝えることができるが、信頼性や説得力に欠ける。</p>	<p>□自ら挨拶をしているが、明るさに欠ける。</p> <p>□相手の話を傾聴する。但し質問はしない。</p> <p>□自ら発言するが、自分が言いたいことがうまく相手に伝わらない。</p>	<p>□自ら挨拶をすることは少ないが、相手から挨拶されれば、返事はする。</p> <p>□相手の言葉に耳を傾けるが、積極的ではない。</p> <p>□問われれば自ら発言する。</p>	<p>□自ら挨拶をすることはなく、相手から挨拶されてもきちんと返事をしない。</p> <p>□相手の話に耳を傾けない。</p> <p>□自ら発言することもなく、問われてもきちんとした回答をしない。</p>
	モラル	<p>□嘘や隠し事をしないだけでなく、相手のために最善の行動をとっている。</p>	<p>□嘘も隠し事も少ないが、相手のために最善の行動をとっているとは言えない。</p>	<p>□他人に迷惑をかけることはあまりなく、嘘をつかないが、隠すことはある。</p>	<p>□利己的で嘘をつくことがあり、時々衝動的になり他人に迷惑をかけることがある。</p>	<p>□利己的で嘘をつくことに抵抗がなく、衝動的になって他人に迷惑をかけることが多い。</p>
	マナー	<p>□状況(TPO)に応じてベストな対応をすることができる。</p>	<p>□基本的なマナーは守ることができているが、状況(TPO)に応じた最適な対応はできていない。</p>	<p>□マナーが時々実践できていない。</p>	<p>□基本的なマナーを理解しているが、実践できていない。</p>	<p>□基本的なマナーを理解していない。</p>
	ローカル	<p>□沖縄や地元の歴史文化時事に精通しており、地元に対して愛着をもち、貢献することができる。</p>	<p>□沖縄や地元の歴史文化時事に関して積極的に情報収集しているが、地域に貢献することはできていない。</p>	<p>□沖縄や地元の歴史文化時事に対して関心をもち、様々なことを知っているが、積極的に情報収集はしていない。</p>	<p>□沖縄や地元の歴史文化時事に対して関心を持っていないが、あまり知らない。</p>	<p>□沖縄や地元の歴史文化時事に対して関心や愛着を持っていない。</p>
	グローバル	<p>□世界的視野で、新しい価値創造に挑んでいる。</p>	<p>□世界のことについて積極的に情報収集し、世界的視野で物事を考えることができているが、価値創造には挑んでいない。</p>	<p>□世界のことに関心を持ち、さまざまな知識や情報を知っているが、積極的に情報収集はしていない。</p>	<p>□世界のことに関心を持っているが、あまり知らない。</p>	<p>□世界のことに関心がない。</p>
		<p>□高い語学運用力で専門的なコミュニケーションをとることができる。</p> <p>□文化の多様性を尊重し、それぞれを活かしながら、新しい価値創造に挑んでいる。</p>	<p>□外国語で日常会話ができるが、専門的なコミュニケーションはとれない。</p> <p>□文化の多様性を受け入れ、尊重することができるが、多様性を活かして価値を創造できない。</p>	<p>□外国語で簡単な会話ができる。</p> <p>□文化の多様性を受け入れることができるが、尊重することができていない。</p>	<p>□外国語の運用能力は多少あるが、会話はできない。</p> <p>□文化の多様性を受け入れようとしているが、できていない。</p>	<p>□外国語の運用能力が全くない。</p> <p>□文化の多様性を受け入れようとしていない。</p>
③ 課題対応	課題発見	<p>□問題の本質に自ら気づき、適切な課題設定をすることができる。</p>	<p>□問題に自ら気づき、課題に落とし込むことができるが、本質からずれることが多い。</p>	<p>□問題に自ら気づくことができるが、課題に落とし込むことができない。</p>	<p>□問題に自分から気づくことはできないが、人に指摘されれば理解することができる。</p>	<p>□問題に気づかず、人に指摘されてもわからない。</p>
	課題解決	<p>□どんな困難があっても、あきらめず、最終的に解決することができる。</p>	<p>□問題の解決に向けて、多少の困難があってもあきらめず、粘り強く取り組む。しかし解決できないことも多い。</p>	<p>□問題の解決に向けて取り組むが、困難にぶつかるとあきらめてしまう。</p>	<p>□解決しようと思うが、どうしていいかわからずあきらめてしまう。</p>	<p>□解決しようと思わない。他者の問題であって自分には関係のないことであると考え。</p>
		<p>□予想外のことが起こらないほど綿密な計画で、スピーディかつ正確に解決することができる。</p>	<p>□緻密な計画を立てて解決に臨み、予想外の出来事にも対応できる。</p>	<p>□緻密な計画をたてて解決に臨むが、予想外の出来事に対応することができない。</p>	<p>□ある程度の計画性をもって解決に臨むが、イレギュラーが多い。</p>	<p>□解決策に計画性が全くなく、行き当たりばったりになってしまう。</p>
<p>□他者を巻き込んで解決することができる。</p>	<p>□他人を巻き込んで解決に臨むことができるが、解決には至らない。</p>	<p>□解決に向けた協力を仰ぐことができるが、上手に巻き込むことができない。</p>	<p>□他人に相談するが、解決にむけた協力を仰ぐことができない。</p>	<p>□解決に当たって、一人で抱え込んでしまい、他人に相談することがない。</p>		

うりずんプロジェクト 2016 春期インターンシップレポート

大学・学部学科・学年	
氏名	
受入先企業・団体名	
実習期間	(実働 日間)

※インターンシップ終了後1週間以内に、沖縄地域インターンシップ推進協議会へメールに添付して提出してください。

次の①～⑤までの項目について、自由に記入（入力）してください。

- ①インターンシップの志望動機
- ②インターンシップの日程と業務内容（1日の流れ）
- ③インターンシップを通して学んだこと、考えたこと、疑問点など
 - ・企業・団体や社会人に対するイメージの変化など（具体例を挙げて）
 - ・自己の能力（適性や強み・長所など）の発見や、成長や変化など
 - ・心に残ったひとことなど
- ④将来の展望など
 - ・今後の学校生活や就職に対する意識や、行動の変化など
- ⑤今後インターンシップを考えている後輩へのアドバイス

〇〇株式会社
〇〇部〇〇課
〇〇（役職） 〇〇 〇〇 様

拝啓

ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、このたびは、

〔 貴社・貴団体・貴行で実習をさせていただきまして、誠にありがとうございました。
インターンシップでお世話になり、どうもありがとうございました。〕

おかげ様で、

〔 とても有意義な〇日間を過ごすことができました。
大変貴重な経験をすることができました。
今後の進路を考えるととてもよい機会となりました。
卒業後、やりたい仕事ははっきりと見えてまいりました。〕

貴社・貴団体・貴行での実習中、

〔 〇………〇が、とても心に残りました。
〇………〇が、大変印象的でした。
〇………〇が、勉強になりました。
〇………〇が、とても嬉しかったです。〕

今後は、

〔 〇………〇をしたいと思っております。
〇………〇として参ります。〕

末筆ながら

〔 お世話になりました〇〇部の皆様にどうぞよろしくお伝えください。
ご指導いただきました〇〇様にどうかよろしくお伝えいただけますでしょうか。〕

まずは御礼まで申し上げます。

敬具

平成〇〇年〇月〇〇日

〇〇大学〇〇学部〇〇学科 〇年次
〇〇 〇〇

【自己分析シート】 自己分析とは、「自分が大切にしている価値観」を知ること。

【自己分析】				
		中・高校	大学	見えてきたポイント(まとめ)
<p>◆過去の自分を振り返る</p> <p>※幼いころ、自分がどんなことに興味を持っていたか、夢中になっていたことは何か、得意だったこと、苦手だったこと、学業以外に行った習い事、アルバイト経験など。</p>	【勉強】 ・得意科目 ・不得意科目			
	【クラブ・学外活動】			
	【趣味・特技・好きなこと】			
	【印象に残った出来事】			
	【力を入れたこと】			
<p>◆現在の自分の価値観、職業観を考える</p> <p>※大切にしていることや、何か物事を進める際に譲れないこと。</p>				
<p>◆現在の自分の長所、短所を考える</p> <p>※自分の長所や短所の根拠を明確にする。また、家族や友人などの第三者に聞いてみる。</p>	【長所】	【短所】		
	【第三者から見た長所】	【第三者から見た短所】		
<p>◆将来の夢、理想の自分を考える</p> <p>※将来〇〇していたい、こんな社会人になりたいなど、具体的に挙げてみる。</p>				
<p>◆自己PR</p> <p>※自己PRとは、自分を売り込むこと。具体的には、①これまでの経験や実際にとった行動＝自分にできること、②どのような成果が挙げられるか、ということ。</p>				
<p>◆志望理由</p> <p>※上記を振り返り、自らのインターンシップ実習先を選んだ理由をまとめる。</p>				
<p>◆実習の目標</p> <p>※どんなことをやり遂げ、身に付けたいかをまとめる。</p>				

【企業研究シート】

【企業研究】		
<p>◆志望企業名 ※「株式会社」なども入れた正式社名を書こう。</p>		
<p>◆事業内容 ※中核事業、今後力を入れる事業、商品・サービス名など。</p>		
<p>◆経営理念・ビジョン ※事業展開をしていく上で基本となる考え方のこと。</p>		
<p>◆業界内での位置づけやシェア</p>		
<p>◆企業の現状と課題・将来性 ※拡大傾向なのか縮小傾向なのか</p>	【現状】	
	【課題・将来性】	
<p>◆同業他社の強み、弱み、違い、特徴など</p>		
<p>◆興味を持ったきっかけ、なぜその企業を志望するのか ※この企業にこだわる理由を記入</p>		
<p>◆同業界で興味のある企業</p>		
<p>◆CSRなどの取り組み</p>		
<p>◆最近、ニュースや話題になったこと</p>		

キャリアプランワークシート

(2016 春期インターンシップ事後研修)

大学・学部学科・学年	
氏名	

【インターンシップ終了後の行動計画の作成】

- ・「未来志向」と「現在志向」
 - 「英語が好きだから」英語を生かした職業を目指す⇒現在志向
 - 「英語教師になるために」英語力を磨く⇒未来志向
- ・自分を知る⇒「強み」「弱み」を知り、それを更に伸ばす、または克服していくこと
- ・やりたいことを実現するために足りないものを身に付けていく方法や順番を考える
- ・やりたいことを実現するには何が必要で、それを身に付けるには「何を」「いつまでに」「どうやって」身につけるかを考える

1. 『キャリアプラン』とは何ですか？

--

2. インターンシップ実習後の変化を以下の項目ごとにまとめてください。

○大学生活・プライベート

<p>○就職活動</p>

3. 今後の目標を挙げてください。

短期目標 (1年以内)	
中期目標 (卒業後)	
長期目標 (将来の在りたい自分)	

4. 上記を達成するためにやるべきことをまとめてください。

--

7-3

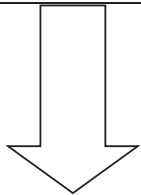
各種様式&資料（企業・団体向け）

沖縄地域インターンシップ推進協議会 宛て

2016年春期インターンシップ受入実施申込調書

下記の欄にお答えいただき、10/30（金）までにご提出をお願いいたします。

■受入について■	
可 能	不 可
■中長期実践型のインターンシップについて■	
※1ヶ月を超えるインターンシップ	
可 能	不 可



受入可能の場合 ⇒ 本調書をご送付いただきました後、事務局よりご連絡いたします。

受入不可の場合 ⇒ 本調書のみを送付をお願いいたします。

■2016春期インターンシップフェアのブース出展について■	
可 能	不 可

企業・団体名	
担当部署・役職名	
担当者名	
住所	〒
TEL 番号	
FAX 番号	
メールアドレス	

<送付先> FAX : 098-895-8119
メール : urizun@to.jim.u-ryukyu.ac.jp

推進協議会（2部作成）→企業・団体（1部保管）→推進協議会（1部保管）

インターンシップ実施に関する企業等と推進協議会との覚書

〇〇株式会社（以下、甲という）と沖縄地域インターンシップ推進協議会（以下、乙という）は、平成28年度春期に実施するインターンシップ（以下、「実習」という）の取り扱いについて、次の通り覚書を締結する。

1. 実習の概要

別添「インターンシップ受入れ条件確認書」の通りとする。

2. 事故災害時の対応

乙は実習を行う学生を所属大学で「学生教育研究災害傷害保険」（もしくはそれに該当する保険）に加入させ、実習中およびその往復途中に生じた事故により身体に傷害を被った場合に対応する。また、所属大学で「学研災付帯賠償責任保険」（もしくはそれに該当する保険）に加入させ、実習中およびその往復途中に他人に怪我をさせたり、他人の財物を損壊したことにより甲が被る法律上の損害を補償する手続きについて、所属大学と連携して対応する。

なお、乙が仲介する実習は、学生が所属する大学において「学校行事」と位置づけられたものである。

3. 誓約書の提出

実習に参加する学生は実習に先立ち、甲に対し「誓約書」を提出する。

4. 実習の打ち切り

「誓約書」に違反する行為が生じた場合、甲は乙と協議の上、実習を打切ることができる。

5. その他の対応

この覚書に定めのない事項については、甲乙協議の上決定する。

6. 覚書の効力

この覚書は、下記の署名日付より実習終了日まで効力を持つものとする。

本覚書の締結を証するため本書2通を作成し、甲乙記名押印の上、それぞれ1通を保管するものとする。

以上

平成 年 月 日

甲 企業・団体名

役職・氏名

印

乙

沖縄地域インターンシップ推進協議会

会長 松本 剛 印

Memorandum of Understanding (MOU) between a Company and Okinawa Internship Promotion Conference Concerning Internship Program

This MOU is made and entered into by and between _____ (hereinafter referred to as 'Party A') and Okinawa Internship Promotion Conference (hereinafter referred to as 'Party B') as follows concerning spring 2016 internship program (hereafter referred to as the 'Program').

1. Outline of the Program

As per attached sheet "Internship Accepting Conditions Confirmation Note."

2. Accident and Disaster Preparedness Measure

Party B shall encourage students who join the program to take out Personal Accident Insurance for students Pursuing Education and Research (PAS) at each schools and deal with each case if they are physically hurt in any type of accident during the program and/or their travel to and from the Program.

Also, Party B shall encourage the students to take out Liability Insurance coupled with PAS (or any other insurance corresponding to that) at each schools, and deal with the procedure to compensate for any damage to Party A if they hurt others or damage any property during the program and/or their travel to and from the Program.

Meanwhile, the Program mediated by Party B shall be defined as a "school event" at each university.

3. Submission of a Written Pledge

Students who participate in the program shall submit a written pledge to Party A beforehand.

4. Discontinuation of the Program

In the case of violation of the written pledge, Party A may discontinue the Program upon consultation between both parties.

5. Other Measures

Any matter not stipulated herein shall be settled each time upon consultation between both parties.

6. Effect of MOU

This MOU becomes effective upon the signing by all parties below, and will expire the last day of the Program from the effective date.

In witness whereof, the parties hereto have caused this MOU to be executed by their representatives in duplicate, each party retaining one (1) copy thereof respectively.

Party A:

_____ Signature	_____ Date
_____ Print Name	
_____ Title	

Party B: Okinawa Internship Promotion Conference

_____ Signature	_____ Date
_____ Print Name	
_____ Title	

インターンシップ受入れ条件確認書

学校名・学部・学科 (学籍番号)	学校名
	学部 学科 年
参加学生氏名 連絡先	ふりがな 氏名
	住所
	電話
期 間	平成 年 月 日 ～ 平成 年 月 日 (実施日数 日間)
実習条件	受入時間 時 分 ～ 時 分
	休日
	昼食費 支給する ・ 支給しない
	活動費用 支給する ・ 支給しない ※実習活動中の交通費
	通勤交通費 支給する ・ 支給しない ※その他項目において支給する場合は、下記「その他」に記載
推進協議会側責任者	会名 沖縄地域インターンシップ推進協議会
	役職 会長 _____ 松本 剛 (琉球大学就職センター長)
	電話 098-895-8981
企業・団体側責任者	(企業・団体名)
	(役職・氏名)
	(電話)
そ の 他	

インターンシッププログラム(案)

企業・団体名 _____

実施日	時間	内 容	担当部署及び指導者
月 日 ()	午前		
	午後		
月 日 ()	午前		
	午後		
月 日 ()	午前		
	午後		
月 日 ()	午前		
	午後		
月 日 ()	午前		
	午後		

※事前研修で学生に配布しますので2016年1月末までにうりずんプロジェクト事務局に提出をお願いします。

※この様式は記入しやすいように変更してもかまいません。ご自由にお使いください。

インターンシップ実施前提出

記載例(製造業)

インターンシッププログラム

※集合時間・場所・服装を明記してください。

企業・団体名 (株)うりずん機械製作所

実施日	時間	内 容	担当部署及び指導者
1日目 月 日 ()	午前	・オリエンテーション(自己紹介、実習スケジュール確認等) ・業界、会社概要・企業理念について説明 ・社長講話	人事課
	午後	・業務内容、取り扱い製品の説明 ・各部署担当者から説明 ・日報作成	各部署担当者 設計・開発部 営業部
2日目 月 日 ()	午前	・北部工場へ移動	人事課
	午後	・第一工場見学(電子機器製造ライン) ・第二工場見学(農業用機械製造ライン) ・日報作成	工場長
3日目 月 日 ()	午前	・顧客訪問	営業1課
	午後	・代理店訪問 ・日報作成	
月 日 ()	午前		
	午後		
10日目 月 日 ()	午前	・製造業についてのグループディスカッション(入社3年目までの社員と)	人事課
	午後	・社員ミーティングにて実習報告を発表 ・日報作成	

※事前研修で学生に配布しますので、2016年1月末までにうりずんプロジェクト事務局に提出をお願いします。

※この様式は記入しやすいように変更してもかまいません。ご自由にお使いください。

受入先企業等による学生の評価

受入企業・ 団体名		研修部署	
受入担当者		実習指導者	

学生情報				
学生・氏名	大学	学部	年	氏名
実習期間	平成	年	月	日 () ~ 月 日 () (実働 日間)
出欠状況	出席	日	欠席	日
			遅刻	日
				早退
				日

業務内容

所見

本人へのアドバイス

平成〇〇年〇月〇〇日

2000春期インターンシップ受入企業・団体
担当者様

沖縄地域インターンシップ推進協議会
会長 松本 剛
(公印省略)

受入れ企業におけるインターンシップ実習写真データの恵与方について（依頼）

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

うりずんプロジェクト2000春期インターンシップ受入につきましては、業務多忙のところ、お引き受けくださり、感謝申し上げます。

さて、うりずんプロジェクトはご承知のとおり、平成26年度文部科学省「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業【テーマB】インターンシップ等の取組拡大」（平成27年度は「大学教育再生加速プログラム（インターンシップを通じた教育強化）」に名称変更）の補助金事業として採択されたもので、年度の実施報告書や事業成果報告書等の提出が求められます。

その報告書等にはインターンシップ先での取組み事例紹介や写真添付を要するものが想定されることから、貴企業・貴団体におけるインターンシップ実習中の写真データ（例：インターンシップ研修内容、インターンシップ窓口業務、インターンシップ発表会等の写真、担当者と実習生との集合写真等）について、支障のない範囲（公表可能なもの）での写真データの恵与（1～3枚程度）をお願い申し上げます。

なお、ご提供いただいた写真データは、本プロジェクト実施報告書やインターンシップ成果報告書（印刷物）以外の目的に使用いたしません。

インターンシップ参加の学生に対しては、平成〇〇年〇月〇〇日（〇）のインターンシップ事前研修において、インターンシップ実習中に撮影した写真に関して、貴企業・貴団体の了解を得たものを、上記の実施報告書、成果報告書及び当推進協議会のホームページに掲載することがある旨周知する予定です。

貴企業・貴団体におかれましても、インターンシップ実習中に写真撮影を行う旨を事前に学生にお知らせするなど、ご配慮をお願いいたします。

写真データのご提供につきましては、各インターンシップ実施期間終了後の1週間以内に下記の担当宛てにメールを送付くださいますよう、よろしくお願いいたします。

敬具

担当：沖縄地域インターンシップ推進協議会事務局
(琉球大学就職センター内)
コーディネーター 川平敦
外間裕子
事務補佐員 早川杏里
TEL：098-895-8981 FAX：098-895-8119
E-mail：urizun@to.jim.u-ryukyu.ac.jp

7-4

専門人材養成テキスト
(手引き&ワークシート)

『大学キャリア教育専門人材養成テキスト 【手引き】 & 【ワークシート】』 入手先

urizun.lab.u-ryukyu.ac.jp/

4/1以降
HPにて
公開いた
します

The screenshot shows a web browser displaying the homepage of urizun.lab.u-ryukyu.ac.jp. The main banner features a woman with a laptop and the text: 'その夢にもっと近づく うりずんプロジェクト' (Get closer to your dream, urizun Project). Below this, it says: '自分の夢をもっとしっかり形にしたい! そんなあなたの熱い気持ちをサポートします! 未来のあなたは、どんな仕事に就いていますか?' (I want to give my dream a more solid form! We support your passionate feelings! What kind of job will you be doing in the future?). The banner also includes a lightbulb icon and the text 'うちなーんちだから、沖縄型' (Because we are Uchinanchi, we have a Okinawan style). The navigation menu at the bottom includes: 'urizunプロジェクト' (urizun Project), '推進協議会' (Promotion Council), '学生の手引き' (Student Handbook), '企業・団体の紹介' (Introduction of Companies/Organizations), and 'お知らせ' (Notice). The URL bar shows 'urizun.lab.u-ryukyu.ac.jp'.

検索 [urizunプロジェクト](#)

7-5

2年間の取組の当初達成目標
及び実績

「うりずんプロジェクト」 ～沖縄型インターンシップの展開～

2年間の取組の当初達成目標及び実績

当初達成目標は平成26年8月時点の、また実績は平成28年3月時点の値である。

- インターンシップ参加者：
当初達成目標 200人増
実績 延べ259人増
＜うりずんインターンシップのみカウントした＞

- インターンシップ参加率：
当初達成目標 10%
実績 7.7%
＜各大学の正課・正課外インターンシップ，うりずんインターンシップの合計＞

- インターンシップ受入企業数：
当初達成目標 100社増
実績 延べ79社増
＜受入を表明した企業の数は延べ107社＞

- 専門人材育成数：
当初達成目標 5大学各2人計10人増
実績 14人増
＜プログラム検討協議部会（部会2）部会長・部会員（専門人材養成研修の企画、
専門人材養成テキスト作成を担当）、専門人材養成研修参加者のうち、大学教職
員をカウントした＞

7-6

その他

認定番号0001



修了証

Certificate of Internship Completion

うりずん太郎 殿

貴殿は「うりずんプロジェクト」2000夏期インターンシップにおいて、事前研修・事後研修を含めたインターン実習を修了したことを証明します。

株式会社〇〇 平成 27 年〇月〇日～〇月〇日

平成〇〇年〇月〇〇日

沖縄地域インターンシップ推進協議会

会長 松本 剛

平成27年文部科学省
大学教育再生加速プログラム
(インターンシップ等を通じた教育強化)

台風時の対応について（連絡）

受入れ企業・団体様 御中

沖縄地域インターンシップ推進協議会
会 長

報道によると8月24日以降、台風15号が沖縄本島・久米島地方に接近する模様です。
台風（接近）時は、次のとおり取扱いをさせていただきたいので、よろしく申し上げます。

- ①うりずんプロジェクト事務局から実習生に対し、「台風（接近）時であっても実習先企業の指示」に従うよう連絡し、くれぐれも自己判断をせず、企業・団体様のご担当者と連絡をとるよう指示します。
- ②ご担当者様からも実習生にその旨を伝え、対応方よろしく申し上げます。
- ③台風（接近）時のインターンシップ実施の取扱いについては、企業・団体様にお任せします。
なお、取り止めた場合は、後日、本事務局にご連絡下さい。
- ④8月26日（水）～28日（金）の3日間、琉球大学は一斉休業のため、本事務局の職員は、勤務していません。
緊急の場合は、本事務局（098-895-8981：転送機能あり）までご連絡願います。

台風時の対応について（連絡）

実習生 各位

沖縄地域インターンシップ推進協議会
会 長

報道によると24日以降、台風15号が沖縄本島・久米島地方に接近する模様です。
台風（接近）時の取扱いは、次のとおりとします。

- ①台風（接近）時における実習については、実習先企業の指示に従うこと。
- ②実習生は、「台風（接近）時であっても実習先企業の指示」に従い、くれぐれも自己判断をせず、企業・団体様のご担当者と連絡が取れるよう事前に準備（確認）しておくこと。
- ③8月26日（水）～28日（金）の3日間、琉球大学は一斉休業のため、うりずんプロジェクト事務局の職員は勤務していません。
緊急の場合は、本事務局（098-895-8981：転送機能あり）まで連絡のこと。

文部科学省

平成26年度「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業【テーマB】
インターンシップ等の取組拡大」採択

平成27年度「大学教育再生加速プログラム（インターンシップ等を通じた教育強化）」

「うりずんプロジェクト～「沖縄型」インターンシップの展開～」
成果報告書

平成28年3月

編集・発行：沖縄地域インターンシップ推進協議会

うりずんプロジェクト事務局

(琉球大学 就職センター内)

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町千原1番地

TEL (098)895-8981